



図 面 リ ス ト							
A－00	表 紙						
A－01	図面リスト	S－01	構造設計標準仕様書	E－01	電気設備特記仕様書	M－01	機械設備特記仕様書・図面凡例
A－02	建築工事特記仕様書（1）	S－02	鉄筋コンクリート構造標準図（1）	E－02	構内線路図	M－02	給排水 1 階平面図
A－03	建築工事特記仕様書（2）	S－03	鉄筋コンクリート構造標準図（2）	E－03	凡例	M－03	給排水 2 階平面図・衛生器具表
A－04	建築工事特記仕様書（3）	S－04	鉄骨構造標準図（1）	E－04	照明器具図・盤結線図	M－04	樹リスト・樹類詳細図・屋外配管断面図
A－05	建築工事特記仕様書（4）	S－05	鉄骨構造標準図（2）	E－05	電灯設備平面図	M－05	機器表・冷媒管保温施工仕様
A－06	現況配置図・仮設計画図	S－06	柱脚標準図	E－06	コンセント設備平面図	M－06	冷暖房・換気 1・2 階平面図
A－07	配置図・案内図・敷地求積図	S－07	デッキ合成スラブ標準仕様書	E－07	弱電設備平面図	M－07	24時間換気2階平面図・24時間換気量計算書
A－08	外部仕上表	S－08	基礎伏図・2階, R階梁伏図				
A－09	内部仕上表	S－09	軸組図				
A－10	1 階平面図・2 階平面図・屋根伏図	S－10	基礎リスト				
A－11	立面図・断面図	S－11	基礎梁リスト				
A－12	矩計図	S－12	鉄骨部材リスト				
A－13	屋外階段詳細図	S－13	鉄骨詳細図				
A－14	平面詳細図	S－14	各部詳細図				
A－15	展開図－1						
A－16	展開図－2						
A－17	展開図－3						
A－18	建具キープラン・建具表－1						
A－19	建具表－2						
A－20	各部詳細図－1						
A－21	各部詳細図－2						
A－22	各部詳細図－3						
A－23	外構詳細図						
A－24	面積図・求積図・法規チェック						
A－25	地盤面算定						

旭分団詰所建設工事 設計図

令和 年 月 (全 校)

仕 様 書

I 工事概要

敷地所在地	山梨県韭崎市旭町上條北割字宮下2920-2
都市計画区域	区域区分非設定
防火指定	指定なし
その他の地域地区	指定なし
道路	法42条1項1号 (市道旭90号線)
敷地面積	226.65㎡
用途地域	指定なし
建坪率	70%
容積率	200%
建物の主要用途	08470 事務所(消防団詰所)
工事の種類	新築
棟数	1棟
構造・階数	鉄骨造 2階建て
建築面積	51.07㎡
延べ床面積	81.58㎡
最高の高さ	11.07㎡
最高の軒高さ	7.12㎡
消防法上の有窓階・無窓階	有窓階
下水の放流形式	下水道供用開始区域

工事種目 図示の内容全て

II 工事範囲

※「3. 工事種目」全てを工事範囲とする。  
・「3. 工事種目」のうち の工事範囲は下記表のとおりとする。  
ただし、他の工事種目は全て今回工事範囲とする。

2 仮設工事	工事範囲全て
3 土工事	
4 地業工事	
5 鉄筋工事	
6 コンクリート工事	
7 鉄骨工事	
8 コンクリートブロック・ALCパネル 押出成形セメント板工事	
9 防水工事	
10 石工事	
11 タイル工事	
12 木工事	
13 屋根及びとい工事	
14 金属工事	
15 左官工事	
16 建具工事	
17 カーテンウォール工事	
18 塗装工事	
19 内装工事	
20 ユニット及びその他の工事	
21 排水工事	
22 舗装工事	
23 植栽及び屋上緑化工事	

III 建築工事仕様

1. 共通仕様  
(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」（令和7年版）」（以下、「標仕」という。）による。  
  
2. 特記仕様  
(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。  
(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。  
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。  
○印と※印の付いた場合は、共に適用する。  
(3) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。  
(4) 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また（ ）内は製品名を示す。  
(5) 図印は「国等」による環境物品等の調達の推進に関する法律」の特定調達品目を示す。

章

項 目

特 記 事 項

① 一般共通事項

① 適用基準等

・建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課監修 最新版）  
・工事写真の撮り方（改訂第3版）建築欄（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）

② 工事実績情報の登録

※適用する

③ 施工計画書

・工事の着手に先立ち、工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し、監督職員に提出する。  
・施工計画の内容を変更する必要がある場合は、監督職員に報告するとともに、施工に支障がないよう適切な措置を講ずる。

④ 電気保安技術者

工事現場における電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。  
・要  
・不要

⑤ 施工条件

工事着手については監督職員と協議し着手する。  
令和 年 3月 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4月  
着 工 完 成

⑥ 発生材の処理等

※現場説明書による ・構外搬出適切処理

⑦ 建築材料等

本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及その製造者等は、次の（1）～（6）の事項を満たすものとする。  
(1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること  
(2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること  
(3) 安定的な供給が可能であること  
(4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること  
(5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること  
(6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること  
なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関（（社）公共建築協会 他）が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。  
また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。

⑧ 化学物質を放散する建築材料等

建築材料の使用制限  
  
建築材料等について、規制の対象となる範囲は下地、仕上げ材共にF☆☆☆☆または規制対象外の建材を用いることとし、該当する材料が無い場合は監督職員の承諾を受けF☆☆☆☆のものを採用するを含む）を使用すること。

⑨ 特別な材料の工法

標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。

⑩ 技能士

（1.5.2）

適用工事種別	技能検定の職種
鉄筋工事	○鉄筋施工（鉄筋組立て作業）
コンクリート工事	○型枠施工
鉄骨工事	○とび
ブロック・ALCパネル工事	・ブロック建築 ○ALCパネル施工
防水工事	・アスファルト防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塗膜防水工事作業 ○シーリング防水工事作業
石工事	・石材施工（石張り施工）
土工事	・タイル張り
木工事	・建築大工
屋根及びとい工事	○建築板金（内外装板金作業）
金属工事	○内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業）
左官工事	○左官
建具工事	○サッシ施工 ・ガラス施工 ・自動ドア施工
カーテンウォール工事	・カーテンウォール施工 ・サッシ施工 ・ガラス施工
塗装工事	○塗装（建築塗装作業）
内装工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業 ○ボード仕上げ工事作業 ○塗装（壁装作業）
植栽工事	・造園

⑪ 電子納品

○工事関係図書を電子納品すること  
  
・適用基準は以下の通りとする。 （作成・納品の基準、納品する資料の範囲等）  
・山梨県総務部営繕課 電子納品要領（最新版）  
  
・書面による署名及び捺印の取り扱い（電子成果物の原本性保証に関する処置）  
電子納品の導入にあたっては、従来の署名または捺印に代わる措置として、電子署名の導入が求められるが、電子署名の導入は現時点では困難であるため、  
1） 受注者は電子媒体の内容の原本性を照明するために、電子媒体に署名又は捺印の上、提出する。  
2） 共通仕様書に基づく各書面に対する署名又は捺印は、上記1）の措置を持って代えることができる  
  
○設計図CADデータ貸与する。  
  
○設計図CADデータの著作権は以下の者にある  
貸与するCADデータを当該工事における施工図面又は完成図の作図のため以外に使用してはならない。

12 化学物質の濃度測定

（1.5.10）  
施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ステレンの5物質について測定し、厚生労働省で定める指針値以下の濃度であることを確認し、測定結果報告書を監督職員に提出すること。（測定結果が指針値を超えた場合は、発生源を特定し、換気などの措置を講じた後、再度測定を行う。）

測定対象科学物質	厚生労働省の指針値（25℃の場合）
ホルムアルデヒド	0.08 ppm（100μg/m <sup>3</sup> ）
トルエン	0.07 ppm（260μg/m <sup>3</sup> ）
キシレン	0.20 ppm（870μg/m <sup>3</sup> ）
エチルベンゼン	0.88 ppm（3,800μg/m <sup>3</sup> ）
ステレン	0.05 ppm（220μg/m <sup>3</sup> ）

  
測定はバンプ型採取機器により行う。  
着工前の測定 ・行う  
測定対象室 ・図示 ○全居室  
測定箇所数 ・図示 ○2箇所  
測定結果の報告  
  
※作成する ・作成しない（1.7.1～3）（表1.7.1）  
※完成図 提出部数 ※各2部 ・部（A3版第2原図及び電子媒体（CD-R））  
※施工計画書 提出部数 ※1部 ・部  
※施工図 提出部数 ※1部 ・部  
※保全に関する資料 提出部数 ※1部 ・部

⑬ 完成図等

（1.7.1～3）（表1.7.1）  
※作成する ・作成しない  
※完成図 提出部数 ※各2部 ・部（A3版第2原図及び電子媒体（CD-R））  
※施工計画書 提出部数 ※1部 ・部  
※施工図 提出部数 ※1部 ・部  
※保全に関する資料 提出部数 ※1部 ・部

⑭ 完成写真

下記のものを監督職員に提出する。ただし、原稿は撮影業者の保管とする。

分類・規格	撮影箇所数	提出部数	原稿の大きさ（mm）
○カラー ※キャビネット	外部（ ）内部（各室 ）	※2 ・6	※100×125以上
・カラー半切木製パネル 324×400（mm）	外部（ ）内部（ ）	※2	
・電子データ	外部（ ）内部（ ）	※2	※200万画素以上 ※300dpi以上

100×125以上の原稿を使う場合は、監督職員にあらかじめ述べた様を提出し確認を受ける。  
電子データは、RGB（フルカラー）、JPEG形式最高画質とし、CD-Rにて提出とする。  
撮影業者 ※監督職員の承諾する撮影業者（ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする）

⑮ 設備工事との取合い

設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。

⑯ 設計GL

現況GLを設計GLとする ○図示

⑰ 工事写真

・「営繕工事電子納品要領（案）（平成14年11月改訂版）」による。

② 仮設工事

① 監督職員事務所

※設ける 規模 ・1号 ・2号 ・3号 ・4号 ・5号  
○設けない  
・備品（必要備品は適宜設置）  
構内既存の施設  
○利用できる（ ※有償 ・無償 ） ※利用できない

② 工事用水

構内既存の施設  
○利用できる（ ※有償 ・無償 ） ※利用できない

③ 工事用電力

構内既存の施設  
○利用できる（ ※有償 ・無償 ） ※利用できない

③ 土工事

① 埋戻し及び盛土

種別 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種（3.2.3）（表3.2.1）  
・建設汚泥から再生した処理土 図

② 建設発生土の処理

※現場説明書による  
○構外搬出適切処理 ・構内指示の場所にたい積 ・構内指示の

⑦鉄骨工事

①鉄骨の製作工場

製作工場の加工能力  
(7.1.3)  
○監督職員の承諾する製作工場  
・建築基準法第77条の45第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた(株)日本鉄骨評価センター又は(社)全国縦構工業協会の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「( )グレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場。  
  
入熱、パス間温度の溶接条件  
適用箇所 ・図示 ・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部  
鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件  
※図示 ・

②施工管理技術者

③鋼材

鋼材の材質  
(7.2.1) (7.2.10) (表7.2.1)  
種類の記号  
使用箇所  
規格等  
BGR295  
柱・間柱  
※J I S規格による  
S1KR400  
柱・間柱  
※J I S規格による  
SN400B  
大梁  
※J I S規格による  
SN400  
小梁  
※J I S規格による  
SS400  
小梁  
※J I S規格による

④スカラップ

改良型スカラップ

⑤エンドタブ

鋼製エンドタブ  
切断する箇所 ( )

⑥高力ボルト

※トルシア形高力ボルト ・JIS形高力ボルト ・溶融亜鉛めっき高力ボルト (7.2.2) (7.12.4)

⑦溶接部の試験

AQDL ※4.0% ・2.5% (7.6.12)  
検査水準 ※第6水準 ・図示 (7.6.12) (表7.6.2)  
試験の種類  
試験箇所  
試験方法  
※超音波探傷試験  
完全溶込み溶接部  
※横仕様7.6.12 (1) (イ) による  
・図示  
・放射線試験  
・マクロ試験

8耐火被覆

(7.9.2～8)  
種 別  
所要性能及び適用構造部位  
・ラス張りモルタル塗り  
・耐火材  
吹付け  
・乾式吹付けロックウール  
・半乾式吹付けロックウール  
・湿式ロックウール  
・耐火板張り  
・耐火塗料  
・耐火材巻き付け

⑨アンカーボルトの保持及び埋込み工法

・構造用アンカーボルト (※図示 ・)  
・建方用アンカーボルト (・A種 ※B種) (7.10.3) (表7.10.1)

⑩柱底均しモルタル工法

※A種 ・B種 (7.2.9) (7.10.3) (表7.10.2)  
無収縮モルタル  
混和材  
セメント系膨張材 (酸化カルシウム及びカルシウム・サルフォ・アルミネート等によって膨張する性質を利用するもの) とする。  
JIS R 5210 (ポルトランドセメント) による普通または早強ポルトランドセメントとする。  
砂  
製造所の仕様を確認  
配合比  
製造所の仕様を確認

11溶融亜鉛めっき工法

(7.12.4) (表14.2.2)  
亜鉛めっきの種類  
材 料  
適用部位  
A種  
最低被覆6.0mm以上の形鋼、鋼板  
B種  
最低被覆3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板  
C種  
普通ボルト、アンカーボルト  
最低被覆1.6mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板  
素地ごしえは、JIS H 8641溶融亜鉛めっき作業指針による。

⑧コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事

③ALCパネル

4押出成形セメント板 (ECP)

⑨防水工事

1アスファルト防水  
(9.2.2～3) (表9.2.3～9)  
種 別  
施工箇所  
・A-1 ・A-2 ・A-3  
・A1-1 ・A1-2 ・A1-3  
・B-1 ・B-2  
・B1-1 ・B1-2  
・D-1 ・D-2  
・D1-1 ・D1-2  
・E-1 ・E-2  
アスファルト ※3種 ・4種 (9.2.2)  
断熱工法の断熱材 厚さ (mm) ※25 ・  
ただし、特定フロンを含まないもの。  
立上り部の保護  
・乾式保護材 ※押出成形セメント板 (厚さ 15mm) (9.2.5)

2改質アスファルトシート防水  
(9.3.2～3) (表9.3.1～3)  
種 別  
厚 さ  
施工箇所  
・AS-T1 ・AS-T2  
・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1  
・AS I-T1 ・AS I-J1

3合成高分子分子ルーフィングシート防水  
(9.4.2～3) (表9.4.1～3)  
種 別  
厚 さ (mm)  
施工箇所  
仕上り塗料塗り  
使用分類  
・S-F1 ※1.2 ・1.5  
・S-F2 ※2.0 ・1.5  
・S-M1 ※1.5 ・  
・S-M2 ※1.5 ・  
・S I-F1 ※1.2 ・1.5  
・S I-F2 ※2.0 ・1.5  
・S I-M1 ※1.5 ・  
・S I-M2 ※1.5 ・  
・S-C1 ※  
・  
脱気装置  
・設ける 材質 ( ) 設置数量 ( m<sup>2</sup>当たり 1箇所)

4塗膜防水  
(9.5.2～3) (表9.5.1～2)  
種 別  
施工箇所  
備 考  
・X-1  
・X-2  
・シルバー  
・カラー  
・Y-1  
・Y-2  
Y-2工法の保護シート  
※適用する ・適用しない

5ケイ酸質系塗布防水  
(9.6.2) (表9.6.1)  
種 別  
施工箇所  
備 考  
・C-SU I  
・C-SUP

⑥シーリング  
(9.7.2) (表9.7.1)  
下表以外は、横仕様9.7.1Iによる  
施工箇所  
シーリング材の種類 (記号)  
○図示

10石工事

1天然石張り  
(10.2.1) (表10.2.1～2)  
石の種類・表面仕上げ  
施工箇所  
種 類  
産地・名称  
厚さ (mm)  
仕上げの種類

2テラゾ張り  
(10.2.1) (表10.2.2)  
種 類  
産地・名称  
厚さ (mm)  
仕上げの種類  
種 別  
厚 さ  
施工箇所  
仕上り塗料塗り  
使用分類  
・S-F1 ※1.2 ・1.5  
・S-F2 ※2.0 ・1.5  
・S-M1 ※1.5 ・  
・S-M2 ※1.5 ・  
・S I-F1 ※1.2 ・1.5  
・S I-F2 ※2.0 ・1.5  
・S I-M1 ※1.5 ・  
・S I-M2 ※1.5 ・  
・S-C1 ※  
・  
脱気装置  
・設ける 材質 ( ) 設置数量 ( m<sup>2</sup>当たり 1箇所)

3壁の石張り工法  
(10.3.2～3) (10.5.2～3)  
外壁石張り  
工法  
・外壁湿式工法 (※あと施工アンカー横筋流し工法 ・流し防工法 ・あと施工アンカー工法)  
・乾式工法  
石裏面処理  
・行う (・小口共)  
裏打ち処理  
・行う  
ドレインパイプ ※ステンレスSUS304 ・  
  
内壁石張り  
(10.4.2～3) (10.5.2～3)  
工法  
・内壁空積工法 (※あと施工アンカー横筋流し工法 ・あと施工アンカー工法)  
・乾式工法

4床及び階段の石張り  
(10.6.2～3) (10.1.5)  
床石張りの裏面処理  
・行う  
屋内のワックス掛け  
・行う

11タイル工事

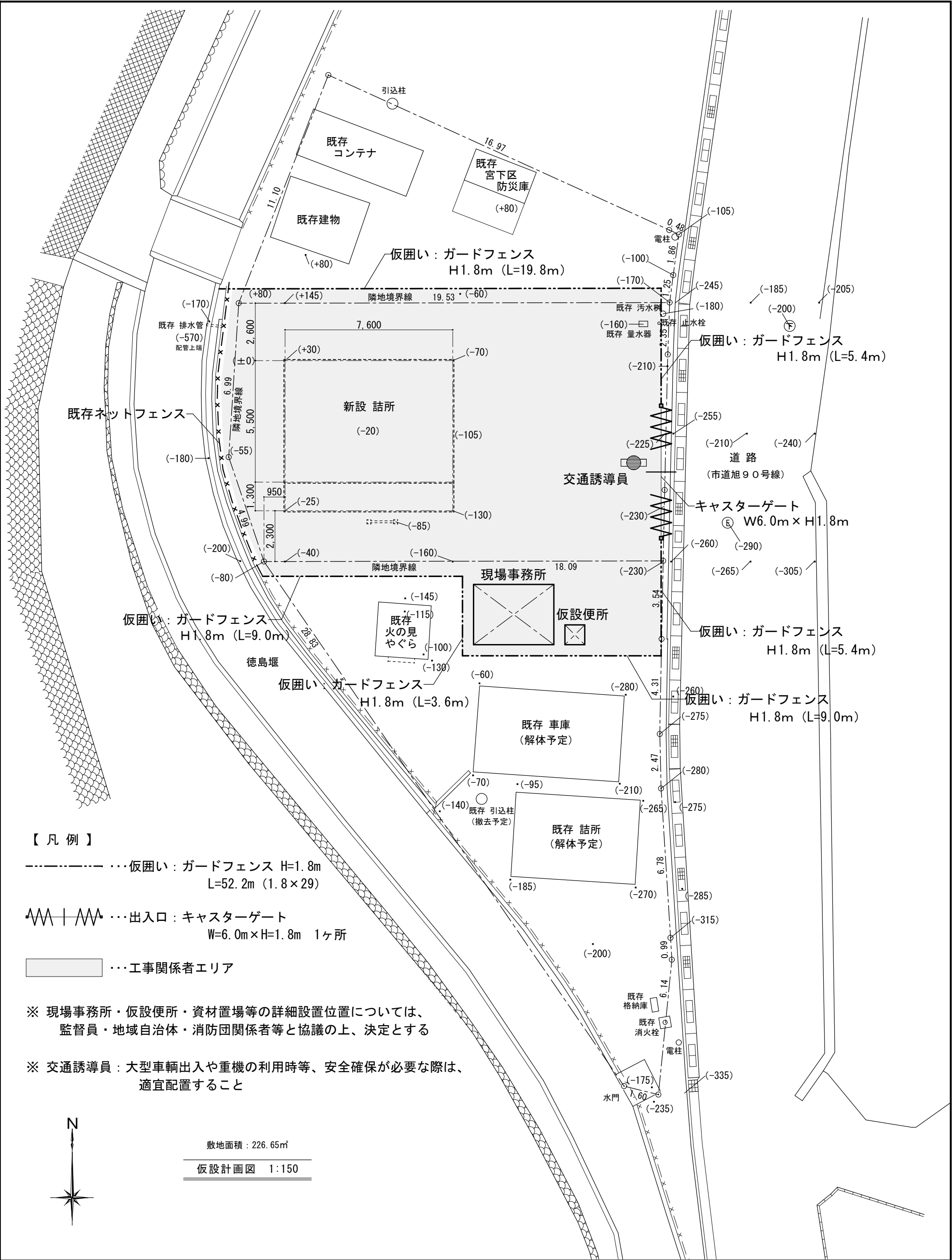
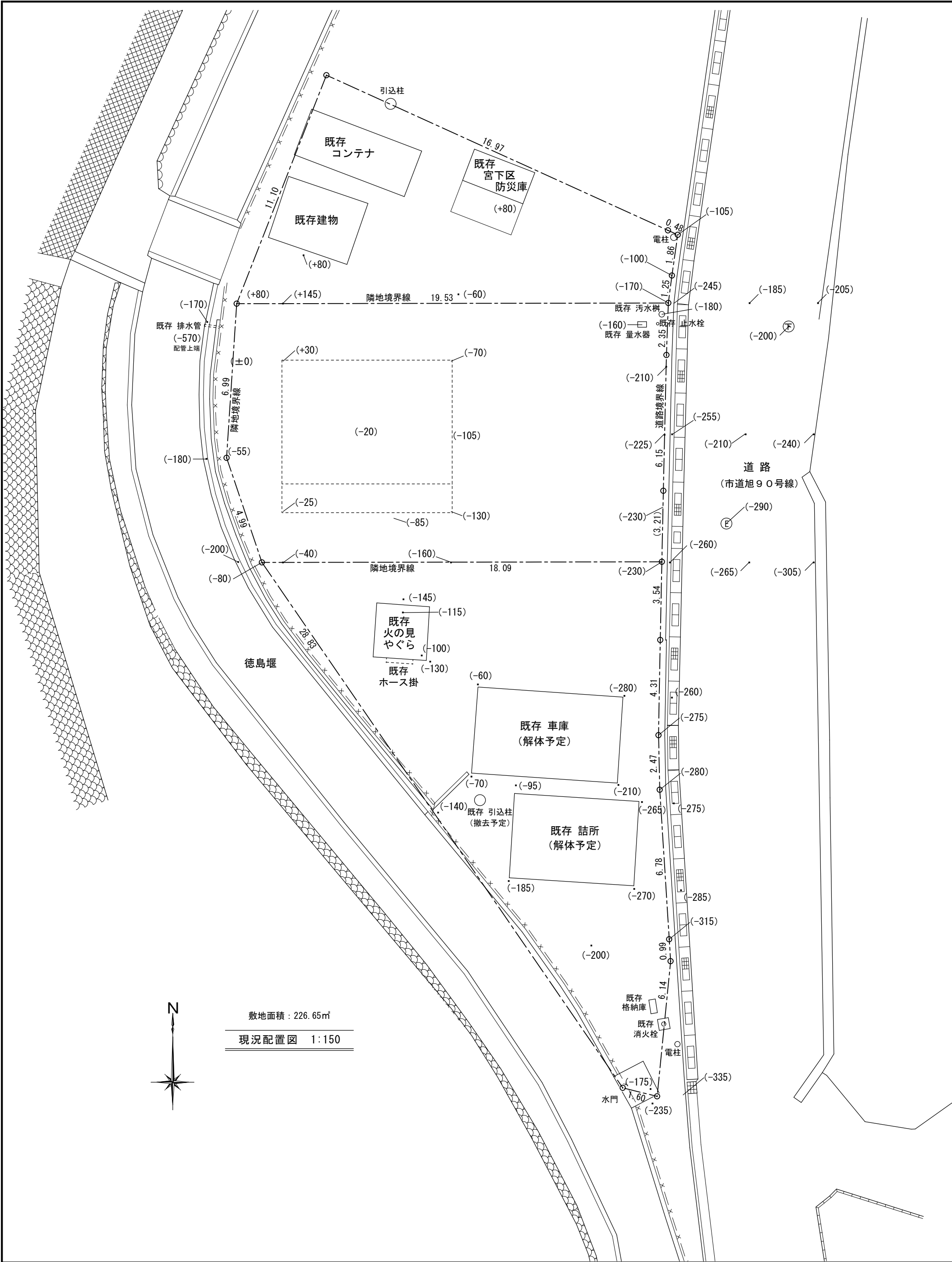
1陶磁器質タイル  
(11.2.2)  
タイルの種類  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所  
形状寸法 (mm)  
きじ  
うわぐすり  
役物  
色  
再生材の  
備考  
施工箇所

⑨ 建 具 工 事	① 見本の製作等	・特殊な建具の仮組（建具符号： ）（表16.1.4）																																																																																																																																																																																																																																																															
	② アルミニウム製建具	外部に面する建具（表16.2.2）（表16.2.4）（表16.2.1） <table><tr><th>種 別</th><th>耐風圧性</th><th>気密性</th><th>水密性</th><th>枠見込み（mm）</th><th>施工箇所</th></tr><tr><td>○A種</td><td>S-4</td><td>※A-3</td><td>※W-4</td><td>※70</td><td>※図示 ・</td></tr><tr><td>・B種</td><td>S-5</td><td></td><td></td><td></td><td>※図示 ・</td></tr><tr><td>・C種</td><td>S-6</td><td>A-4</td><td>W-5</td><td>特記による</td><td>※図示 ・</td></tr></table> （注）形式が引き違い・片引き・上げ下げ窓で複層ガラスを使用する場合は枠の見込み100mmとする。  断熱等級・ 枠 ・ 障子 ・  ガ ラ ス ・  表面処理 ※BB-1種 ・ C種（・ブラウン系 ○ブラック ・ステンカラー）（表14.2.1）  屋内建具 ※BC-1種又はBC-2種（表14.2.1） 表面処理 ・C2種（・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー） 防虫網 網の種類 ※ガラス繊維入り合成樹脂製 ・合成樹脂製 ・ステンレス製（SUS316） 形 式 ※外部可動式 ・固定式  建具の性能及び構造の適用は建具表による（表16.3.2） 製造所標準仕様による（表16.3.1.2）  4 鋼製建具 簡易気密型ドアセットの適用は特記による（表16.4.2）（表16.4.1） 耐風圧性の適用は建具表による 特定防火設備の戸 ・適用あり  5 鋼製軽量建具 簡易気密型ドアセットの適用は建具表による（表16.5.2）  6 ステンレス製建具 簡易気密型ドアセットの適用は建具表による 耐風圧性の適用は建具表による 表面仕上げ ※H1程度 ・鏡面仕上げ ・（表16.6.4） 曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ（補強あり）（表16.6.5） 特定防火設備の戸 ・適用あり（表16.6.1）  ⑦ 木製建具 かまち戸の樹種 かまち（ ） 鏡板（ ）（表16.7.2）  ふすまの上張り（表16.7.3～10） ※新鳥の子又はビニル紙程度（押入等の裏面は除く） ・鳥の子 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量（表16.7.2） ※規制対象外 ・第三種  ⑧ 建具用金物 マスターキー ※製作する ・製作しない（表16.8.4） 建具用金物（表16.4.6）（表16.5.6） 錠類はシリンダー箱錠（レバーハンドル）とする（表16.8.1～5） なお、錠前類は建具製作所の指定するものとし、監督職員の承認を受ける（表16.8.2）  吊金物 ・丁番（内部建具については、軸を鉄芯としてもよい） ・ピボットヒンジ ・フロアヒンジ  9 自動ドア開閉装置（表16.9.2～3）（表16.9.1～5） <table><tr><th>開閉方法</th><th>センサの種類</th></tr><tr><td>※スライディングドア ・スイングドア</td><td>・マットスイッチ ※光線スイッチ ・熱線スイッチ ・光電スイッチ</td></tr></table> ・凍結防止措置（適用箇所は建具表による）  10 自閉式上吊り引戸装置 品質規格 ※標仕表16.10.1による（表16.10.2～3） ・製造所標準仕様による  11 重量シャッター（表16.11.2） <table><tr><th>シャッターの種類</th><th></th></tr><tr><td>・一般重量シャッター</td><td>耐風圧性能（ ）N/m<sup>2</sup></td></tr><tr><td>・外壁用防火シャッター</td><td>耐風圧性能（ ）N/m<sup>2</sup></td></tr><tr><td>・屋内用防火シャッター</td><td></td></tr><tr><td>・屋内用防煙シャッター</td><td></td></tr></table> 開閉機能 ※上部電動式（手動併用） ・上部手動式（表16.11.2）（表16.11.1）  危害防止機構 ※障害物感知装置（自動閉鎖型） ・シャッターの二段降下方式 一般重量シャッターのシャッターケース ※設ける ・設けない（表16.11.2）  ⑫ 軽量シャッター（表16.12.2）（表16.12.1） 開閉形式 ※手動式 ・上部電動式（手動併用） スラット 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・鋼板 形状 ※インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 ガイドレール等 ※鋼板製 ・ステンレス製SUS304（厚さ1.5mm） 耐風圧性能（ ）N/m <sup>2</sup>  13 オーバーヘッドドア（表16.13.2～3） <table><tr><th>セクション材料</th><th>開閉方式</th><th>収納形式</th><th>ガイドレール</th></tr><tr><td>※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ</td><td>※バラン式 ・チェーン式 ・電動式</td><td>・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形</td><td>・溶融亜鉛めっき鋼板 ※ステンレス鋼板（SUS304）</td></tr></table> 耐風圧性能（ ）N/m <sup>2</sup>  ⑭ ガラス（表16.14.2）（表16.14.5）※建具表による ・ガラスブロック 標仕16.14.5による <table><tr><th>表面形状</th><th>呼び寸法（mm）</th><th>厚さ（mm）</th><th>色調</th><th>防火性能</th></tr><tr><td>・正方形</td><td></td><td></td><td>※クリア</td><td>※無し</td></tr><tr><td>・長方形</td><td></td><td></td><td></td><td>・有り</td></tr></table> ガラス留め材及び溝（表16.14.2）（表9.7.1） <table><tr><th>建具の種類</th><th>材 種</th></tr><tr><td>アルミニウム製</td><td>※シーリング材 ・ガasket（FIX部はシーリング材）</td></tr><tr><td>鋼製及び鋼製軽量</td><td>※シーリング材</td></tr><tr><td>ステンレス製</td><td>※シーリング材</td></tr></table> 防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能を有するものとする。（表16.14.3） 板ガラスをはめ込む溝の大きさ 標仕16.14.3 以外のアルミニウム製建具及び板ガラスの場合は（社）日本建築学会 JASS 17ガラス工事「3.1納まり寸法標準」によるほか、性能値が確認できる資料を監督職員に提出する <table><tr><th>名 称</th><th>種 類</th><th>張り面</th><th>性能値</th></tr><tr><td>※ガラス飛散防止フィルム</td><td>第2種</td><td>※内張り ・外張り</td><td>飛散防止率 D 1</td></tr></table> 品質 JIS A 5759による	種 別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み（mm）	施工箇所	○A種	S-4	※A-3	※W-4	※70	※図示 ・	・B種	S-5				※図示 ・	・C種	S-6	A-4	W-5	特記による	※図示 ・	開閉方法	センサの種類	※スライディングドア ・スイングドア	・マットスイッチ ※光線スイッチ ・熱線スイッチ ・光電スイッチ	シャッターの種類		・一般重量シャッター	耐風圧性能（ ）N/m <sup>2</sup>	・外壁用防火シャッター	耐風圧性能（ ）N/m <sup>2</sup>	・屋内用防火シャッター		・屋内用防煙シャッター		セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレール	※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※バラン式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	・溶融亜鉛めっき鋼板 ※ステンレス鋼板（SUS304）	表面形状	呼び寸法（mm）	厚さ（mm）	色調	防火性能	・正方形			※クリア	※無し	・長方形				・有り	建具の種類	材 種	アルミニウム製	※シーリング材 ・ガasket（FIX部はシーリング材）	鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材	ステンレス製	※シーリング材	名 称	種 類	張り面	性能値	※ガラス飛散防止フィルム	第2種	※内張り ・外張り	飛散防止率 D 1																																																																																																																																																																																		
	種 別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み（mm）	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																											
	○A種	S-4	※A-3	※W-4	※70	※図示 ・																																																																																																																																																																																																																																																											
	・B種	S-5				※図示 ・																																																																																																																																																																																																																																																											
	・C種	S-6	A-4	W-5	特記による	※図示 ・																																																																																																																																																																																																																																																											
	開閉方法	センサの種類																																																																																																																																																																																																																																																															
	※スライディングドア ・スイングドア	・マットスイッチ ※光線スイッチ ・熱線スイッチ ・光電スイッチ																																																																																																																																																																																																																																																															
	シャッターの種類																																																																																																																																																																																																																																																																
	・一般重量シャッター	耐風圧性能（ ）N/m <sup>2</sup>																																																																																																																																																																																																																																																															
・外壁用防火シャッター	耐風圧性能（ ）N/m <sup>2</sup>																																																																																																																																																																																																																																																																
・屋内用防火シャッター																																																																																																																																																																																																																																																																	
・屋内用防煙シャッター																																																																																																																																																																																																																																																																	
セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレール																																																																																																																																																																																																																																																														
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※バラン式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	・溶融亜鉛めっき鋼板 ※ステンレス鋼板（SUS304）																																																																																																																																																																																																																																																														
表面形状	呼び寸法（mm）	厚さ（mm）	色調	防火性能																																																																																																																																																																																																																																																													
・正方形			※クリア	※無し																																																																																																																																																																																																																																																													
・長方形				・有り																																																																																																																																																																																																																																																													
建具の種類	材 種																																																																																																																																																																																																																																																																
アルミニウム製	※シーリング材 ・ガasket（FIX部はシーリング材）																																																																																																																																																																																																																																																																
鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材																																																																																																																																																																																																																																																																
ステンレス製	※シーリング材																																																																																																																																																																																																																																																																
名 称	種 類	張り面	性能値																																																																																																																																																																																																																																																														
※ガラス飛散防止フィルム	第2種	※内張り ・外張り	飛散防止率 D 1																																																																																																																																																																																																																																																														
17 カーテンウォール工事	2 メタルカーテンウォール  設計図書による規定の他、特記無き事項は監督職員の承認を受けて、カーテンウォールの製造所の仕様とする事が出来る。  カーテンウォール材料の種類（表17.2.2） <table><tr><th>種 類</th><th>規格等</th></tr><tr><td>※アルミニウム製</td><td>※標仕16.2.3のアルミニウム製建具の材料による</td></tr></table> カーテンウォール方式 ・方立方式 ・バックマリオン方式（ ・単純2辺支持構法 ・SSG構法） ・スパンドレル方式 ・パネル方式 ・小型パネル組み合わせ方式（ ・ノックダウン方式 ・ユニット方式） シーリング材及びガラス取付け材料 下記以外は標仕表9.7.1による <table><tr><th colspan="2">被着体の組合せ</th><th colspan="2">シーリング材の種類</th></tr><tr><th rowspan="2">金属</th><th>ガラス</th><th>記 号</th><th>主成分による区分</th></tr><tr><th>石、タイル</th><th></th><th>耐久性による区分</th></tr><tr><th colspan="2">ガラス</th><th>ガラス</th><th></th></tr></table> 構造用ガasket ※適用しない（表17.2.2）  断熱材 ※適用しない（表17.2.2） ・適用する（種類： 厚さ（mm） ：施工箇所※図示 ）  製品の寸法許容差 ※標仕表17.2.1による（表17.2.3）（表17.2.1） ・製造所標準製作規定寸法許容差による ・取付け（表17.2.5）（表17.2.2～3）  アルミニウムの表面処理（表17.2.3）（表14.2.1） <table><tr><th>種 別</th><th>色 彩 等</th></tr><tr><td>・BB-1種 ・BB-2種</td><td>無着色</td></tr><tr><td>・C種</td><td>※ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー ・</td></tr><tr><td>・着色塗装</td><td>塗装材料（ ）焼付け方法（ ）コート（ ）ペーク</td></tr></table> 耐風圧性能（表17.1.3） 性能値 ※建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全であること。 ・正圧 N/m <sup>2</sup> 以上及び負圧 N/m <sup>2</sup> 以上に対して安全であること。  主要部材のたわみ 支点間距離（h） たわみ量 状 態 ※4m以下 ※±（1/150）×h ※各部の破損、残留変形 ・4mを超える かつ絶対変位20mm以下 有害な変形が起こらないこと  耐震性能（表17.1.3） 設計用震度 水平方向（KH） ※1.0 ・ 垂直方向（KV） ※0.5 ・ <table><tr><th>建物の構造種別</th><th>層間変位量（h=支点間距離）</th><th>状 態</th></tr><tr><td>鉄骨造</td><td>※±（1/100）×h以上</td><td>※部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらない</td></tr><tr><td>鉄筋コンクリート造</td><td>※±（1/200）×h以上</td><td>シーリングは補修程度</td></tr><tr><td>鉄骨鉄筋コンクリート造</td><td></td><td></td></tr></table> 水密性 ・W-4 ・W-5 ・（表17.1.3） 気密性 ・A-3 ・A-4 ・（表17.1.3） 耐火性能 ※適用しない ・適用する（ 時間、施工箇所：図示） 映像調整 ※行わない ・行う（建具表による） 製造所 性能等の確認できる資料を提出し監督職員の承認を受ける 設計図書による規定の他、特記無き事項は監督職員の承認を受けて、カーテンウォールの製造所の仕様とする事が出来る。（表17.1.1(2） コンクリートの種類及び品質 ※標仕17.3.2による ・下表による。ただし、下表以外は標仕17.3.2Iによる。 <table><tr><th>コンクリートの種類</th><th>設計基準強度（F<sub>c</sub>）</th><th>所要スランプ（cm）</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>  鉄筋 ※SD295 ・  取付け用金物の表面処理（鉄の亜鉛めっき）及び材質（表14.2.2） <table><tr><th>金物種類及び部位</th><th>内 部</th><th>外 部</th></tr><tr><td>P C板打込み金物</td><td>※E種 ・</td><td>※C種 ・</td></tr><tr><td>P C板打込み取付けボルト</td><td>※E種 ・</td><td>※ステンレスボルト</td></tr><tr><td>2次ファスナー</td><td>※E種 ・</td><td>※C種 ・</td></tr><tr><td>取付けボルト</td><td>※F種 ・</td><td>※C種 ・</td></tr><tr><td>レベル調整ボルト</td><td>※F種 ・</td><td>※C種 ・</td></tr></table> 上記以外はカーテンウォール製作所の仕様による  シーリング材料 下記以外は標仕表9.7.1による <table><tr><th colspan="2">シーリング材の種類</th><th rowspan="2">耐久性による区分</th></tr><tr><th>施工箇所</th><th>記 号</th></tr><tr><td>カーテンウォール板間目地</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>  断熱材 ※適用しない（表17.3.3）（表17.3.1） ・適用する（種類： 厚さ（mm） ：施工箇所 ※図示） 製品の寸法許容差 ※標仕表17.3.1Iによる ・製造所標準製作規定寸法許容差による  表面仕上げ（ ）  耐火材料 <table><tr><th>施工部位</th><th>種 別</th><th>規格等</th></tr><tr><td>・ファスナー部</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・取付けブラケット</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・パネル目地部</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・層間ふさぎ</td><td></td><td></td></tr></table>  耐風圧性能（表17.1.3） 性能値 ※建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全であること。 ・正圧 N/m <sup>2</sup> 以上及び負圧 N/m <sup>2</sup> 以上に対して安全であること。  耐震性能（表17.1.3） 設計用震度 水平方向（KH） ※1.0 ・ 垂直方向（KV） ※0.5 ・ <table><tr><th>建物の構造種別</th><th>層間変位量（h=支点間距離）</th><th>状 態</th></tr><tr><td>鉄骨造</td><td>※±（1/100）×h以上</td><td>※部材が損傷せず、破損脱落もしない。</td></tr><tr><td>鉄筋コンクリート造</td><td>※±（1/200）×h以上</td><td>シーリングは補修程度</td></tr><tr><td>鉄骨鉄筋コンクリート造</td><td></td><td></td></tr></table>  1⑯ 塗 装 工 事  ③ 錆止め 塗料塗り  4 合成樹脂調合ペイント塗り（SOP）  5 クリアラッカー塗り（CL）  6 アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り（NAD）  ⑦ 耐候性塗料塗り（DP）  8 つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗り（EP-G）  ⑨ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り（EP）  10 ウレタン樹脂ワニス塗り（UC）  11 ビゲメントハイト塗り（OS）  12 木材保護塗料塗り（WP）  ⑰ 内 装 工 事  ② ビニル床シート張り ビニル床タイル 及びゴム床タイル張り  ○ビニル床シート <table><tr><th colspan="5">JIS A5705のJIS表示認証製品（表19.2.1～2）</th></tr><tr><th>種 類</th><th>記号</th><th>色 柄</th><th>厚さ（mm）</th><th>特殊機能</th></tr><tr><td>※ 発泡層のないもの</td><td>※FS</td><td>・無地</td><td>※2.0</td><td>○帯電防止</td></tr><tr><td>・ 発泡層のあるもの</td><td>・HS</td><td>○マープル</td><td>○2.5</td><td>○防滑性</td></tr><tr><td></td><td>・KS</td><td></td><td></td><td>・突付け</td></tr></table>  JIS A5705のJIS表示認証製品で、表面は印刷シートに透明表層を有した木目又は石目調のもの <table><tr><th>種類の記号</th><th>色 柄</th><th>厚さ（mm）</th><th>特殊機能</th><th>工 法</th></tr><tr><td>FS</td><td>・ 木目調</td><td>※ 2.0</td><td>・帯電防止</td><td>※熱溶接</td></tr><tr><td></td><td>・ 石目調</td><td>・ 2.5</td><td>・耐動荷重</td><td>・突付け</td></tr></table> 上記以外はずべてビニル床シートに同じ  ・ビニル床タイル <table><tr><th colspan="5">JIS A5705のJIS表示認証製品</th></tr><tr><th>種 類</th><th>記号</th><th>寸法</th><th>厚さ（mm）</th><th>特殊機能</th></tr><tr><td>※ コンポジションビニル床タイル</td><td>※KT</td><td>※300×300</td><td>・ 2.0</td><td>・帯電防止 ・耐動荷重</td></tr><tr><td>・ ホモニアスビニル床タイル</td><td>・ FT</td><td>・300×300 ・450×450</td><td>・ 2.0</td><td>・帯電防止 ・耐動荷重</td></tr></table>  ・化粧ビニル床シート <table><tr><th colspan="5">JIS A5705のJIS表示認証製品</th></tr><tr><th>種類の記号</th><th>色 柄</th><th>厚さ（mm）</th><th>特殊機能</th><th>工 法</th></tr><tr><td>FS</td><td>・ 木目調</td><td>※ 2.0</td><td>・帯電防止</td><td>※熱溶接</td></tr><tr><td></td><td>・ 石目調</td><td>・ 2.5</td><td>・耐動荷重</td><td>・突付け</td></tr></table> 上記以外はずべてビニル床シートに同じ  ・ビニル床タイル <table><tr><th colspan="5">JIS A5705のJIS表示認証製品</th></tr><tr><th>種 類</th><th>記号</th><th>寸法</th><th>厚さ（mm）</th><th>特殊機能</th></tr><tr><td>※ コンポジションビニル床タイル</td><td>※KT</td><td>※300×300</td><td>・ 2.0</td><td>・帯電防止 ・耐動荷重</td></tr><tr><td>・ ホモニアスビニル床タイル</td><td>・ FT</td><td>・300×300 ・450×450</td><td>・ 2.0</td><td>・帯電防止 ・耐動荷重</td></tr></table>  ・特殊機能床材 帯電防止 ・ 帯電防止性能評価（JIS A 1445）1.2～3.1程度 又は耐電圧（JIS L 1023）3kV以下 ・ 帯電防止性能評価（JIS A 1445）3.2～5.1程度 又は漏えい抵抗値（JIS A 1454）0.1×1010オーム未満 ・ 帯電防止性能評価（JIS A 1445）5.2以上 又は漏えい抵抗値（JIS A 1454）0.1×107オーム未満  耐動荷重 JIS A 1454Iによるへこみ試験、残留へこみ試験、滑り性試験、層間剥離強度試験（発泡層のあるビニルシートのみ）およびキャスト性試験等の試験後異常がないこと。  ・視覚障害者用床タイル <table><tr><th>材 質</th><th>寸 法（mm）</th></tr><tr><td>・ 塩化ビニル系 ・ セット器質タイル系</td><td>3 0 0 × 3 0 0</td></tr></table>  ○ビニル幅木 <table><tr><th>材 種</th><th>※ 軟質</th><th>・ 硬質</th><th>・ 溶接</th></tr><tr><td>高 さ（mm）</td><td>※ 6 0</td><td>・ 7 5</td><td>・ 1 0 0</td></tr><tr><td>厚 さ（mm）</td><td>※ 1 . 5</td><td>・ 2 . 0</td><td></td></tr></table>  ○接着剤 J I S A 5536（床仕上げ材接着剤）により、 種別は表19.2.1Iによる施工箇所に応じたものとする。 ホルムアルデヒド放散量は特記による。特記がなければF☆☆☆☆とする。（表19.3.1）（表19.3.1）  ・織じゅうたん（表19.3.1～4）（表19.3.1） <table><tr><th>種 別</th><th>バイル形状</th><th>色柄等</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・A種</td><td>・カットバイル</td><td>※無地</td><td></td></tr><tr><td>・B種</td><td>・ループバイル</td><td>・柄物（標準品）</td><td></td></tr><tr><td>・C種</td><td>・カット、ループバイル併用</td><td></td><td></td></tr></table>  耐電性 ※人体帯電圧3kV以下 ・タフテッドカーペット（表19.3.3～4）（表19.3.2） <table><tr><th>バイル形状</th><th>バイル長（mm）</th><th>工 法</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・カットバイル</td><td>※5～7</td><td>※全面接着工法</td><td>下敷き材を敷く。</td></tr><tr><td>・ループバイル</td><td>※4～6</td><td>・グリッター工法</td><td></td></tr><tr><td>・レベルループバイル</td><td>※4</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・カット、ループ併用</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 耐電性 ※人体帯電圧3kV以下 ・	種 類	規格等	※アルミニウム製	※標仕16.2.3のアルミニウム製建具の材料による	被着体の組合せ		シーリング材の種類		金属	ガラス	記 号	主成分による区分	石、タイル		耐久性による区分	ガラス		ガラス		種 別	色 彩 等	・BB-1種 ・BB-2種	無着色	・C種	※ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー ・	・着色塗装	塗装材料（ ）焼付け方法（ ）コート（ ）ペーク	建物の構造種別	層間変位量（h=支点間距離）	状 態	鉄骨造	※±（1/100）×h以上	※部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらない	鉄筋コンクリート造	※±（1/200）×h以上	シーリングは補修程度	鉄骨鉄筋コンクリート造			コンクリートの種類	設計基準強度（F <sub>c</sub> ）	所要スランプ（cm）				金物種類及び部位	内 部	外 部	P C板打込み金物	※E種 ・	※C種 ・	P C板打込み取付けボルト	※E種 ・	※ステンレスボルト	2次ファスナー	※E種 ・	※C種 ・	取付けボルト	※F種 ・	※C種 ・	レベル調整ボルト	※F種 ・	※C種 ・	シーリング材の種類		耐久性による区分	施工箇所	記 号	カーテンウォール板間目地									施工部位	種 別	規格等	・ファスナー部			・取付けブラケット			・パネル目地部			・層間ふさぎ			建物の構造種別	層間変位量（h=支点間距離）	状 態	鉄骨造	※±（1/100）×h以上	※部材が損傷せず、破損脱落もしない。	鉄筋コンクリート造	※±（1/200）×h以上	シーリングは補修程度	鉄骨鉄筋コンクリート造			JIS A5705のJIS表示認証製品（表19.2.1～2）					種 類	記号	色 柄	厚さ（mm）	特殊機能	※ 発泡層のないもの	※FS	・無地	※2.0	○帯電防止	・ 発泡層のあるもの	・HS	○マープル	○2.5	○防滑性		・KS			・突付け	種類の記号	色 柄	厚さ（mm）	特殊機能	工 法	FS	・ 木目調	※ 2.0	・帯電防止	※熱溶接		・ 石目調	・ 2.5	・耐動荷重	・突付け	JIS A5705のJIS表示認証製品					種 類	記号	寸法	厚さ（mm）	特殊機能	※ コンポジションビニル床タイル	※KT	※300×300	・ 2.0	・帯電防止 ・耐動荷重	・ ホモニアスビニル床タイル	・ FT	・300×300 ・450×450	・ 2.0	・帯電防止 ・耐動荷重	JIS A5705のJIS表示認証製品					種類の記号	色 柄	厚さ（mm）	特殊機能	工 法	FS	・ 木目調	※ 2.0	・帯電防止	※熱溶接		・ 石目調	・ 2.5	・耐動荷重	・突付け	JIS A5705のJIS表示認証製品					種 類	記号	寸法	厚さ（mm）	特殊機能	※ コンポジションビニル床タイル	※KT	※300×300	・ 2.0	・帯電防止 ・耐動荷重	・ ホモニアスビニル床タイル	・ FT	・300×300 ・450×450	・ 2.0	・帯電防止 ・耐動荷重	材 質	寸 法（mm）	・ 塩化ビニル系 ・ セット器質タイル系	3 0 0 × 3 0 0	材 種	※ 軟質	・ 硬質	・ 溶接	高 さ（mm）	※ 6 0	・ 7 5	・ 1 0 0	厚 さ（mm）	※ 1 . 5	・ 2 . 0		種 別	バイル形状	色柄等	備 考	・A種	・カットバイル	※無地		・B種	・ループバイル	・柄物（標準品）		・C種	・カット、ループバイル併用			バイル形状	バイル長（mm）	工 法	備 考	・カットバイル	※5～7	※全面接着工法	下敷き材を敷く。	・ループバイル	※4～6	・グリッター工法		・レベルループバイル	※4			・カット、ループ併用			
種 類	規格等																																																																																																																																																																																																																																																																
※アルミニウム製	※標仕16.2.3のアルミニウム製建具の材料による																																																																																																																																																																																																																																																																
被着体の組合せ		シーリング材の種類																																																																																																																																																																																																																																																															
金属	ガラス	記 号	主成分による区分																																																																																																																																																																																																																																																														
	石、タイル		耐久性による区分																																																																																																																																																																																																																																																														
ガラス		ガラス																																																																																																																																																																																																																																																															
種 別	色 彩 等																																																																																																																																																																																																																																																																
・BB-1種 ・BB-2種	無着色																																																																																																																																																																																																																																																																
・C種	※ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー ・																																																																																																																																																																																																																																																																
・着色塗装	塗装材料（ ）焼付け方法（ ）コート（ ）ペーク																																																																																																																																																																																																																																																																
建物の構造種別	層間変位量（h=支点間距離）	状 態																																																																																																																																																																																																																																																															
鉄骨造	※±（1/100）×h以上	※部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらない																																																																																																																																																																																																																																																															
鉄筋コンクリート造	※±（1/200）×h以上	シーリングは補修程度																																																																																																																																																																																																																																																															
鉄骨鉄筋コンクリート造																																																																																																																																																																																																																																																																	
コンクリートの種類	設計基準強度（F <sub>c</sub> ）	所要スランプ（cm）																																																																																																																																																																																																																																																															
金物種類及び部位	内 部	外 部																																																																																																																																																																																																																																																															
P C板打込み金物	※E種 ・	※C種 ・																																																																																																																																																																																																																																																															
P C板打込み取付けボルト	※E種 ・	※ステンレスボルト																																																																																																																																																																																																																																																															
2次ファスナー	※E種 ・	※C種 ・																																																																																																																																																																																																																																																															
取付けボルト	※F種 ・	※C種 ・																																																																																																																																																																																																																																																															
レベル調整ボルト	※F種 ・	※C種 ・																																																																																																																																																																																																																																																															
シーリング材の種類		耐久性による区分																																																																																																																																																																																																																																																															
施工箇所	記 号																																																																																																																																																																																																																																																																
カーテンウォール板間目地																																																																																																																																																																																																																																																																	
施工部位	種 別	規格等																																																																																																																																																																																																																																																															
・ファスナー部																																																																																																																																																																																																																																																																	
・取付けブラケット																																																																																																																																																																																																																																																																	
・パネル目地部																																																																																																																																																																																																																																																																	
・層間ふさぎ																																																																																																																																																																																																																																																																	
建物の構造種別	層間変位量（h=支点間距離）	状 態																																																																																																																																																																																																																																																															
鉄骨造	※±（1/100）×h以上	※部材が損傷せず、破損脱落もしない。																																																																																																																																																																																																																																																															
鉄筋コンクリート造	※±（1/200）×h以上	シーリングは補修程度																																																																																																																																																																																																																																																															
鉄骨鉄筋コンクリート造																																																																																																																																																																																																																																																																	
JIS A5705のJIS表示認証製品（表19.2.1～2）																																																																																																																																																																																																																																																																	
種 類	記号	色 柄	厚さ（mm）	特殊機能																																																																																																																																																																																																																																																													
※ 発泡層のないもの	※FS	・無地	※2.0	○帯電防止																																																																																																																																																																																																																																																													
・ 発泡層のあるもの	・HS	○マープル	○2.5	○防滑性																																																																																																																																																																																																																																																													
	・KS			・突付け																																																																																																																																																																																																																																																													
種類の記号	色 柄	厚さ（mm）	特殊機能	工 法																																																																																																																																																																																																																																																													
FS	・ 木目調	※ 2.0	・帯電防止	※熱溶接																																																																																																																																																																																																																																																													
	・ 石目調	・ 2.5	・耐動荷重	・突付け																																																																																																																																																																																																																																																													
JIS A5705のJIS表示認証製品																																																																																																																																																																																																																																																																	
種 類	記号	寸法	厚さ（mm）	特殊機能																																																																																																																																																																																																																																																													
※ コンポジションビニル床タイル	※KT	※300×300	・ 2.0	・帯電防止 ・耐動荷重																																																																																																																																																																																																																																																													
・ ホモニアスビニル床タイル	・ FT	・300×300 ・450×450	・ 2.0	・帯電防止 ・耐動荷重																																																																																																																																																																																																																																																													
JIS A5705のJIS表示認証製品																																																																																																																																																																																																																																																																	
種類の記号	色 柄	厚さ（mm）	特殊機能	工 法																																																																																																																																																																																																																																																													
FS	・ 木目調	※ 2.0	・帯電防止	※熱溶接																																																																																																																																																																																																																																																													
	・ 石目調	・ 2.5	・耐動荷重	・突付け																																																																																																																																																																																																																																																													
JIS A5705のJIS表示認証製品																																																																																																																																																																																																																																																																	
種 類	記号	寸法	厚さ（mm）	特殊機能																																																																																																																																																																																																																																																													
※ コンポジションビニル床タイル	※KT	※300×300	・ 2.0	・帯電防止 ・耐動荷重																																																																																																																																																																																																																																																													
・ ホモニアスビニル床タイル	・ FT	・300×300 ・450×450	・ 2.0	・帯電防止 ・耐動荷重																																																																																																																																																																																																																																																													
材 質	寸 法（mm）																																																																																																																																																																																																																																																																
・ 塩化ビニル系 ・ セット器質タイル系	3 0 0 × 3 0 0																																																																																																																																																																																																																																																																
材 種	※ 軟質	・ 硬質	・ 溶接																																																																																																																																																																																																																																																														
高 さ（mm）	※ 6 0	・ 7 5	・ 1 0 0																																																																																																																																																																																																																																																														
厚 さ（mm）	※ 1 . 5	・ 2 . 0																																																																																																																																																																																																																																																															
種 別	バイル形状	色柄等	備 考																																																																																																																																																																																																																																																														
・A種	・カットバイル	※無地																																																																																																																																																																																																																																																															
・B種	・ループバイル	・柄物（標準品）																																																																																																																																																																																																																																																															
・C種	・カット、ループバイル併用																																																																																																																																																																																																																																																																
バイル形状	バイル長（mm）	工 法	備 考																																																																																																																																																																																																																																																														
・カットバイル	※5～7	※全面接着工法	下敷き材を敷く。																																																																																																																																																																																																																																																														
・ループバイル	※4～6	・グリッター工法																																																																																																																																																																																																																																																															
・レベルループバイル	※4																																																																																																																																																																																																																																																																
・カット、ループ併用																																																																																																																																																																																																																																																																	
4 合成樹脂塗床	・タイルカーペット（表19.3.2） バイル形状 種 類 寸法（mm） 総厚さ（mm） 備 考 ※ループバイル ※第一種 ※500×500 ※6.5 粘着は、離形接着剤を使用する。 ・カットバイル ・カット、ループ併用 耐電性 ・人体帯電圧3kV以下（フリースアクセスフロア敷設範囲）  （表19.4.1～4）（表19.4.1～8） <table><tr><th colspan="2">種 別</th><th colspan="3">仕 上 げ の 種 類</th></tr><tr><td rowspan="2">・弾性ウレタン塗床材 ・エポキシ樹脂塗床材</td><td rowspan="2"></td><td>※平滑仕上げ</td><td>・防滑仕上げ</td><td>・つや消し仕上げ</td></tr><tr><td>・薄膜流し展べ仕上げ ・厚膜流し展べ仕上げ（ ・平滑 ・防滑） ・樹脂モルタル仕上げ（ ・平滑 ・防滑） ・防滑仕上げ</td><td colspan="2">特記による</td></tr></table>  ・単層フローリング（表19.5.1～7）（表19.5.1～6） <table><tr><th>種 別</th><th>樹種</th><th>厚さ（mm）</th><th>工 法</th><th>塗装</th></tr><tr><td>・フローリング</td><td>※ナラ</td><td>※15 幅 75</td><td>・釘止め工法</td><td>※ウレタン樹脂</td></tr><tr><td>・フローリング</td><td>※ナラ</td><td>※15 長さ900以上</td><td>・接着工法</td><td>ワニス塗り</td></tr></table>	種 別		仕 上 げ の 種 類			・弾性ウレタン塗床材 ・エポキシ樹脂塗床材		※平滑仕上げ	・防滑仕上げ	・つや消し仕上げ	・薄膜流し展べ仕上げ ・厚膜流し展べ仕上げ（ ・平滑 ・防滑） ・樹脂モルタル仕上げ（ ・平滑 ・防滑） ・防滑仕上げ	特記による		種 別	樹種	厚さ（mm）	工 法	塗装	・フローリング	※ナラ	※15 幅 75	・釘止め工法	※ウレタン樹脂	・フローリング	※ナラ	※15 長さ900以上	・接着工法	ワニス塗り																																																																																																																																																																																																																																				
種 別		仕 上 げ の 種 類																																																																																																																																																																																																																																																															
・弾性ウレタン塗床材 ・エポキシ樹脂塗床材		※平滑仕上げ	・防滑仕上げ	・つや消し仕上げ																																																																																																																																																																																																																																																													
		・薄膜流し展べ仕上げ ・厚膜流し展べ仕上げ（ ・平滑 ・防滑） ・樹脂モルタル仕上げ（ ・平滑 ・防滑） ・防滑仕上げ	特記による																																																																																																																																																																																																																																																														
種 別	樹種	厚さ（mm）	工 法	塗装																																																																																																																																																																																																																																																													
・フローリング	※ナラ	※15 幅 75	・釘止め工法	※ウレタン樹脂																																																																																																																																																																																																																																																													
・フローリング	※ナラ	※15 長さ900以上	・接着工法	ワニス塗り																																																																																																																																																																																																																																																													



1	フリーアクセスフロア	(20.2.2)							
		施工箇所	構 法	仕上り高 (mm)	適用地震時 水平力	耐荷重性能	表面仕上げ材	備 考	
			・バネル構法 ・清構法		・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーベット		
			・バネル構法 ・清構法		・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーベット		
			・バネル構法 ・清構法		・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーベット		
		5,000Nについては、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したもの又は同等品とする。							
		表面仕上げ材の品質・規格等は、19章内装工事による スロープ及びボーダー ※製造所の標準仕様 ・ 図示 コンセント等の取付け対応 ※製造所の標準仕様 (コンセント本体は別途設備工事) コンセントの箇所数は図示 配線用取り出しパネル 配線取り出し開口：パネル1枚につき40mm×80mm程度の開口1ヶ所以上 フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ※20～30% 空調用吹き出しパネル ※無し ・有り (※図定式 ・可変式 ：施工箇所は図示)							
		(20.2.3)							
		2	可動間仕切	構造形式	パネル部の総厚さ (mm)	表面材種厚さ (mm)	表面仕上げ	遮音性能	防火性能
				・スタッド式 ・スタッドパネル式 ・パネル式	・60	※鋼板 (※0.6 ・0.8)	※メラミン樹脂又は アクリル樹脂焼付け	・あり ( ) ・なし	・あり ( ) ・なし
3	移動間仕切	(20.2.4)							
		遮音性能	厚さ (mm)	表面材	表面仕上げ	操作方法			
4	トイレブース	・一般タイプ		※鋼板	・焼付け塗装 ・壁紙張り	・手動式 ・電動式 ・部分電動式			
		・遮音タイプ (36db以上)		※鋼板	・焼付け塗装 ・壁紙張り	・手動式 ・電動式 ・部分電動式			
		表面仕上げの壁紙張りの品質は19章内装工事による 遮音性能はJIS A 6512の遮音試験に準拠する							
		(20.2.5)							
		表面仕上げ材	※メラミン樹脂系化粧板 (標準色 アルミ製コーナーエッジ付き) ・ポリエステル樹脂系化粧板						
		足形状	※幅木型 ・足金物型						
		(20.2.6)							
		⑤	手すり	種 別	施工箇所				
				※集成材クリアラッカー仕上げ (市販品 径 約45mm)					
				○既成品					
⑥	階段滑止め	材 種	ステンレスSUS304						
		形 状	ビニルタイヤ入り 両端フラットエンド ※有り (・ステンレス製 ※ビル製) ・無し						
7	床目地枠	幅 (mm)	約35						
		取付け工法	※接着工法 ・埋込み工法						
⑧	黒板及びホワイトボード	材 種	ステンレスSUS304						
		(20.2.8)							
9	鏡	(20.2.9)							
		種 類	寸法 (mm)	色 彩	備 考				
		・黒板	※焼付け	※緑 ・黒	※平面 ・曲面	・スクリーン付引分			
				※緑 ・黒					
		○ホワイトボード	※ほうろう	※白	※平面 ・曲面	・スクリーン付引分			
		(20.2.10)							
		⑩	表 示	寸法 (mm)	・ 図示	・	(20.2.10)		
				厚さ (mm)	※5	・			
				(20.2.11)					
衝突防止表示 ※図示 (市販品 ※ステンレス製 径約30mm ・ ) (・両面 ・片面) ・無し 表示標識、案内用図記号についてはJIS Z 8210による 誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。									
⑪	タラップ	(20.2.12)							
		種類・仕上げ材は特記による							
12	煙突用成形ライニング	(20.2.13)							
		・煙突用成形ライニング材 最高使用温度 ※650℃ ・400℃ ・キャスト耐火材 工 法 ※こて押さえ 最高使用温度 ※400℃							
⑬	ブラインド	(20.2.14)							
		形 式	種 類	スラットの材質		スラットの幅 (mm)			
		※横型	※ギヤ式 ・コード式	※アルミニウム合金製		※25			
		・縦型	○操作棒式 ・1本操作コード ・2本操作コード	・アルミスラット ・クロススラット		・80 ・100			
14	ロールスクリーン	(20.2.15)							
		防災性能	※有り						
		施工箇所	装 置	備 考					
			電動 手引						
15	カーテン	(20.2.16)							
		施工箇所	形 式	装 置	ひだの種類	性 能	備 考		
			片引 引分	電動 ひも引 手引					
16	カーテンレール	材 種	※アルミニウム製 ・ステンレス製						
		形 式	・片引き ・引分け (※暗幕用は300mm以上の召合せの重掛けとする)						

17	ブラインドボックス 及びカーテンボックス	・市販品 (アルミニウム製 押出し型材) 溝幅×深さ (mm) ・90×150 ※120×80 ・120×150 ・150×80 ・ 色彩 ※B-1 ・B-2 (※ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー) ・図示						
(20.2.17)								
18	耐震スリット	方 向	タイプ		耐火性能		防水性能	
		・垂直方向 ・水平方向	※完全 (全貫通型) スリット		・耐火型 ・非耐火型		・有り ・無し	
(20.2.18)								
		目 地	内壁 (幅×深さ)		外壁 (幅×深さ)			
		目地材	シーリング材 (見え掛かりのみ)		シーリング材 (内外とも)			
目地寸法 (mm)		※20×10		※20×10				
19	止水板	形 状	・据置式 ・壁張り式 ・差込式					
		寸 法	製造所					
(20.2.19)								
20	天井点検口	材 質	アルミニウム製 (※縦線タイプ ・ 目地タイプ)					
21	床点検口	材 質	アルミニウム製 (受け枠 ※アルミ製 ・ ステンレス製)					
22	鋼製書架及び物品棚	種 類	規格等		耐荷重による種類			
		・鋼製書架	JIS S 1039の規格による		水平荷重Ⅰ又は水平荷重Ⅱ			
・鋼製物品棚		JIS S 1040の規格による		※1種 ・2種 ・3種				
23	かざ箱	市販品	形 式 ・30組用 ・60組用 ・120組用 ・					
24	くつ置きマット	市販品	材 質 ・塩化ビニル製 (コイル状 ステンレス製受枠) ・ビニル製 (ステンレス製受枠) ・硬質アルミニウム製 (受枠とも) ・ステンレス製 (受枠とも)					
(20.2.20)								
25	流し台ユニット	種 類	寸法 (L = mm)	適用内容		規格・品質等		
		○流し台	※1050 ・1500 ・1800	トラップ付き		※優良住宅部品		
		・コンロ台	※600 ・700	バックガード ※有り		(セクショナルキッチンⅠ型)		
		○調理台	※1200 ・900 ○600					
		○つり戸棚	※1350 ・900 ・600					
26	屋内掲示板	枠の材質	※アルミニウム製					
		表面の材質	※塩ビ発泡シート張り ・					
(20.2.21)								
27	洗面カウンター	材 種	・メラミン樹脂化粧板張り (心材：集成材) ・人工大理石					
28	防煙垂れ壁	奥行き (mm)	・約450 ・約600					
		・固定式	材 質	厚さ (mm)	高さ (mm)	備 考		
※網入り磨板ガラス ・網入り磨板ガラス		※6.8	※500	アルミ製枠付き				
(20.2.22)								
		種 類	材 質	高さ (mm)	備 考			
		・垂直降下式 (巻取り型)	※不燃布 (不燃認定品)	※500 ・800	ガイドレール ※固定式 (壁埋込型) ・可動式 (天井収納型)			
		・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800	表面仕上げ ※天井材張り			
		降下機構	煙感知器連動及び手動開放装置 (埋込型)					
29	視覚障害者用床タイル (誘導用及び注意喚起用床材)	ブロックパターンはJIS T 9251による 色彩は黄色を原則とする 屋 内 ※塩化ビニル製 ・磁器又はセラ質タイル (※300 ・ ) ・レジンコンクリート製 屋 外 ※レジンコンクリート製 ・磁器又はセラ質タイル (※300 ・ )	(19.2.2)					
30	旗竿	材 質	※アルミニウム合金製					
		形 式	※テーパー型 ・同一断面型					
		地上高さ (m)	・6 ・8 ・10 ・12					
		操作方法	※ハンドル式 ・ロープ式					
		固定方法	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式					
(20.2.23)								
31	旗竿受金物	材 種	ステンレス製SUS304					
32	フェンス	・ビニル被覆エキスパンドフェンス ・樹脂塗装メッシュフェンス						
33	屋外掲示板	照明器具 ※有り ○無し 施 錠 ※有り ・無し 製造所						
34	車止め支柱	※ステンレス製 (上下式額内蔵型) 径114.3mm t=2.5mm H=G L+700mm ※スプリング付 ・スプリング無し						
35	収納家具	材質 形状・寸法 ※図示 ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種						
36	エキスパンション ・ジョイント金物	材質 ・アルミ ・ステンレス クリアランス ・50 ・100 ・150 ・ 耐火性能 ・有り ( ) ・無し 防水型 ※適用する ・適用しない						
37	プレキャスト コンクリート工事	コンクリートは表6.2.1 [コンクリートの種別]のⅠ類に準ずる 材料は6章3節 [コンクリートの材料及び調合]による	(20.3.2)					
38	間知石及びコンクリート間知ブロック積み	間知石は表面がほぼ方形に近いもので、控えは四方落としとし、控え長さは面の最小辺の1.2倍とし、材質は特記材料による コンクリート間知ブロックはJIS A 5371 (プレキャスト無筋コンクリート製品) の積みブロックに基づき、種類及び質量区分は特記による	(20.4.2)					



【 凡 例 】

----- 仮囲い: ガードフェンス H=1.8m  
L=52.2m (1.8×29)

⚡⚡⚡⚡⚡⚡ 出入口: キャスターゲート  
W=6.0m×H=1.8m 1ヶ所

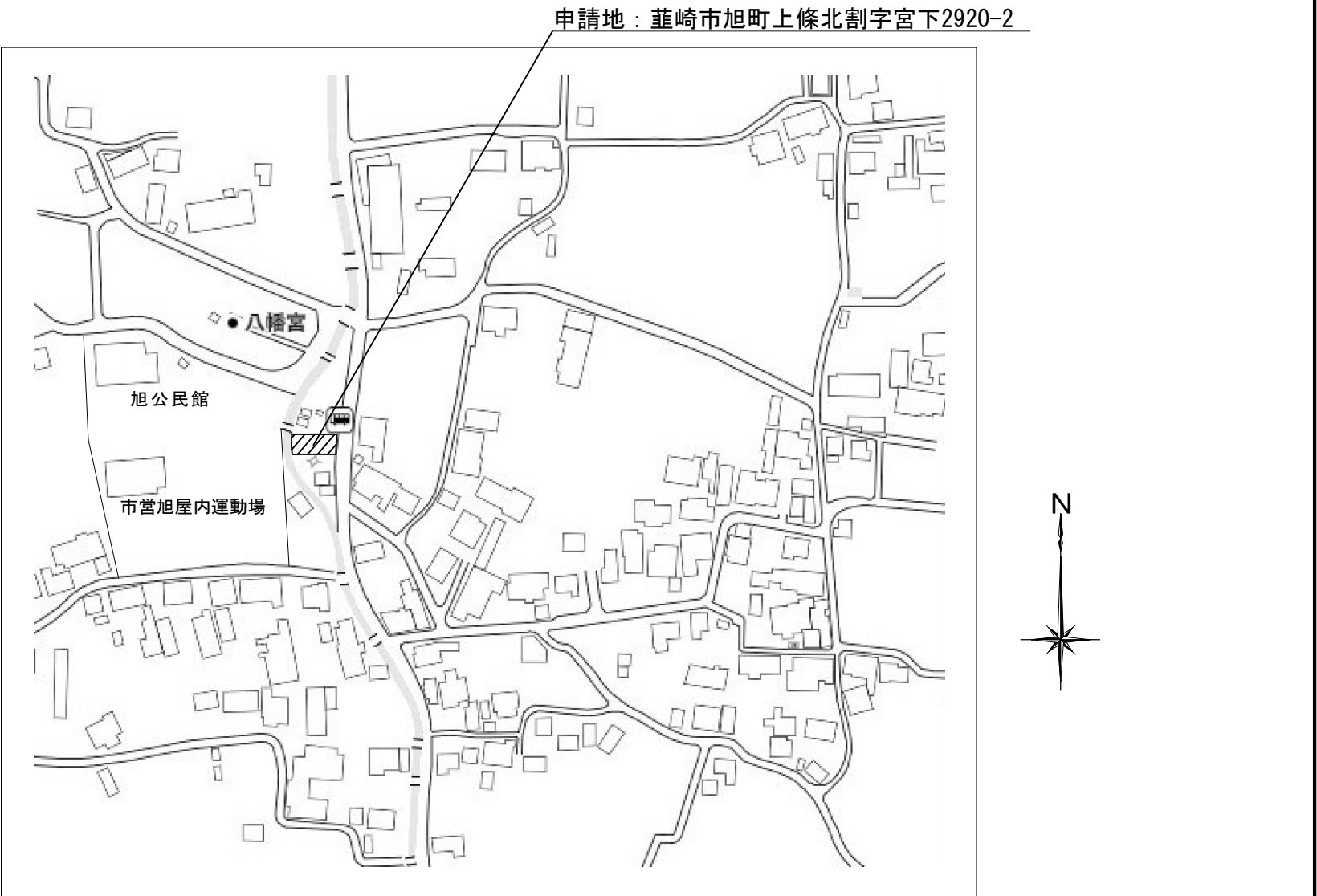
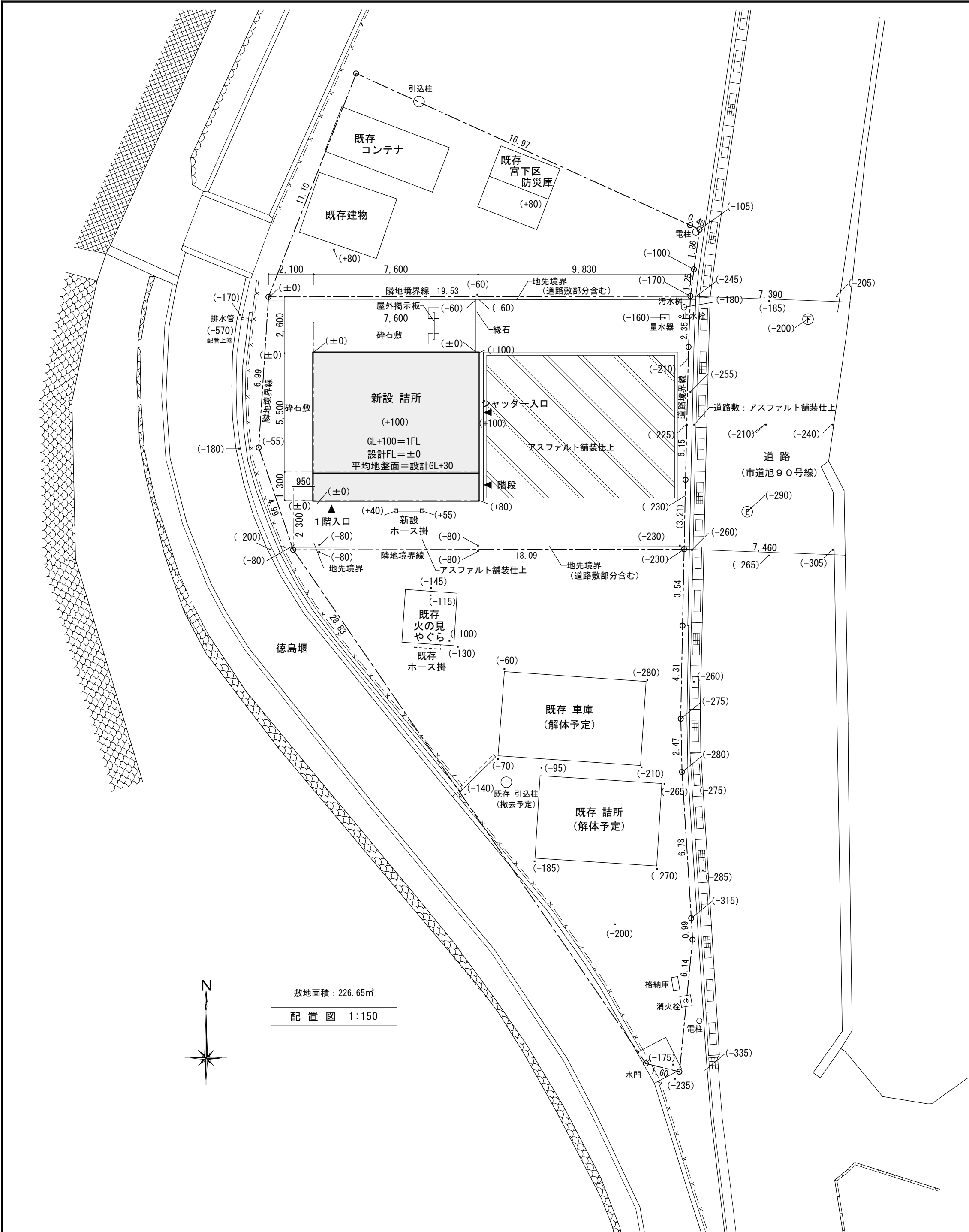
■ 工事関係者エリア

※ 現場事務所・仮設便所・資材置場等の詳細設置位置については、  
監督員・地域自治体・消防団関係者等と協議の上、決定とする

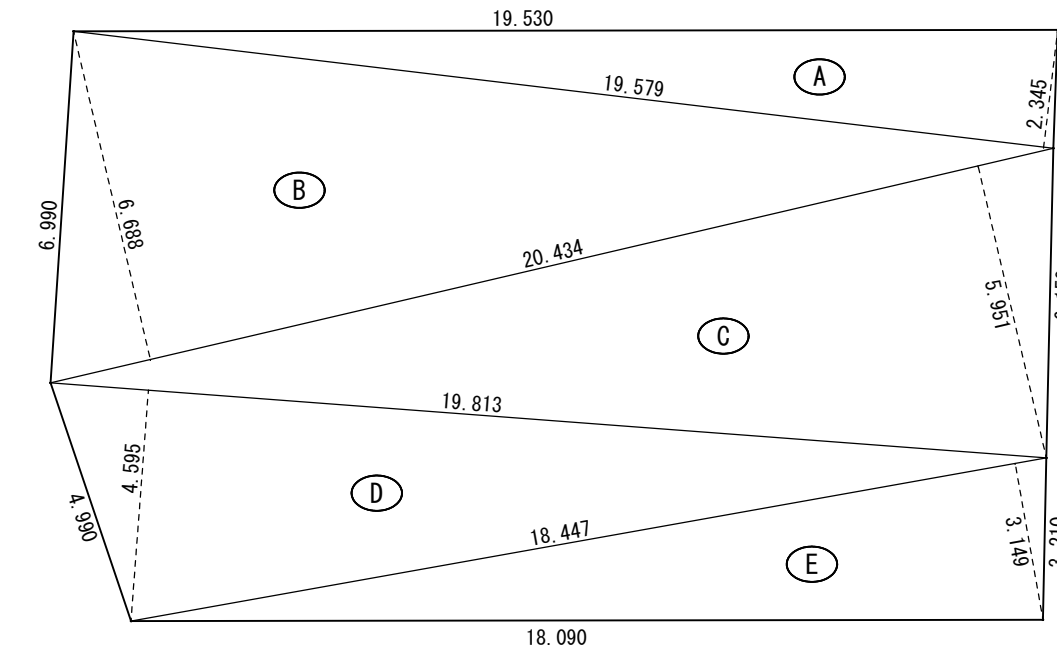
※ 交通誘導員: 大型車輛出入や重機の利用時等、安全確保が必要な際は、  
適宜配置すること

株式会社 進藤設計事務所				縮 尺 A2＝1:150 設計年月日	工事名称 旭分団詰所建設工事 図面名称 現況配置図・仮設計画図	No. A－06





案内図



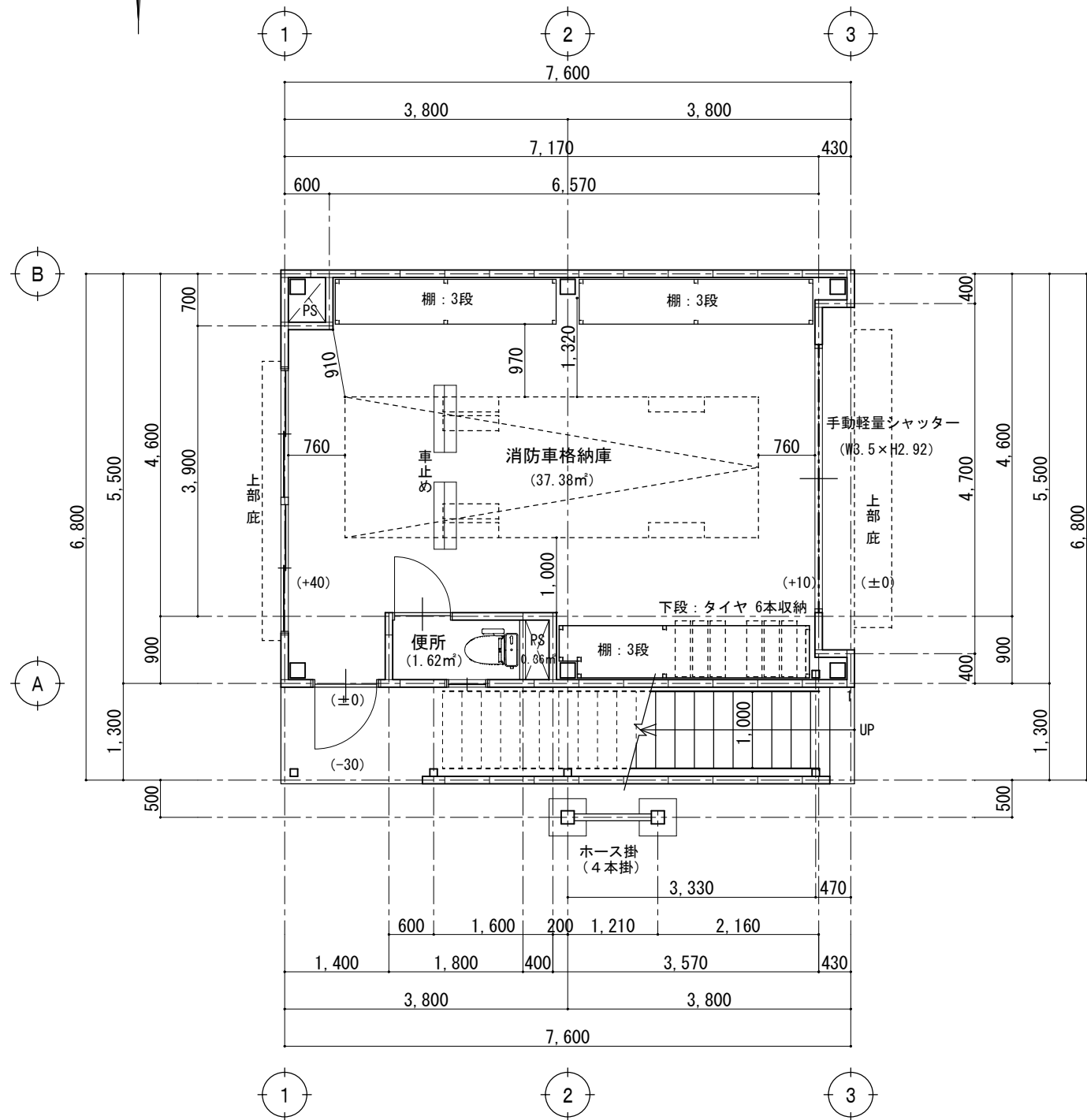
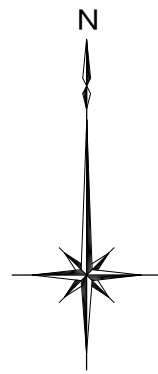
地名地番	番号	底 辺	高 さ	倍 面 積	面 積
2920-2	A	19.579	2.345	45.912755	22.9563775
	B	20.434	6.688	136.662592	68.3312960
	C	20.434	5.951	121.602734	60.8013670
	D	19.813	4.595	91.040735	45.5203675
	E	18.447	3.149	58.089603	29.0448015
合 計					226.6542095
敷 地 面 積					226.65 m <sup>2</sup>

敷地面積求積図 1:150

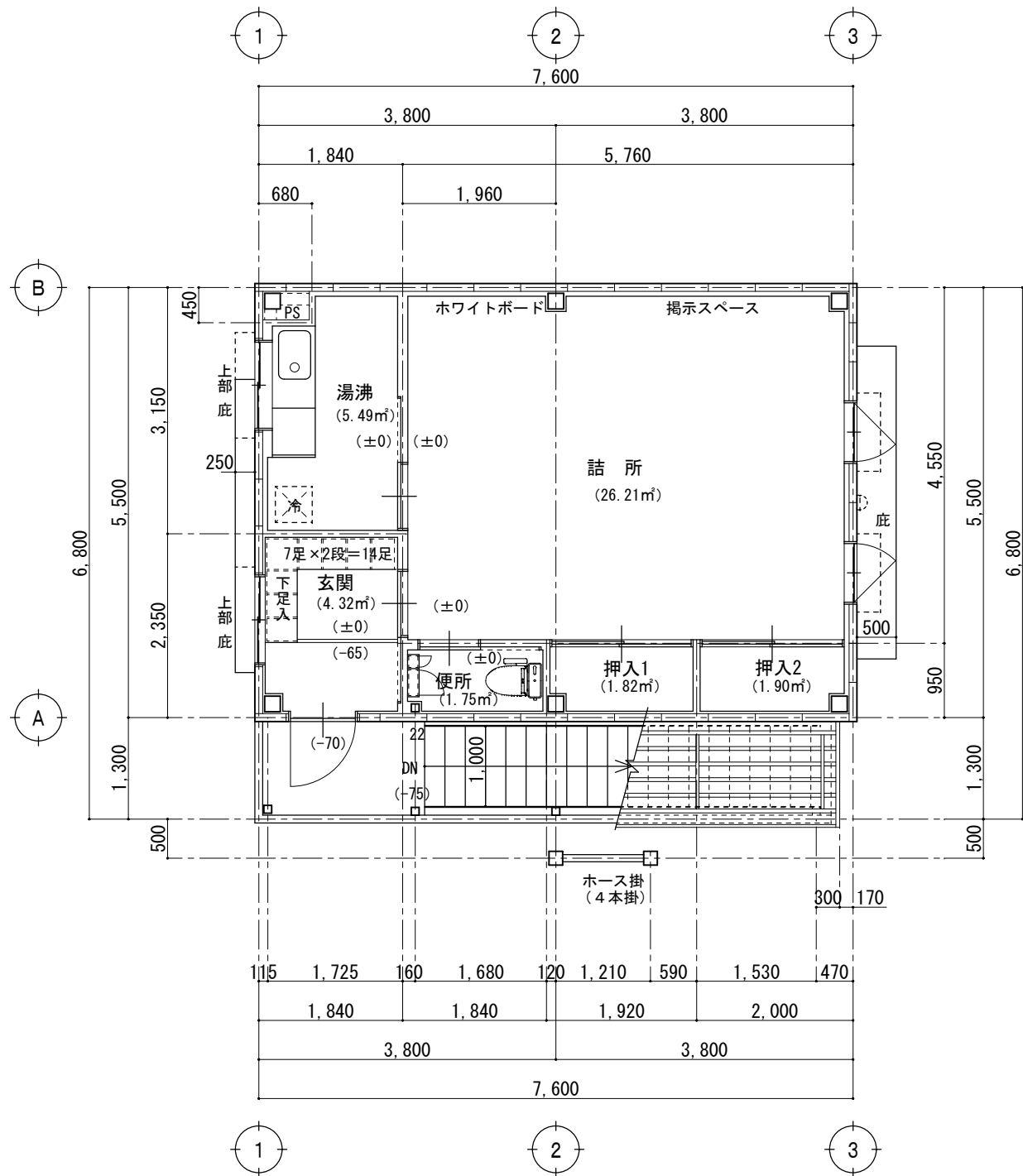


[illegible]

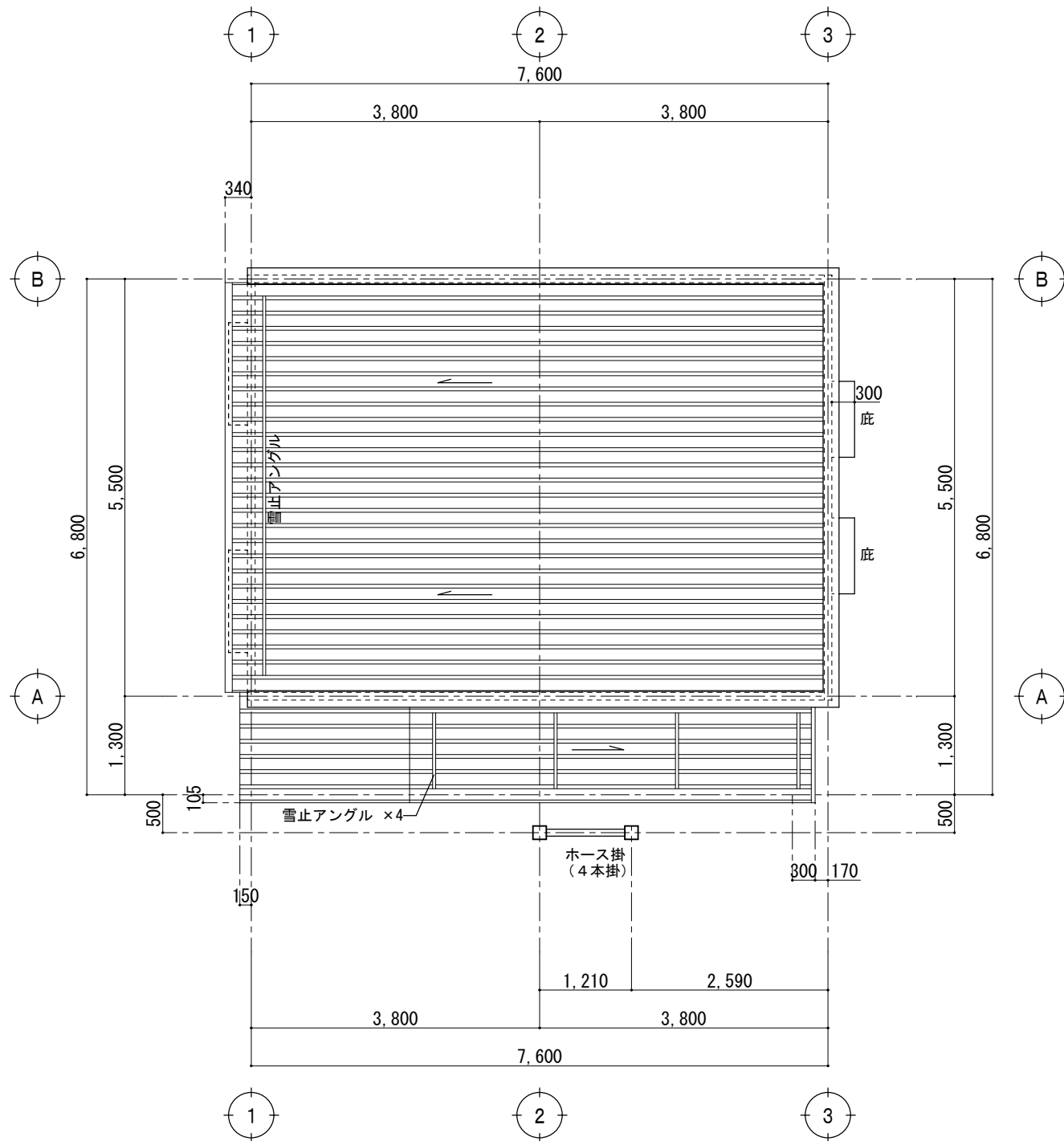
内 部 仕 上 表														
階	室 名	床高	床		巾 木	H	壁（腰）		天 井 * 特記なき限り L G S 下地			摘 要	カーテン・ブラインド	
			下 地	仕 上			下 地	仕 上	仕 上	H	廻り縁			
1 F	消防車格納庫	±0 ┘ +30	土間コンクリート	コンクリート金ゴテ（目地切）	コンクリート打放し補修 浸透性吸水防止塗装 （着色塗装）	350 ┘ 380	A L C 版 t=100（タテ貼り）	E P 塗装  鉄骨柱：錆止め処理の上、D P（3級）塗装	デッキプレート裏表し D P（3級）塗装  梁等 鉄骨部材：錆止め処理の上、 D P（3級）塗装	3,560 ┘ 3,590		鉄骨部材：錆止め処理の上、D P（3級）塗装  棚：鉄骨加工、錆止め処理の上、D P（3級）塗装  ハンガーパイプ：ステンレス製 32.8φ  車止め：コンクリート製 W900×D300×H180×2（反射板付）  シャッターケース上部壁：珪酸カルシウム板t=6.0下地、E P 塗装		
	便 所	±0	土間コンクリート	コンクリート金ゴテ	コンクリート打放し補修 浸透性吸水防止塗装 （着色塗装）	360	A L C 版 t=100（タテ貼り）  一部 軽量鉄骨（LGS-65）下地	E P 塗装  耐水P B t=12.5下地 化粧珪酸カルシウム板 t=6.0貼	珪酸カルシウム板 t=6.0貼、E P 塗装 （目透し貼）	2,400	塩ビ製	収納棚：既製品（扉付）		
2 F	詰 所	±0	コンクリート （デッキプレート下地）	複合フローリング t=12.0貼 合板 t=9.0+12.0 二重貼下地 （プラスチック束下地）	木製巾木 O S 塗装	60	〔外壁面〕 A L C 版 t=100（タテ貼り）面 軽量鉄骨（LGS-50）下地 （一部 軽量鉄骨（Mバー）下地）  〔内壁面〕 軽量鉄骨（LGS-65）下地 （一部 軽量鉄骨（LGS-100）下地）  鉄骨柱部：軽量鉄骨（Mバー）下地	P B t=12.5下地の上、ビニルクロス貼  北面一部：合板 t=12.0下地の上、 揭示用クロス貼 （揭示クロス部 見切り縁：木製 H=25 O S 塗装仕上）	P B t=9.5下地の上、ビニルクロス貼	2,500	木製 H=30 O S 塗装	ピクチャーレール ホワイトボード	ブラインド	
	湯 沸 室	±0	コンクリート （デッキプレート下地）	長尺塩ビシート t=2.0 合板 t=9.0+12.0 二重貼下地 （プラスチック束下地）	ソフト巾木 （化粧珪カル部： 巾木上端 アルミ見切）	60	〔外壁面〕 A L C 版 t=100（タテ貼り）面 軽量鉄骨（LGS-50）下地 （一部 軽量鉄骨（Mバー）下地）  〔内壁面〕 軽量鉄骨（LGS-65）下地 （一部 軽量鉄骨（LGS-100）下地）	耐水P B t=12.5下地の上、ビニルクロス貼  〔流し台廻り〕 耐水P B t=12.5下地 化粧珪酸カルシウム板 t=6.0貼	珪酸カルシウム板 t=6.0貼、E P 塗装 （目透し貼）	2,400	塩ビ	流し台：木製（既製品） W1,050×H800×D550 1ヶ所 調理台：木製（既製品） W600×H800×D550 1ヶ所 吊戸棚：木製（既製品） W1,350+300×H500×D375 1ヶ所	ブラインド	
	便 所	±0	コンクリート （デッキプレート下地）	長尺塩ビシート t=2.0 合板 t=9.0+12.0 二重貼下地 （プラスチック束下地）	ソフト巾木	60	〔外壁面〕 A L C 版 t=100（タテ貼り）面 軽量鉄骨（Mバー）下地  〔内壁面〕 軽量鉄骨（LGS-65）下地 （一部 軽量鉄骨（LGS-100）下地） 鉄骨柱部：軽量鉄骨（Mバー）下地	耐水P B t=12.5下地の上、ビニルクロス貼	珪酸カルシウム板 t=6.0貼、E P 塗装 （目透し貼）	2,400	塩ビ	収納棚：既製品（扉付）	ブラインド	
	玄 関	〔踏込〕 -65 〔一般〕 ±0	コンクリート （デッキプレート下地）	〔踏込部〕 防滑性ビニル床シート t=2.5 （モルタル下地）  〔一般部〕 長尺塩ビシート t=2.0 合板 t=9.0+12.0 二重貼下地 （プラスチック束下地）	〔踏込部〕 防滑性シート立上げ （接着貼） （巾木上端：アルミ見切）  〔一般部〕 ソフト巾木	65  60	〔外壁面〕 A L C 版 t=100（タテ貼り）面 軽量鉄骨（Mバー）下地  〔内壁面〕 軽量鉄骨（LGS-65）下地 （一部 軽量鉄骨（LGS-100）下地） 鉄骨柱部：軽量鉄骨（Mバー）下地	耐水P B t=12.5下地の上、ビニルクロス貼	珪酸カルシウム板 t=6.0貼、E P 塗装 （目透し貼）	2,400	塩ビ	上り框：ステンレス床見切り 下足入：別図詳細図参照	ブラインド	
	押 入 （詰所内）	±0	コンクリート （デッキプレート下地）	シナ合板 t=5.5貼 合板 t=9.0+12.0 二重貼下地 （プラスチック束下地）	雑巾摺り	20×10	〔外壁面〕 A L C 版 t=100（タテ貼り）面 軽量鉄骨（Mバー）下地 （一部 軽量鉄骨（LGS-50）下地）  〔内壁面〕 軽量鉄骨（LGS-65）下地 鉄骨柱部：軽量鉄骨（Mバー）下地	シナ合板 t=5.5	シナ合板 t=5.5	2,300	木見切	中棚・枕棚：木組下地の上、合板貼		
一級建築士事務所登録 梨1-041041 号 一級建築士 第190666号 秋山 昭														
							承 認	設 計	担 当		縮 尺	工事名称 旭分団詰所建設工事		No.  A－09
											設計年月日	図面名称 内 部 仕 上 表		



延床面積：81.58㎡  
1階床面積：39.78㎡  
**1 階平面図 1:80**  
(GL+100=±0)



2階床面積：41.80㎡  
**2 階平面図 1:80**

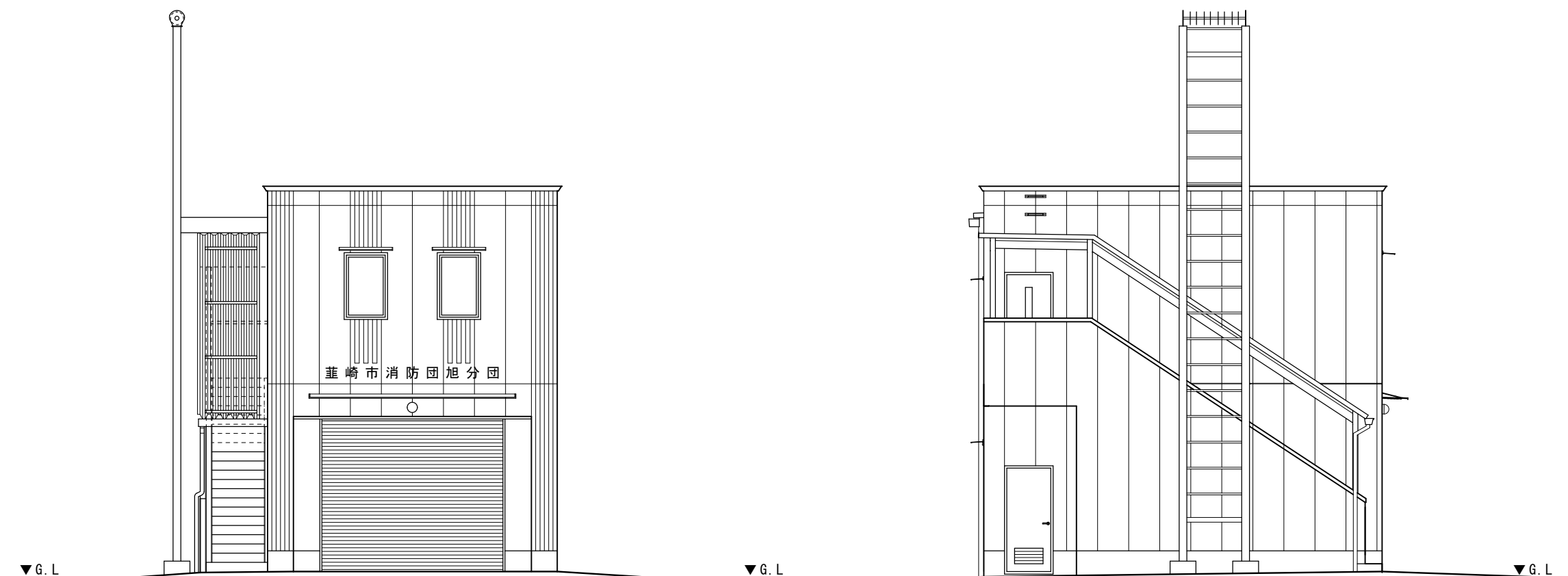


**屋根伏せ図 1:80**

【屋外階段】  
階段の幅=1,000  
蹴上の寸法=171  
路面の寸法=260

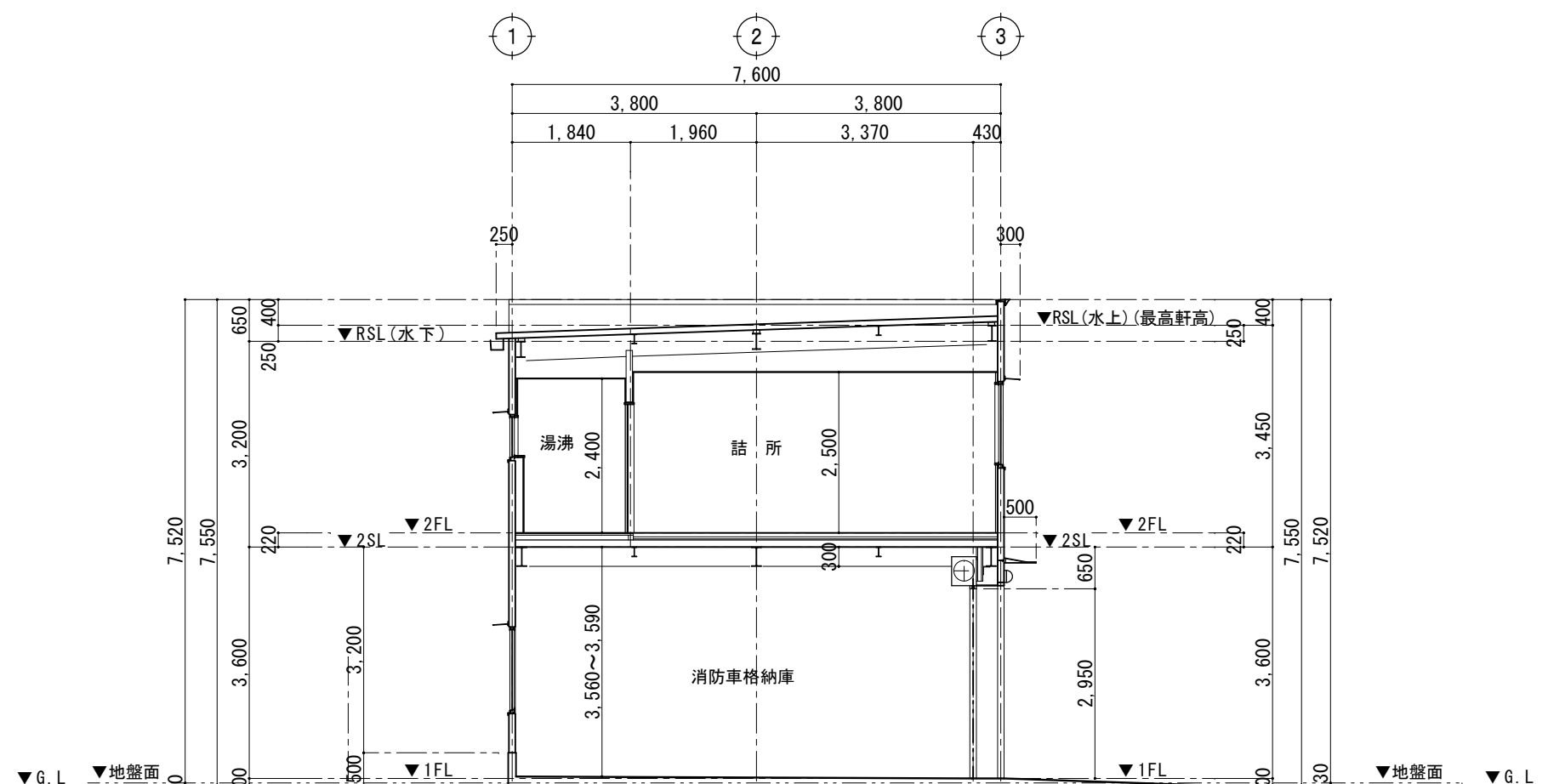
一級建築士事務所登録 梨1-041041 号  
一級建築士 第190666号  
秋山 昭

	株式会社 進藤設計事務所	承認	設計	担当		縮 尺	工事名称 旭分団詰所建設工事	図面名称 1 階平面図・2 階平面図・屋根伏図	No. A - 1 0
						A2-1:80			
						設計年月日			

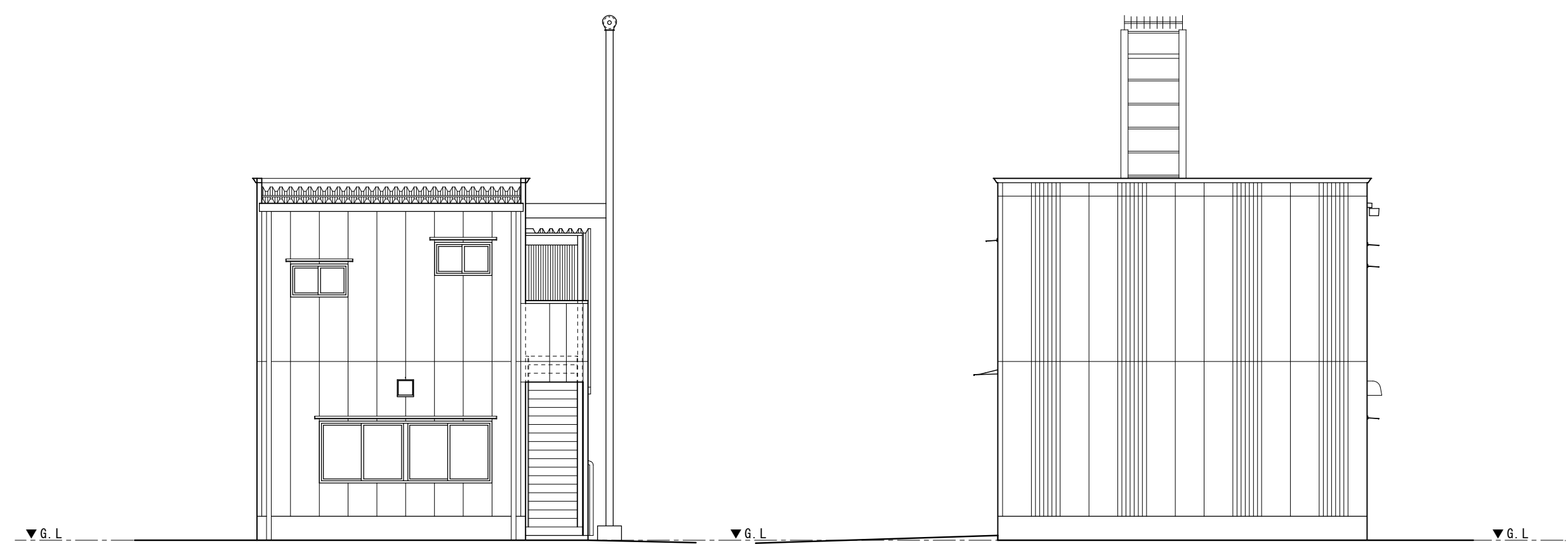


東立面図 1:100

南立面図 1:100

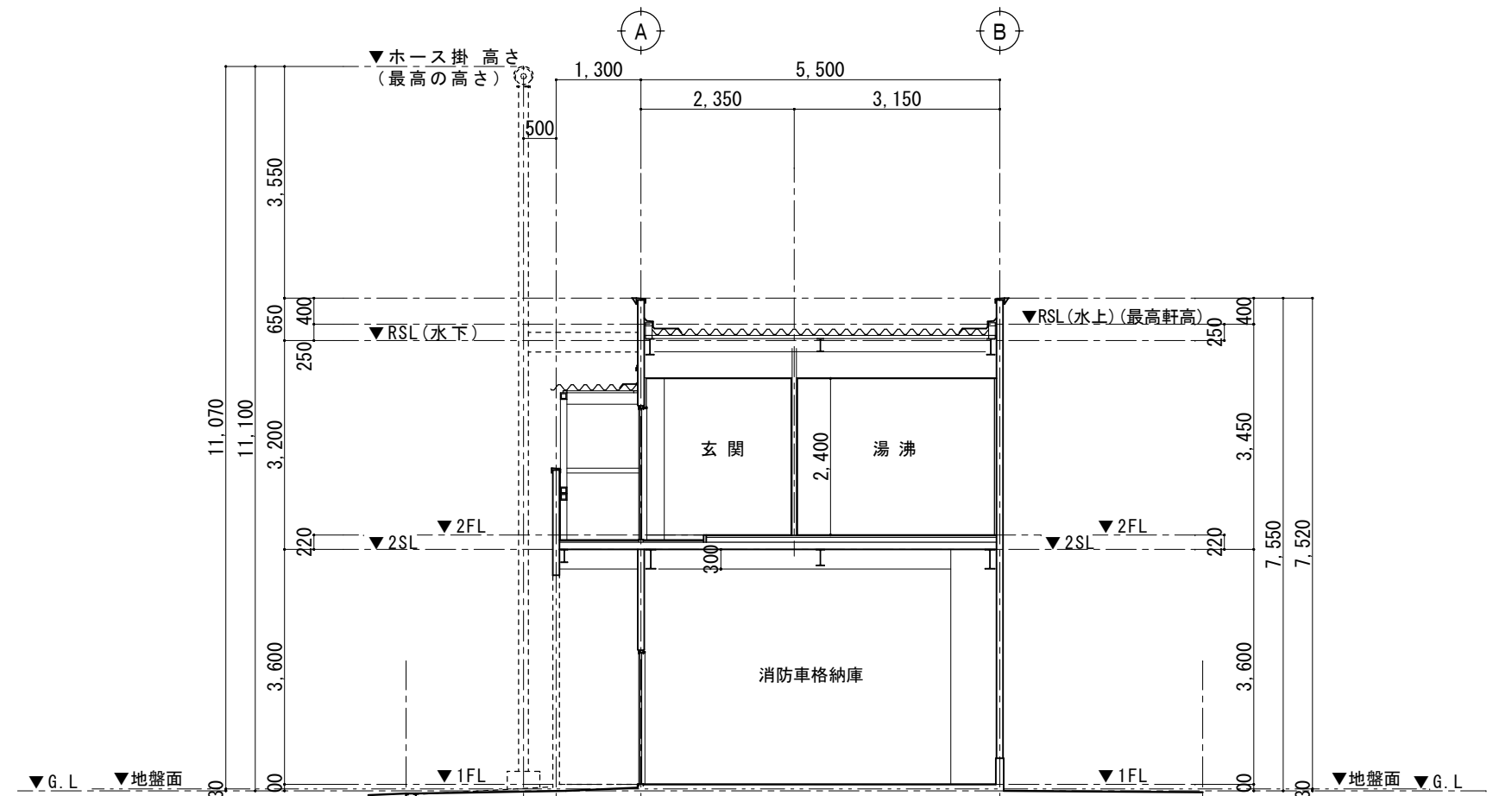


西-東断面図 1:100



西立面図 1:100

北立面図 1:100

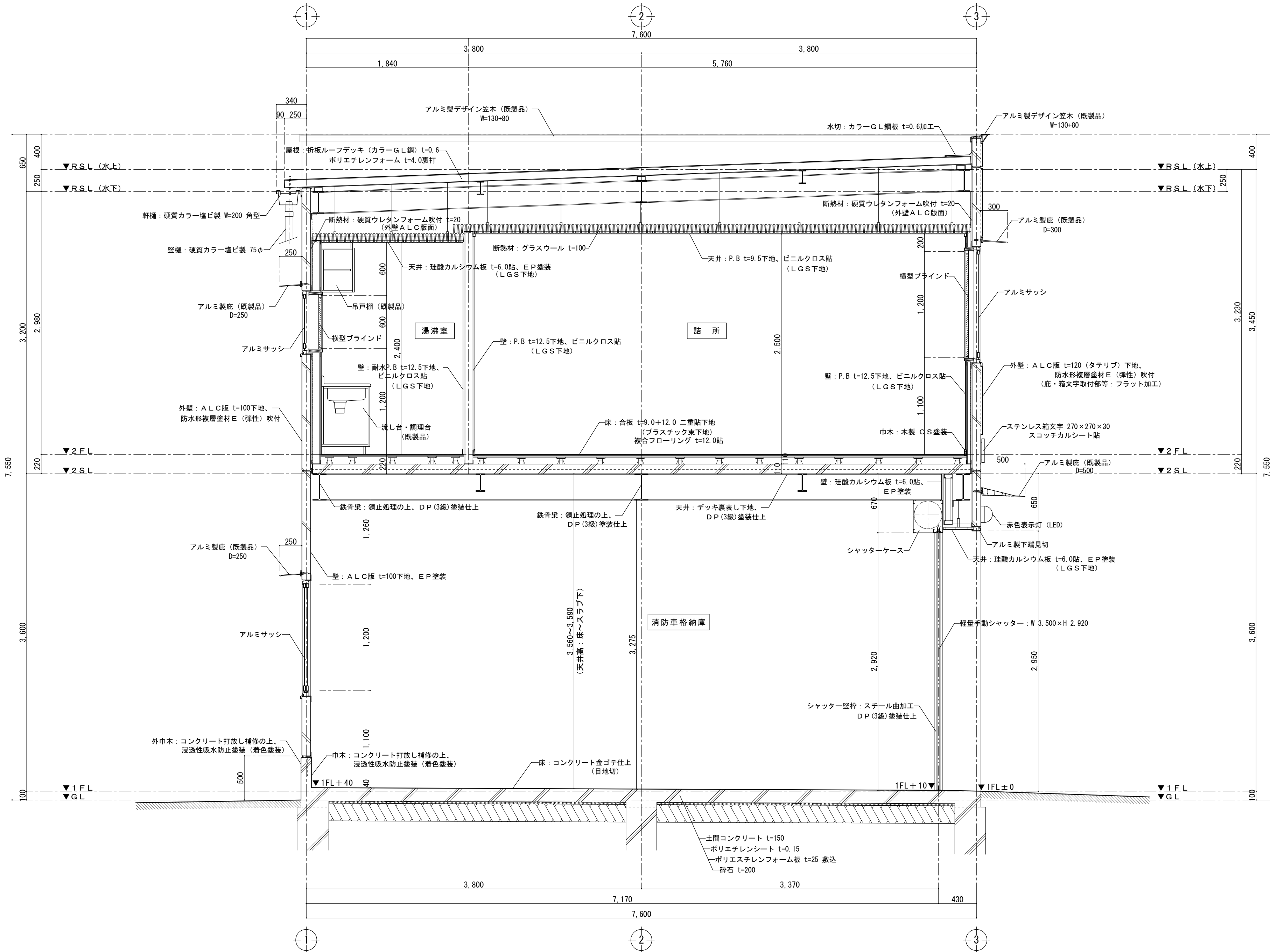


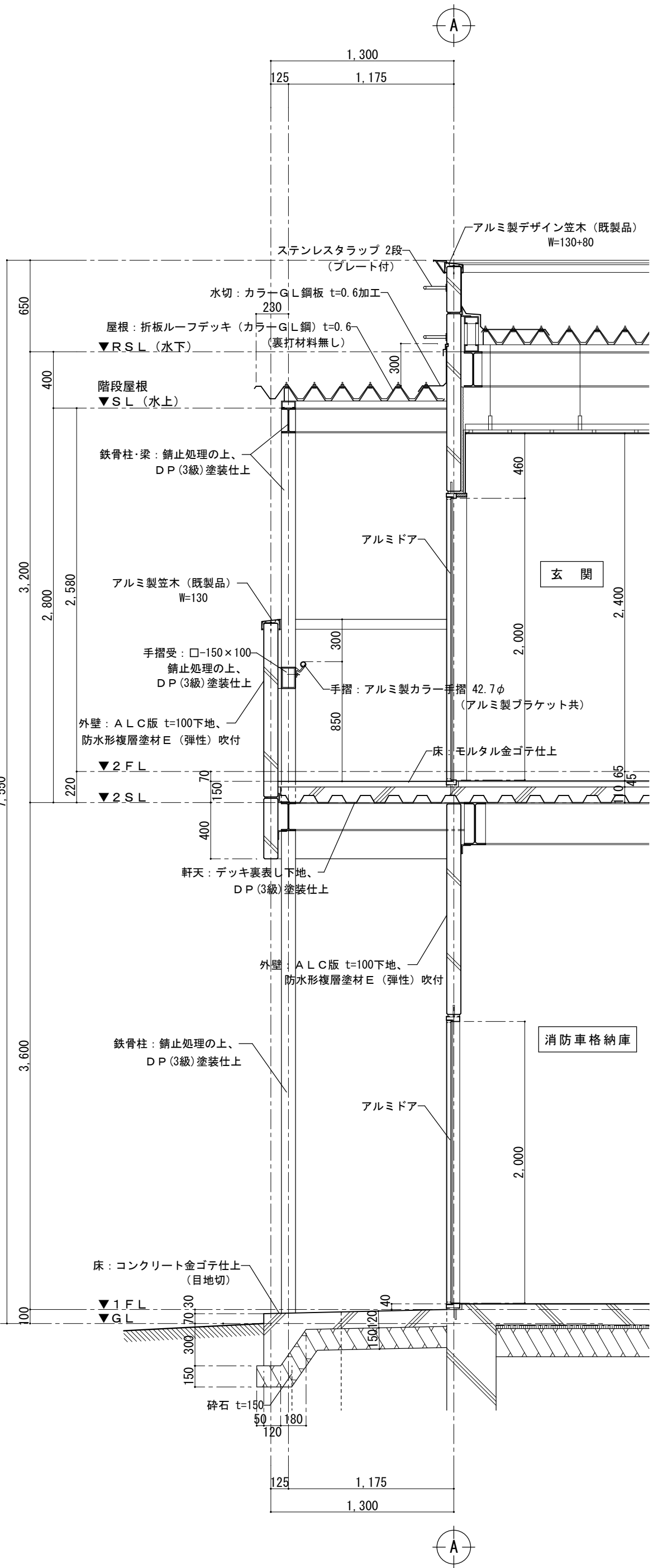
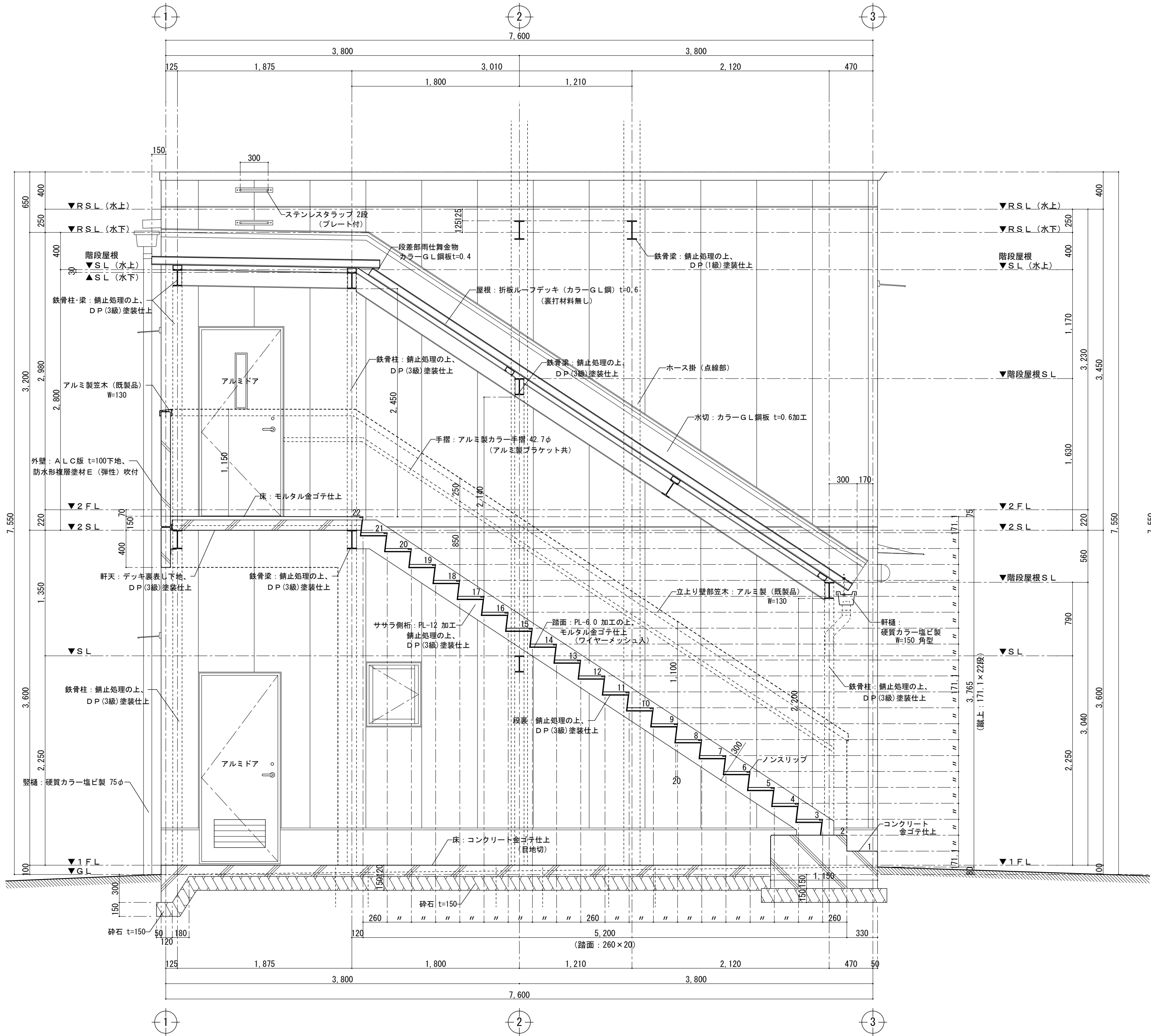
北-南断面図 1:100

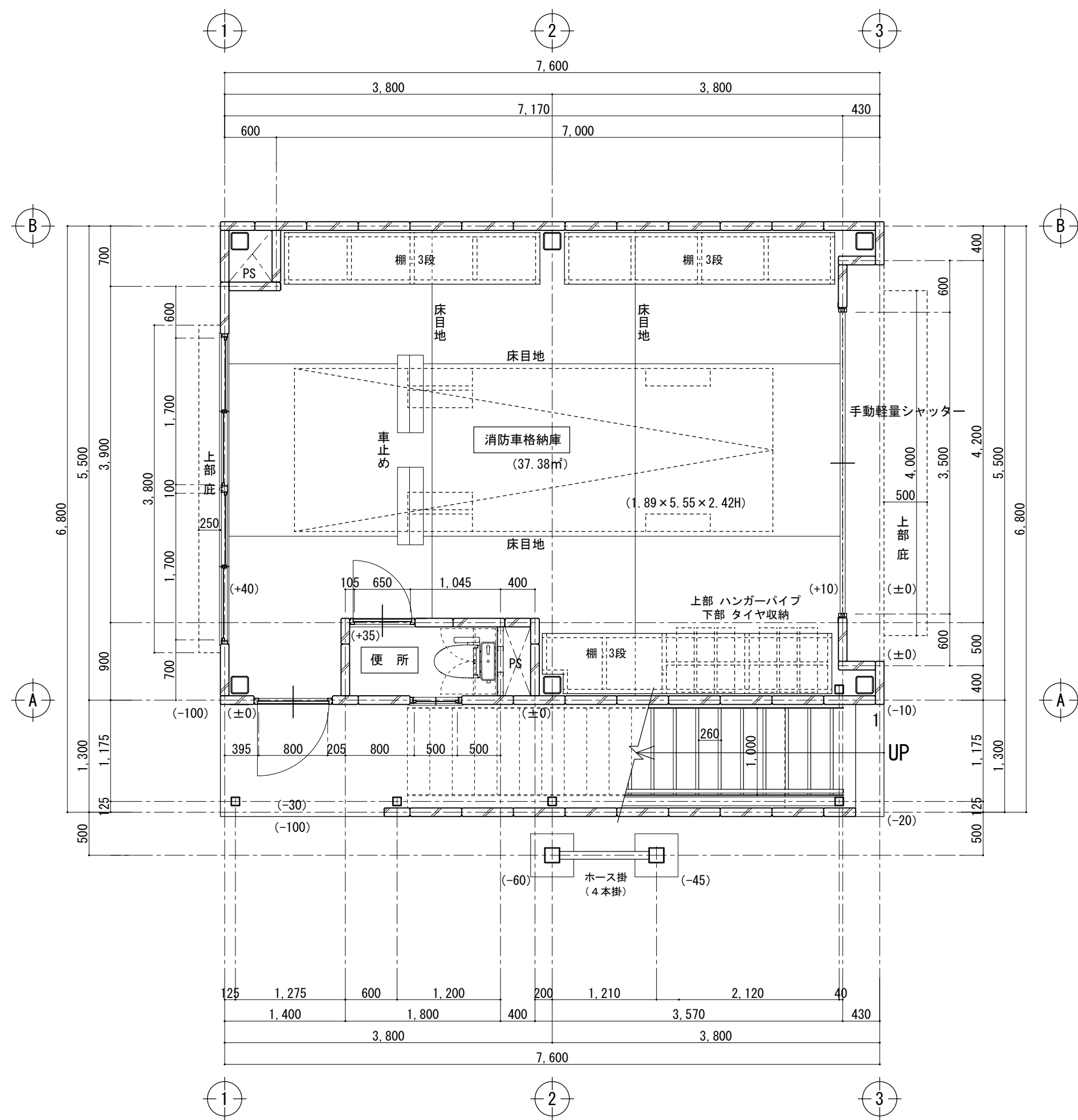
一級建築士事務所登録 梨1-041041 号  
一級建築士 第190666号  
秋山 昭

	株式会社 進藤設計事務所	承認	設計	担当	縮尺	工事名称 旭分団詰所建設工事 図面名称 立面図・断面図	No. A - 1 1
					A2-1:100		
					設計年月日		

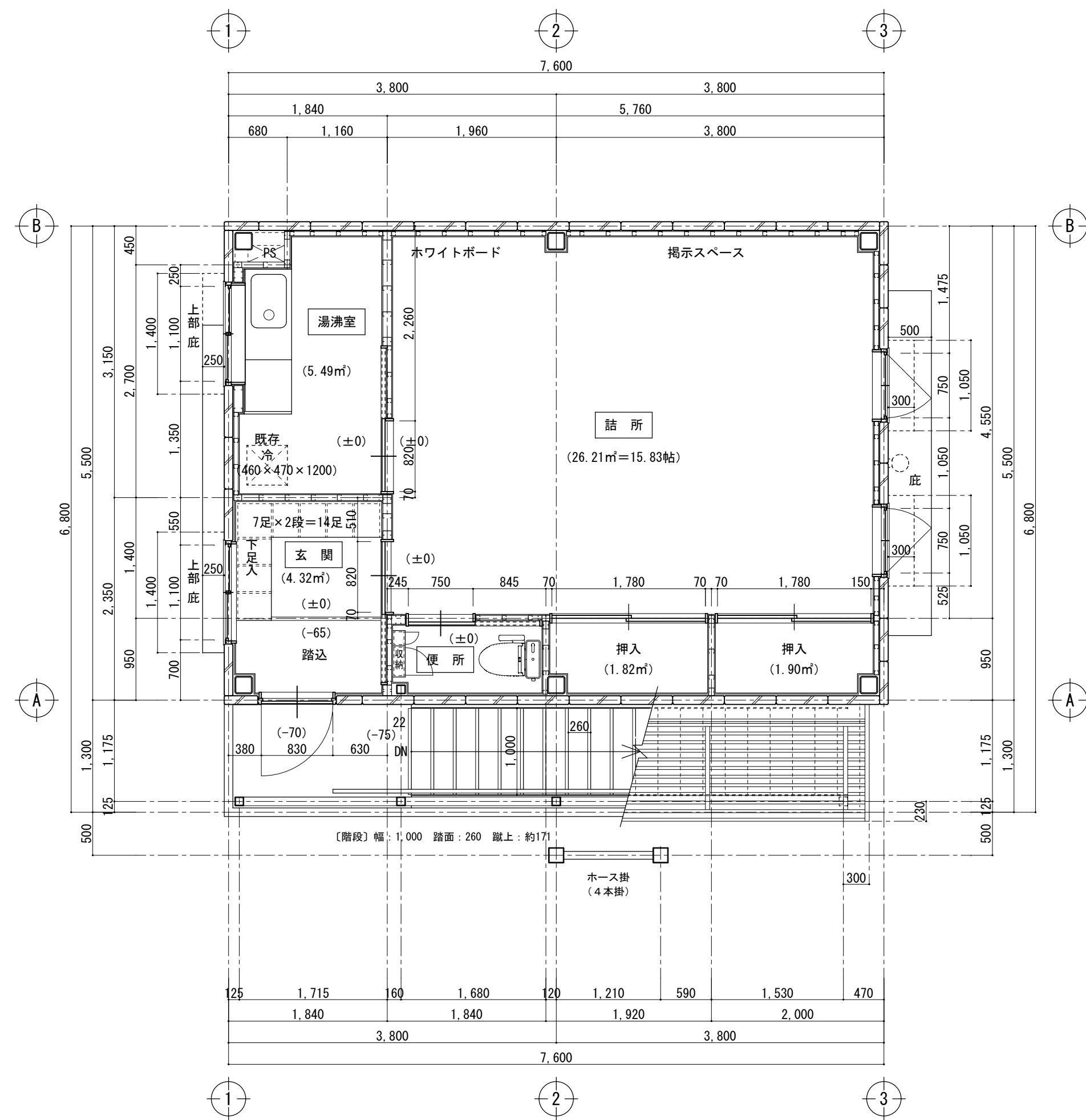




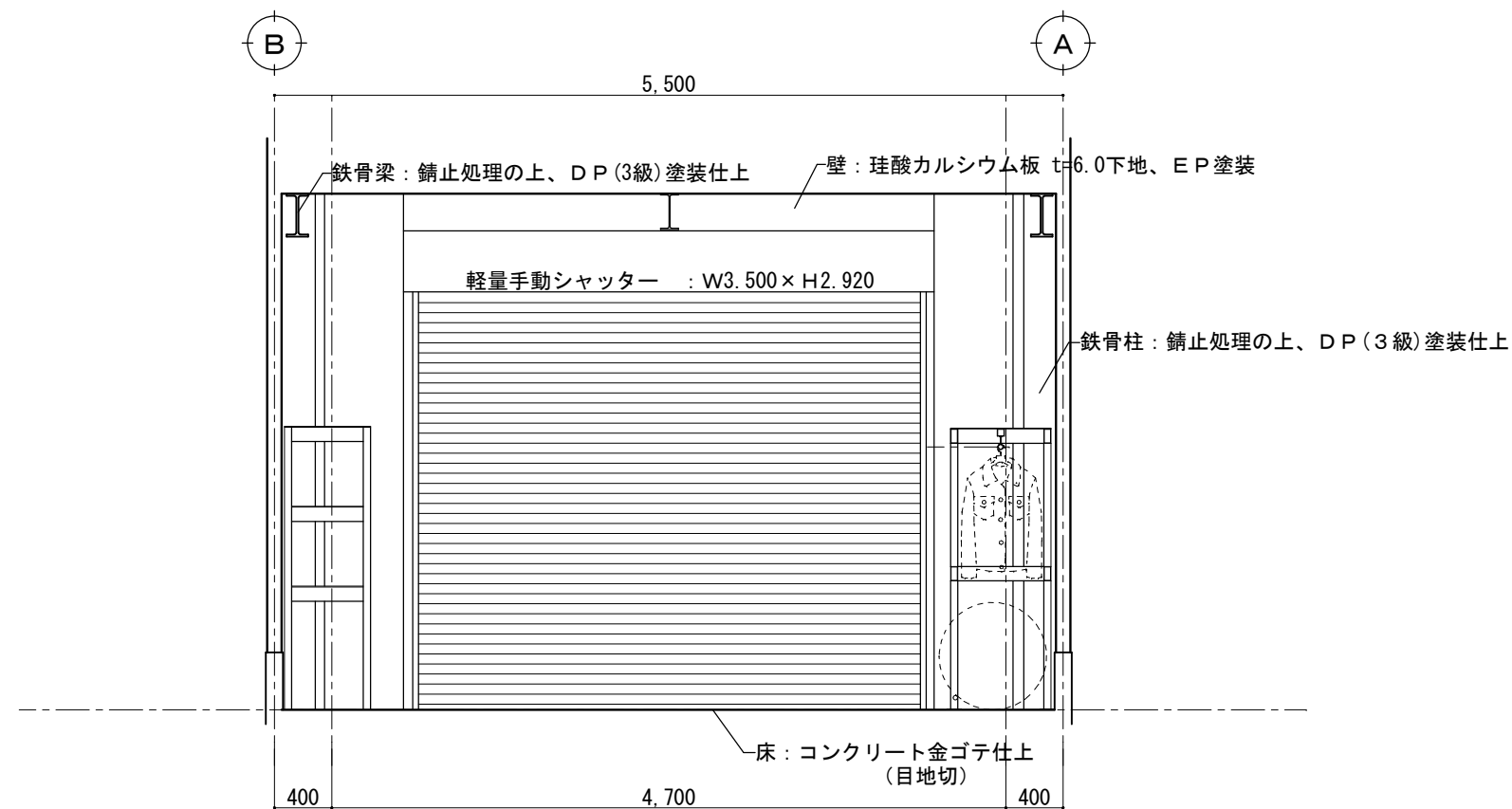
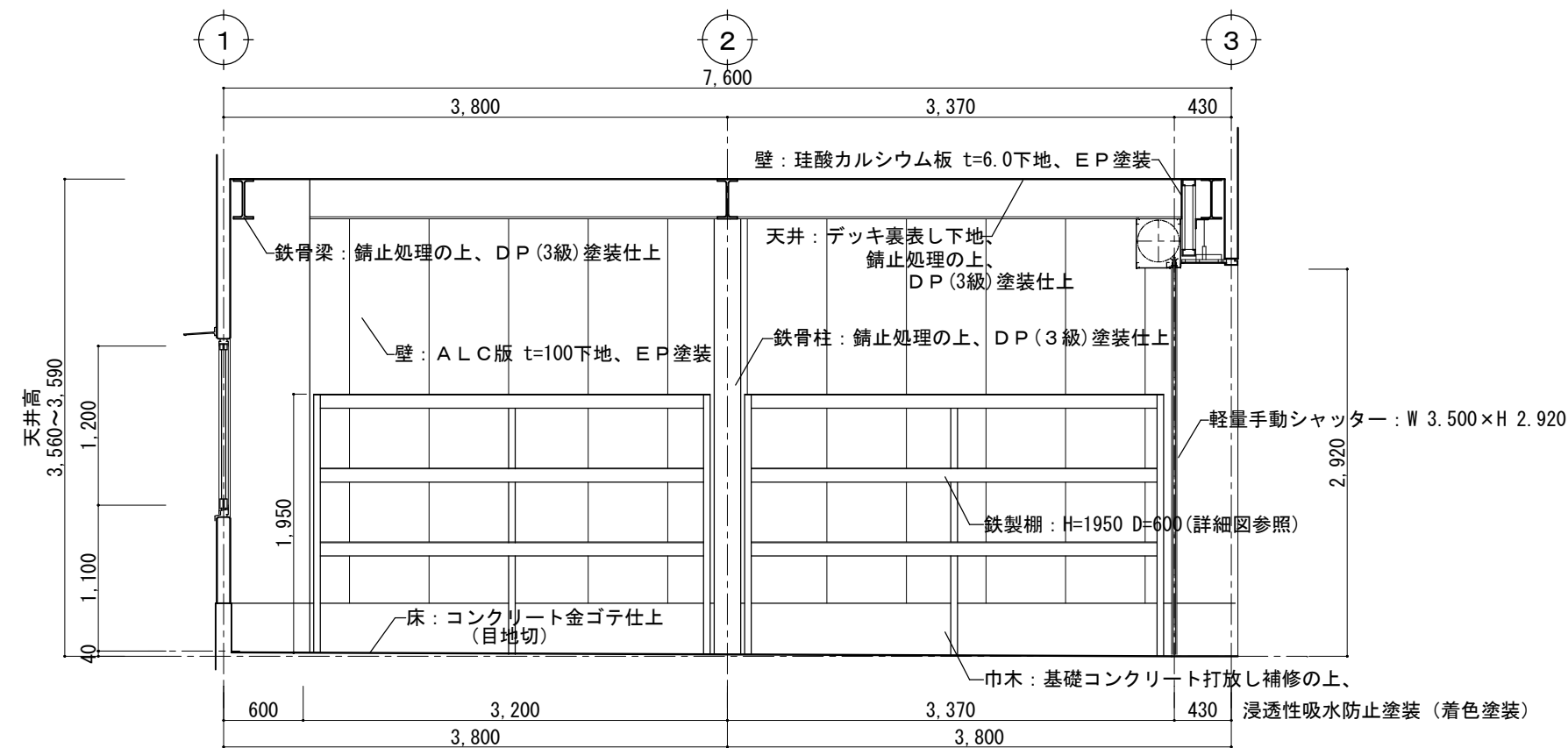




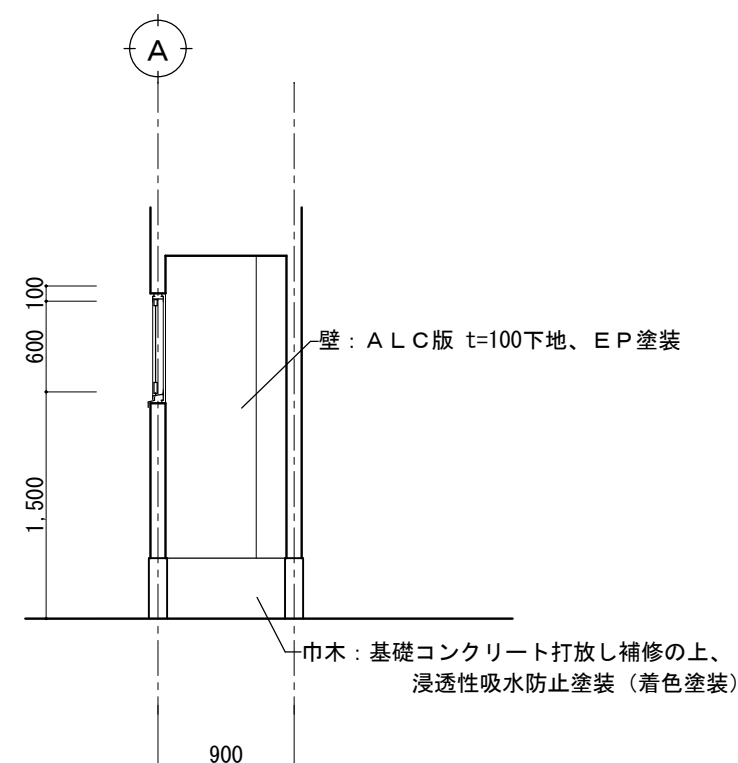
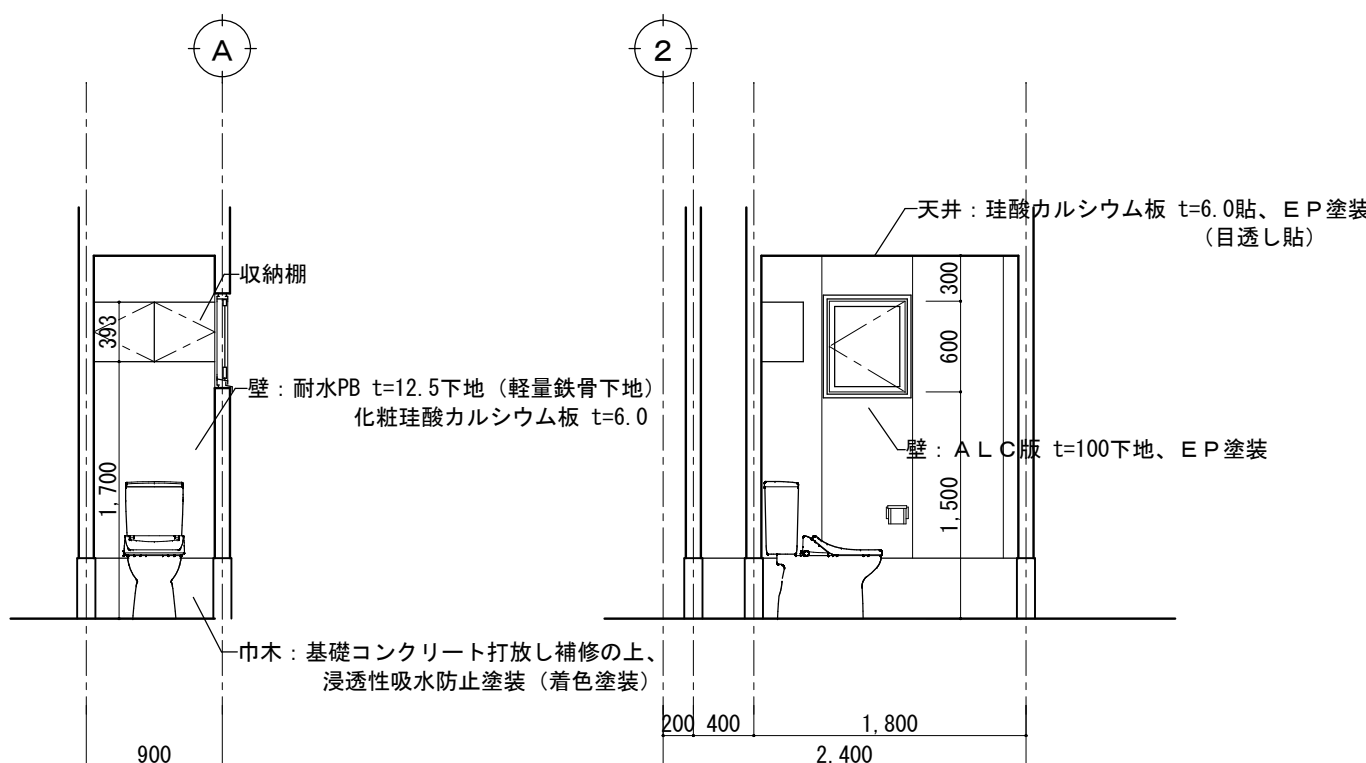
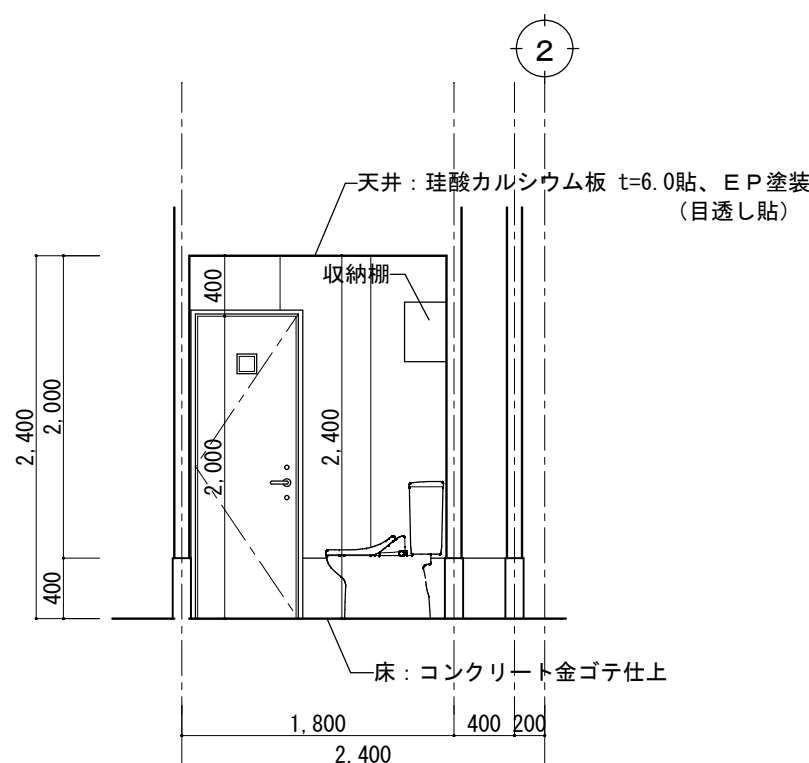
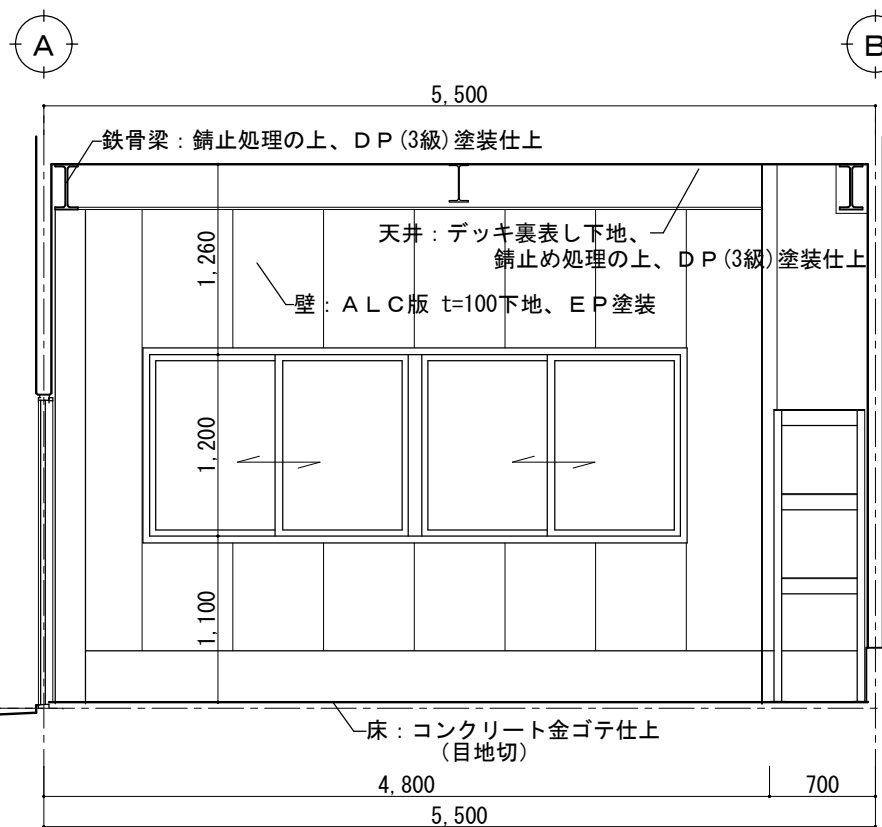
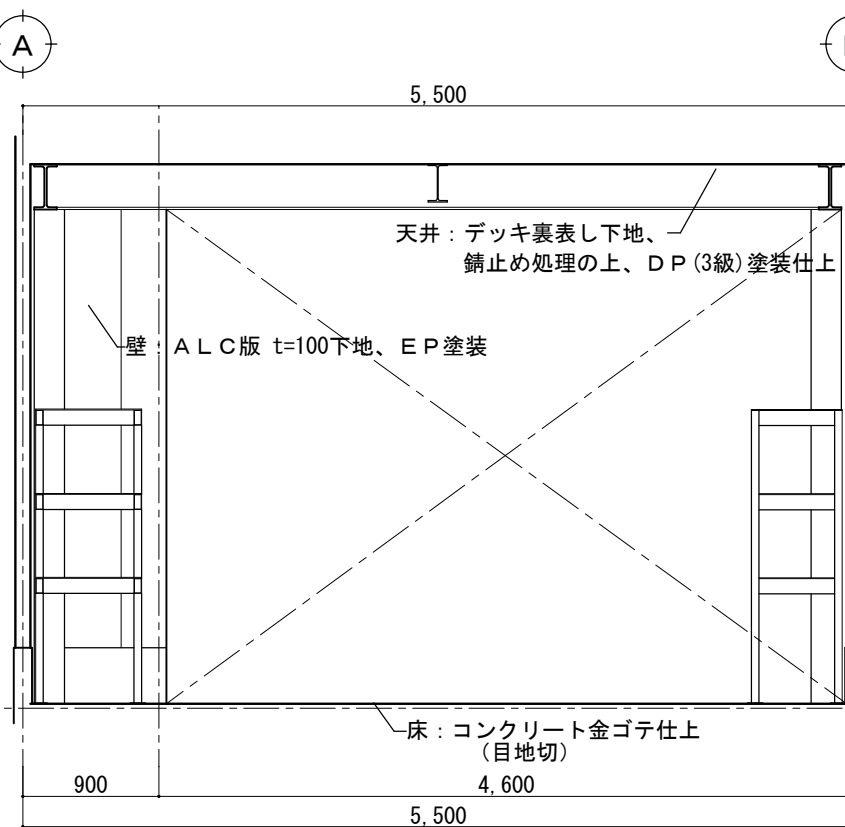
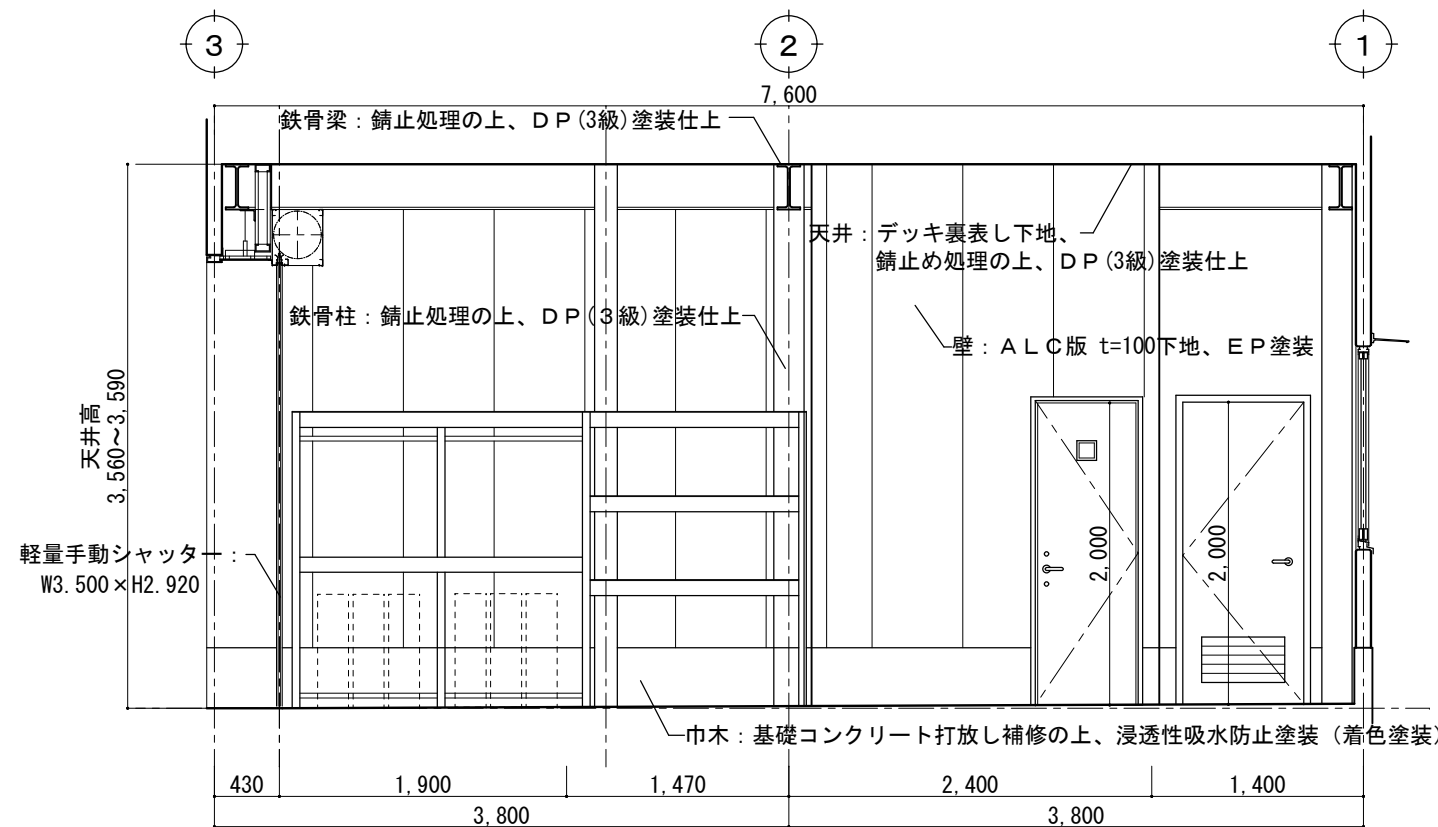
1 階 平面詳細図 1/50



2 階 平面詳細図 1/50

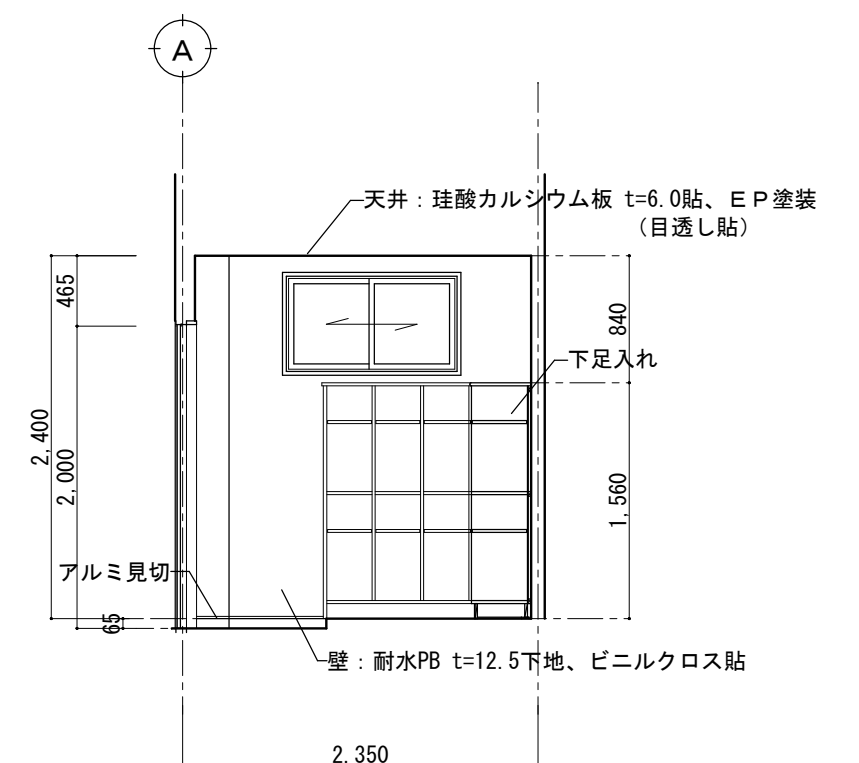
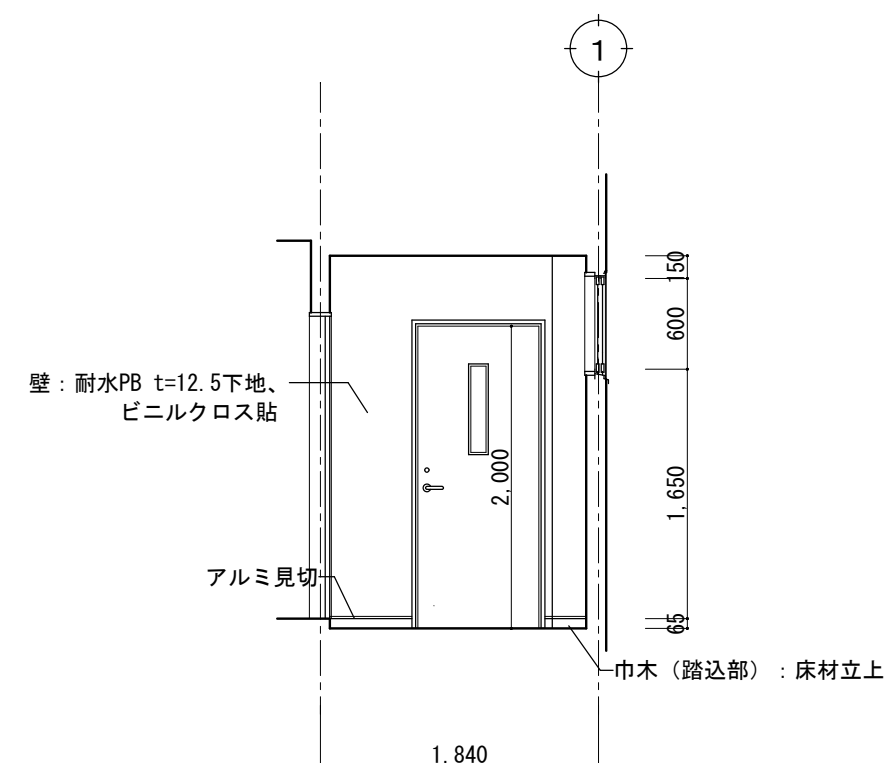
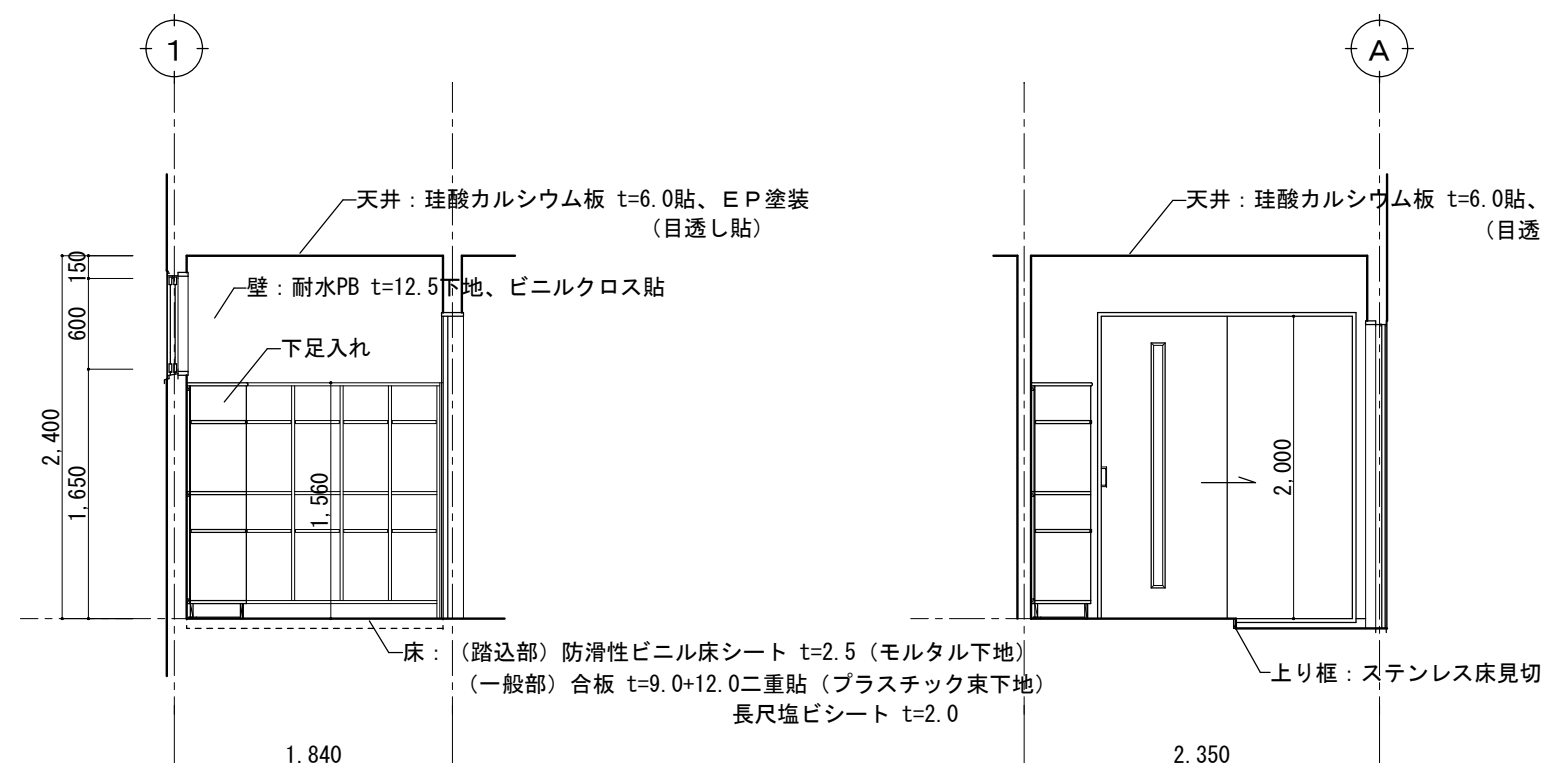
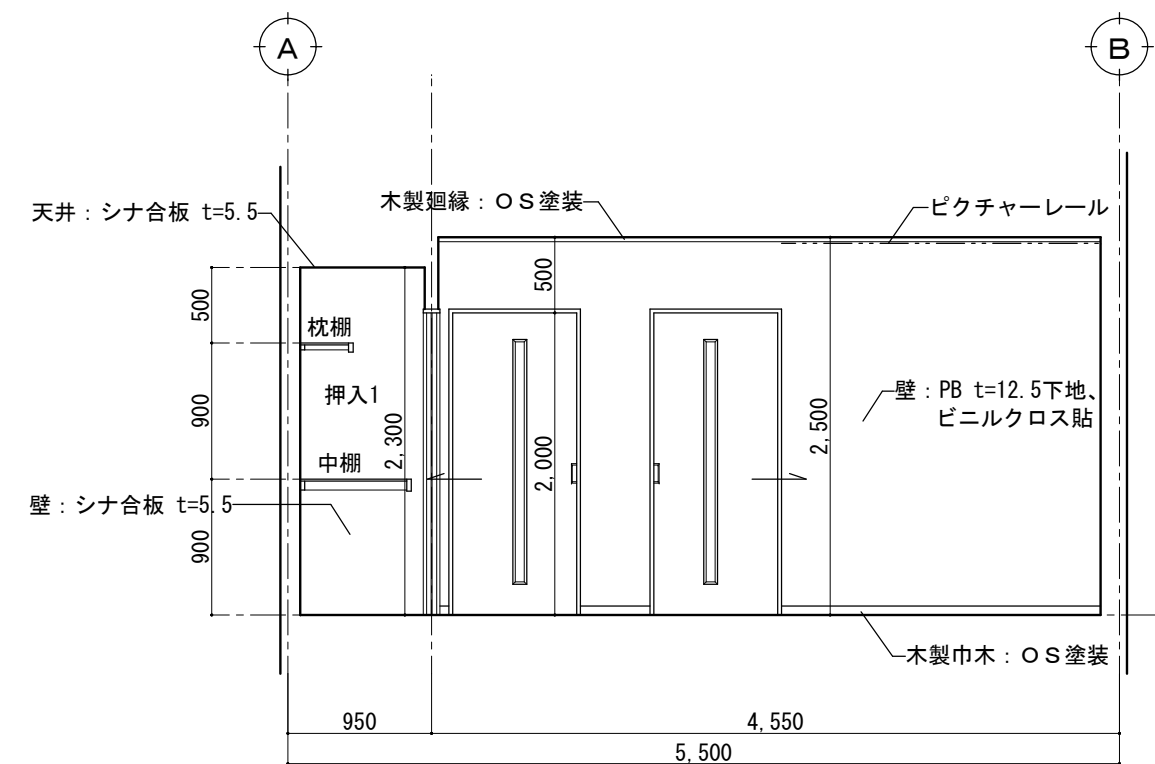
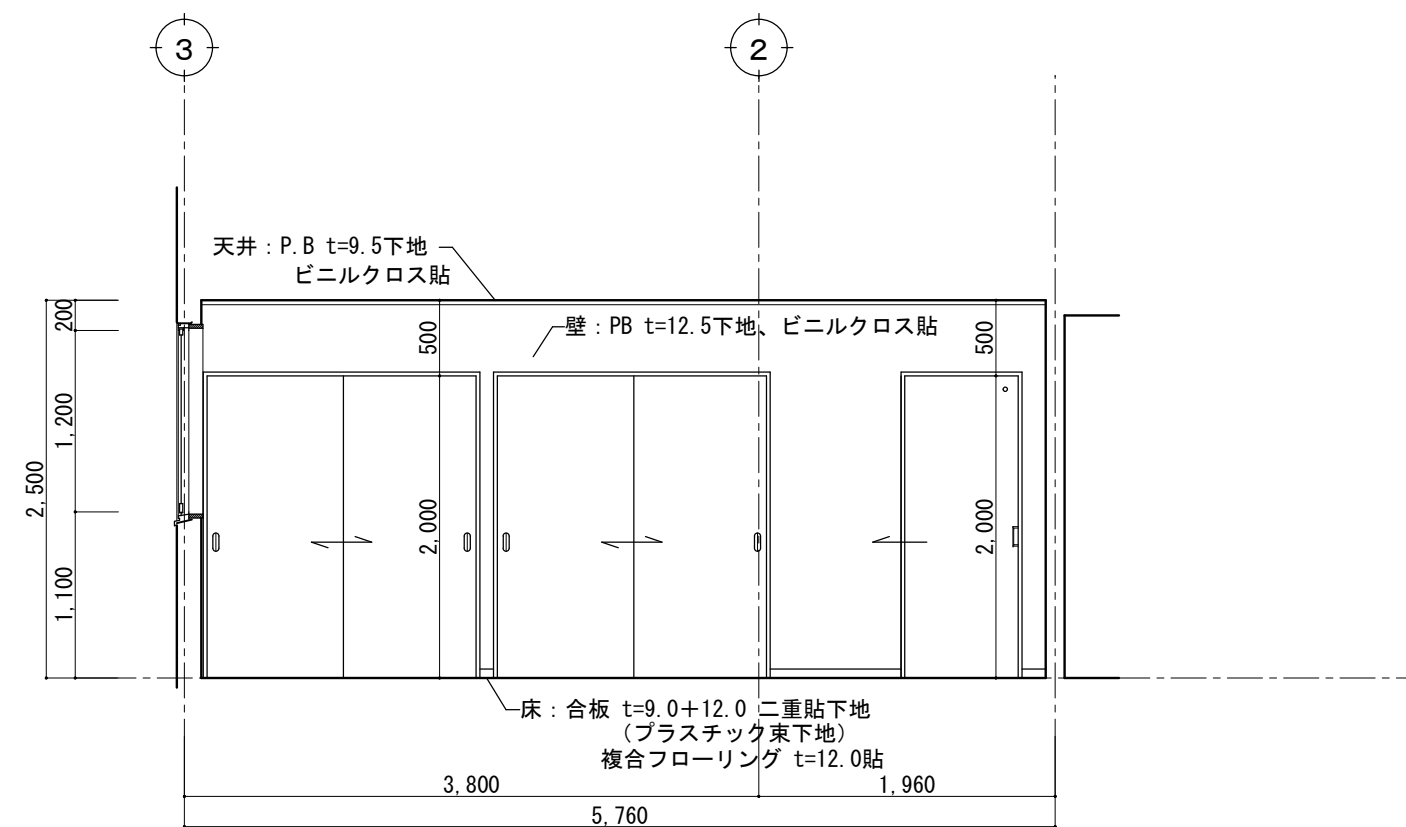
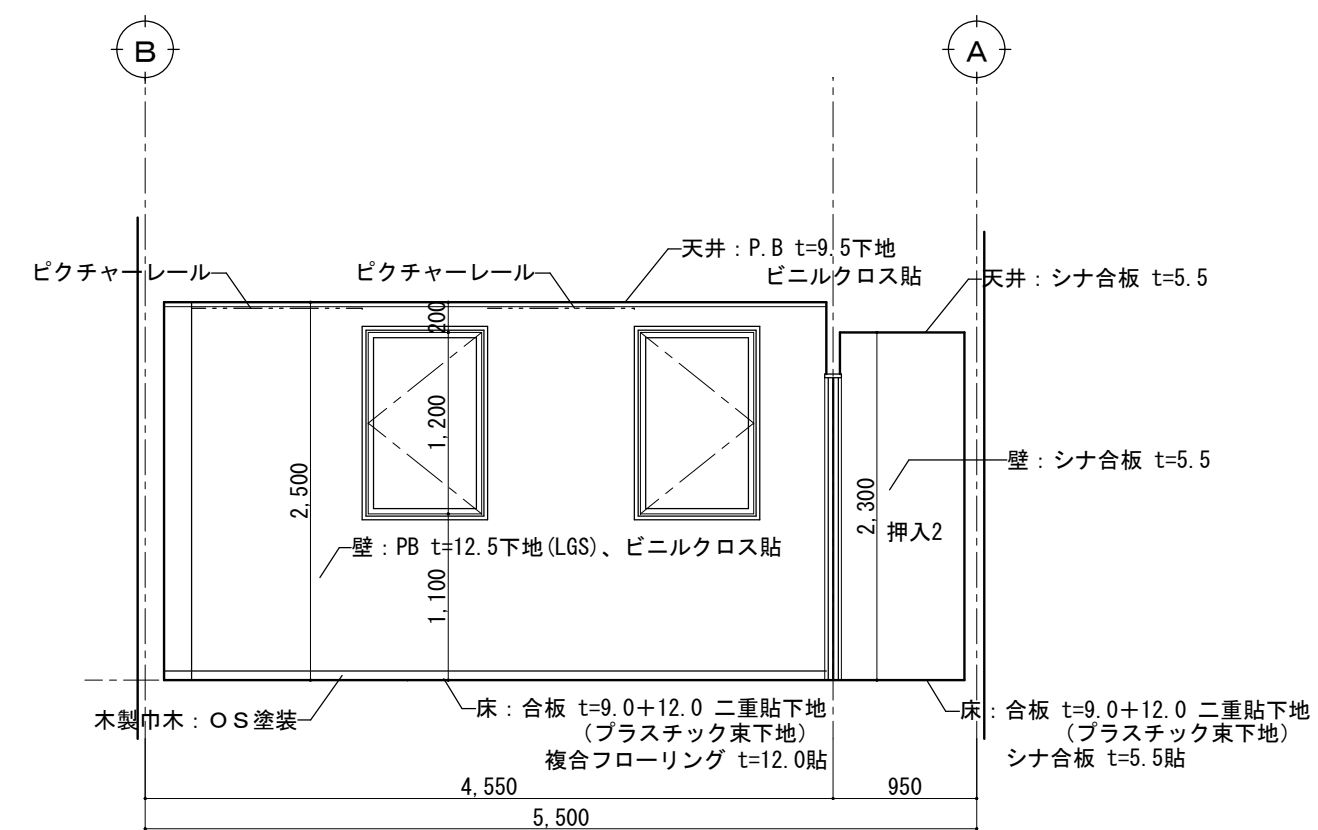
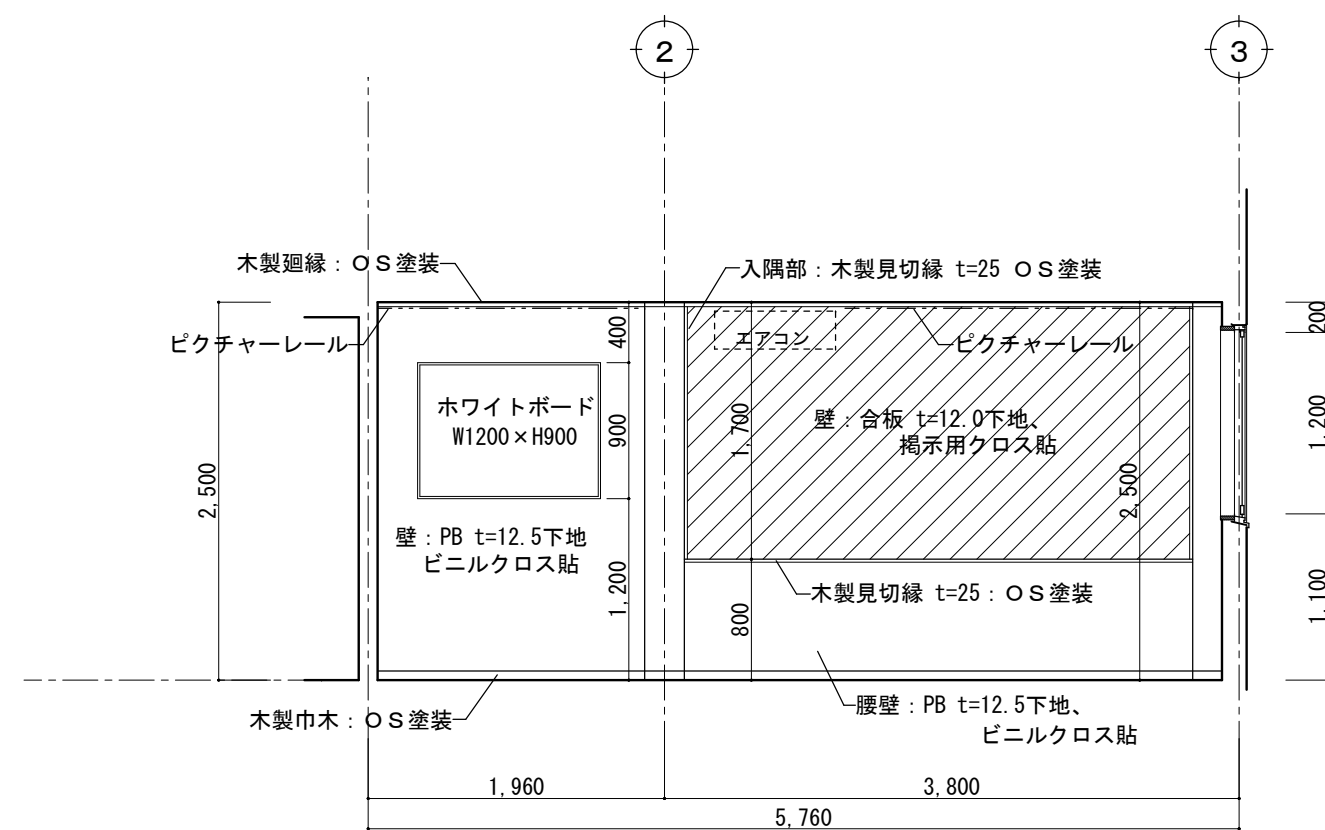


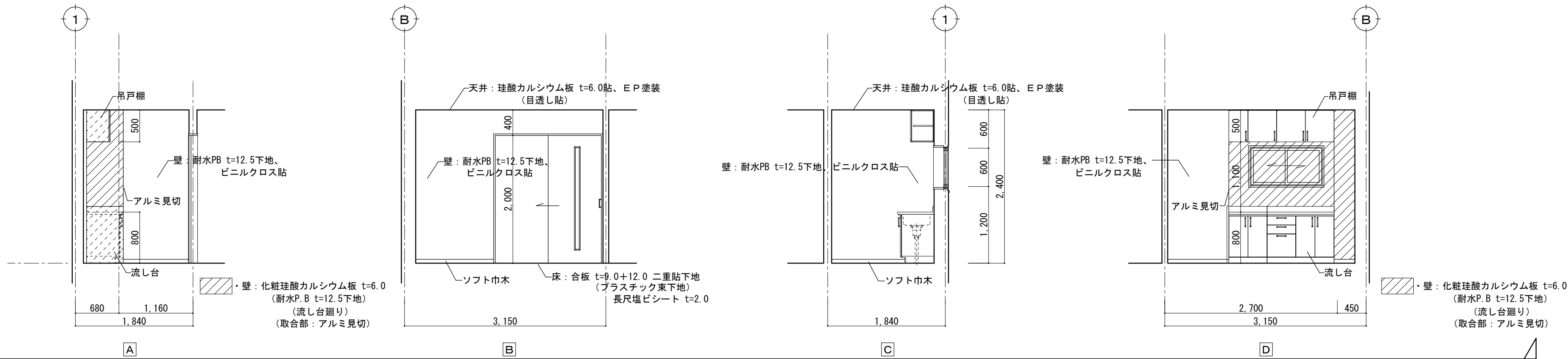
1 F 消防車格納庫



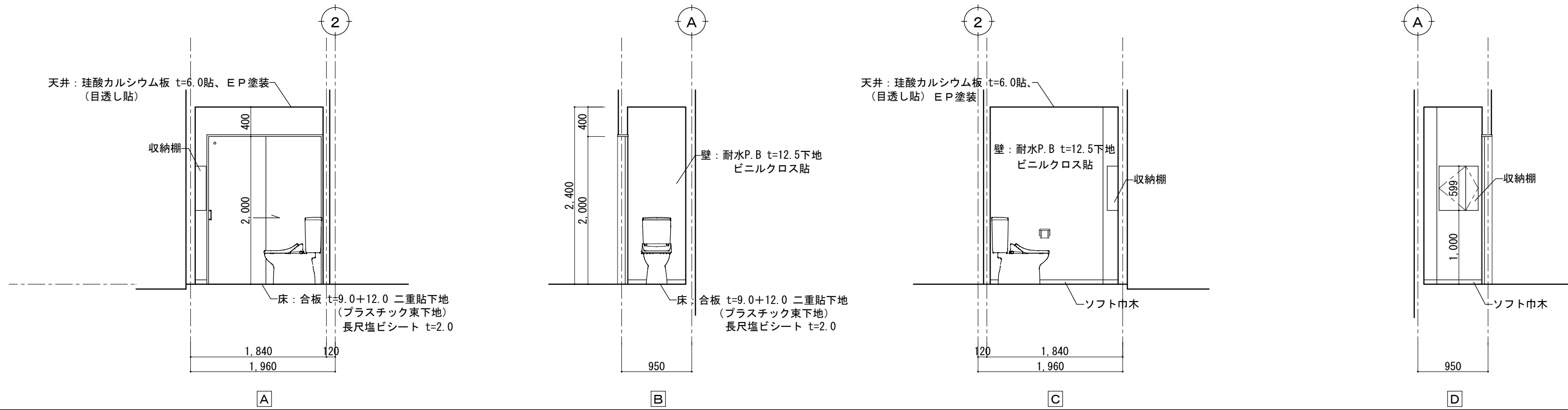
1 F 便所



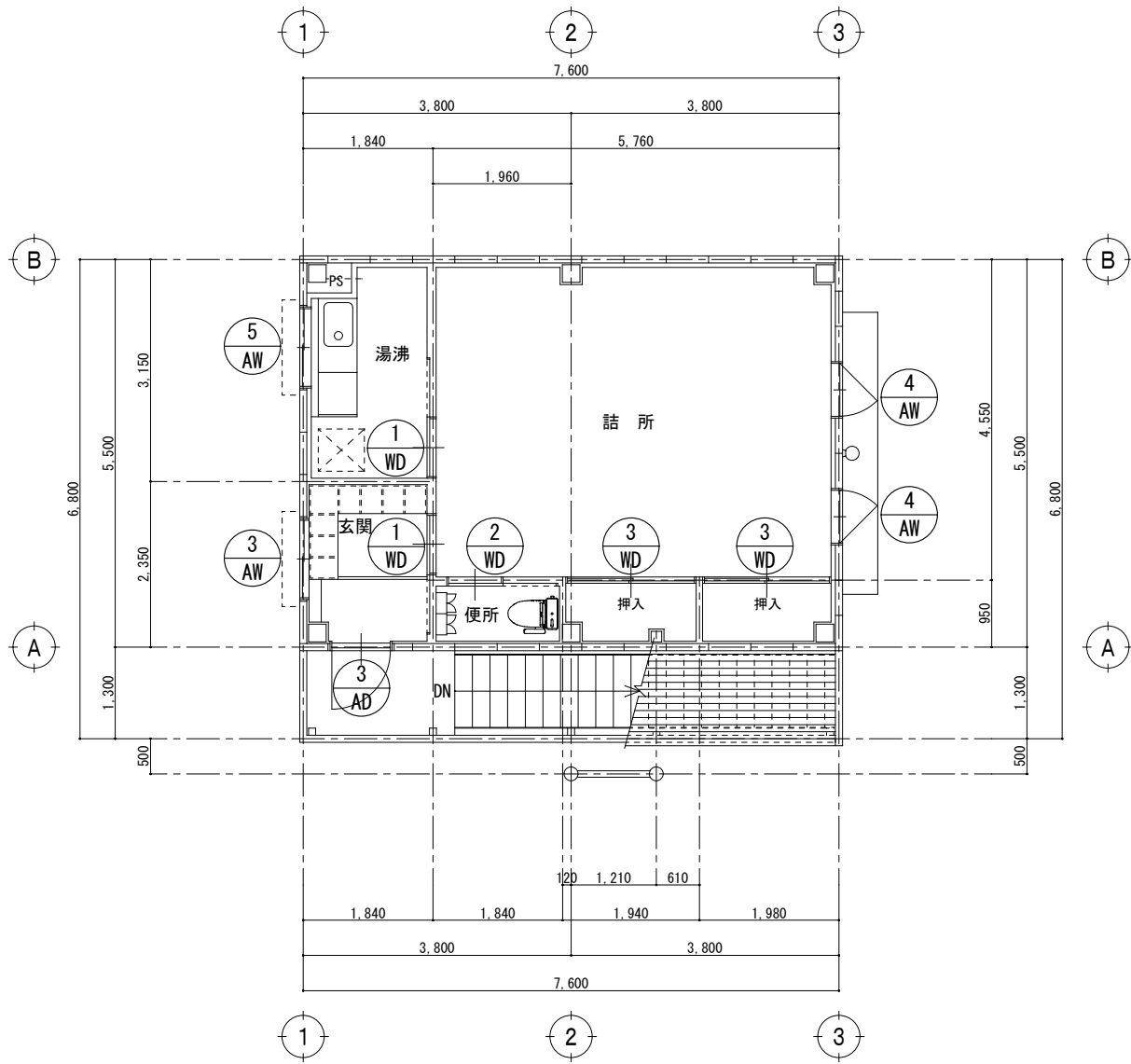




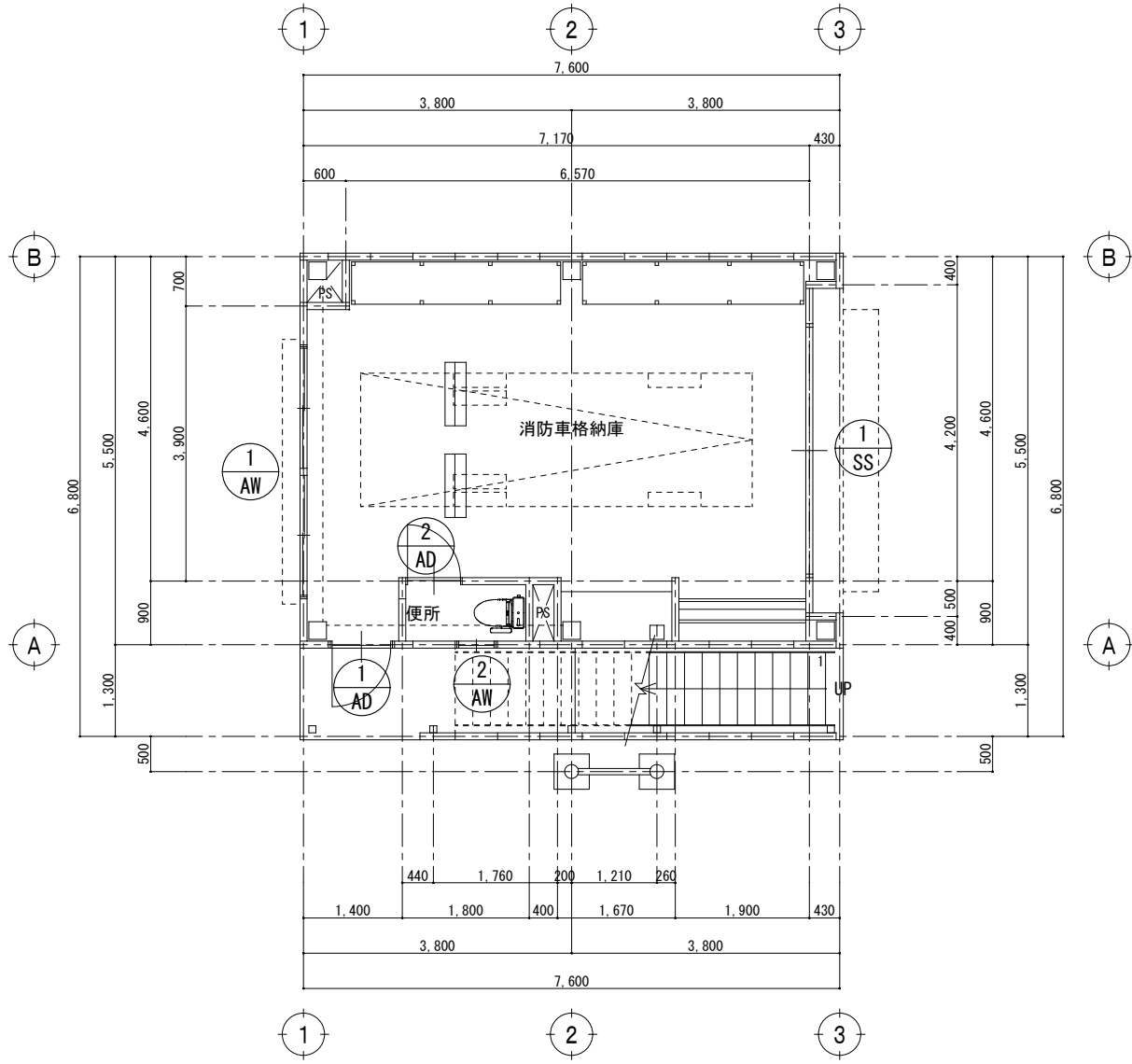
2 F 湯沸室



2 F 便所



2階建具キープラン 1:100



1階建具キープラン 1:100

一級建築士事務所登録 梨1-041041 号  
一級建築士 第190666号  
秋山 昭

記号・場所	① AW 1階	消防車格納庫	② AW 1階	便 所	③ AW 2階	玄 関
姿 図						
形式・見込	引違い連窓 7 0		すべり出し窓 7 0		引違い窓 7 0	
仕上・数量	アルミサッシ 1		アルミサッシ 1		アルミサッシ 1	
硝 子	型板ガラス t=4.0		型板ガラス t=4.0		型板ガラス t=4.0 + A6 + 透明ガラス t=3.0	
金 物	アルミ額縁・クレセント・水切・他付属金物一式		アルミ額縁・オペレーターハンドル・水切・他付属金物一式		クレセント・水切・他付属金物一式	
備 考	網戸付		網戸付（固定：取外し式）		網戸付、ブラインド	
記号・場所	④ AW 2階	詰 所	⑤ AW 2階	湯沸室		
姿 図						
形式・見込	すべり出し窓 7 0		引違い窓 7 0			
仕上・数量	アルミサッシ 2		アルミサッシ 1			
硝 子	透明ガラス t=5.0 + A6 + 透明ガラス t=5.0		型板ガラス t=4.0 + A6 + 透明ガラス t=3.0			
金 物	カムラッチハンドル・水切・他付属金物一式		クレセント・水切・他付属金物一式			
備 考	網戸付（固定：取外し式）、ブラインド		網戸付、ブラインド			
記号・場所						
姿 図						
形式・見込						
仕上・数量						
硝 子						
金 物						
備 考						

株式会社 進藤設計事務所

承認	設計	担当	

縮 尺  
A2－1:100  
設計年月日

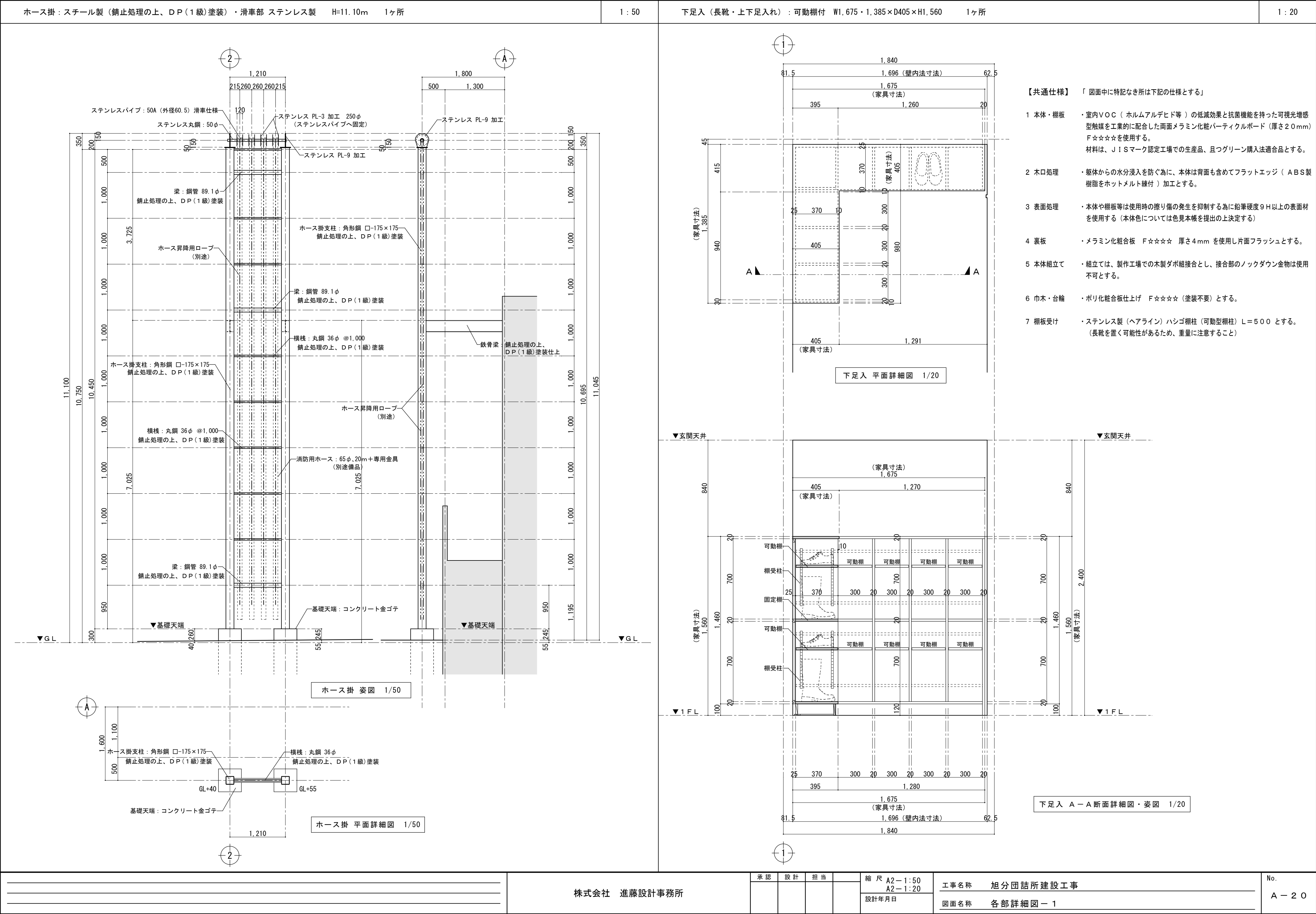
工事名称 旭分団詰所建設工事  
図面名称 建具キープラン・建具表－ 1

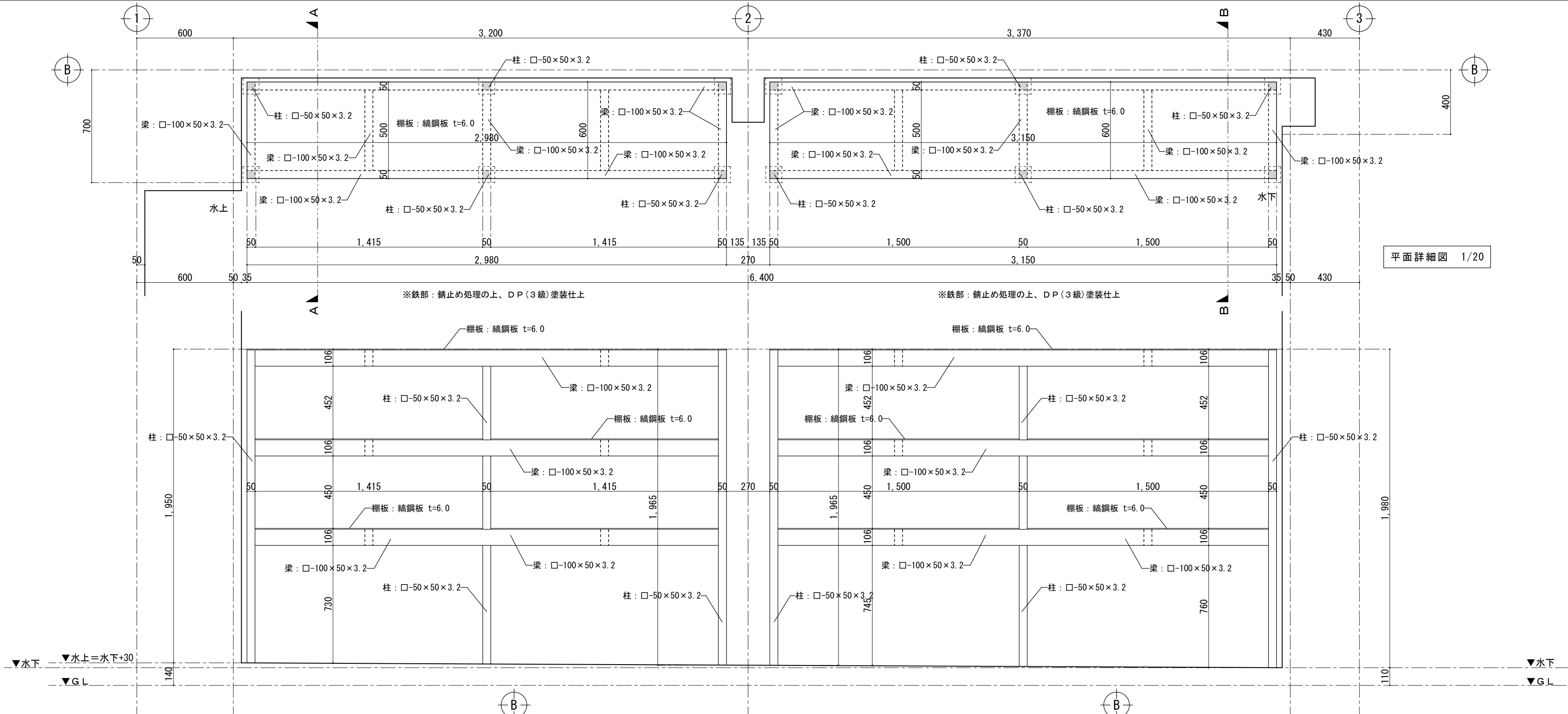
No.  
A－ 1 8

記号・場所	<div>1 AD</div> 1階消防車格納庫	<div>2 AD</div> 1階便 所	<div>3 AD</div> 2階玄 関		
姿 図					
形式・見込	片開きドア7 0	片開きドア7 0	片開きドア7 0		
仕上・数量	アルミドア1	アルミドア1	アルミドア1		
硝 子		型板ガラス t=4.0	型板ガラス t=4.0		
金 物	アルミ額縁・レバーハンドル・DC・丁番・シリンダー錠 他付属金物一式	アルミ額縁・レバーハンドル・DC・丁番・表示錠 他付属金物一式	レバーハンドル・DC・丁番・シリンダー錠 他付属金物一式		
備 考	ガラリ付き				
記号・場所	<div>1 SS</div> 1階消防車格納庫		<div>1 WD</div> 2階詰所入口・湯沸室	<div>2 WD</div> 2階便 所	<div>3 WD</div> 2階押 入
姿 図					
形式・見込			片引き戸3 6	片引き戸3 6	引違い戸3 6
仕上・数量			木製（額入）：既製品（木目柄）・枠共2	木製：既製品（木目柄）・枠共1	木製：既製品（木目柄）・枠共2
硝 子			樹脂製	明かり小窓付（丸形）	
金 物			B0X引手・戸車レール・他付属金物一式	B0X引手・戸車レール・表示錠・他付属金物一式	引手・戸車レール・他付属金物一式
備 考					
記号・場所					
姿 図					
形式・見込	軽量スチールシャッター（手動式）				
仕上・数量	カラー鋼板（スラット t=0.8）1				
硝 子					
金 物	シャッターケース（角形）・ガイドレール 他付属金物一式 二方枠：カラーガルバリウム鋼板 t=0.6加工				
備 考					

一級建築士事務所登録 梨1-041041 号  
一級建築士 第190666号  
秋山 昭

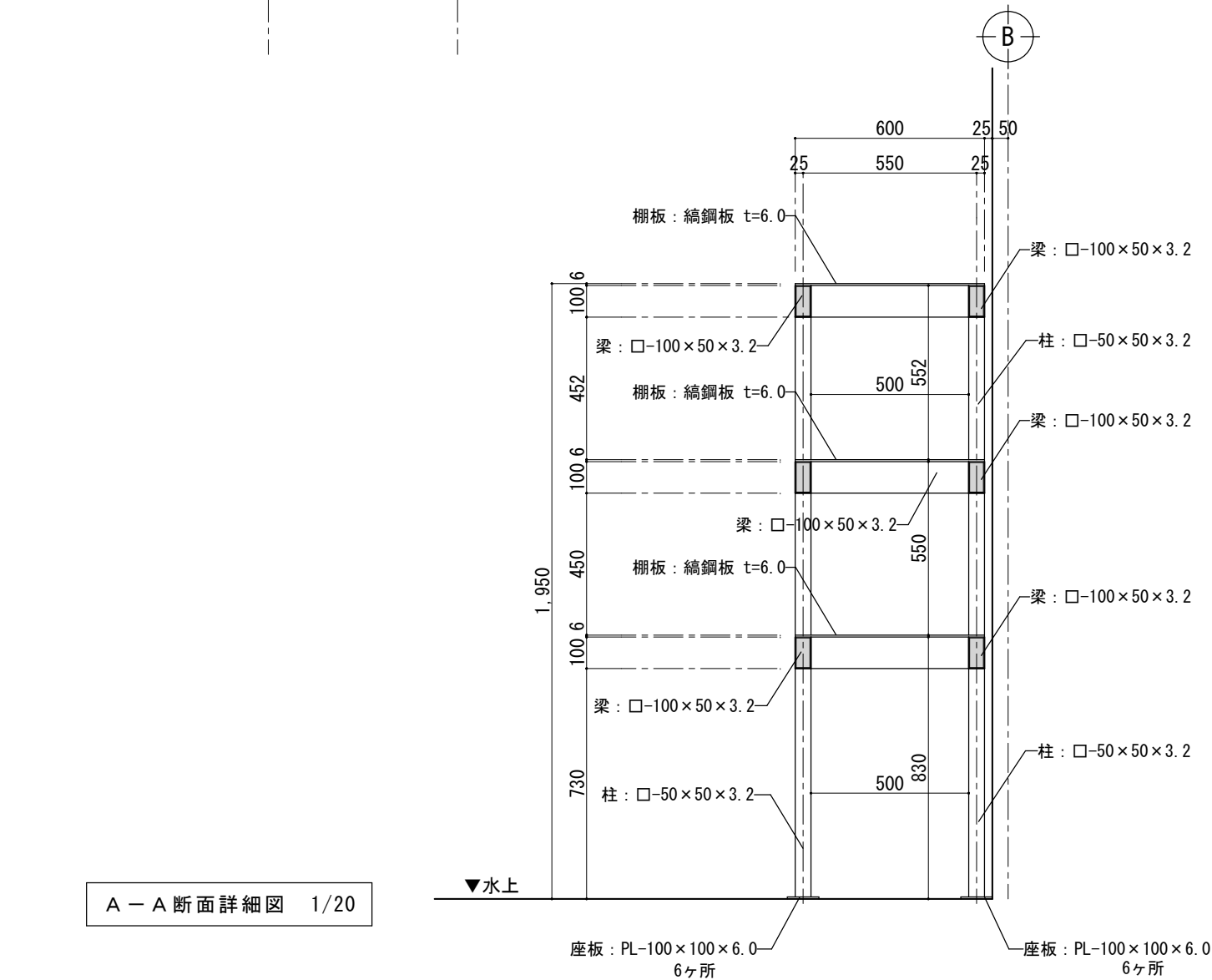




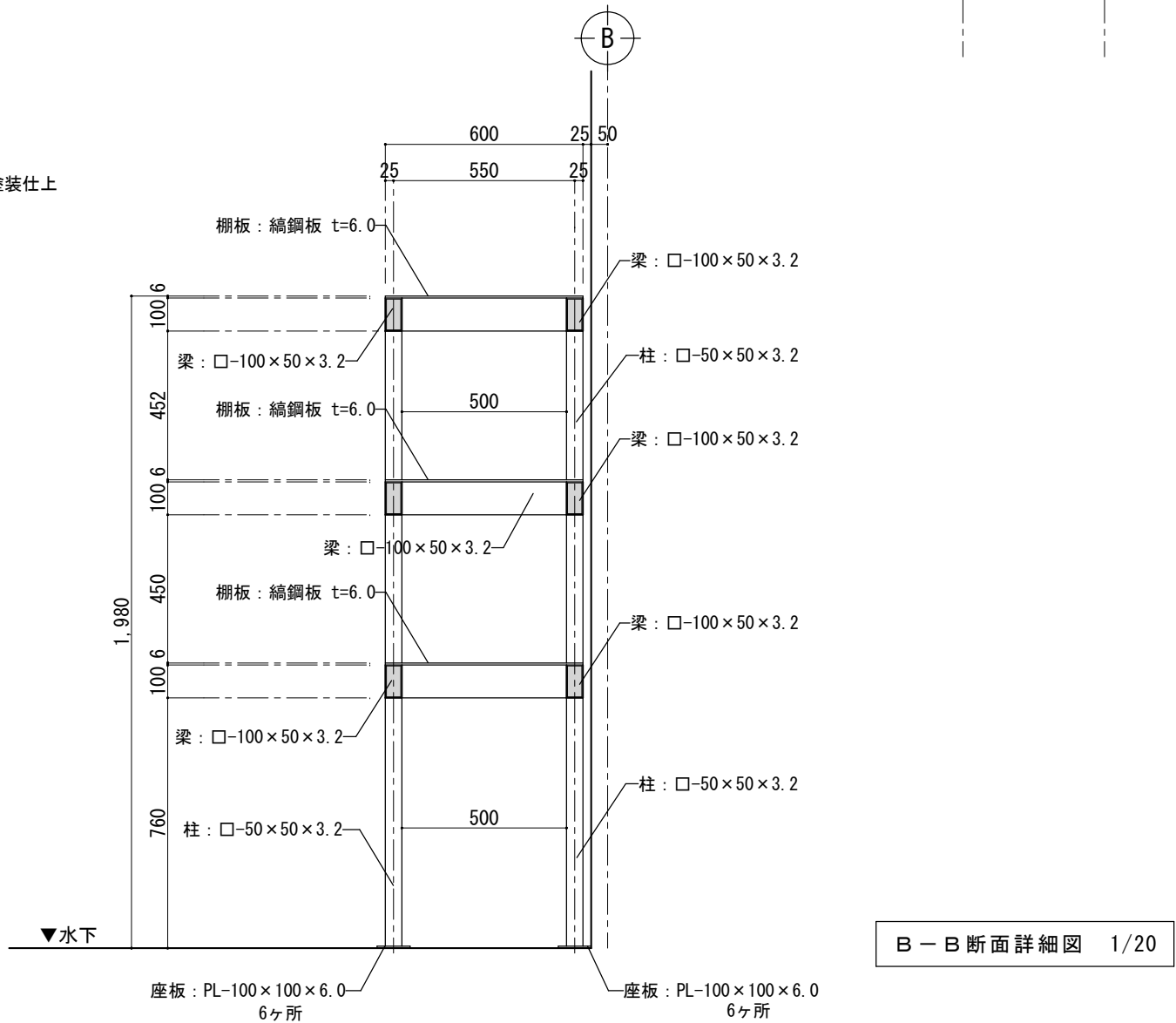


平面詳細図 1/20

姿 図 1/20



A－A断面詳細図 1/20

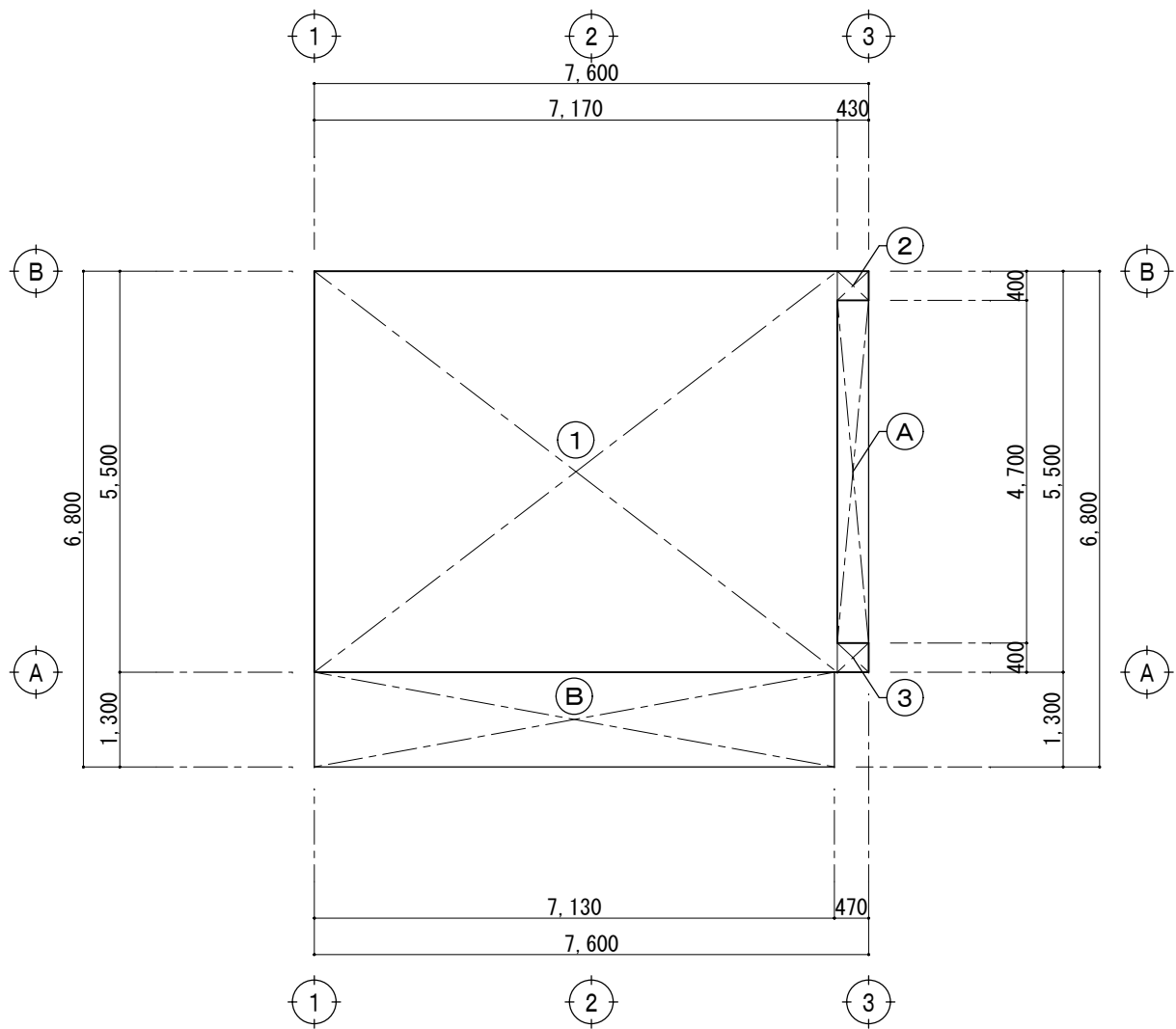


B－B断面詳細図 1/20

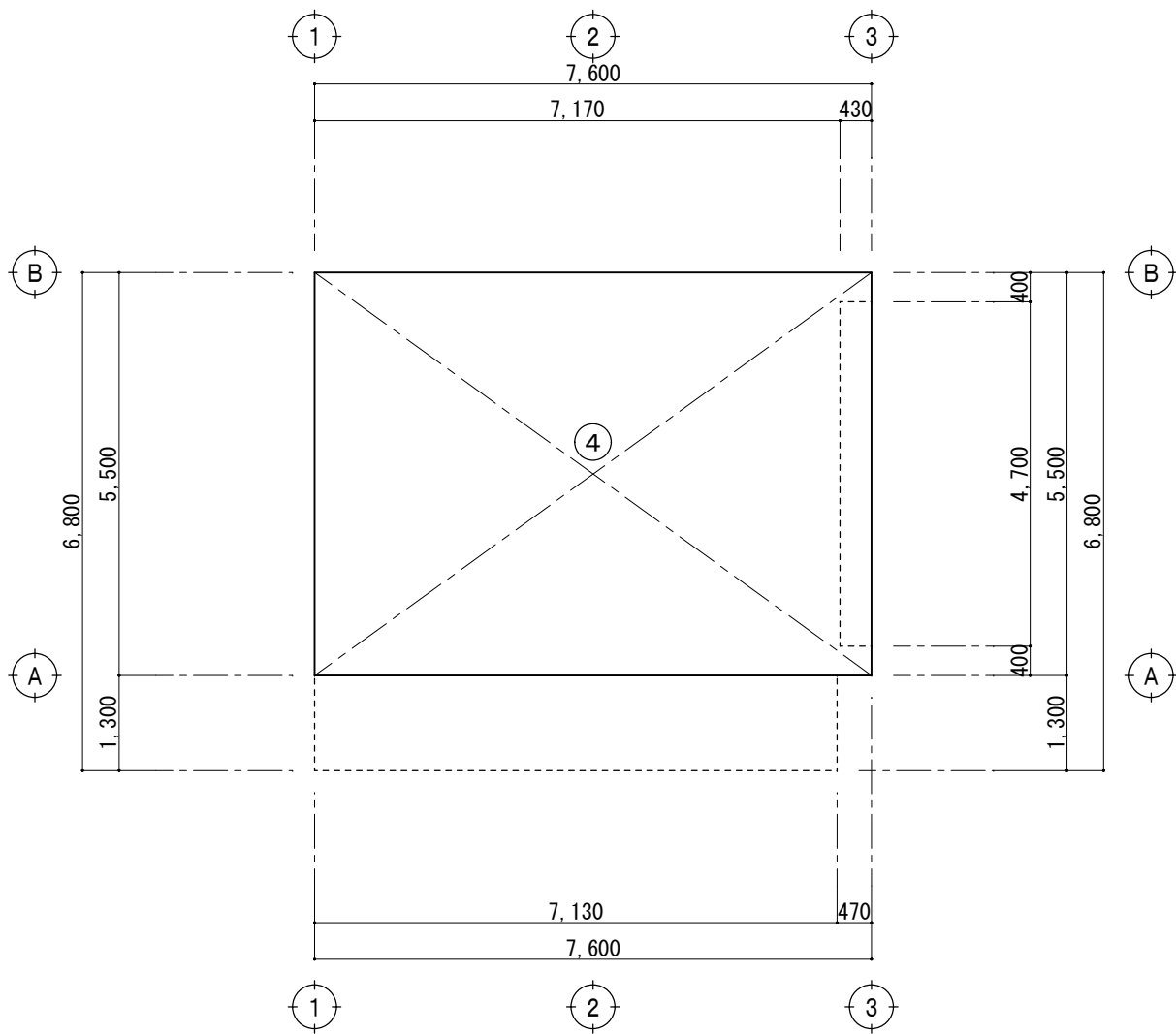


[illegible]





1階求積図 1:100



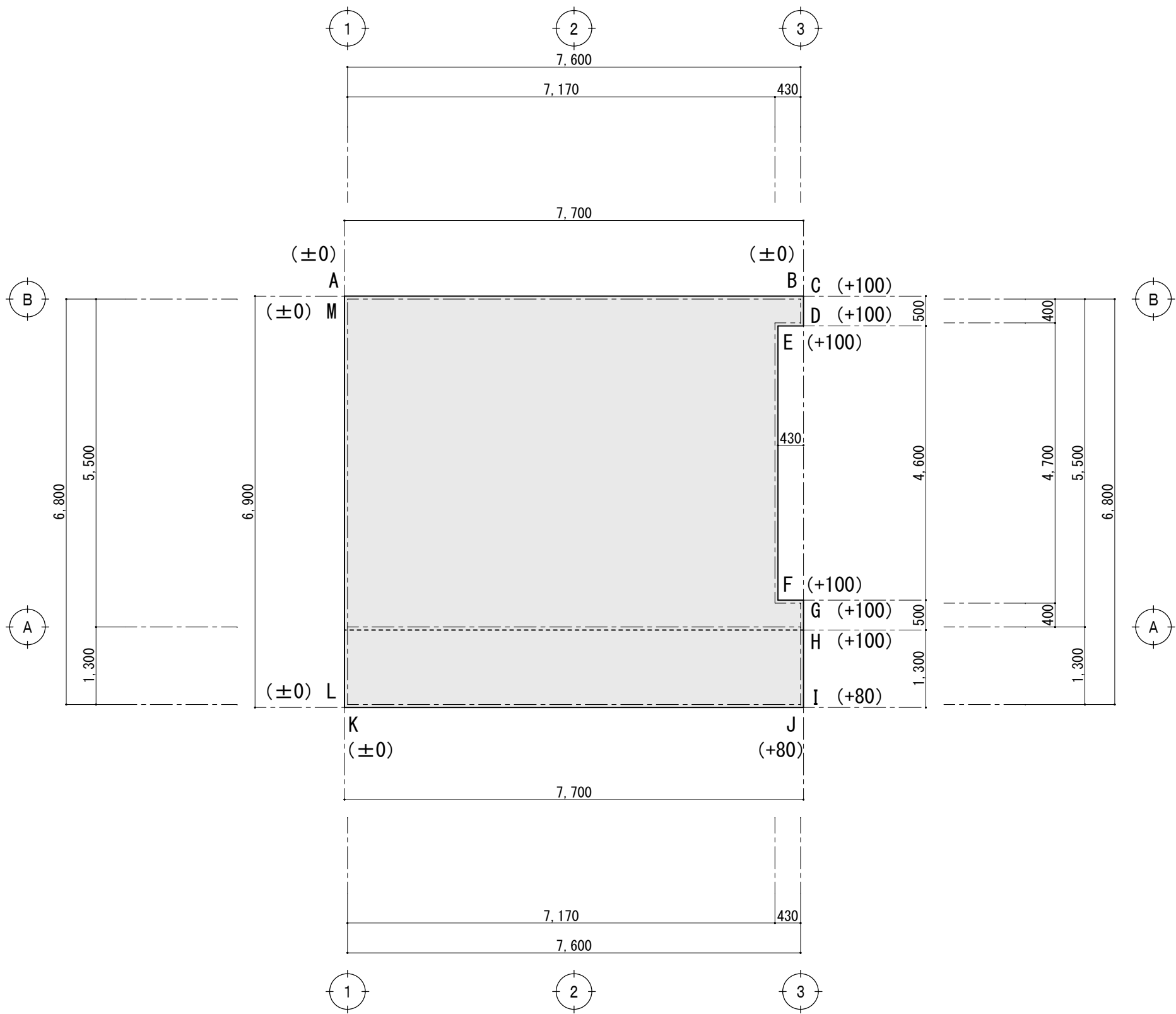
2階求積図 1:100

番号		面 積	番号		面 積
①	7.17 × 5.50	39.435	Ⓐ	0.43 × 4.70	2.021
②	0.43 × 0.40	0.172	Ⓑ	7.13 × 1.30	9.269
③	0.43 × 0.40	0.172			11.290
		39.779			
	1階床面積 (1)	39.78㎡	建築面積 = (1) + A + B		51.07㎡
④	7.60 × 5.50	41.800			
	2階床面積 (2)	41.80㎡			
	延べ床面積 (1) + (2)	81.58㎡			
		24.68坪			

				採 光 （建築基準法施行令第116条の2－1項二号）										換 気								排 煙 （建築基準法施行令第116条の2－1項二号）								
階層	室 名	床面積	建具記号	算定式	d	h	補正係数	有効W	有効H	数量	開口面積		必要面積 1/20	判定	有効W	有効H	係数	数量	有効開口面積		必要面積 1/20	判定	有効W	有効H	係数	数量	有効開口面積		必要面積 1/50	判定
2F	詰 所	26.21 ㎡	AW-4	10 d／h－1	道に面する（d≧4m）		1.00	0.75	1.20	2	1.80 ㎡	>	1.31 ㎡	OK	0.75	1.20	1.00	2	1.80 ㎡	>	1.31 ㎡	OK	0.75	0.60	1.00	2	0.90 ㎡	>	0.52 ㎡	OK

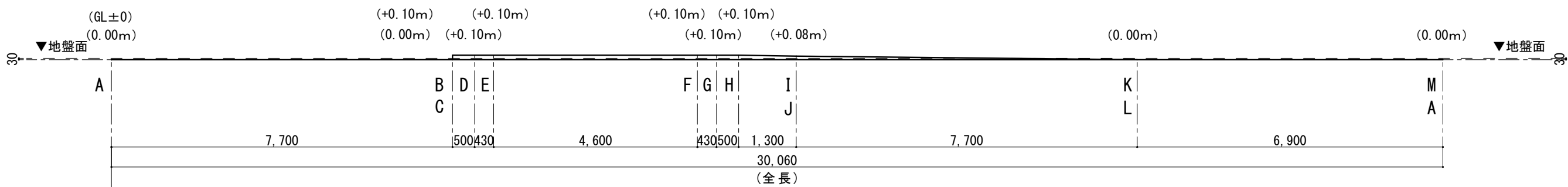
				無窓階（消防法）									
階層	室 名	床面積	建具記号	有効W	有効H	係数	数量	有効開口面積			必要面積 1/30	判定	
1F	1 階床面積	39.78 ㎡	AW-1	1.70	1.20	0.50	1	1.02	2.04 ㎡	>	1.33 ㎡	OK	
				1.70	1.20	0.50	1	1.02					
2F	2 階床面積	41.80 ㎡	AW-4	0.75	1.20	1.00	2	1.80	1.80 ㎡	>	1.39 ㎡	OK	

一級建築士事務所登録 梨1-041041 号  
一級建築士 第190666号  
秋山 昭



※ ( ) の数値はGLからの高さを示す

地盤面の算定 (平面)



地盤面の算定 (展開)

【 地盤面 】＝ (接する部分の見付面積の合計／接する部分の長さの合計)  
＝ 1.0710／30.06 ＝ 0.0356m (地盤面 (平均) ＝ G.L+0.03m)

接する部分の見付面積の合計	計算式	計
	A～B : 7.70×0.00	0.0000 m <sup>2</sup>
	C～H : 6.46×0.10	0.6460 m <sup>2</sup>
	H～I : 1.30× (0.10+0.08) × 1/2	0.1170 m <sup>2</sup>
	J～K : 7.70×0.08×1/2	0.3080 m <sup>2</sup>
	L～M : 6.90×0.00	0.0000 m <sup>2</sup>
	見付面積の合計	1.0710 m <sup>2</sup>

- ※ GL＝±0 とする
- ※ 接する部分の長さ A～B : 7.70m
- ※ 接する部分の長さ C～H : 0.50+0.43+4.60+0.43+0.50＝6.46m
- ※ 接する部分の長さ H～I : 1.30m
- ※ 接する部分の長さ J～K : 7.70m
- ※ 接する部分の長さ L～M : 6.90m
- ※ 接する部分の長さの合計 A～M : 7.70+6.46+1.30+7.70+6.90＝30.06m

一級建築士事務所登録 梨1-041041 号  
一級建築士 第190666号  
秋山 昭



鉄筋コンクリート構造標準図（１）

１．一般事項

- (1) 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。
- (2) 記号
- d・・・異形棒鋼の呼び名に用いた数値 丸鋼では径 D・・・部材の成 R・・・直径
- @・・・間隔 r・・・半径 C・・・中心線 l<sub>o</sub>・・・部材間の内法寸法 h<sub>o</sub>・・・部材間の内法高さ
- ST・・・あばら筋 HOOP・・・帯筋 S.HOOP・・・補強帯筋 φ・・・直径又は丸鋼

２．鉄筋加工、かぶり

(1) 鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180°	135°	90°	折まげ角度90°はスラブ筋・壁筋の末端部またはスラブと同時に打ち込むT形およびL形梁のキャップタイのみ用いる。 ※片持スラブ上端筋の先端
図				
鉄筋の余長	4d以上	6d以上(※4d以上)	8d以上(※4d以上)	

折曲げ内法寸法 R は、SR235～SD345の径16及びD16以下は3d以上、SD295～SD345のD19～D38は4d以上、D41及びSD390は5d以上

スラブ筋、壁筋には丸鋼は使用しない。

(2) 鉄筋中間部の折曲げの形状 鉄筋の折曲げ角度90°以下

図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折り曲げ内のり寸法(R)
	帯筋 あばら筋 スライル筋	SR235、SR295 SD235A、SD235B SD345	φ16、D16以下 φ19、D19以上	3d以上 4d以上
	上記以外の鉄筋	SD235A、SD235B SD345 SD390	D16以下 D19～D25 D29～D41	4d以上 6d以上 8d以上

(3) 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

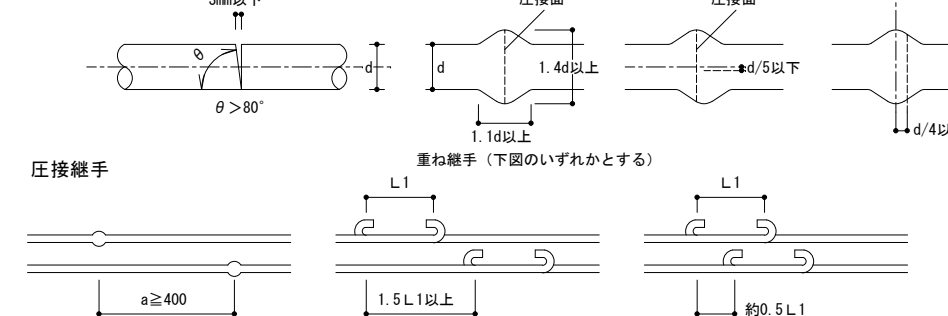
鉄筋の種類	普通、軽量コンクリートの設計基準強度の範囲(N/mm²)	定着の長さ		特別の定着及び重ね継手の長さ(L1)
		一般(L2)	下端筋(L3) 小梁 スラブ	
SR235	21、24 18以下	35d フック付き 45d フック付き	25d フック付き 150mmフック付き	35d フック付き 45d フック付き
SD295A SD295B SD345	27～36 21、24 18以下	30d または 20d フック付き 35d または 30d フック付き 40d または 35d フック付き	25d または 15d フック付き	35d または 25d フック付き 40d または 30d フック付き 45d または 30d フック付き
SD390	27～36 21、24	35d または 25d フック付き 40d または 30d フック付き		40d または 30d フック付き 45d または 35d フック付き

註 許容応力度、許容応力度等計算、その他構造計算を要しない小規模建築物の場合は、梁主筋の柱への定着は40dとする

継手

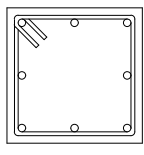
1. 末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない
2. 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
3. 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする
4. D29以上の異径鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない
5. 鉄筋径の差が7mmを超える場合は、圧接としてはならない

ガス圧接形状



(4) かぶり厚さ (単位: mm)

ひび割れ誘発目地部など鉄筋のかぶり、厚さが部分的に減少する箇所についても最小かぶり厚さを確保する。



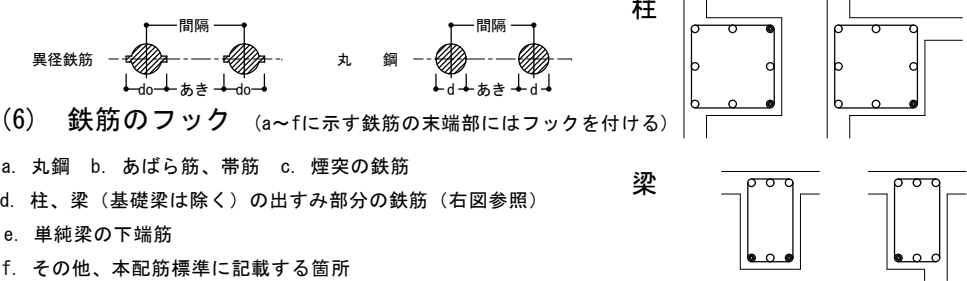
かぶり厚さ

部 位	設計かぶり厚さ 最小かぶり厚さ	
	(mm)	(mm)
土に接しない部分	屋根スラブ	30
	床スラブ	20
	非耐力壁	40 <sup>(1)</sup>
	耐力壁	40 <sup>(1)</sup>
土に接する部分	柱・はり・床スラブ・耐力壁	50 <sup>(2)</sup>
	基礎	70
	換気壁	40 <sup>(3)</sup>
	基礎	60 <sup>(4)</sup>

〔注〕 (1) 軽量コンクリートの場合は、10mm増しの値とする。  
(2) ( ) 内は仕上げがある場合。  
(3) 土に接する部分のかぶりは、増加する厚さを打ち増しとする。

(5) 鉄筋のあき

丸鋼では径、異径鉄筋では呼び名に用いた数値1.5d以上  
粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25以上



(6) 鉄筋のフック (a～fに示す鉄筋の末端部にはフックを付ける)

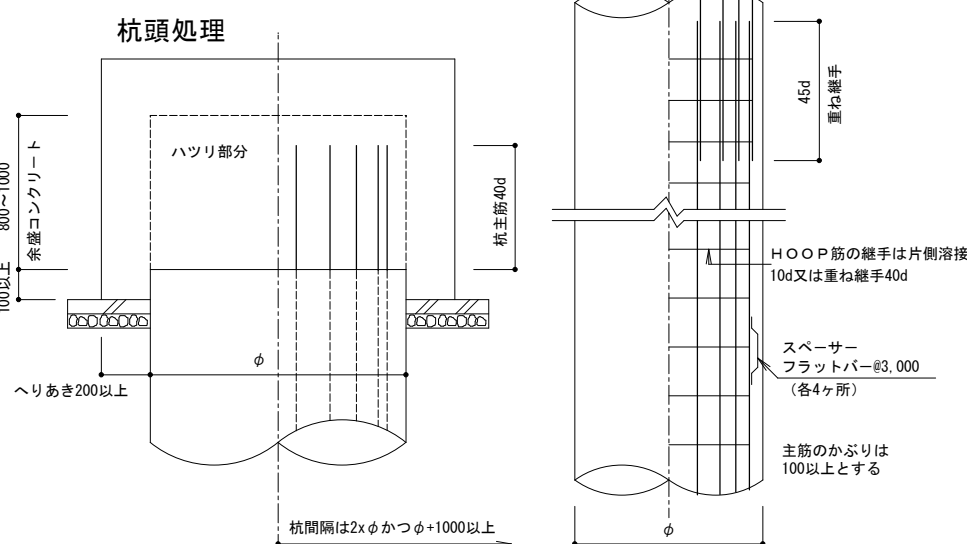
- a. 丸鋼 b. あばら筋、帯筋 c. 煙突の鉄筋  
d. 柱、梁（基礎梁は除く）の出すみ部分の鉄筋（右図参照）  
e. 単純梁の下端筋  
f. その他、本配筋標準に記載する箇所

３．杭（地震力等の水平力を考慮して、別途検討すること。）

(1) P C杭、又はP H C杭の全てに補強を行う

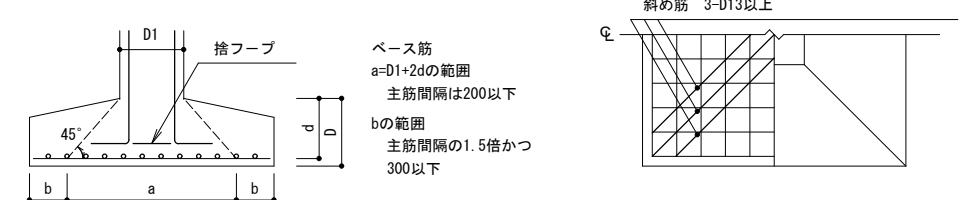
所定の位置に止まった場合		所定より低く止まった場合		
杭 径	300φ、350φ	400φ	450φ	500φ
補 強 筋	6 - D13	8 - D13	10 - D13	8 - D16
HOOP	D10 - @150			

(2) 場所打ちコンクリート杭

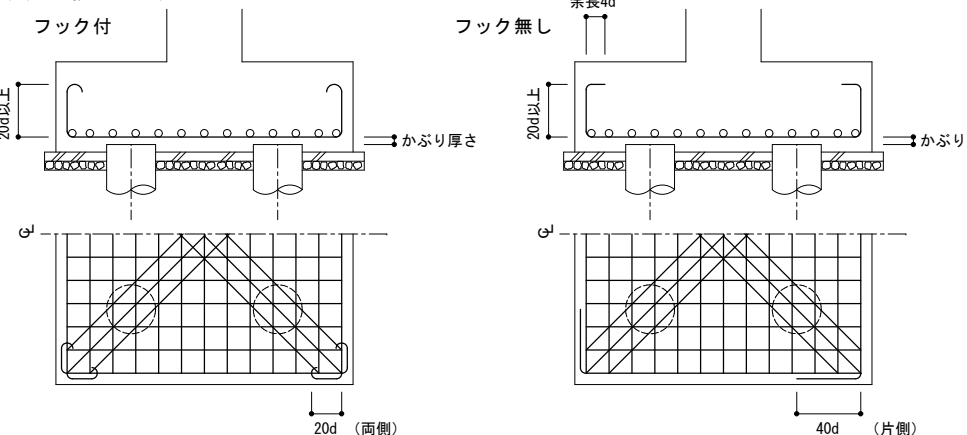


４．基礎

(1) 直接基礎



(2) 杭基礎

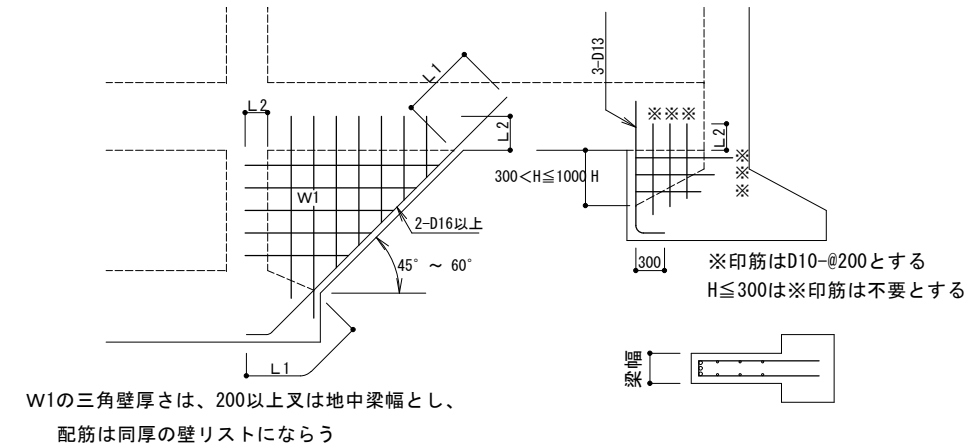


(3) ベタ基礎

ハンチを付けた場合 (a≥3)

1. 耐圧版鉄筋の継手位置は床スラブにならう  
但し上筋と下筋を読みかえる
2. ①の鉄筋はスラブ主筋の径以上とする
3. ②の鉄筋はD13以上
4. 埋戻し土のある場合は40を70とする

(4) 基礎接合部の補強

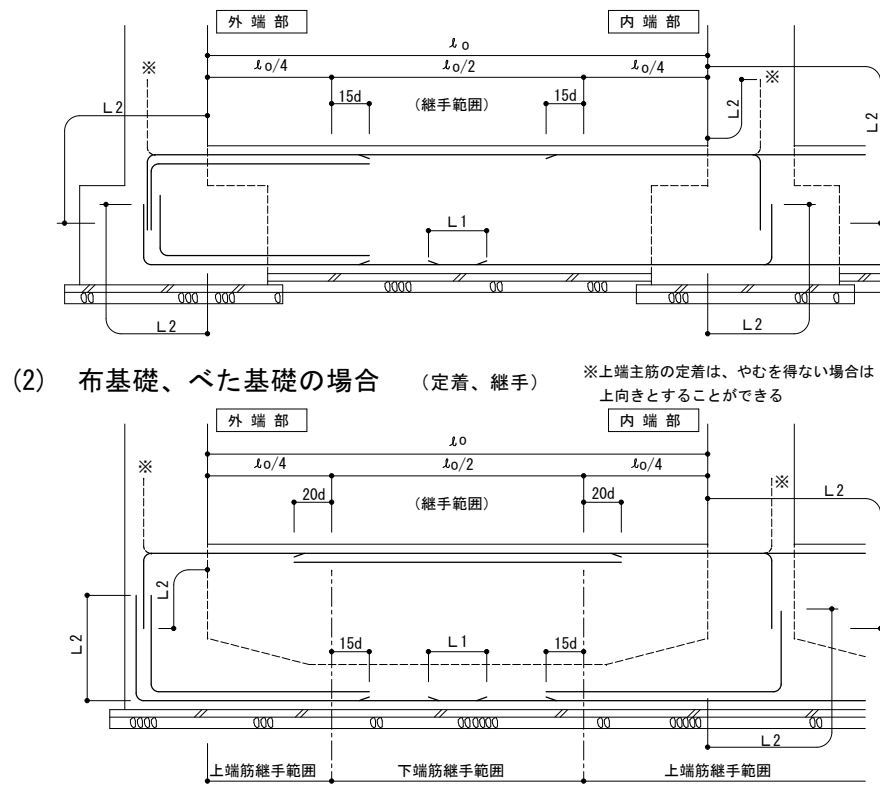


W1の三角壁厚さは、200以上又は地中梁幅とし、  
配筋は同厚の壁リストにならう

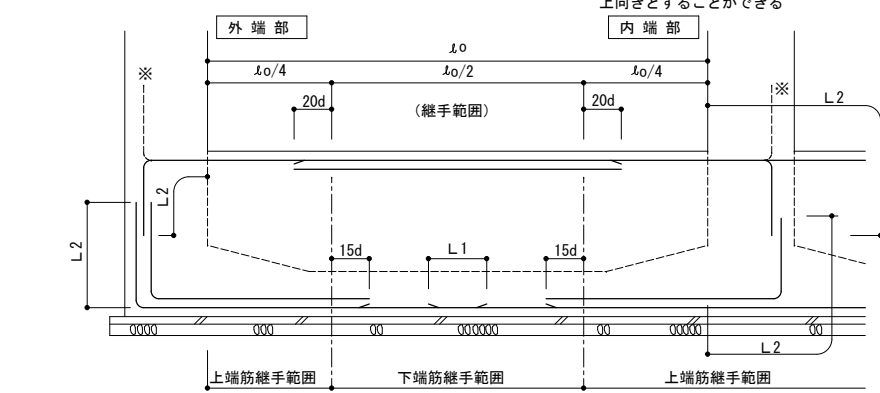
５．地中梁

(1) 独立基礎、杭基礎の場合 (定着、継手)

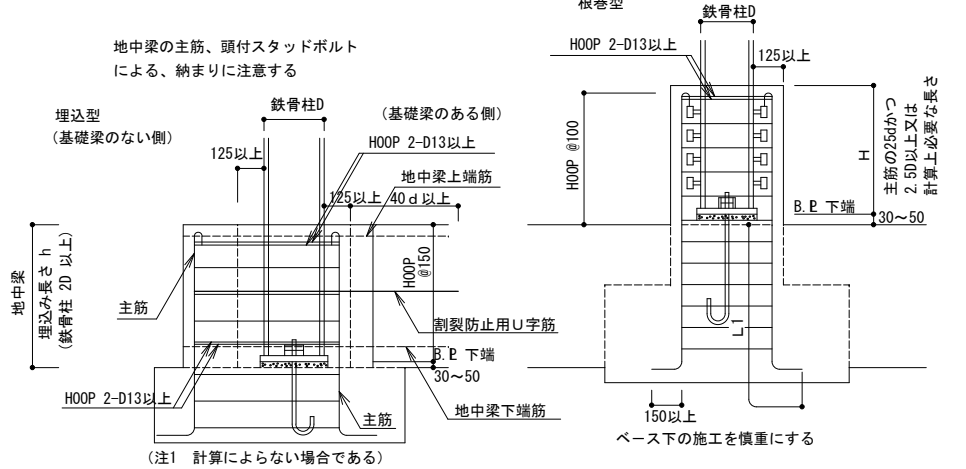
(長期荷重が支配的な場合の継手は7.(2)大梁継手位置とする。)



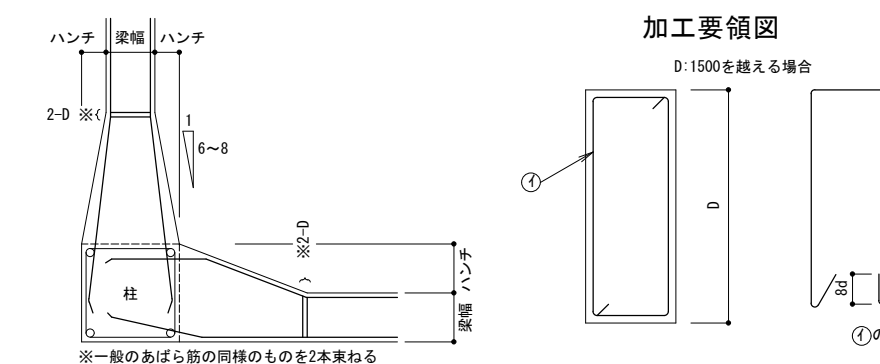
(2) 布基礎、べた基礎の場合 (定着、継手)



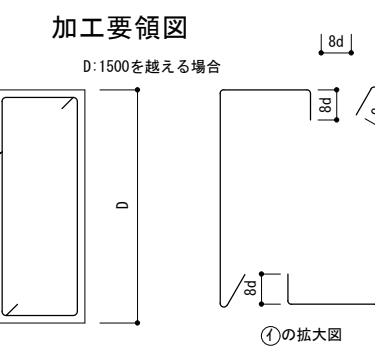
(3) 小規模鉄骨造の柱脚固定配筋



(4) 水平ハンチの場合のあばら筋加工要領

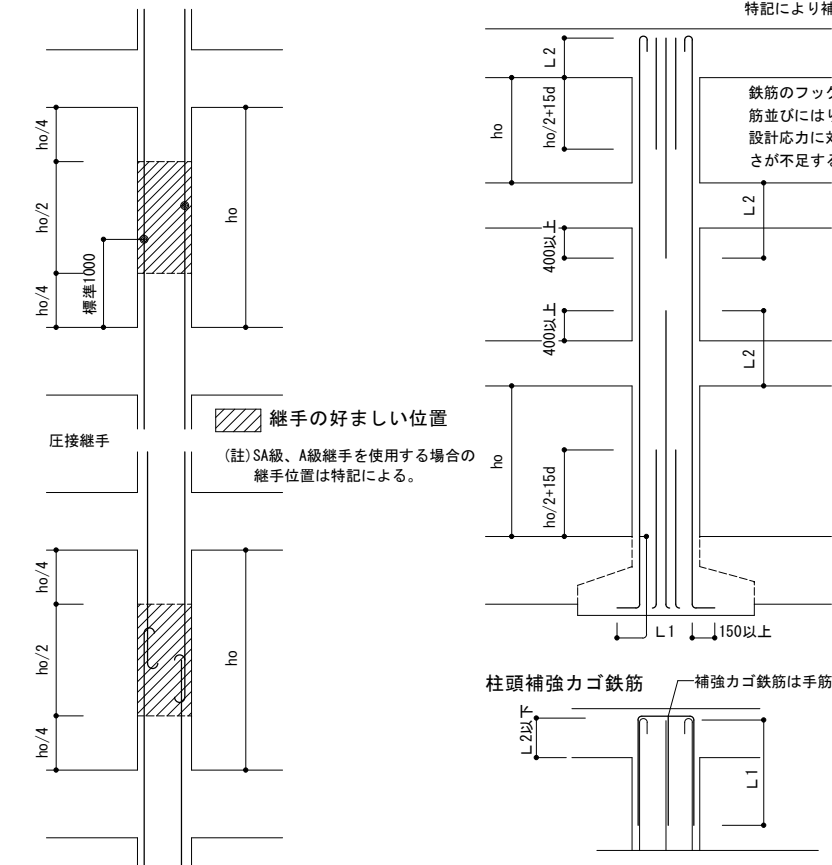


(5) せいの高い梁のあばら筋加工要領図

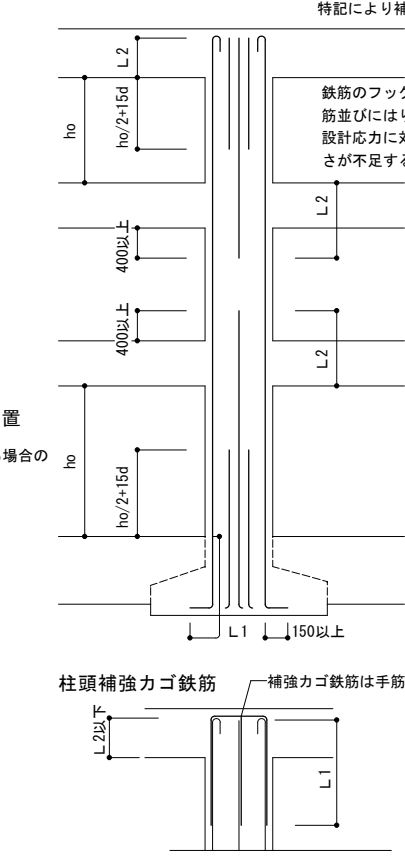


６．柱

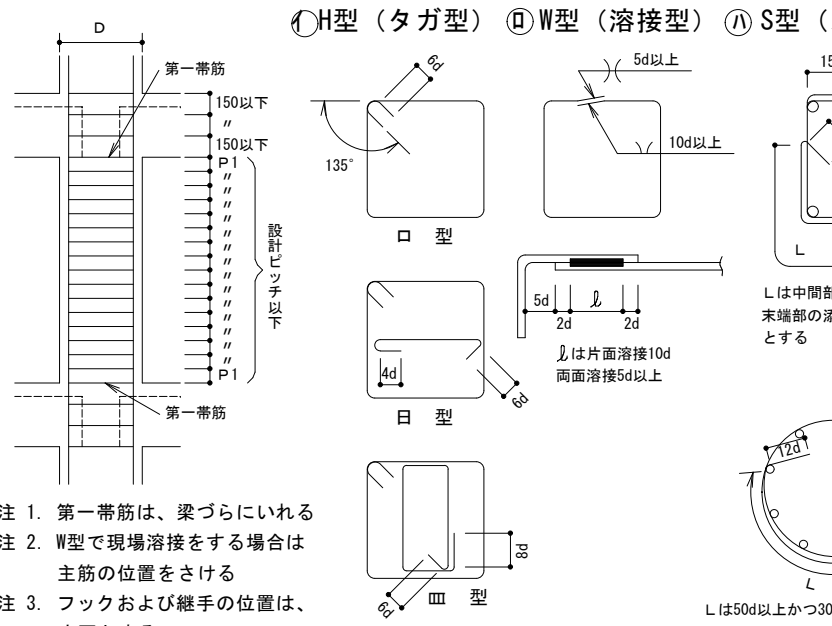
(1) 柱主筋の継手



(2) 柱主筋の定着



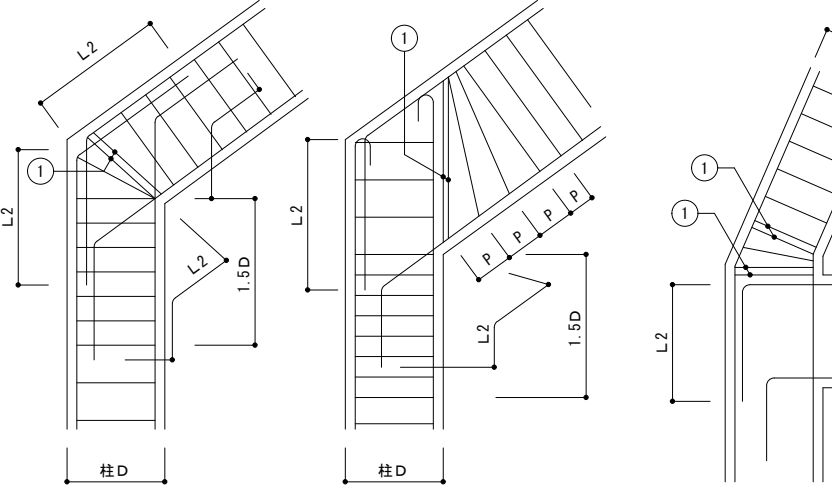
(3) 帯筋



注 1. 第一帯筋は、梁づらにのける  
注 2. W型で現場溶接をする場合は  
主筋の位置をさける  
注 3. フックおよび継手の位置は、  
交互とする

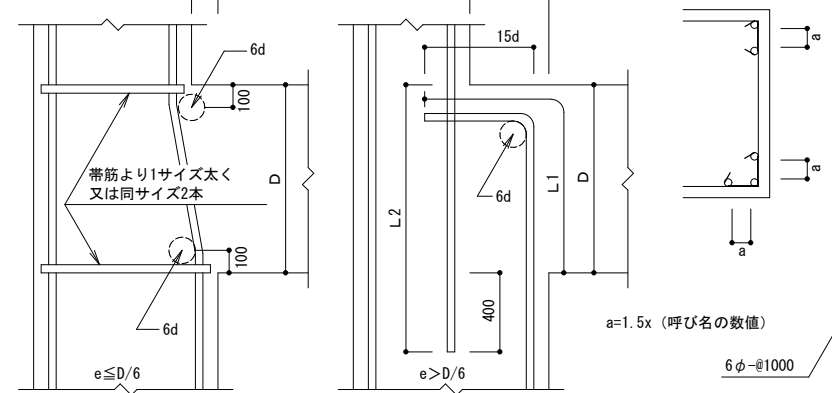
(4) 斜め柱・斜め梁

○柱幅と斜材(柱又は梁)幅が同一 ○柱幅と斜材幅が異なる ○柱脚で斜材となる

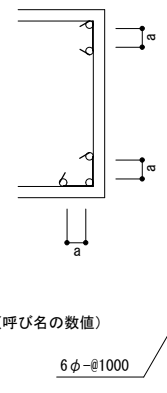


注 1. 1.50の範囲の柱の帯筋は一段太いものか、又はダブル巻きとし@100以下とする  
注 2. ①の鉄筋は2-D13かつ、2本の一段太い鉄筋とする

(5) 絞り



(6) 二段筋の保持

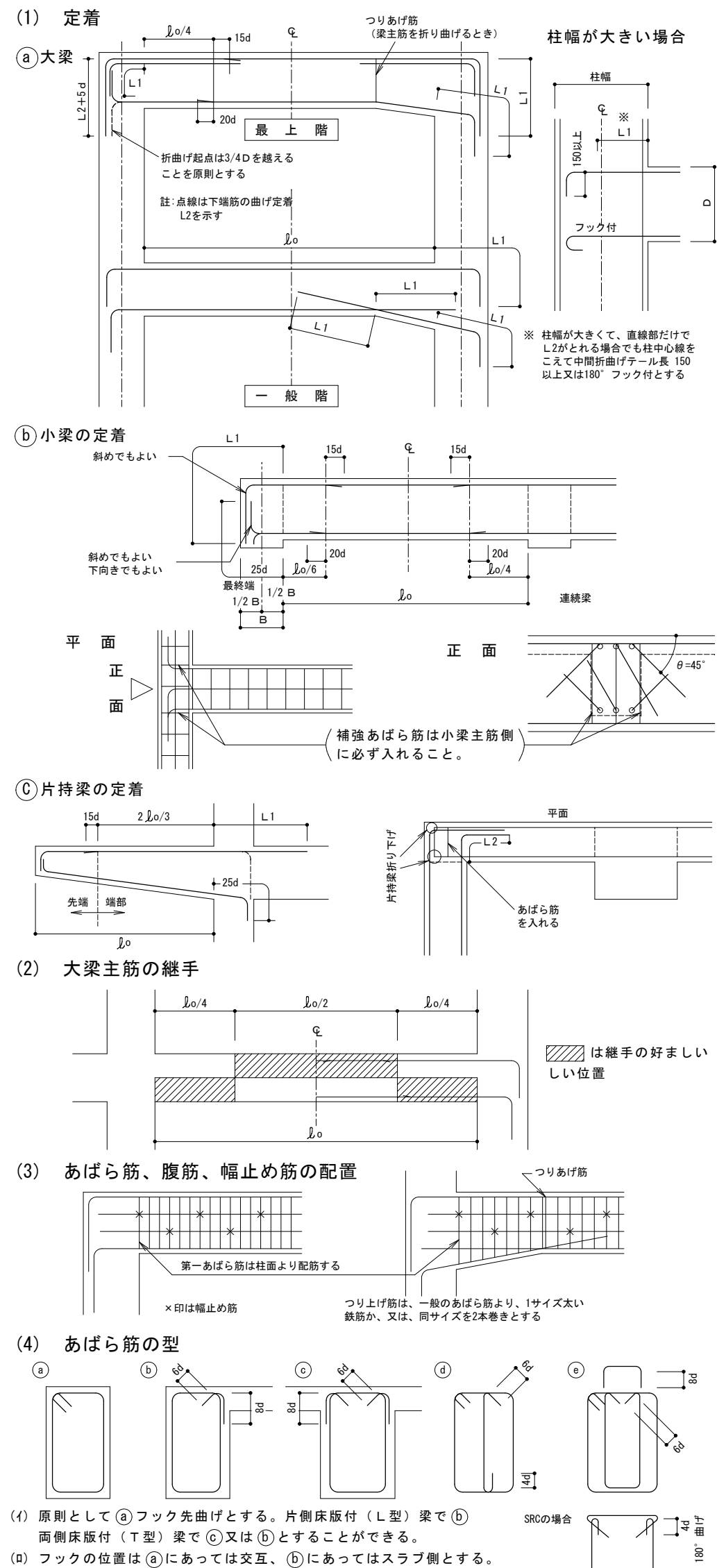


・構造設計担当・巧設計室  
1級建築士 宮原 仁 大巨登録 第282500号  
構造設計一級建築士 交付番号 第 6894 号

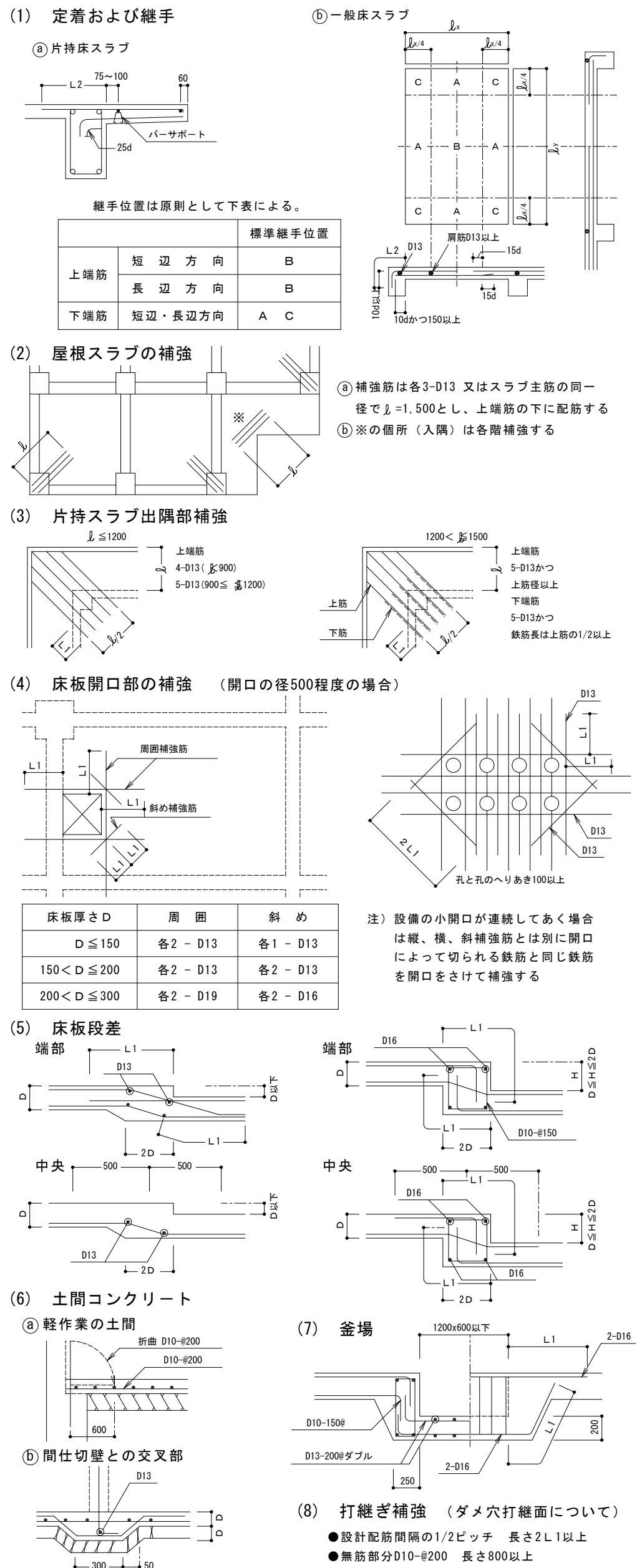
鉄筋コンクリート構造標準図（2）

L＝鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)の2～(3)による。

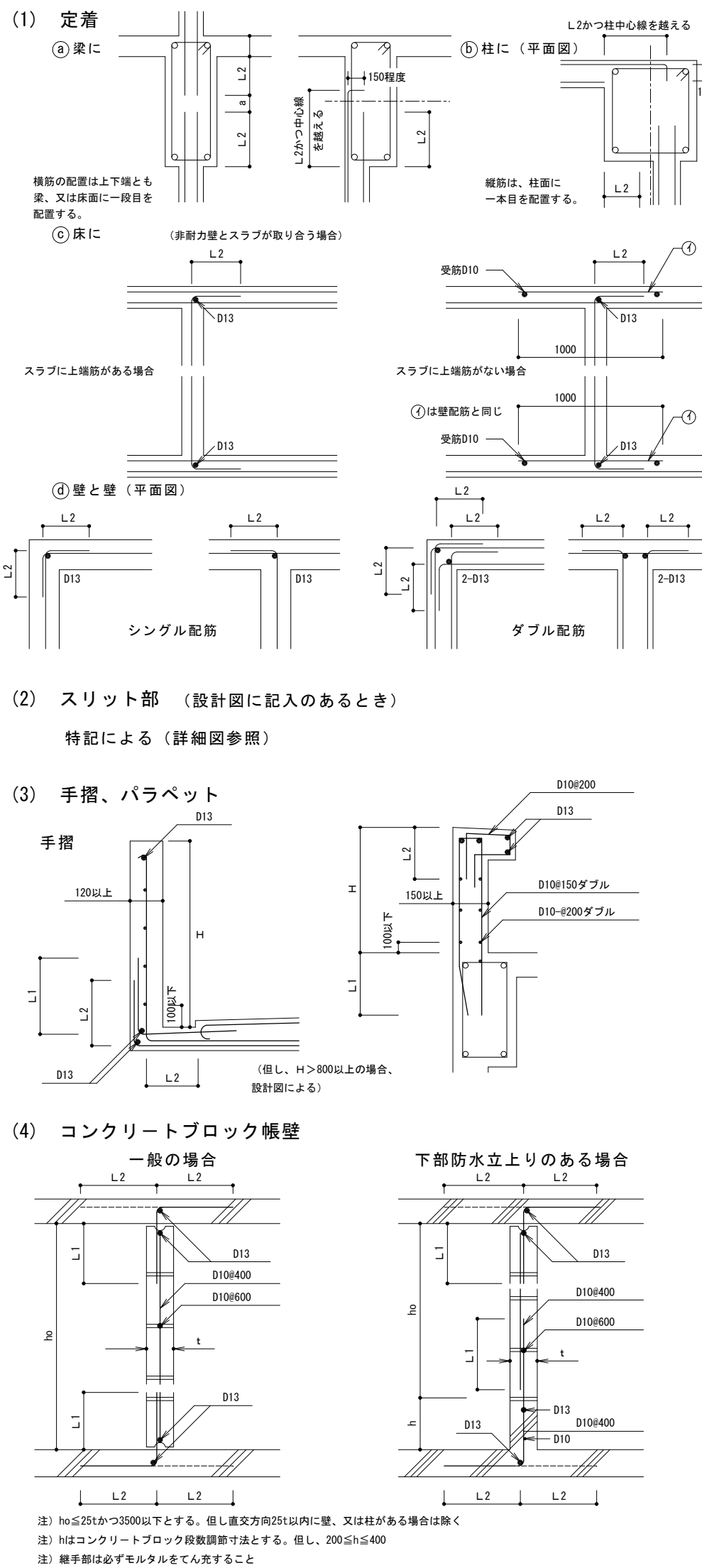
7. 大梁、小梁、片持梁



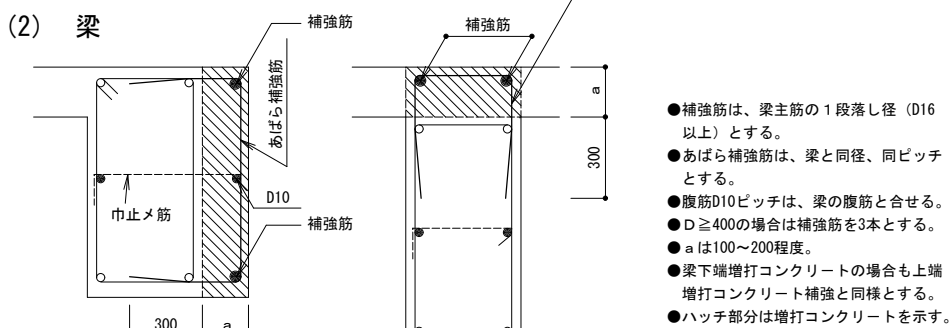
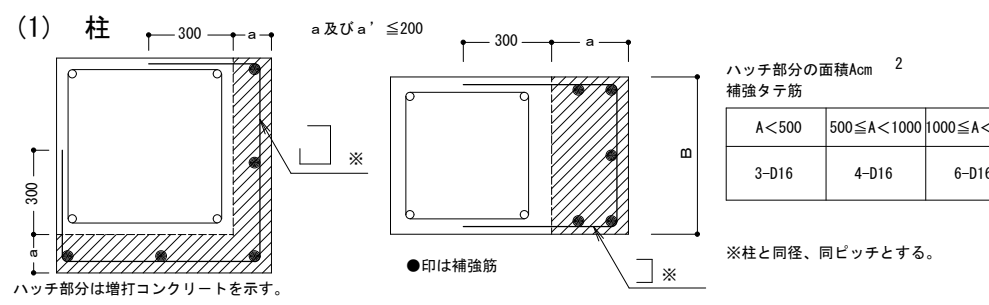
8. 床版



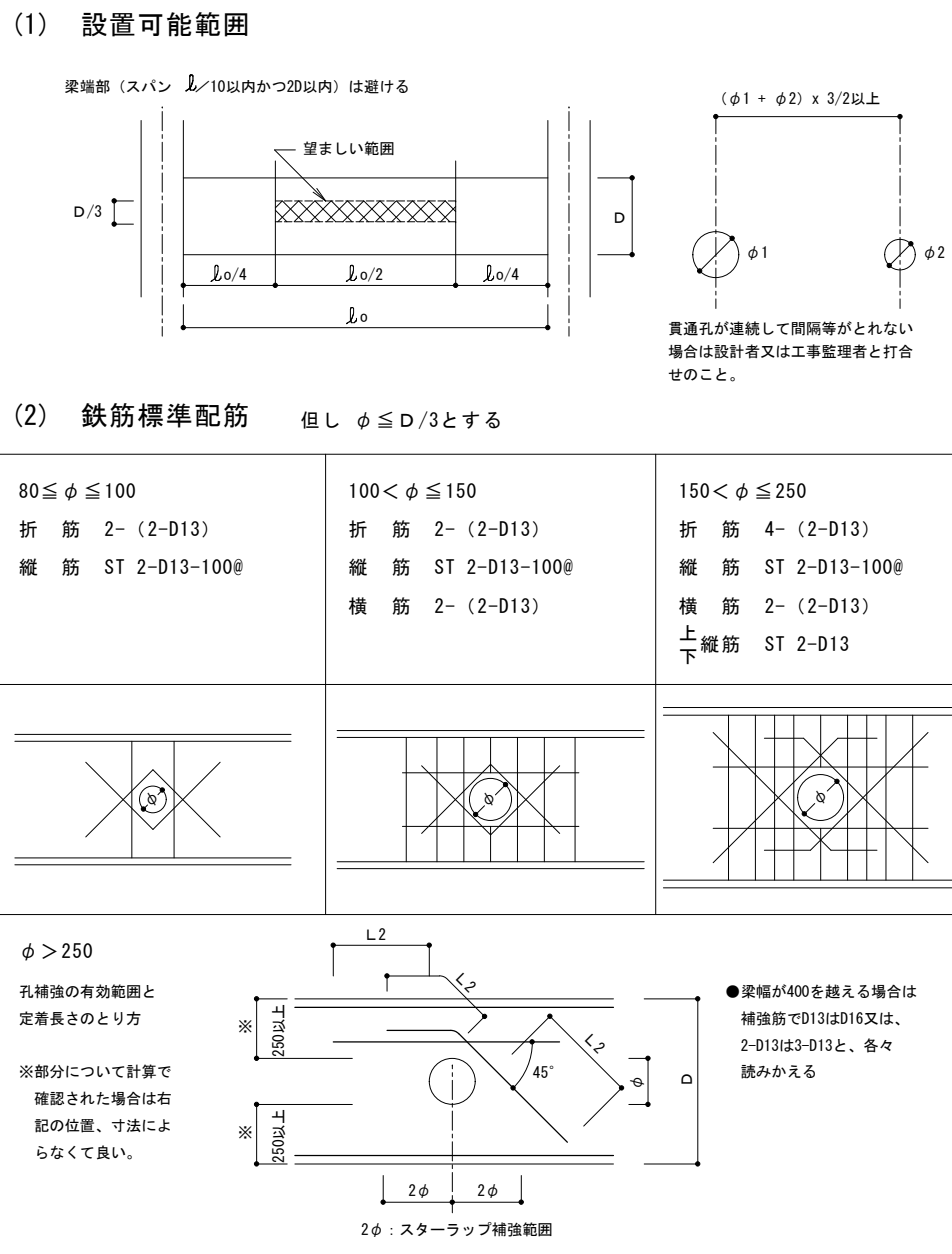
9. 壁



10. 柱、梁増打コンクリート補強



11. 梁貫通孔補強



・構造設計担当・ 巧 設計室  
1級建築士 宮原 仁 大臣登録 第282500号  
構造設計一級建築士 交付番号 第 6894 号



鉄骨構造標準図（１）

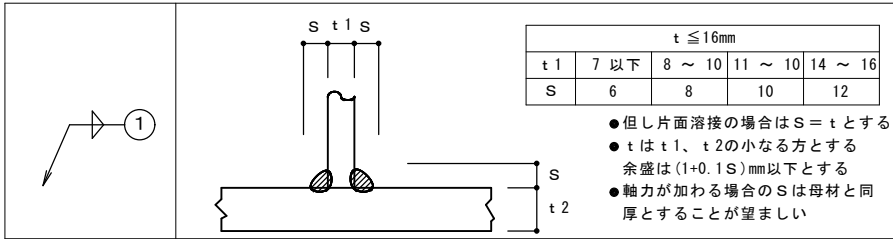
１．一般事項

- (1) 材料及び検査
- (a) 構造設計仕様による
- (b) 適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが40mm以下のものとする
- (c) 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法、精度及びその他の結果を添付する
- (2) 工作一般
- (a) 鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監理者の承認を得る
- (b) 鋼管部材の分岐継手部の相貫切断は、鋼管自動切断機による
- (c) 高張力鋼のひずみきょう正は、冷間きょう正とする
- (3) 高力ボルト接合
- (a) 本総めに使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない
- (4) 溶接接合
- (a) 溶接工
- 溶接工は施工する溶接に適用するJIS Z 3801（手溶接）又はJIS Z 3841（半自動溶接）の溶接技術検定試験に合格し引続き、半年以上溶接に従事している者とする
- (b) 溶接機器
- (イ) 交流アーク溶接機 300A～500A (ニ) 炭酸ガスアーク半自動溶接機
- (ロ) アークエアークラウジグ機（直流） (ホ) 溶接電流を測定する電流計
- (ハ) サブマージアーク溶接機1式 (ヘ) 溶接棒乾燥器
- (c) 溶接方法
- アーク手溶接（MC） ガスシールドアーク半自動溶接（GC）
- セルフ（ノンガス）シールドアーク半自動溶接（NGC） アークエアークラウジグ（AAG）
- (d) 溶接姿勢
- 下向 F 立向 V 横向 H 上向 O
- (e) 仮付溶接工は、原則として本工事に従事する者が行う
- (イ) 仮付位置
- 仮付溶接は溶接の始、終端、隅角部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける
- 仮付不良 良 仮付不良 良
- (ロ) 突合せ溶接部の仮付溶接は必ず裏はつり側に施工する
- 仮付溶接 裏はつり側にする。 開先面
- (f) 溶接施工
- (イ) エンドタブ
- I 突合せ溶接、部分溶け込み溶接の両端部に母材と同厚で同開先形状のエンドタブを取り付ける
- II エンドタブの材質は、母材と同質とする
- III エンドタブの長さは、MC：35mm以上
- NGC、GC：40mm以上とし特記のない場合は、溶接終了後母材より10mm程度残し切断して、グラインダー仕上げとする
- IV プレス鋼板タブ使用については、資料を提出して設計者又は工事監理者の承認を得る
- (ロ) 裏あて金
- 材質は母材と同質材料とした厚さは手溶接で6mm、半自動溶接で9mm以上とする
- (ハ) スカールアップ 半径は30～35mmとする (ニ) ノンスカールアップ工法
- 但し梁成がD=150mm未満の場合のスカールアップはr=20mmとする
- スカールアップ 裏当て金
- (ホ) 裏はつり
- 標準図の溶接においてAAGと記載のある部分は全て、溶接監理者の確認を励行し、部材に確認マークをつける
- (ヘ) 現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。又、開先部をいためない様に、養生を行なう
- (5) 塗装
- コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装をしない

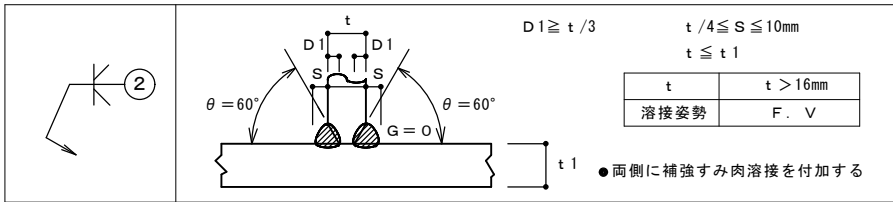
２．溶接基準図

(注) f：余盛 G：ルート間隔 R：フェース S：脚長 (単位mm)

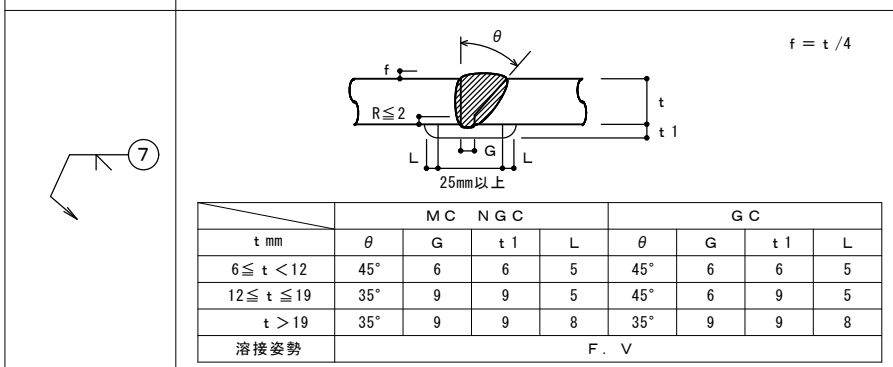
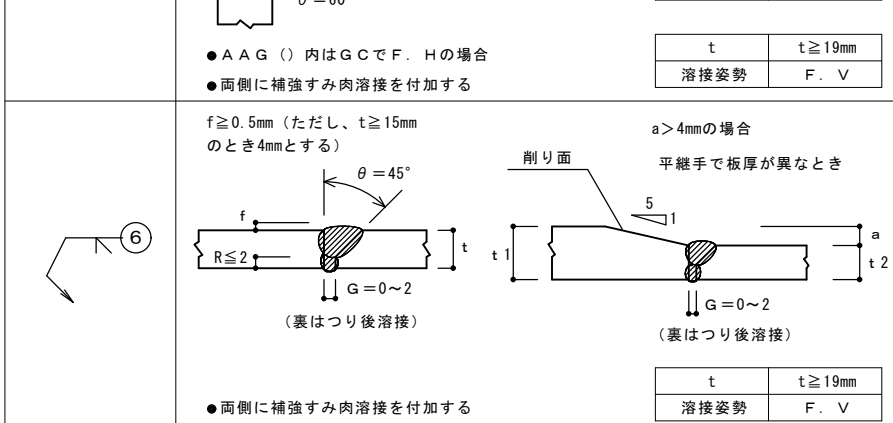
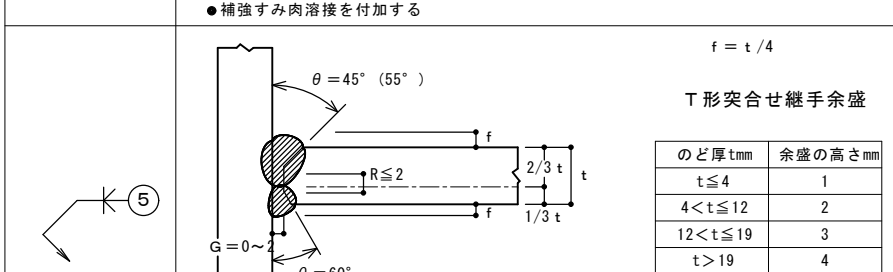
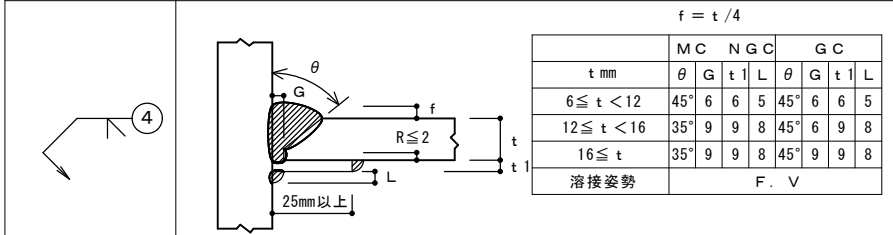
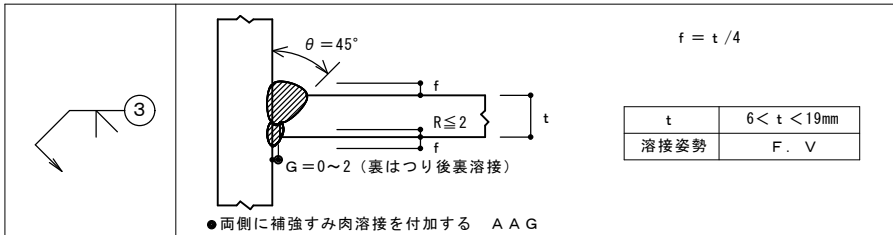
(1) スミ肉溶接



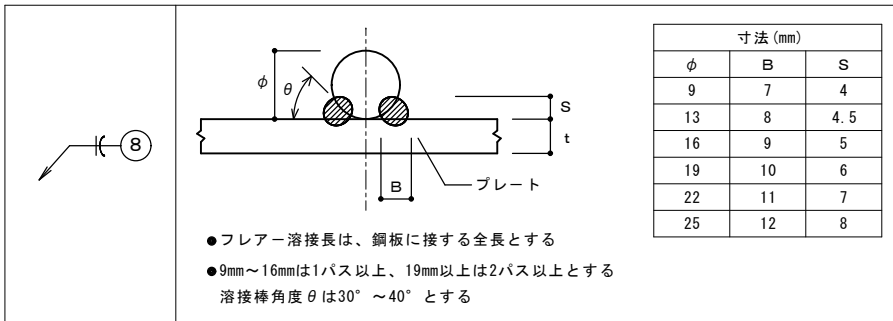
(2) 部分溶け込み溶接 (使用箇所に注意)



(3) 突合せ溶接 (平継手 T形継手)

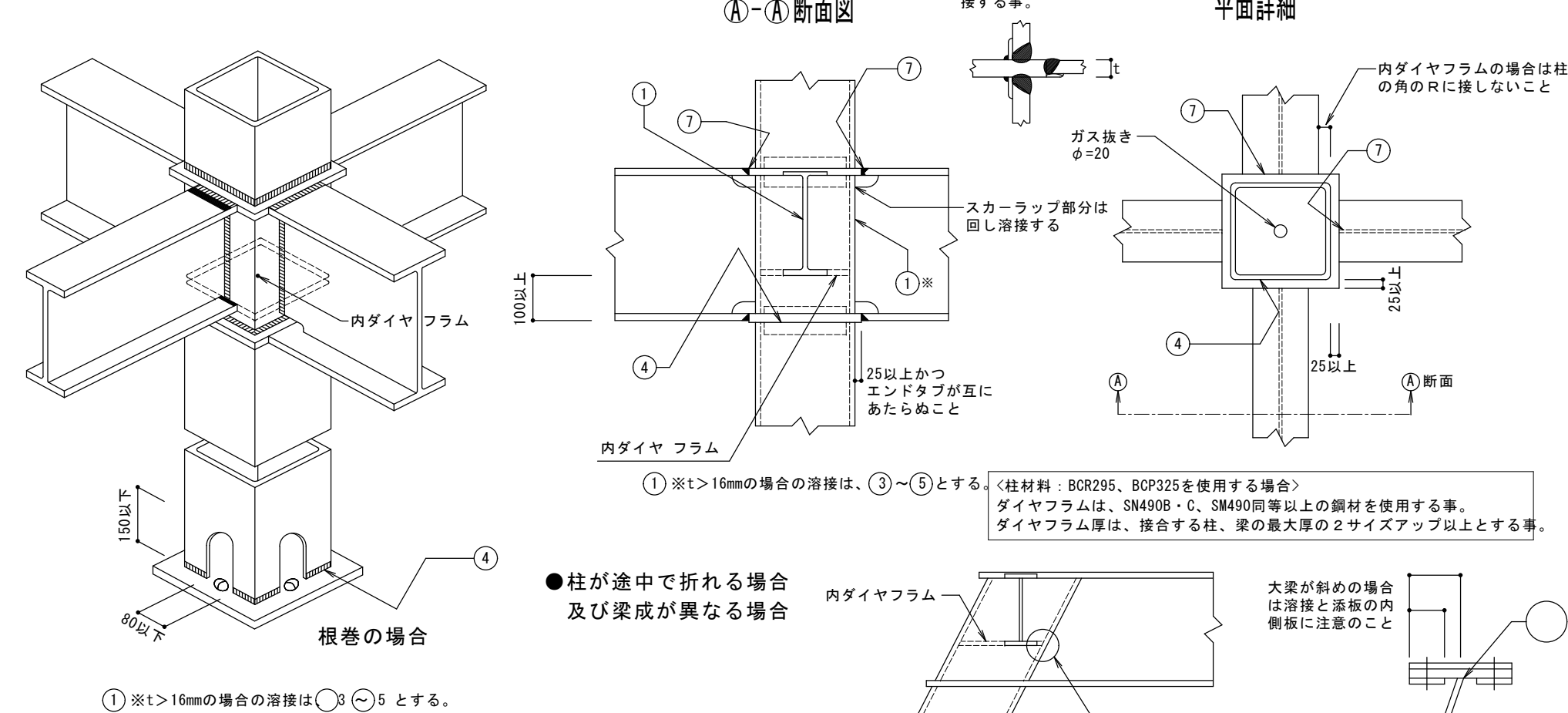


(4) フレアー溶接



○溶接記号番号を○中に記入のこと

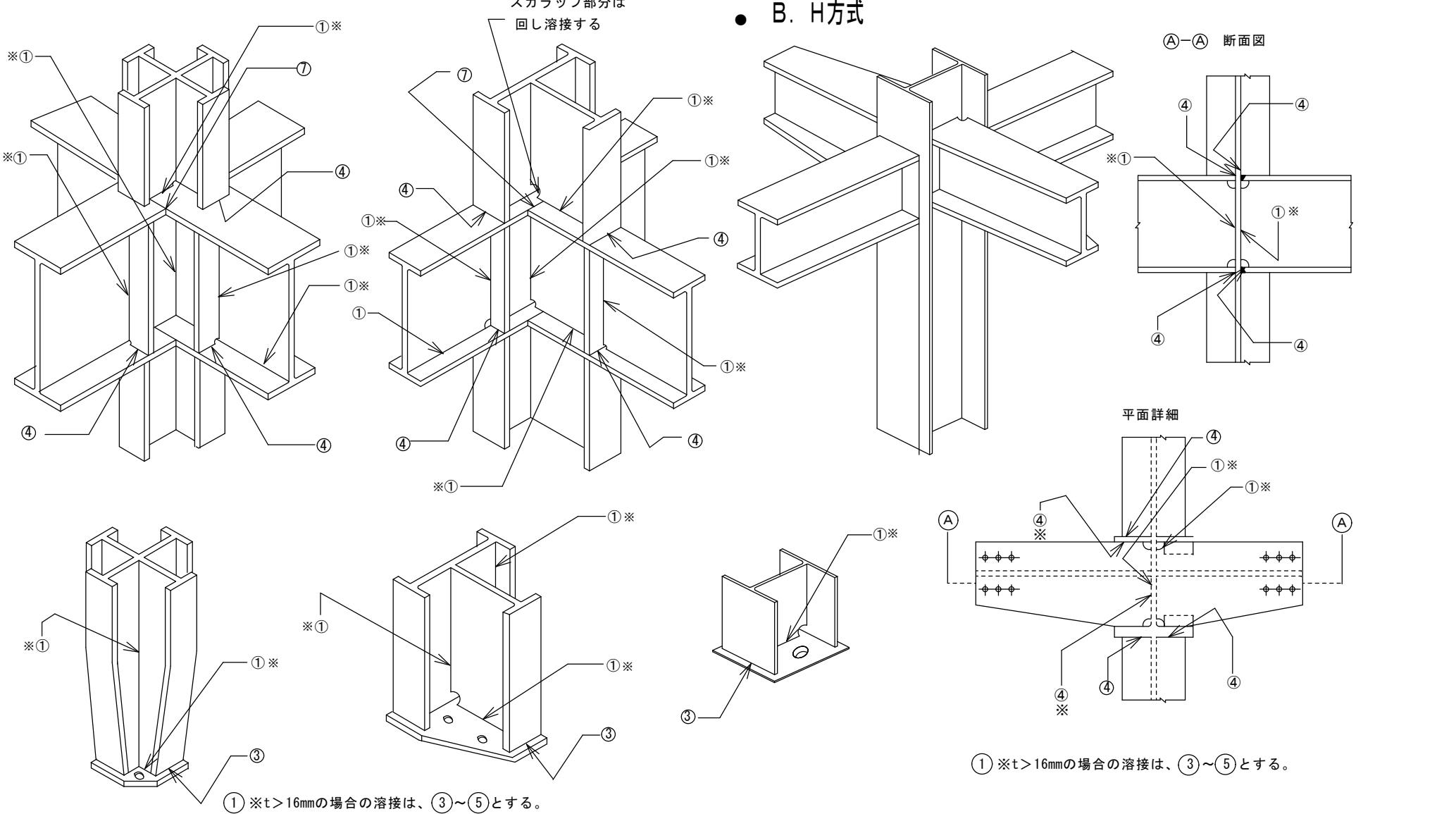
●BOX型（通しダイヤフラムの場合）



●鋼材種別による溶接条件

鋼材の種類	溶接材料	入熱 (KJ/cm)	パス温度差 (℃)
400N級鋼	JIS Z 3211、3212、3214	40以下	350以下
	YGW-11、15		
	YGW-18、19		
	YGA-50W、50P		
490N級鋼	JIS Z 3212、3214	40以下	350以下
	YGW-11、15		
	YGW-18、19		
	YGA-50W、50P		

●H型



・構造設計担当・巧 設計室  
1級建築士 宮原 仁 大臣登録 第282500号  
構造設計一級建築士 交付番号 第 6894 号

株式会社 進藤設計事務所

承認 設計 担当  
縮尺 NoScale  
設計年月日

工事名称 旭分団詰所建設工事  
図面名称 鉄骨構造標準図（１）

No.  
S-O-4





1. 工法概要

1.1 構成部材

①アンカーボルト  
②注入座金  
③Mナット  
④ベースパックグラウト(グラウト材)  
⑤定着座金  
⑥テンプレート

⑦フレームポスト  
⑧フレームベース  
⑨ステコンアンカー  
(コンクリートアンカー)  
⑩ベースプレート

(注)上図①～⑩の構成部材はベースパック構成部品として供給される。  
(注)上図⑥～⑨は現場状況により仕様が異なる場合がある。

1.2 柱脚の定着方法概要

グラウトロート  
グラウト材  
注入座金  
注入栓(楔木等)

2. 柱

F値(N/mm <sup>2</sup> )	鋼種	採用
235	BCP235	
	STKR400	
295	BCR295	○
	TSC295	

3. 構成部材・寸法

3.1 ベースプレート

●材質  
SN490B [JIS G 3136]

形状(イ)

形状(ハ)

形状(イ) 形状(ハ)

3.3 Mナット

【建築基準法第37条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】

呼び	A	B	(e)
M27	22	41	47
M30	24	46	53
M33	26	50	58
M36	29	55	64
M39	31	60	69

3.4 定着座金

i) アンカーフレーム Aタイプの場合

適用アンカーボルト	g1	t	d	材質
M27	55	9	28	SS400
M30	55	9	31	
M33	60	9	34	
M36	65	12	37	
M39	80	12	40	

ii) アンカーフレーム Cタイプ の場合

適用アンカーボルト	g1	g2	t	d	材質
M30	55	168	9	32	SS400
M33	60	173	9	35	
M36	65	178	9	38	

3.5 注入座金

【建築基準法第37条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】

記号	適用アンカーボルト	a1	a2	c	t	d
PM27	M27	32	42	101	18	28
PM30	M30	32	42	101	18	31
PM33	M33	35	45	110	18	34
PM36	M36	35	45	110	18	37
PM39	M39	38	48	118	18	40

3.6 フレームベース

i) Aタイプ

ii) Cタイプ

iii) 特Cタイプ

3.7 アンカーフレーム形状および据付け時諸寸法

●ベースパックの据付け高さ(h寸法)はフレームベース下端からコンクリート柱型天端までを示す。据付けに最低限必要な高さ(最低h寸法)は下表に記載の値とする。

タイプ	h寸法
Aタイプ	113
Cタイプ※	160
特Cタイプ	160

※杭頭納まり及び配筋状況に合わせて特Cタイプを選択できる。

4. コンクリート柱型

4.1 形状・材質

●形状  
形状は正方形とし、寸法は下表に記載の値とする。

●コンクリート  
普通コンクリートとし、設計基準強度は21N/mm<sup>2</sup>以上とする。

●鉄筋  
SD295 (D13, D16)  
SD345 (D19, D22)

4.3 基礎立上がり

●基礎立上がり高さは50mm以下とする。  
※ただし基礎立上がり高さが50mmを超え300mm以下の場合、Lシリーズを使用することができる。

基礎梁天端  
あるいは  
フーチング天端

立上り高さ

4.4 特記事項

上記内容によらない場合は下記による。

採用

☐ 下表標準柱型寸法からの変更あり (「柱型寸法最大・最小値一覧」による)

☐ 下表標準配筋仕様からの変更あり

☐ 立上り筋に頂部フックが必要

6. 工事場施工

6.1 基礎工事

●柱脚部の捨コンの厚さは90mm以上とし、表面は平滑に仕上げる。

6.2 アンカーボルト据付け

●アンカーボルト(フレーム)の組立ては、4隅のアンカーボルト4本で組立てを行う。

●フレームベースはステコンアンカーにより水平に固定する。

●位置決めは、テンプレートの中心線と地墨等の柱心を合致させることにより行い、標準許容差は下図による。

図

柱心

e1

テンプレート

中心線

アンカーボルト

けがき線

e1 : 柱心とテンプレートのけがき線との許容差

標準許容差

-2≤e1≤2

基準高さより誤差は

-3≤e≤10

6.3 配筋およびコンクリート打設

●配筋はアンカーボルト(フレーム)との取り合いを考慮する。

●コンクリート打設前にテンプレート位置精度を確認する。

6.4 建方

●レベルモルタルはベースパックグラウト(グラウト材)を使用し、大きさは右図による。

ベースパックグラウト

約30mm

2/3程度

ℓ

6.5 アンカーボルトの本締め(弛み止め)

●本締めはグラウト材の充填前に行い、ダブルナットを標準とする。

6.6 ベースパックグラウト(グラウト材)の注入

●グラウト材のカクハンは、グラウト材1袋(6kg)に対して、計量カップで1.0～1.1ℓの水を加え、電動カクハン機で混練することにより行う。

●グラウト材の注入は、グラウトロートを注入座金にセットし、グラウト材の自重圧により他の注入座金からグラウト材が噴き出るまで行う。

7. 本工法の施工及び施工管理

●本工法は、管理者又は施工者(元請)の管理のもとで実施するものとする。

●本工法のうち6. 2アンカーボルト据付け及び6. 6ベースパックグラウトの注入は、ベースパック・セレクトベース施工技術委員会によって認定された有資格者(ベースパック施工管理技術者・施工技能者)が施工を実施し、チェックシート等により施工管理を行うものとする。

●ベースプレート溶接部の施工管理は、鉄骨製作者に属する鉄骨製作管理技術者等による。

溶接方法	鋼種	板厚(mm)	予熱なし	予熱なし	予熱なし
低水素系被覆アーク溶接	SN490B	t<32	32≤t<40	40≤t≤50	50℃
CO <sub>2</sub> ガスシールドアーク溶接	SN490B	予熱なし	予熱なし	予熱なし	予熱なし

■検査方法：溶接部の検査は超音波探傷検査により行う。

■施工管理：7. 本工法の施工及び施工管理参照。

承認

設計

担当

縮尺

NoScale

設計年月日

工事名称

旭分団詰所建設工事

図面名称

柱脚標準図

No.

S-O-6

株式会社 進藤設計事務所

・構造設計担当・巧 設計室  
1級建築士 宮原 仁 大臣登録 第282500号  
構造設計一級建築士 交付番号 第 6894 号

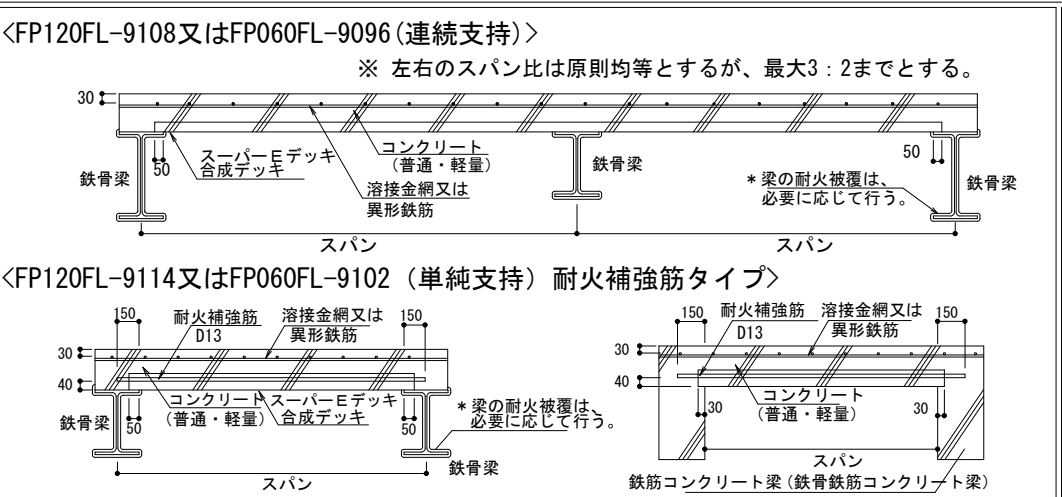
合成スラブの設計・施工は（一社）日本鋼構造協会編「デッキプレート床構造設計・施工規準」（一社）日本建築学会編「各種合成構造設計指針・同解説」（一社）日本建築学会編「建築工事標準仕様書・同解説のうち」JASS5鉄筋コンクリート工事及びJASS6鉄骨工事」合成スラブ工業会編「大臣認定 無被覆耐火構法 合成スラブの設計・施工マニュアル」日鉄デッキプレートカタログ及び設計・施工便覧による。

1. 設 計					
■ デッキプレート	品名	● EZ50      □ EZ75			
	板厚および表面処理	板厚 (mm)	表面処理	仕様	種類の記号 *1
	(注) *1 JIS G3552 *2 JIS K5621 (2008) 4種の防錆性を有した塗料	● 1.2	□ なし □ 塗装 ● めっき	*2 □ Z12   □ Z27   □ [   ]	SDP1T  SDP2G
		□ 1.6	□ なし □ 塗装 □ めっき	*2 □ Z12   □ Z27   □ [   ]	SDP2  SDP2G
■ コンクリート	種類	● 普通    □ 軽量 1種    □ 軽量 2種			
	設計基準強度 (N/mm <sup>2</sup> )	□ 18      ● 21      □ 24			
	デッキ山上厚さ (mm)	□ 70      □ 80      □ 90 □ 95      □ 100      ● [ 50   ]			
■ 溶接金網または 異形鉄筋	溶接金網 (JIS G3551)	● φ6-150    □ φ6-100    □ [   ]			
	異形鉄筋 (JIS G3112, 3117)	□ D10-200   □ [   ]			
□ スーパーEデッキ用システム部品	□ SEスペーサー    □ SEハンガー				
□ デッキプレート端部仕様	□ エンドクローズ □ 小口フサギ				
■ 梁との接合形式	種 類	注 記			
	□ 頭付きスタッド	径、長さ、ピッチは構造図による。梁とデッキとの接合は アークスポット溶接等による。(焼抜き栓溶接は不要)			
	● 焼抜き栓溶接	□ SPW : 標準溶接径 18mm以上 ※溶接位置等は特記による。			
	□ びょう打ち	接合位置は特記による。構造認定を受けた発射打込みびょうを使用すること。			
□ e-works+開口緩和 (EZ50)	BCJ評定-ST0076-07	※詳細は 6. e-works+開口緩和 (EZ50) 参照			

デッキプレート形状・寸法		システム部品	
EZ50		SEF	
		幅調整板	SEスペーサー
EZ75		SEハンガー	SEクローザー
		SEメンド	
*満部換算スラブ厚さは、EZ50 24mm、EZ75 36mmです。			

2. 耐火設計									
■ □ 耐火構造仕様(詳細は下記の通り)    ■ 耐火要求なし									
耐火区分	認定番号	認定条件							
		使用条件	断面仕様		はり構造				
		支持条件	許容入 <sup>*3</sup> (m)	許容荷重 <sup>*4</sup> (kN/m <sup>2</sup> )	品名	コンクリート厚さ(mm)	ひび割れ拡大防止筋	φ造 <sup>*5</sup>	RC造SRC造 <sup>*6</sup>
□ 床 2 時間	FP120FL-9108	連続支持	2.7 以下	<式 1>	EZ50	普通95以上	φ6-100x100 または D10-200x200	○	-
			3.4 以下	<式 2>		軽量85以上		○	-
						普通90以上		○	-
						軽量85以上		○	-
	3.6 以下	5.4	EZ75	普通95以上	D10-200x200	○	-		
				軽量90以上	○	-			
□ 床 1 時間	FP120FL-9114	単純支持 <sup>*8</sup>	2.7 以下	<式 1>	EZ50	普通95以上	φ6-100x100 または D10-200x200	○	○
			3.4 以下	<式 2>		軽量85以上		○	-
						普通90以上		○	○
						軽量85以上		○	○
	FP060FL-9096	連続支持	3.0 以下	<式 1>	EZ50	普通80以上	φ6-150x150 または D10-200x200	○	-
			3.4 以下	<式 2>		軽量80以上		○	-
				普通80以上		○		-	
				軽量80以上		○		-	
3.6 以下 <sup>*7</sup>	4.4	EZ75	普通90以上	D10-200x200	○	-			
FP060FL-9102	単純支持 <sup>*6</sup>	2.7 以下	<式 1>	EZ50	普通80以上	φ6-150x150 または D10-200x200	○	○	
		3.4 以下	<式 2>		軽量80以上		○	-	
					普通80以上		○	○	
					軽量80以上		○	-	
<式 1>		W = 5.4 × (2.7/L) <sup>2</sup>		(注) 式中の「W」は許容荷重(kN/m <sup>2</sup> )、「L」は支持長さ(m)を表す。					
<式 2>		W = 5.4 × (3.4/L) <sup>2</sup>		また、Wが9.8を超える場合は9.8とする。					

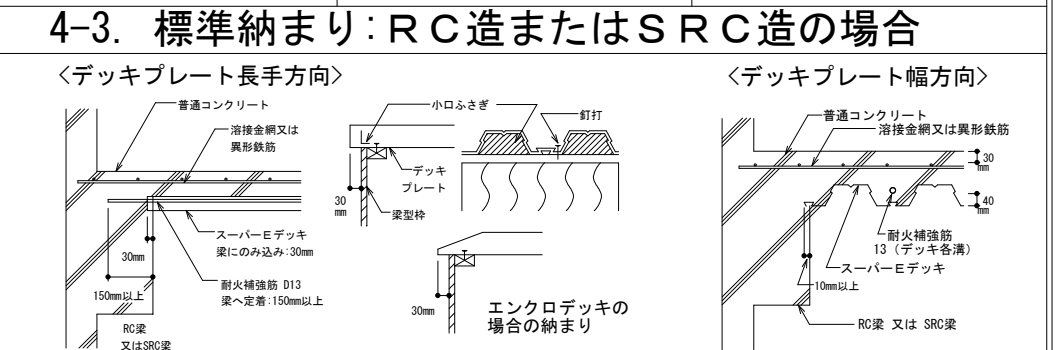
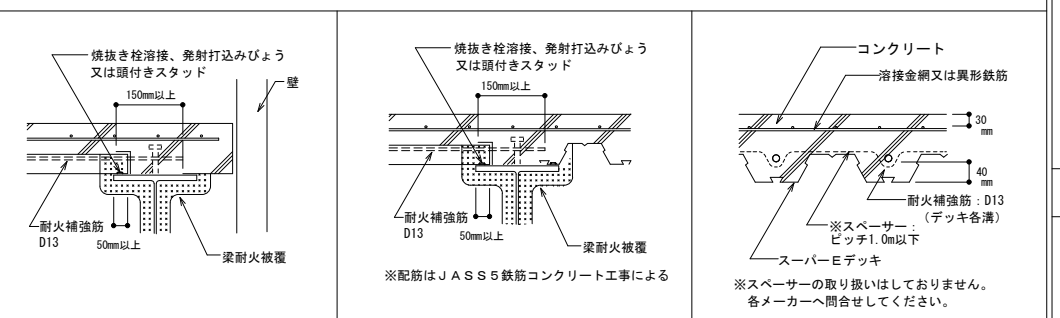
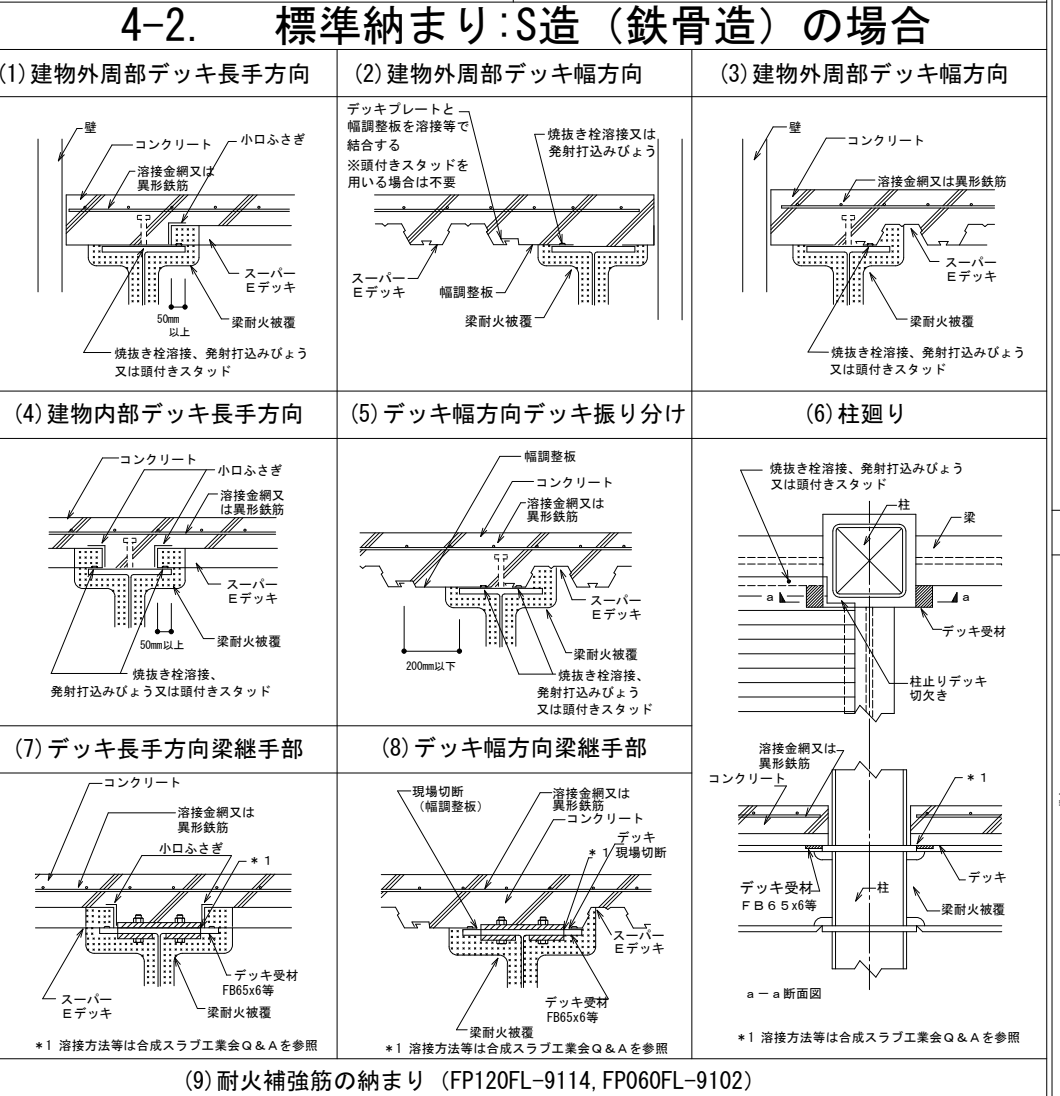
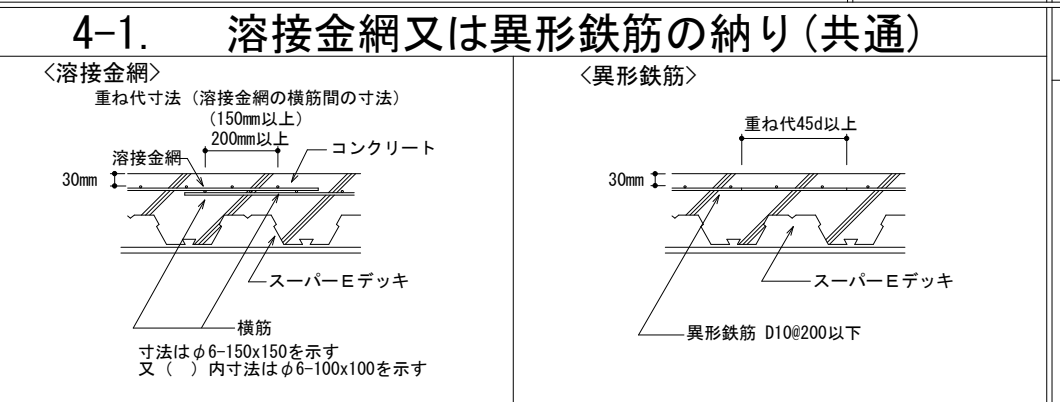
※注意 \*3 許容スパンは、鉄骨梁で支持する場合はその間隔距離とし、RC造で支持する場合は梁の内法寸法とする。本表の許容スパンは耐火認定の条件であるので、別途施工時の許容スパンを確認すること。  
\*4 許容荷重は、全荷重(固定荷重+積載荷重)からスラブ自重を差し引いた数値である。  
\*5 鉄筋比は、0.2%以上としなければならない。同時打ちでスラブ増打ちをする場合は注意すること。  
\*6 デッキプレートの梁へののみ込み代を30mm以上とすること。端部補強(D13以上、L=1m)を梁への定着長さ150mmで配すること。ただし、耐火補強(\*6参照)を用いる場合は端部補強は不要。  
\*7 スパンが3.4mを超える場合は、梁との接合を頭付きスタッド(径16mm以上、ピッチ300mm以下)を使用すること。  
\*8 耐火補強(D13)をデッキプレートの各溝中央にあがりが40mmで配すること。  
\*9 この耐火条件に適合しない場合は、FP060FL-9128あるいはFP120FL-9129(吹付けロックウール被覆耐火構法)を適用すること。



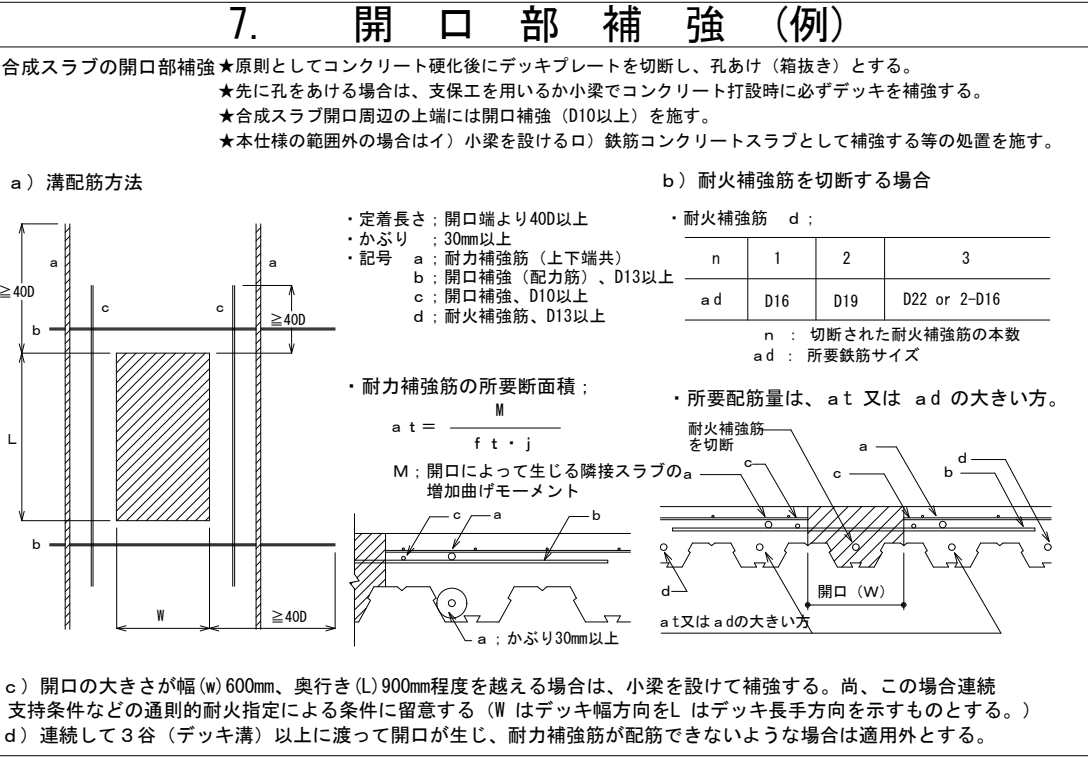
3. 施 工	
① 割付け計画	(図1) コンクリート打設時支持スパンのとり方 工法・工程・割付け計画をたてる。(図1)
② 搬入・保管・揚重・仮置・墨出し	(a) 揚重は2点吊りとし、デッキプレートをワイヤで傷つけないようにする。 (b) 梁上を清掃し、所定の位置に墨出しをする。
③ 敷込み・仮止め	(a) デッキ相互をカン合せながら敷込む接合部で幅調整をしてはならない。 コンクリートが漏れるおそれがある場合は、デッキプレート相互を溶接する。 (b) 幅方向の調整は、幅調整板(フラッシング)を用いる。 (c) デッキプレートと大梁との接合ができるように、デッキプレート山部が梁上にこないように納める。(図2)
④ デッキプレートと梁との接合	(a) 敷込み完了後風等で飛ばないように、デッキと梁とをアークスポット溶接等で接合する。 (b) 頭付きスタッドの施工はJASS6による。 (c) 焼抜き栓溶接の施工位置は特記による。特に指定がない場合には、図3の要領で行う。 (d) 施工者は焼抜き栓溶接講習会を受講した方が望ましい。 (e) 発射打込みびょうの施工は発射打込みびょうメーカーの施工要領による。施工位置は特記による。 ※構造認定を受けた発射打込みびょうメーカー：日本ヒルティ(株)、日本パワーファスニング(株)(図3)
□ デッキプレート幅方向	□ デッキプレート長手方向溶接ピッチ(P)
□ 特記無き限り下記とする。 □ 特記は括弧内に記す。	溶接ピッチ(P)：特記無き限り600mm以下とする。
(大梁) 接合部2箇所 中間1箇所 接合部2箇所	(小梁) 各谷1箇所
□ (特記) [ ] mm、下式による。 P = MIN ( 600 , P1 ) P1 = q / 0m x 1000 q : 1箇所当りの短期せん断耐力 0m : 1m当りの設計水平せん断力	

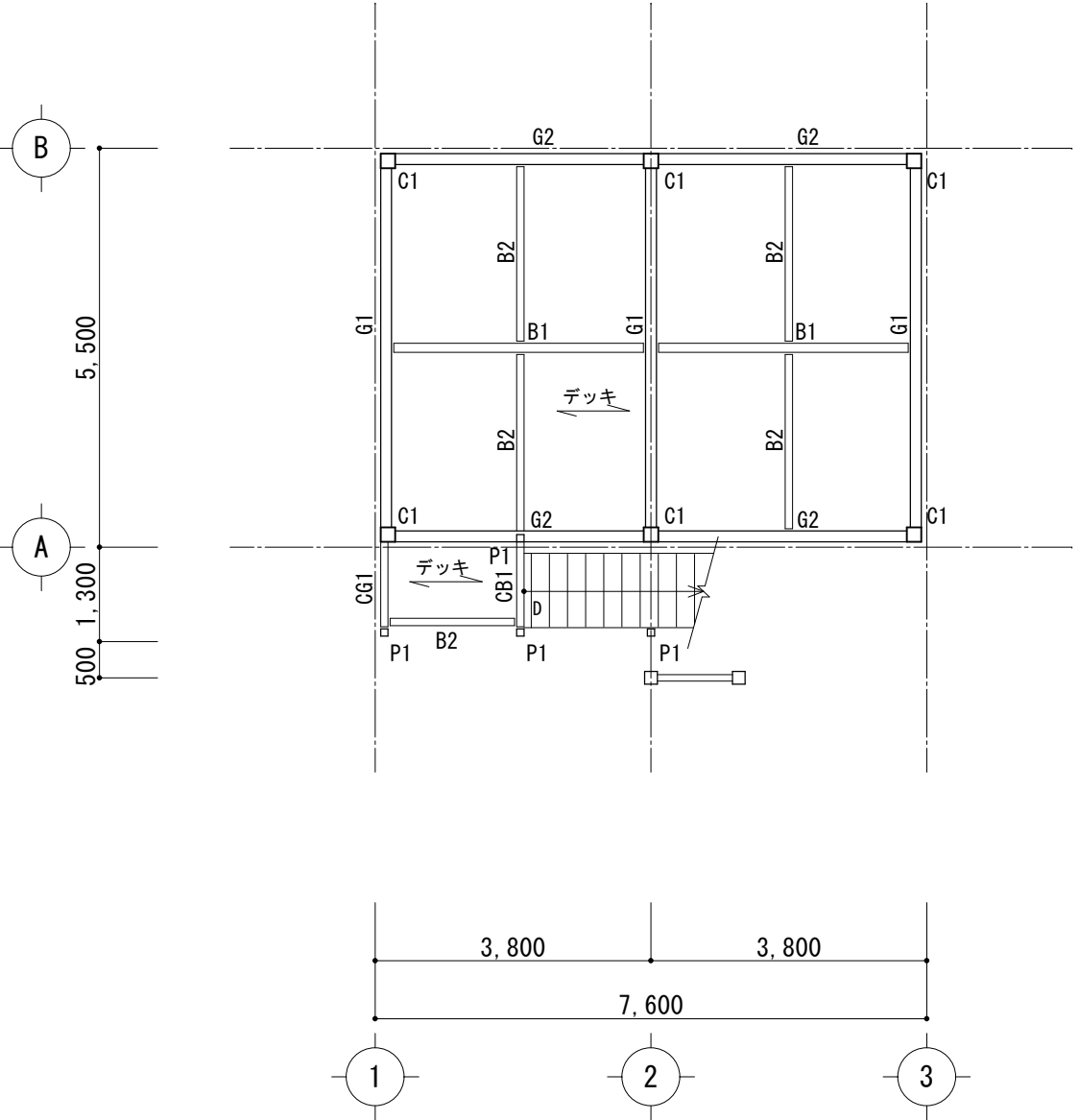
(f) 焼抜き栓溶接 (SPW) の溶接条件及び溶接機器仕様		(g) 焼抜き栓溶接 1箇所当り短期せん断耐力 (単位：N)	
項目	溶接方法	デッキ板厚	溶接方法
溶接作業者資格	JIS Z 3801基本級以上又は JIS Z 3841基本級以上	1.2mm	1.6mm
溶接棒及び溶接材料	低水素系溶接棒 φ4mm	SPW	7,350 11,025
溶 接 機	交流アーク溶接機AW250A以上又はエンジン溶接機230A以上	(単位：N)	
標準	デッキ板厚 (mm)	1.2~1.6	
溶	梁フランジ板厚 (mm)	6 以上	
接	溶 接 電 流 (A)	190~230	
条	溶 接 電 圧 (V)	—	
件	アークタイム (sec)	8~12	
	溶接径 (mm)	18 以上	

⑤ 小口ふさがぎ・コンクリート止め	小口ふさがぎはデッキプレートの溝をふさがぎで独立したものを使用する。(図4) 又は、エンドクローズ製品を用いる。
⑥ 開口部補強	開口部まわりは必ず鉄筋等で補強する。(5. 開口部補強を参照。)
⑦ 溶接金網又は異形鉄筋	(a) 規定のサイズを床全面に配筋する。(図5) (b) かぶり厚さを確保するスペーサーを1m以内に設置する。 (c) 溶接金網の継手は(1メッシュ+50mm)以上重ねる。 (d) 異形鉄筋の継手はJASS5による。
⑧ コンクリート打設	(a) コンクリート打設前にデッキプレート面を充分清掃する。 (b) 単位水量の少ない、スラブの小さいコンクリートを入念に打設する。
⑨ 養生	(a) コンクリートの初期乾燥収縮を防ぐ為、湿潤養生する。 (b) コンクリートの強度がでるまでは、床面に重量物を置いたり振動を与えたりしない。

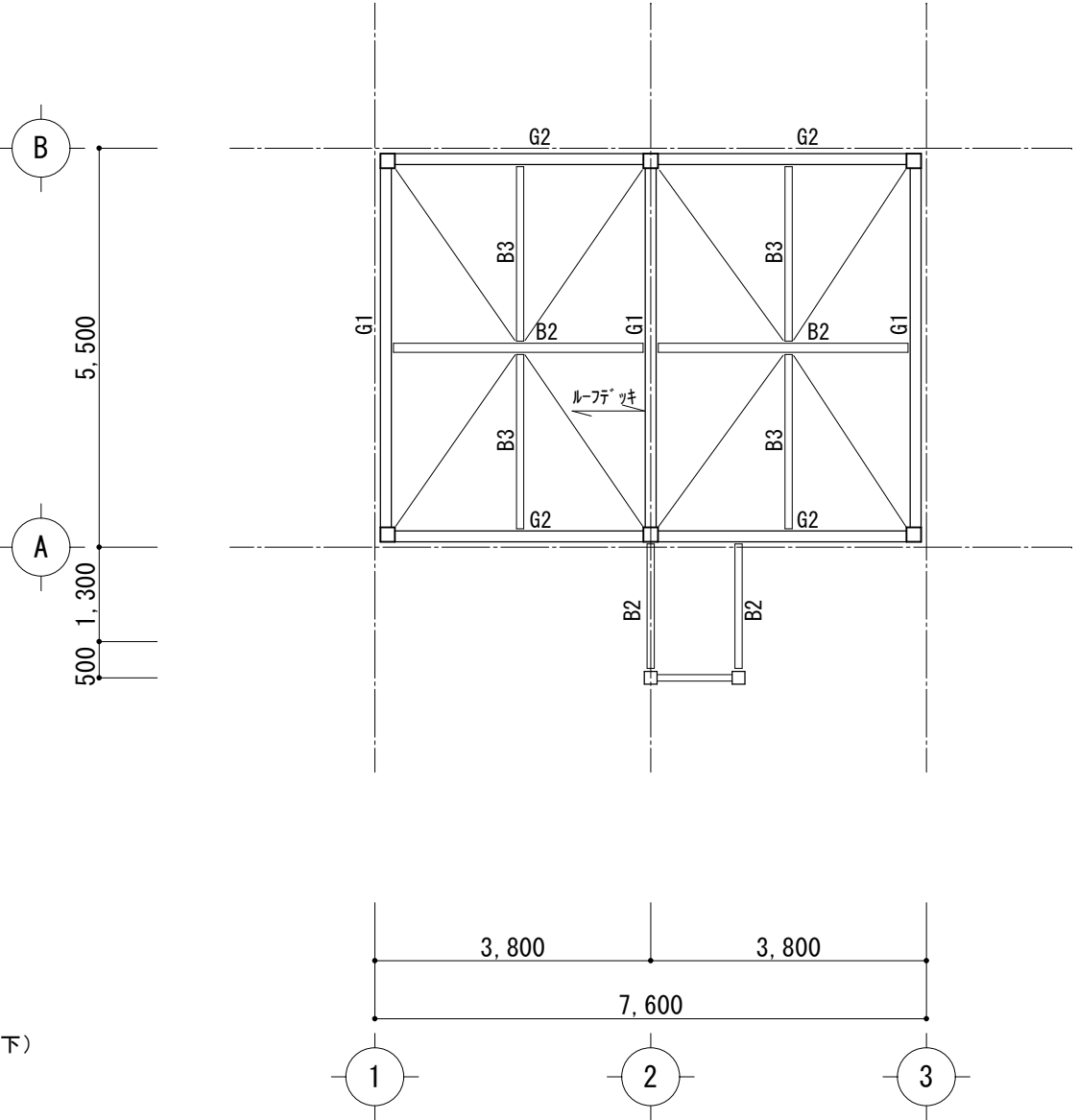


6. e-works+開口緩和 (EZ50)		
積載荷重・支持スパンが耐火認定範囲を超える場合は、別途お問い合わせください。		
表6.1 適用範囲		
項目	記号	適用範囲
品名	—	EZ50
開口寸法	mx	300mm以下※
開口位置	my	デッキ幅方向 ex 450mm以上 デッキ長手方向 ey 250mm以上
開口率	rx	25%以下
	ry	12%以下
※開口率の制限により、許容開口寸法の最大が300mmを下回る場合がある。詳細は下記及び下表を参照すること。 ※開口寸法に応じ、面せん断耐力を低減する必要がある。詳細は別途お問い合わせください。		
開口率の考え方 梁芯間にある開口投影長さの和と(Σmx, my)を梁芯間スパン(lx, ly)で除した値を開口率(rx, ry)とする。開口率の制限は梁芯間スパンに応じて表6.2の通りである。		
表6.2 開口率に基づく梁芯間スパンにおける開口投影長さの和の上限(mm)		
		梁芯間スパンlx, ly (m)
		1.5 1.6 1.7 1.8 1.9 2.0 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5
Σmx	375	400 425 450 475 500 525 550 575 600 625
my	180	192 204 216 228 240 252 264 276 288 300
※上記の表は開口投影長さの和であり、開口1つあたりの開口寸法は300mm以下とする。		

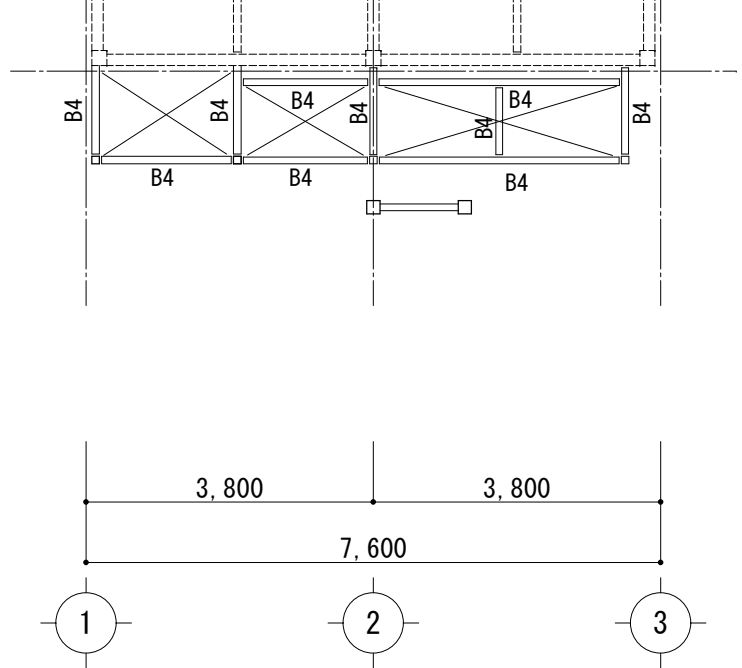




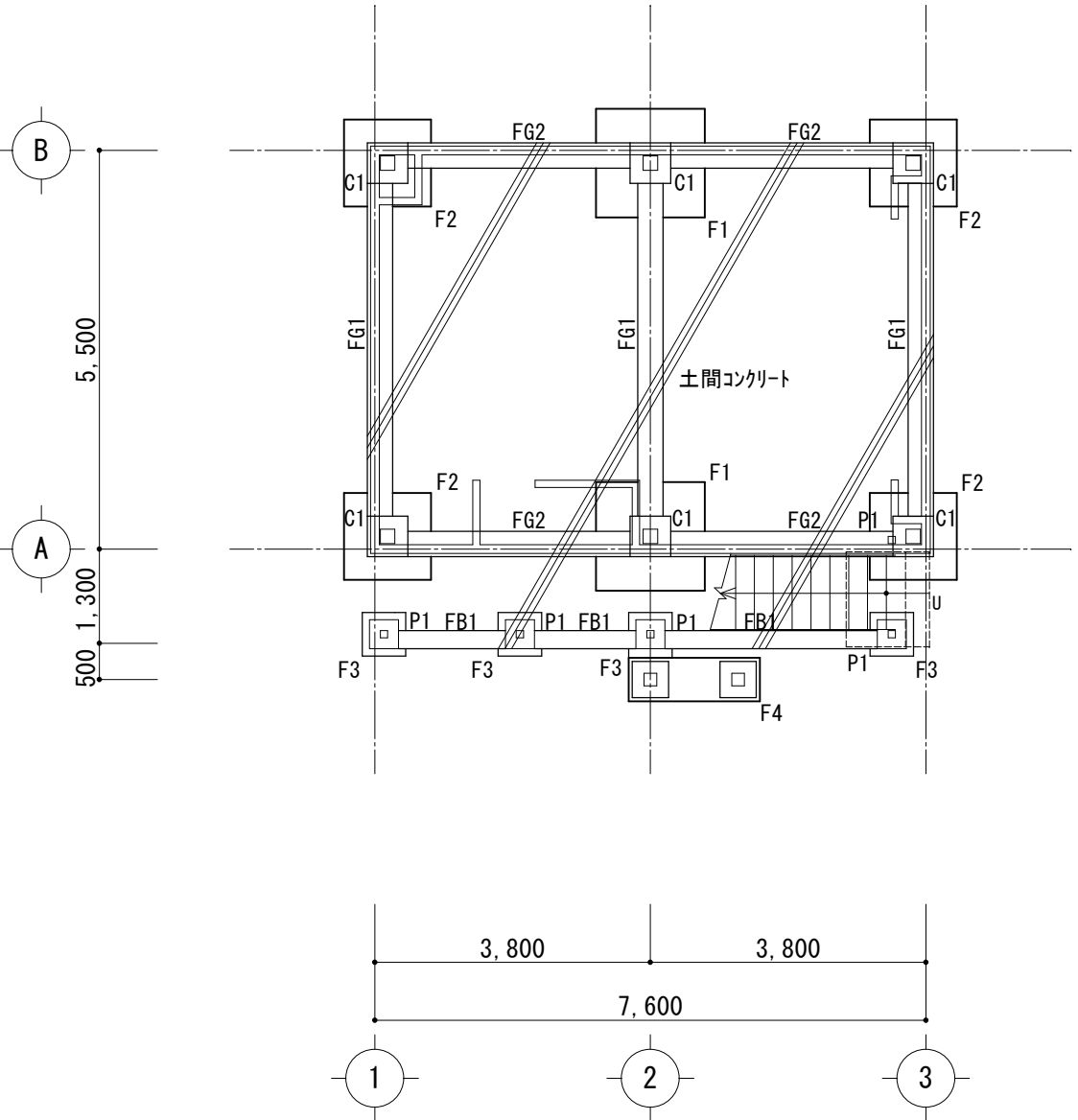
2階床梁伏図 S=1/100  
特記なき限り  
梁上端 2SL±0



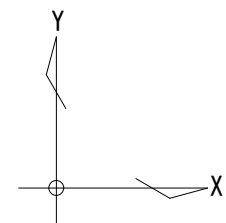
R2階床梁伏図 S=1/100  
特記なき限り  
梁上端 RSL±0 (水下)  
ブレース M16



階段屋根伏図



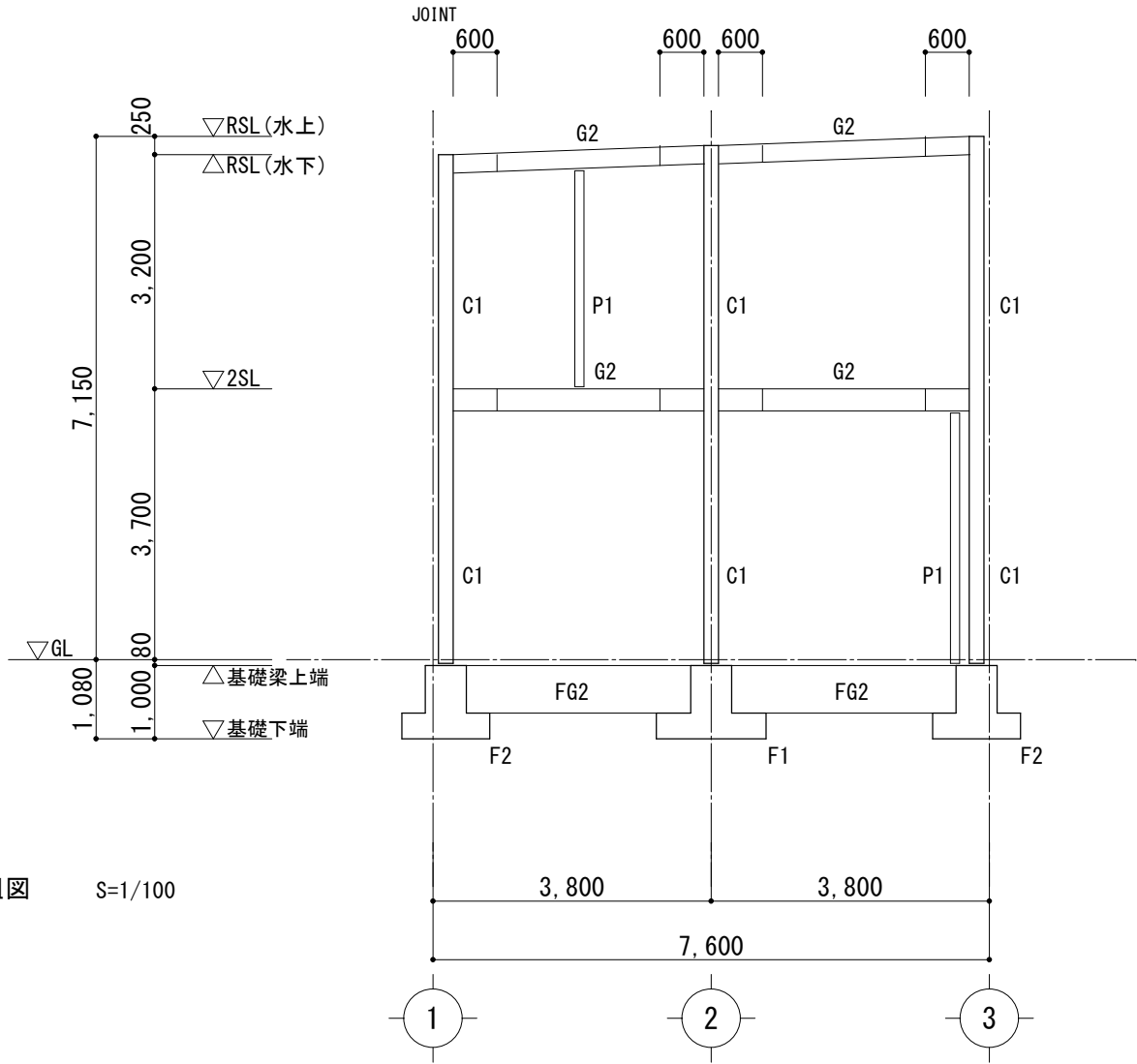
基礎伏図 S=1/100  
特記なき限り  
基礎梁上端 GL-80  
基礎下端 GL-1,080  
土間コンクリート範囲及び高低差は意匠図参照



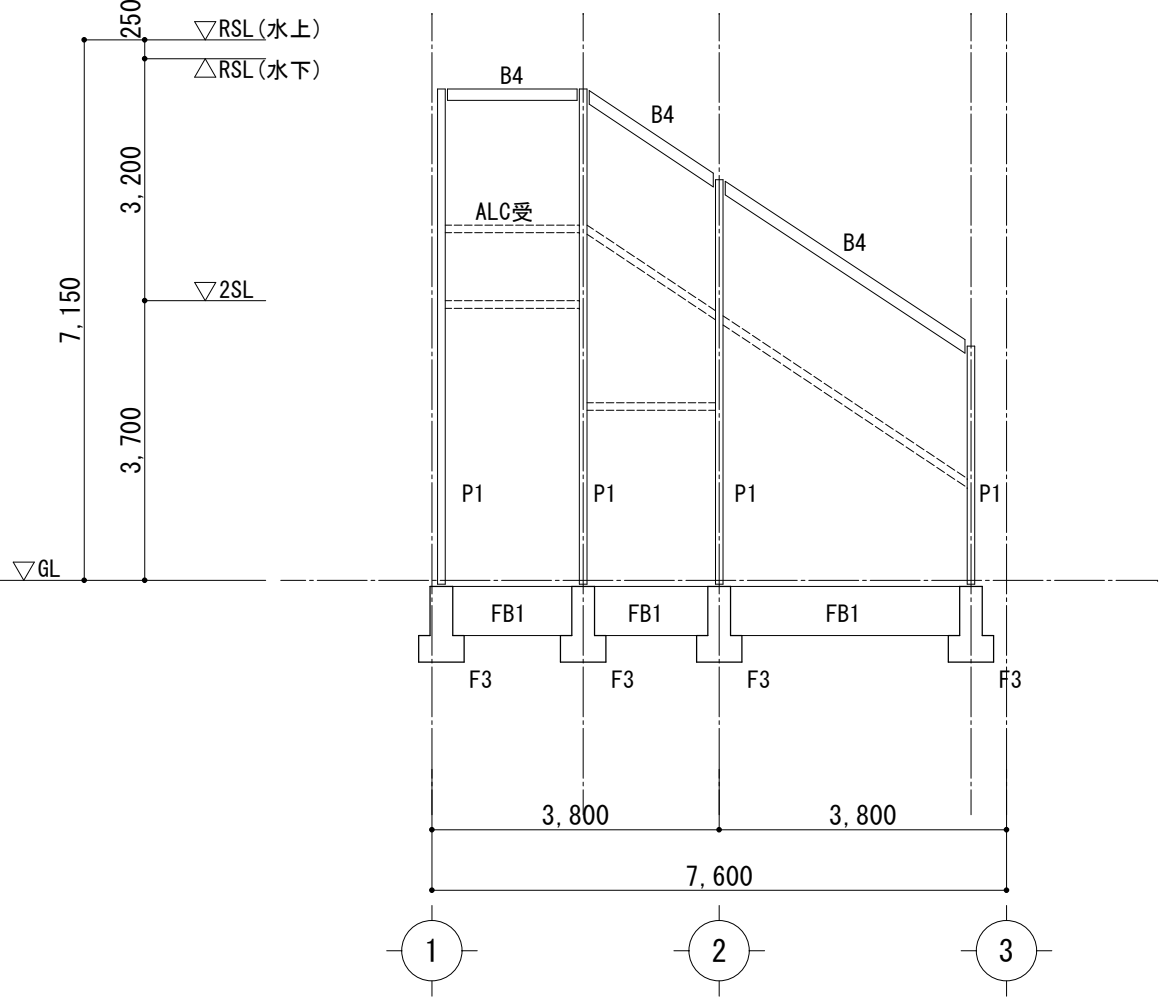
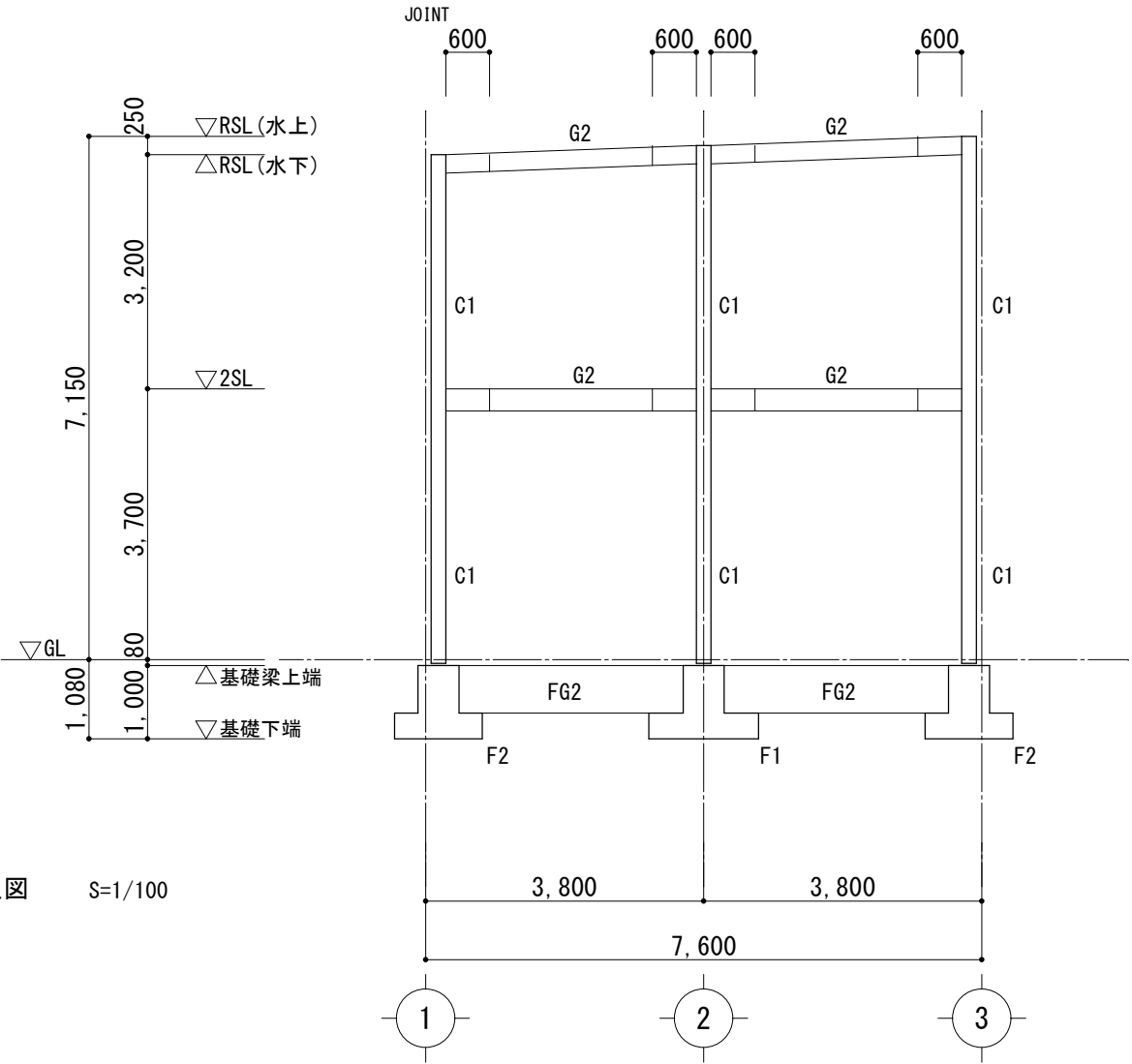
・構造設計担当・ 巧 設計室  
1級建築士 宮原 仁 大臣登録 第282500号  
構造設計一級建築士 交付番号 第 6894 号

	株式会社 進藤設計事務所	承認	設計	担当	縮尺 A2-1:100 設計年月日	工事名称	旭分団詰所建設工事	No. S-08
						図面名称	基礎伏図 2・R階床梁伏図	

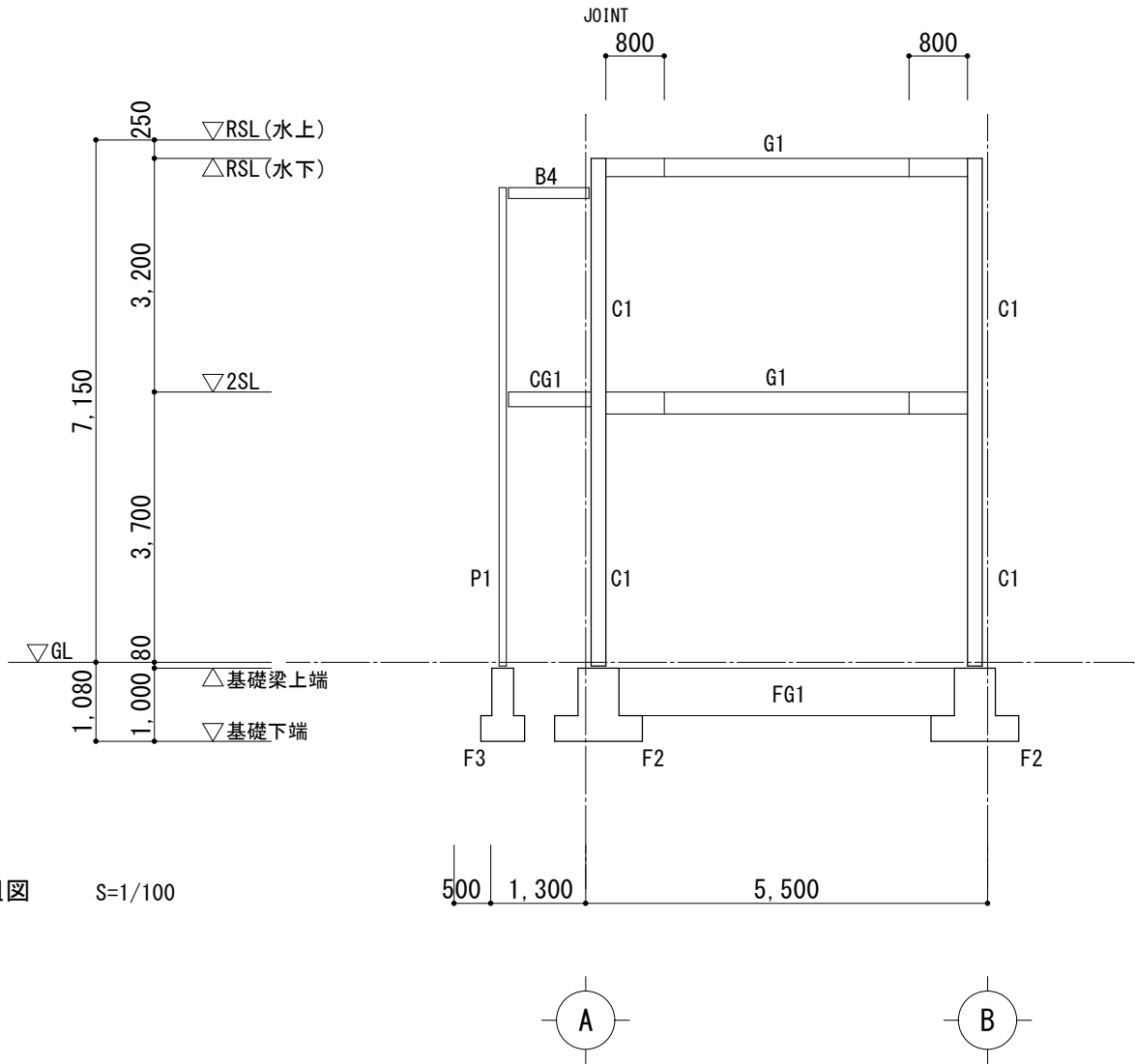
A通り軸組図 S=1/100



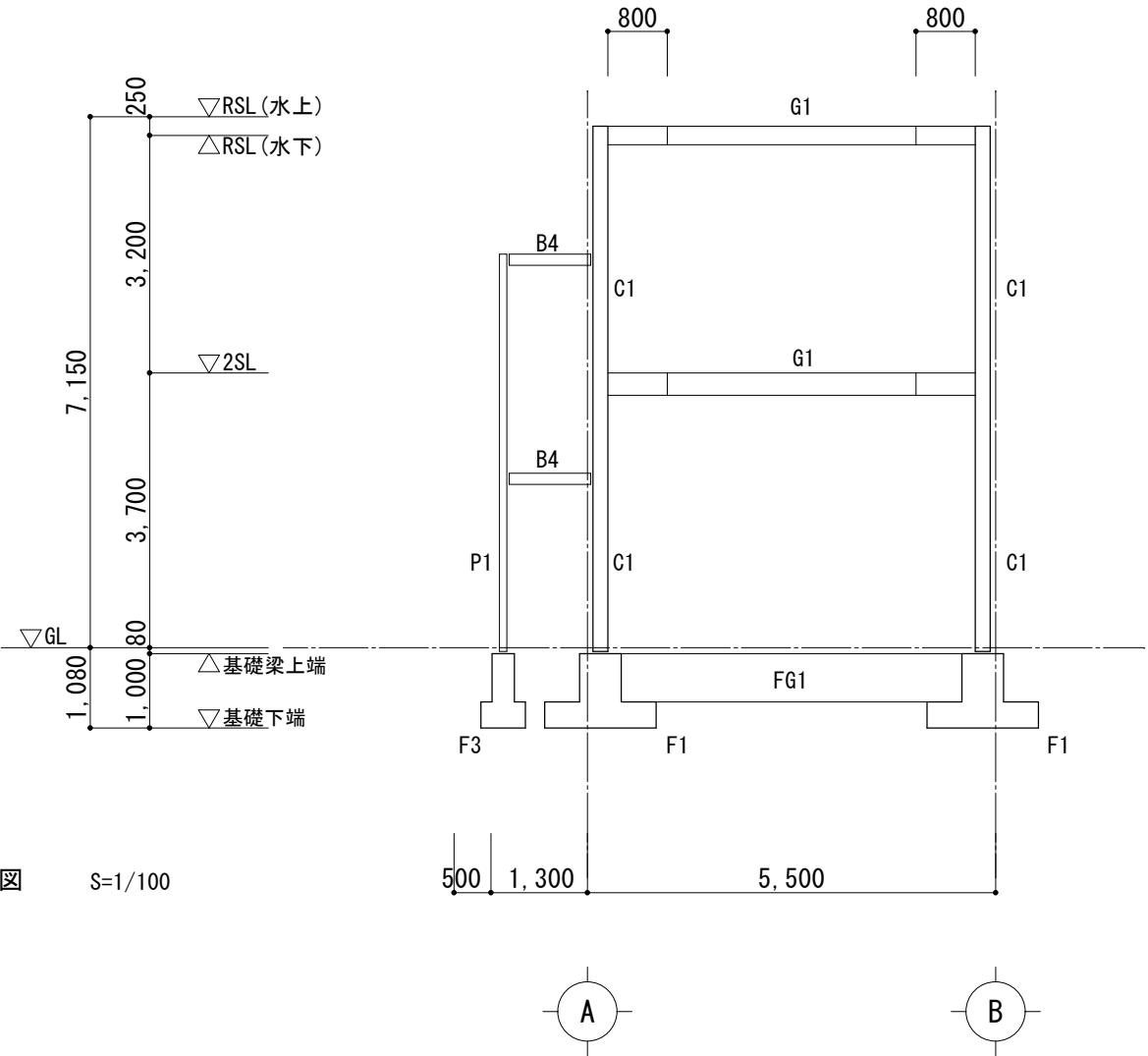
B通り軸組図 S=1/100



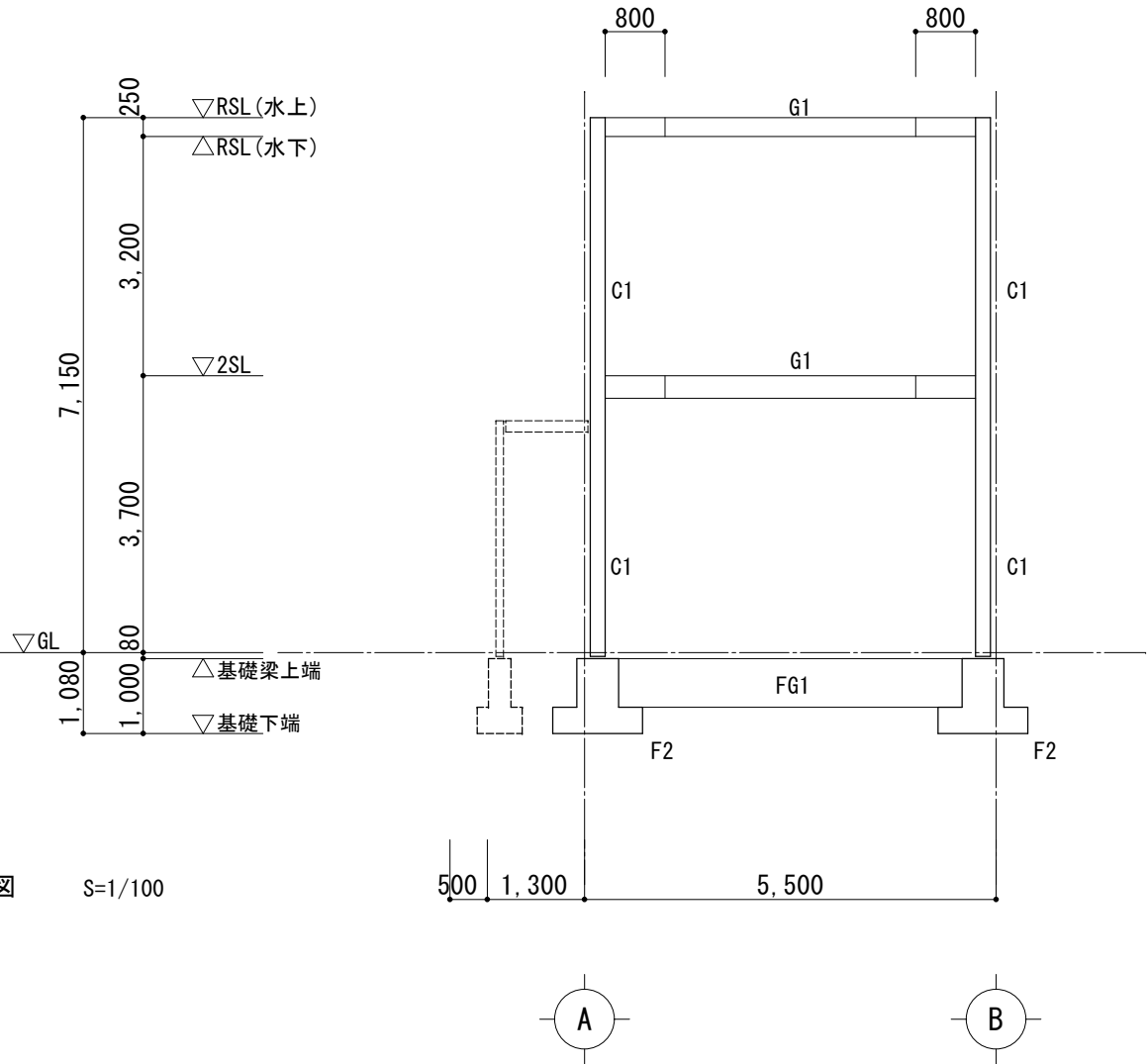
1通り軸組図 S=1/100



2通り軸組図 S=1/100



3通り軸組図 S=1/100



・構造設計担当・ 巧 設計室  
1級建築士 宮原 仁 大臣登録 第282500号  
構造設計一級建築士 交付番号 第 6894 号

株式会社 進藤設計事務所

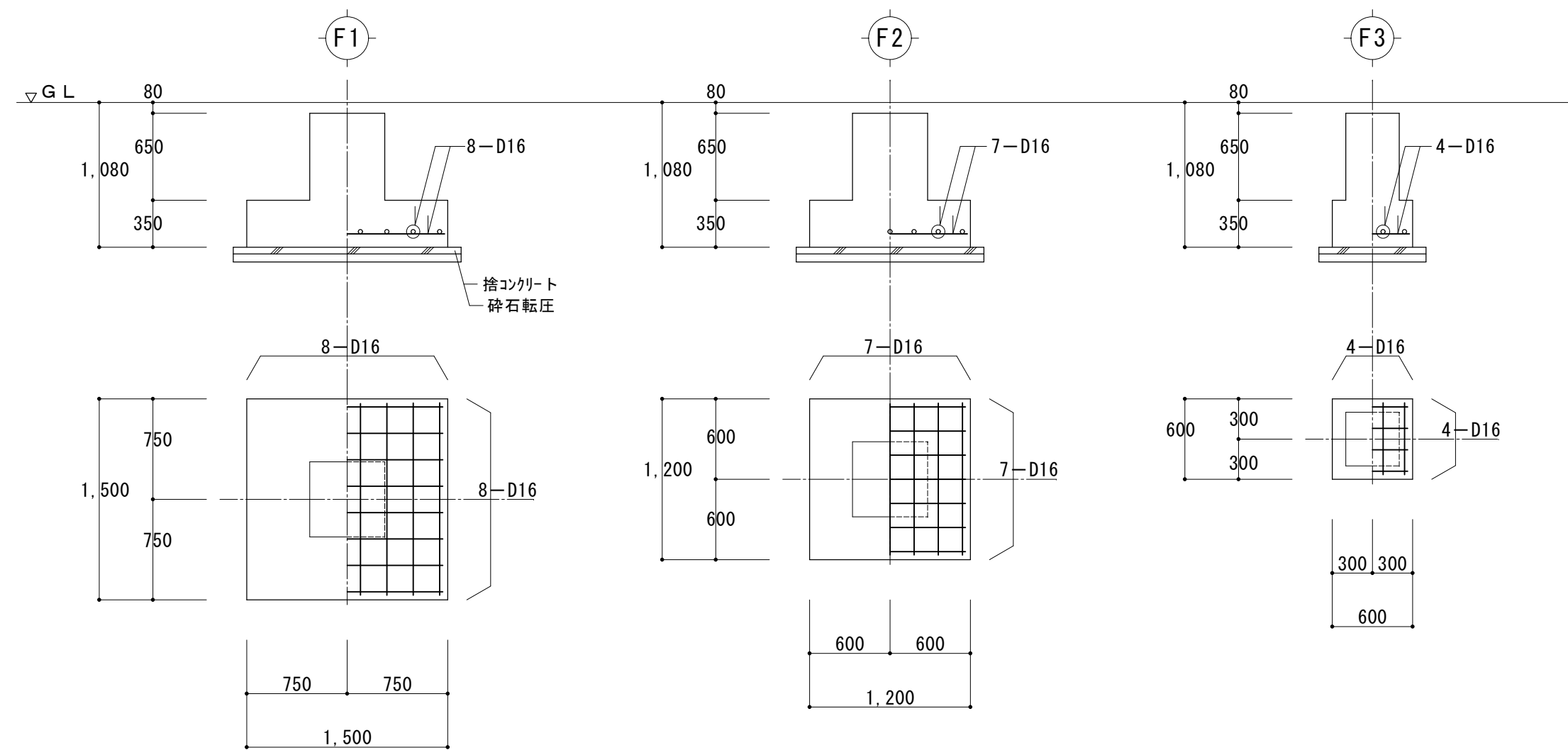
承認	設計	担当	

縮 尺  
A2－1：100  
設計年月日

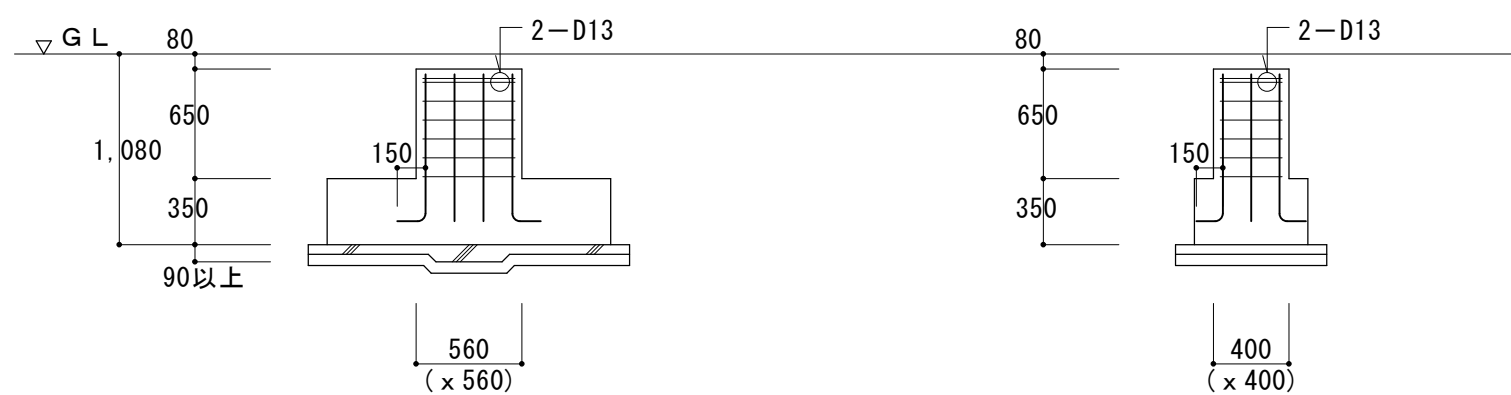
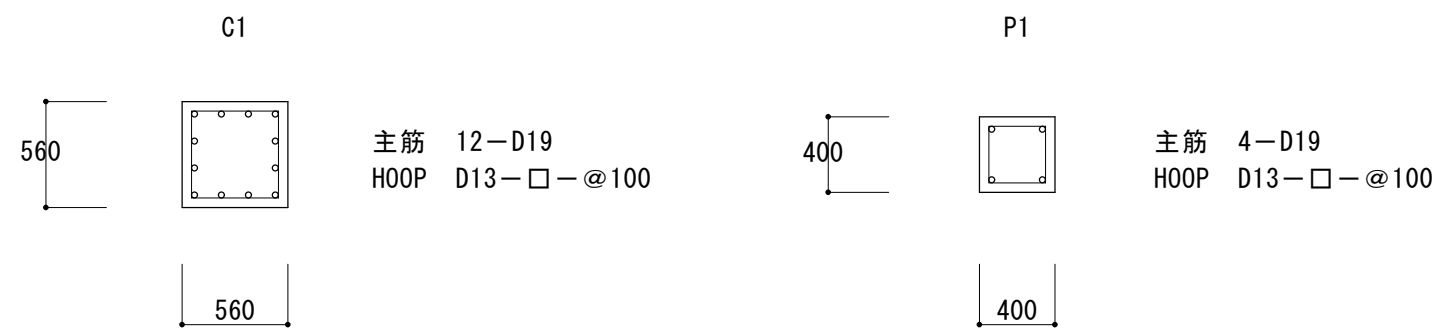
工事名称 旭分団詰所建設工事  
図面名称 軸組図

No.  
S－09

基礎リスト S=1:40



コンクリート柱型配筋図



・構造設計担当・巧 設計室  
1級建築士 宮原 仁 大臣登録 第282500号  
構造設計一級建築士 交付番号 第 6894 号

株式会社 進藤設計事務所

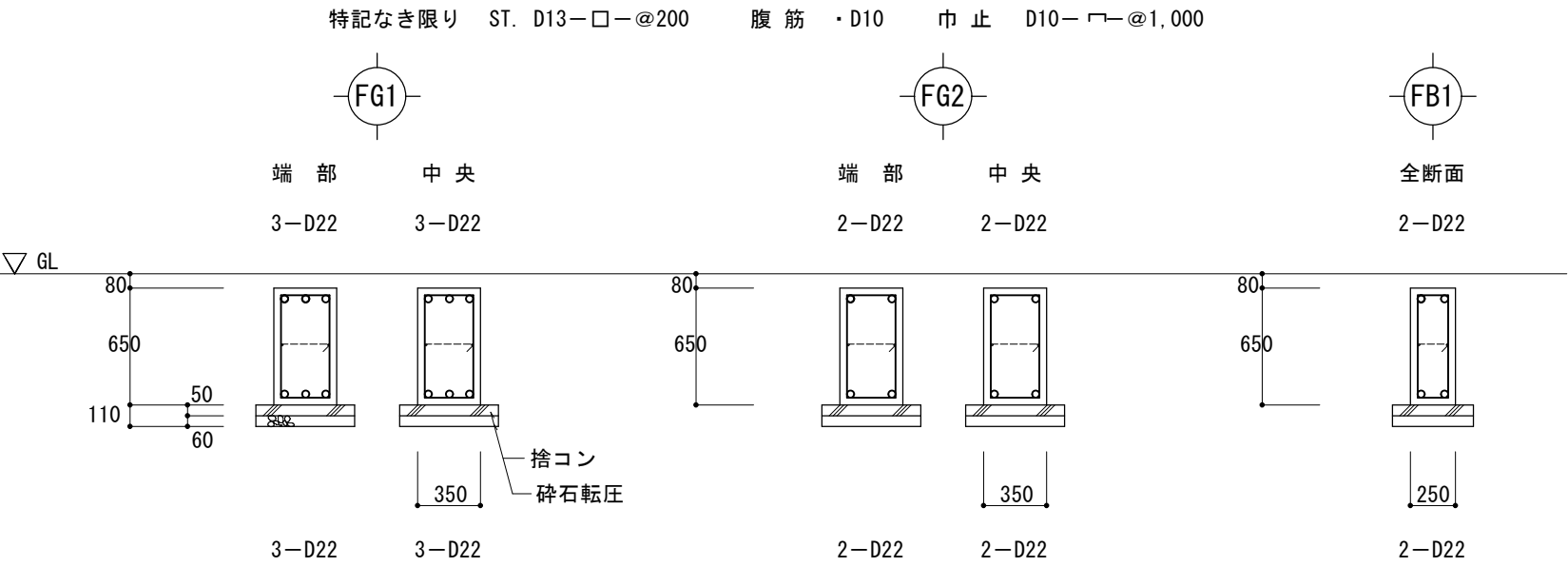
承認	設計	担当	

縮 尺  
A2-1:40  
設計年月日

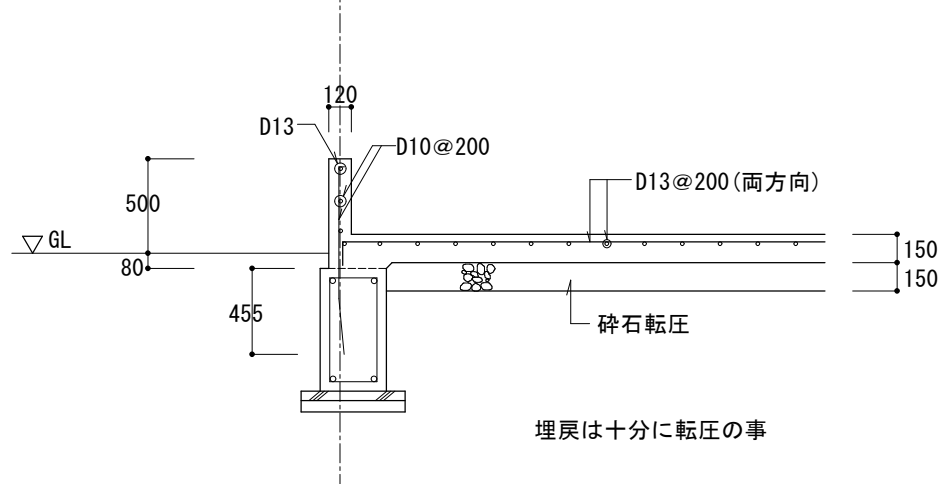
工事名称	旭分団詰所建設工事
図面名称	基礎リスト

No.  
S-10

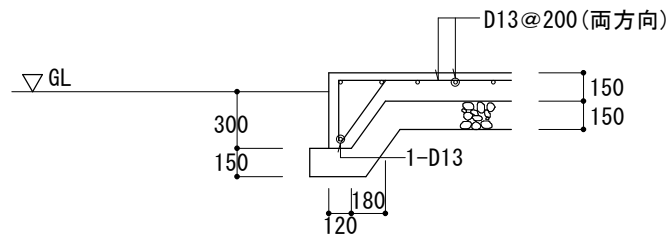
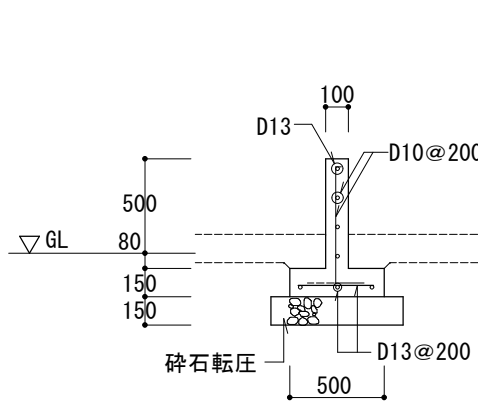
基礎梁リスト S=1:40



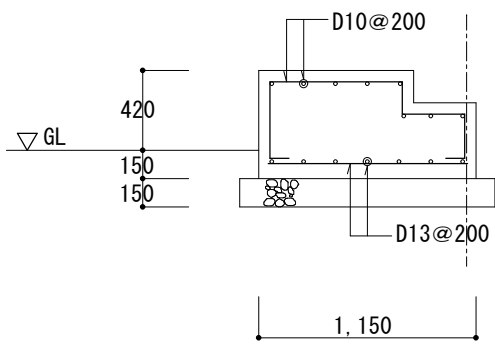
立上り・土間コン配筋図



間仕切り壁受基礎



階段基礎配筋図



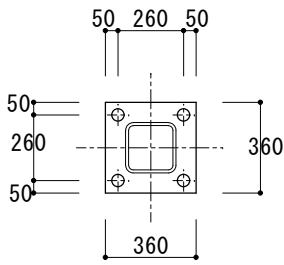
・構造設計担当・巧 設計室  
1級建築士 宮原 仁 大臣登録 第282500号  
構造設計一級建築士 交付番号 第 6894 号

	株式会社 進藤設計事務所	承認	設計	担当	縮尺	工事名称 旭分団詰所建設工事	No.
					A2-1:40		
					設計年月日	図面名称 基礎梁リスト	S-11

柱 リ ス ト      鉄骨材質   BCR295   STKR400

階	符 号	主   材
2 階	C 1	□ － 200 x 200 x 9
1 階	C 1	□ － 200 x 200 x 12      ベースバック
間 柱	P 1	□ － 100 x 100 x 6      GR－6    2－M16

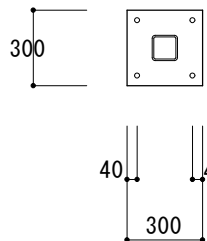
ベースバック 20-12V



BR－360×360×28 (SN490B)

A. B   4-M33 (SD490)

P1 柱脚

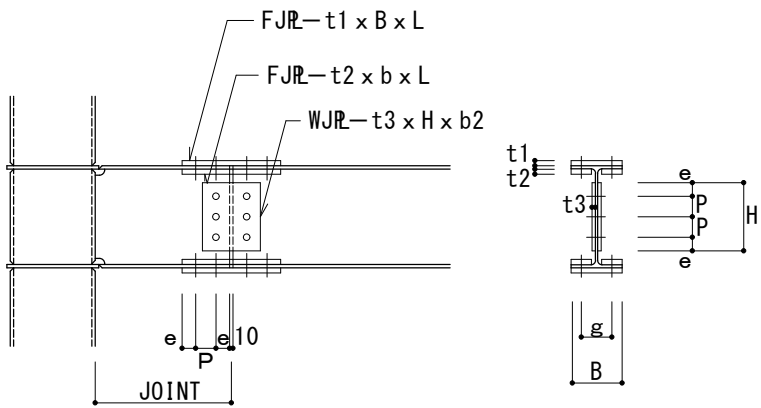


BR－9 x 300 x 300

A. B   4－M16 (L=320) D. N

大 梁 リ ス ト      鉄骨材質   SN400B

階	符 号	位 置	主   材	F L G			W E B	
				t1 x B x L	t2 x b x L	H T B	t3 x H x b2	H T B
R 階	G 1	全断面	H － 250 x 125 x 6 x 9	12 x 125 x 410	――	6 － M16	6 x 170 x 290	4 － M16
	G 2	全断面	H － 250 x 125 x 6 x 9		G1に同じ			
2 階	G 1	全断面	H － 300 x 150 x 6.5 x 9	9 x 150 x 290	9 x 60 x 290	4 － M20	6 x 200 x 170	2 － M20
	G 2	全断面	H － 300 x 150 x 6.5 x 9		G1に同じ			



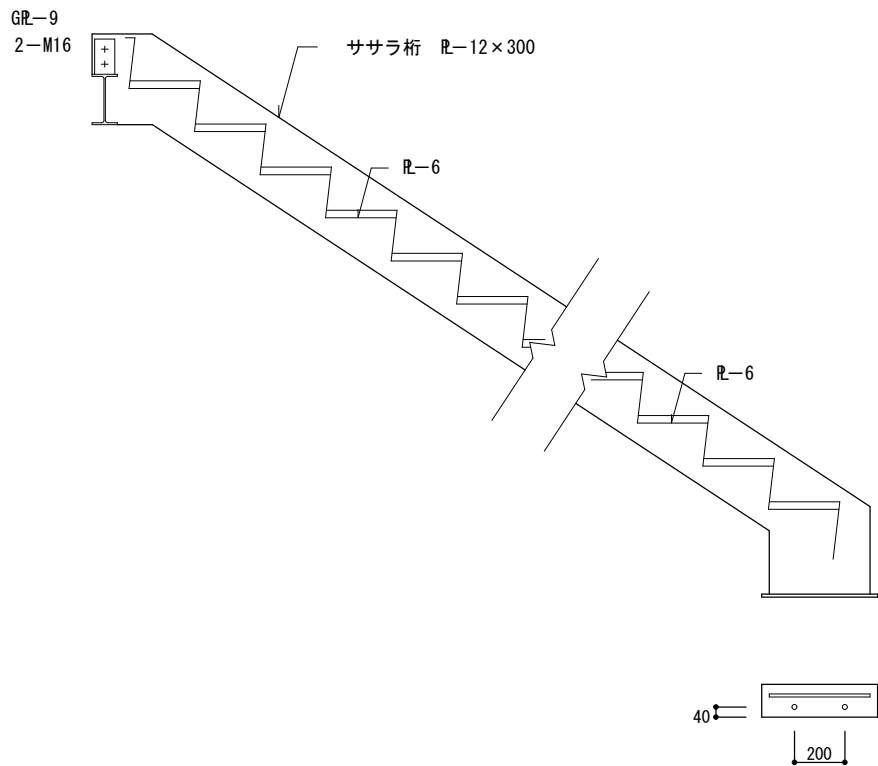
BOLT EDGE   PICH

	e	p
M16	40	60
M20	40	60
M22	40	60

GAUGE

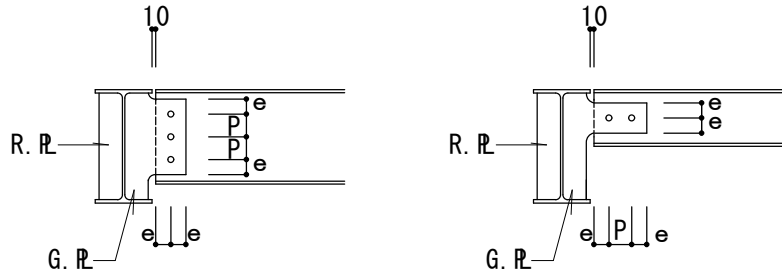
B	125	150	175	200	250
g	75	90	105	120	150

鉄 骨 階 段



小 梁 リ ス ト      鉄骨材質   SN400   SS400

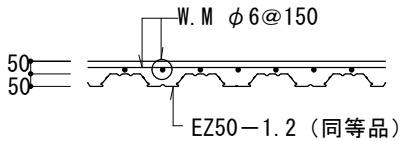
符 号	主   材	仕   口	
		G   R	H T B
B 1	H － 250 x 125 x 6 x 9	9	2 － M20
B 2	H － 200 x 100 x 5.5 x 8	6	2 － M16
B 3	H － 150 x 75 x 5 x 7	6	2 － M16
B 4	H － 175 x 90 x 5 x 8	6	2 － M16
CG1	H － 200 x 100 x 5.5 x 8	端部溶接	
CB1	H － 200 x 100 x 5.5 x 8	端部溶接	
ブレース	M16    （ターンバックル付）    FB－9 x 75    GR－9    1－M16		



B1,                      →   P=90

B2, B3, B4 →   P=60

デッキスラブ配筋図      ※ 2スパン以上連続の事



・構造設計担当・ 巧 設計室  
1級建築士 宮原 仁 大臣登録 第282500号  
構造設計一級建築士 交付番号 第 6894 号

株式会社 進藤設計事務所

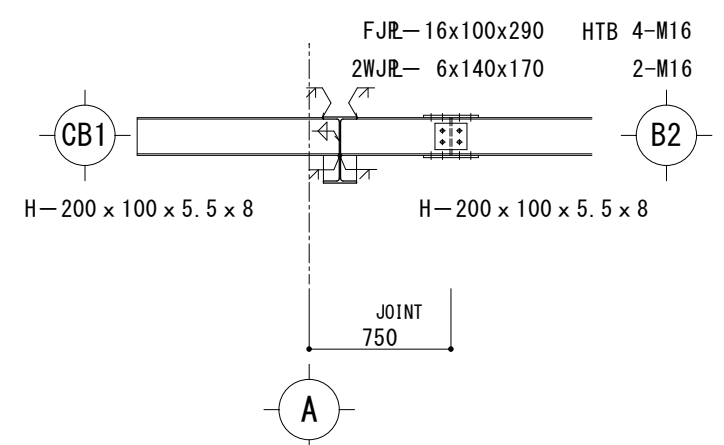
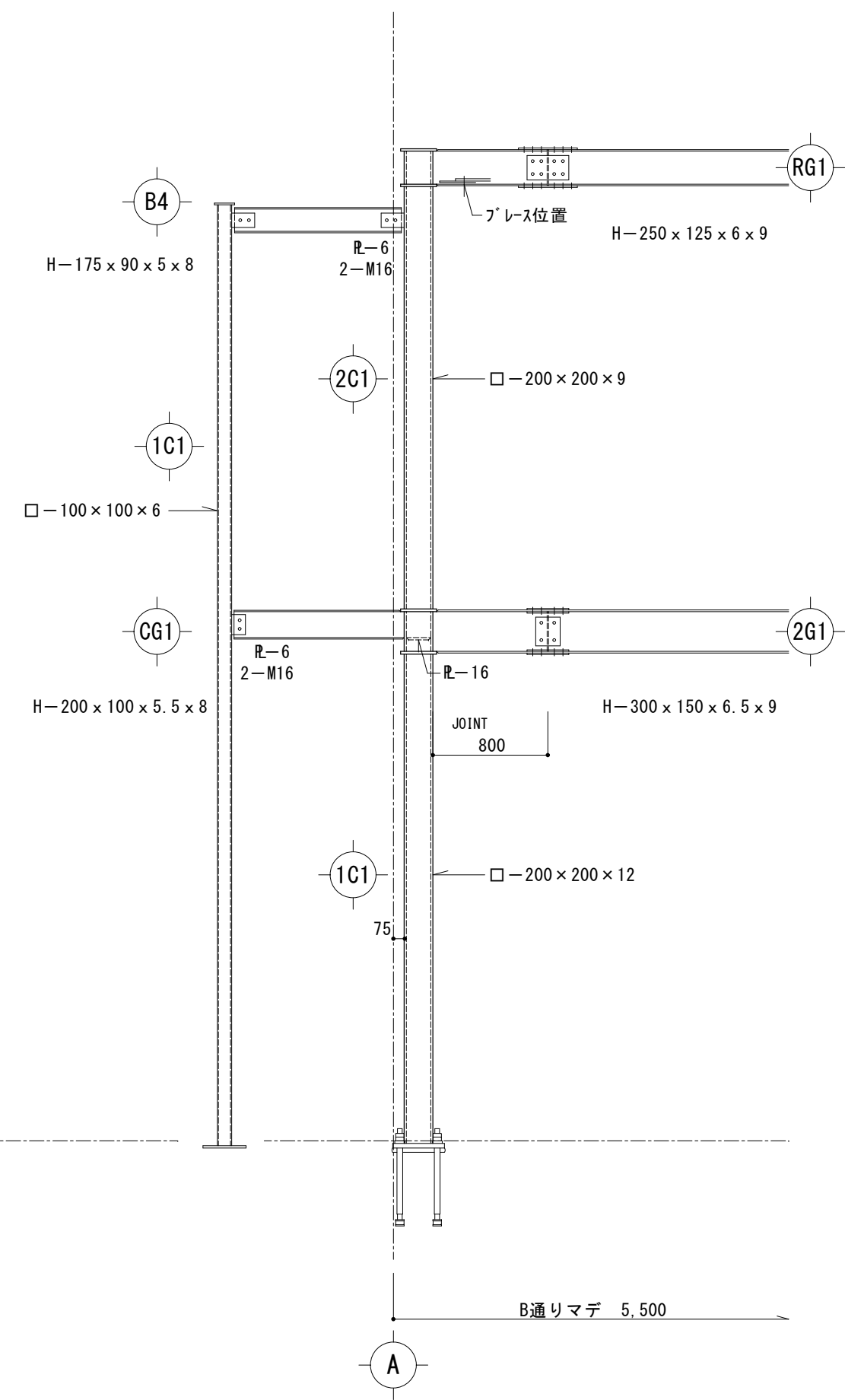
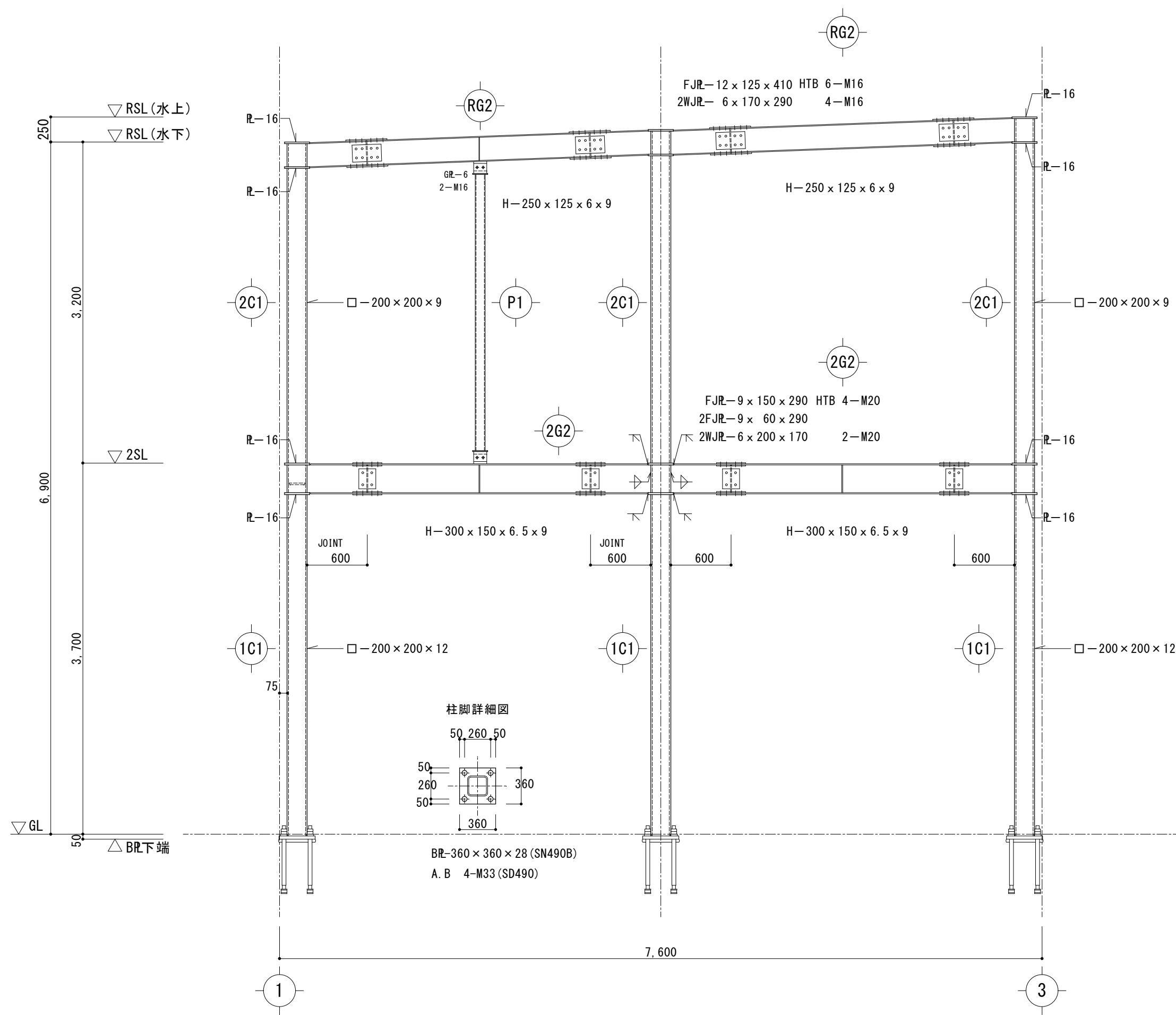
承認	設計	担当	

縮 尺
A2－1：30
設計年月日

工事名称	旭分団詰所建設工事
図面名称	鉄骨部材リスト

No.  
S － 1 2





・構造設計担当・巧 設計室  
1級建築士 宮原 仁 大臣登録 第282500号  
構造設計一級建築士 交付番号 第 6894 号

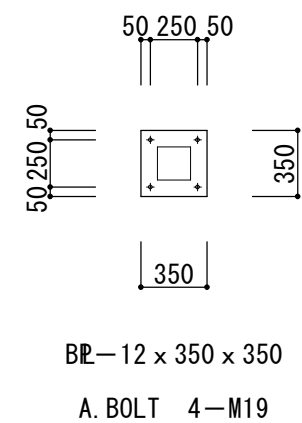
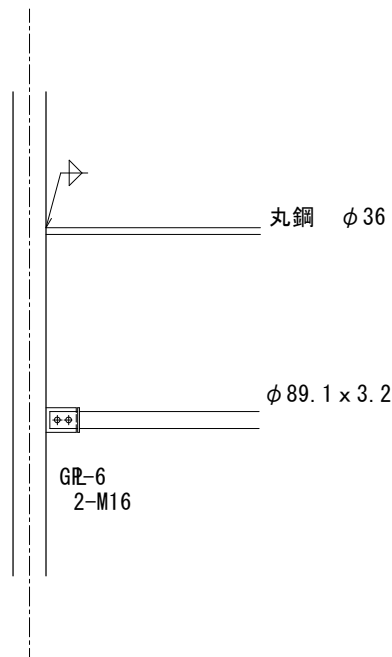
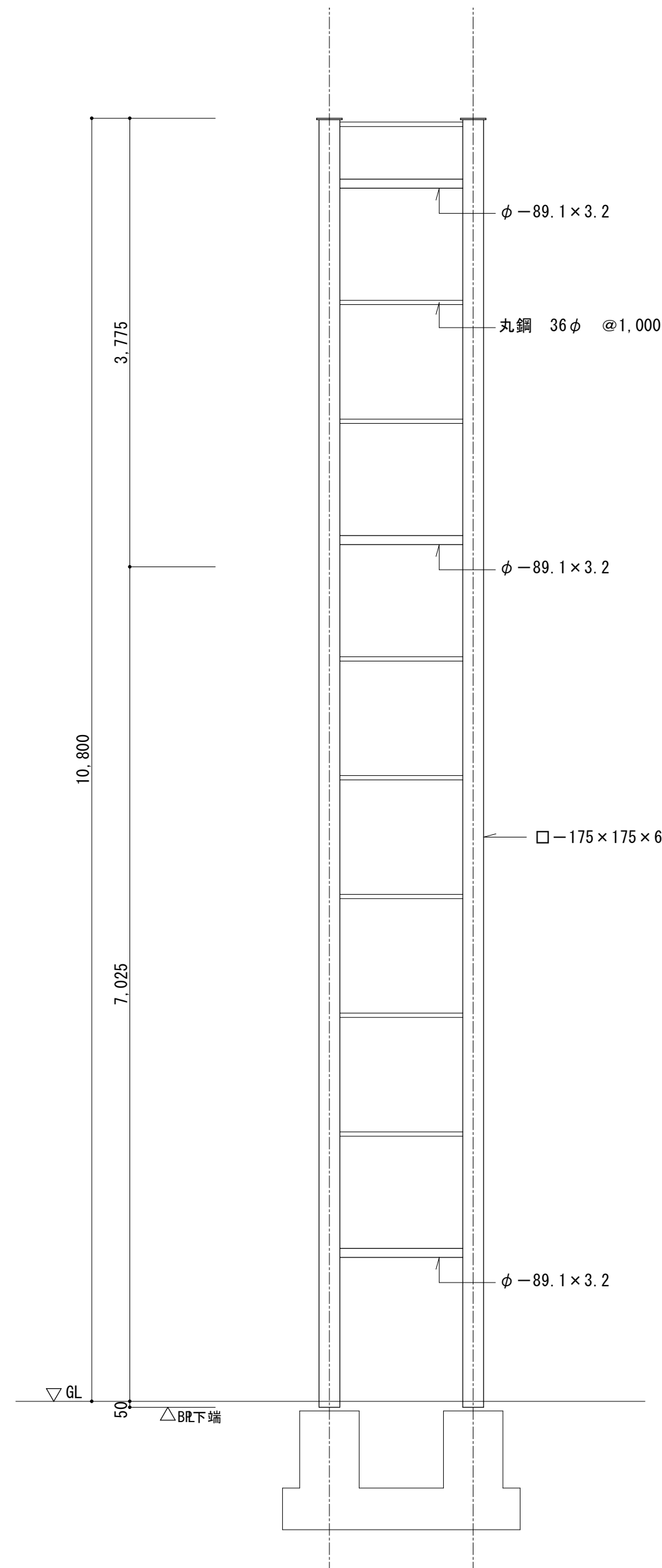
株式会社 進藤設計事務所

承認	設計	担当	

縮 尺  
A2-1:40  
設計年月日

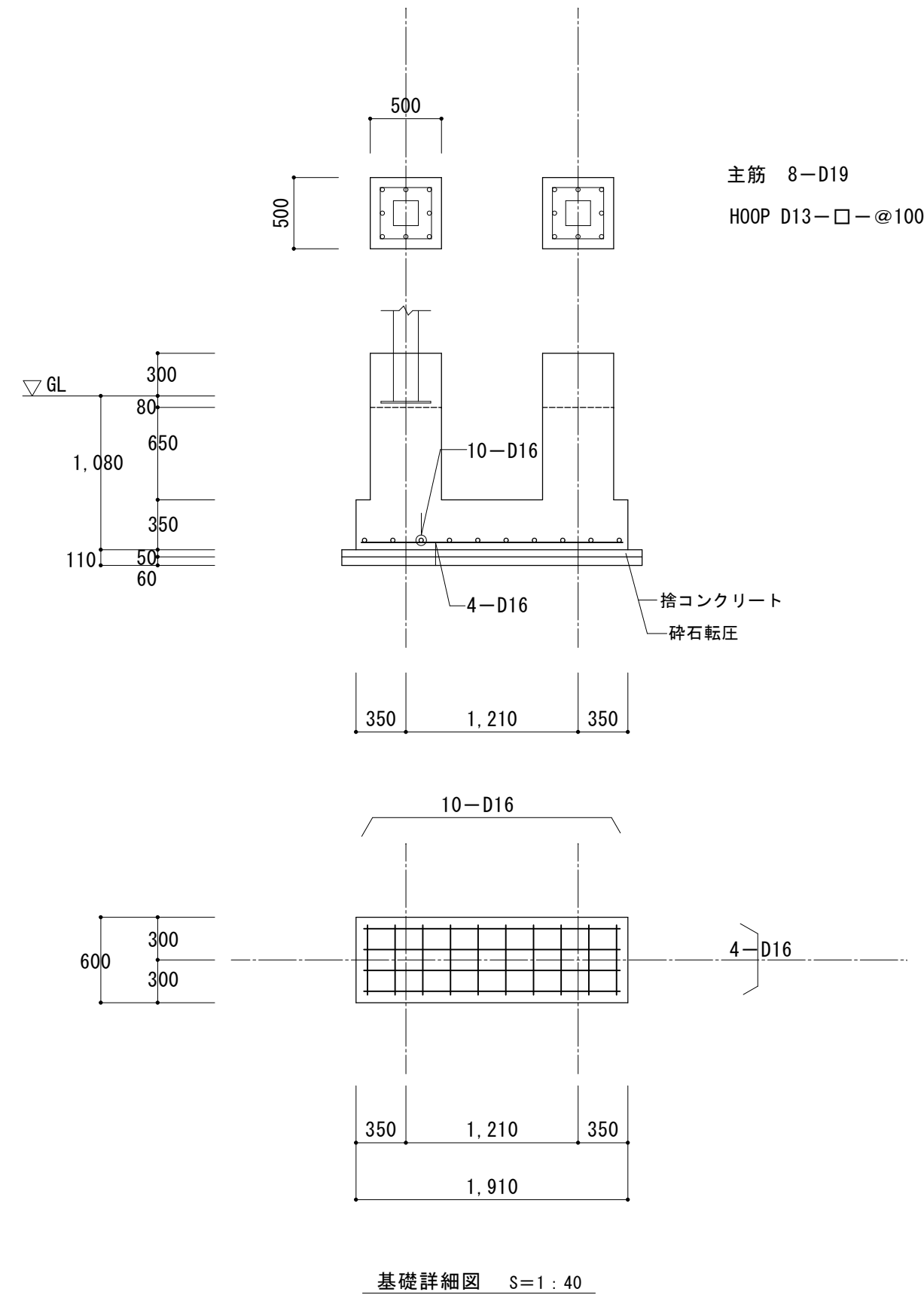
工事名称 旭分団詰所建設工事  
図面名称 鉄骨詳細図

No.  
S - 1 3



ホース掛け詳細図 S=1:40

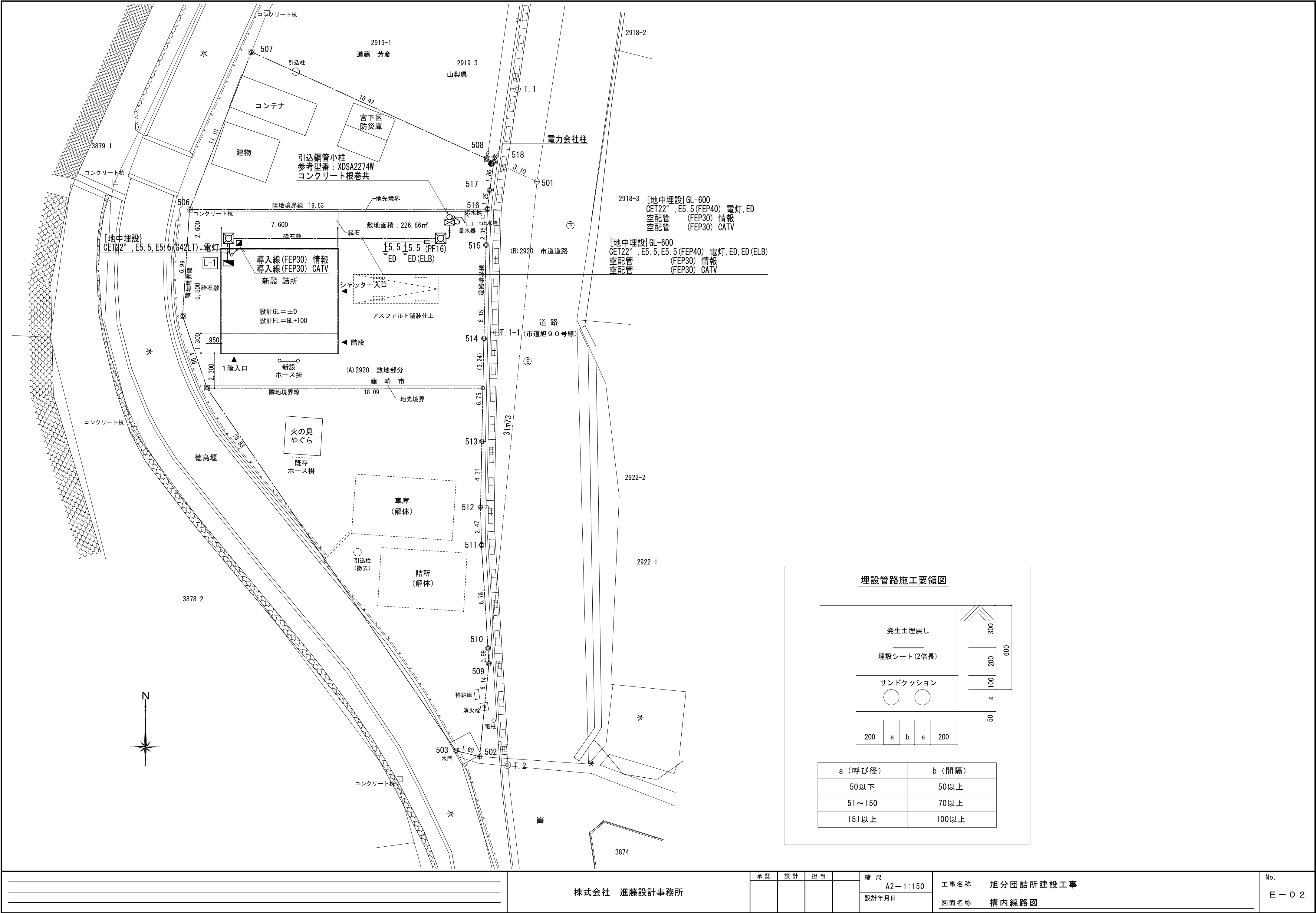
※ 詳細は意匠図参照



・構造設計担当・巧 設計室  
1級建築士 宮原 仁 大臣登録 第282500号  
構造設計一級建築士 交付番号 第 6894 号

	株式会社 進藤設計事務所	承認	設計	担当	縮尺	工事名称 旭分団詰所建設工事	No.
					A2-1:40		
					設計年月日	図面名称 各部詳細図	S-14

特記仕様書		旭分団詰所建設工事																																																																																																											
Ⅰ. 工事概要																																																																																																													
1. 工事場所  岐阜市旭町上条北割字宮下2920-2																																																																																																													
2. 建物概要																																																																																																													
建物名称		構造	階数	延床面積	消防法用途																																																																																																								
消防分団詰所		S造	2階	81.58㎡																																																																																																									
3. 工事項目																																																																																																													
建物別及び屋外																																																																																																													
工 事 種 目					備考																																																																																																								
受変電設備																																																																																																													
発電設備																																																																																																													
電力貯蔵設備																																																																																																													
幹線動力設備		○																																																																																																											
電灯・コンセント設備		○																																																																																																											
雷保護設備																																																																																																													
構内情報通信網設備		○																																																																																																											
構内交換設備																																																																																																													
情報表示設備																																																																																																													
映像・音響設備																																																																																																													
拡声設備																																																																																																													
誘導支援設備																																																																																																													
テレビ共用受信設備		○																																																																																																											
監視カメラ設備																																																																																																													
防犯・入退室管理設備																																																																																																													
火災報知設備																																																																																																													
舞台照明設備																																																																																																													
テレビ電波障害防除設備																																																																																																													
電気錠用配管設備																																																																																																													
機械整備用配管設備																																																																																																													
構内配電線路設備		○																																																																																																											
構内通信線路設備		○																																																																																																											
Ⅱ. 工事仕様																																																																																																													
1. 共通仕様																																																																																																													
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（令和7年版）」による。 また、改修工事に関しては、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（令和7年版）」による。																																																																																																													
2. 適用基準																																																																																																													
・電気設備技術基準　・内線規程　・配電規程　・高圧受電設備規程　・建築基準法　・消防法 ・建築設備耐震設計・施工指針2014年版　・その他関係法令																																																																																																													
3. 提出書類																																																																																																													
工事契約書及び監督員の指示するもの。 ・工程表　・施工計画書（要領書）　・メーカーリスト　・承諾図　・施工図　・工事写真　・完成写真 ・試験成績書　・機器完成図　・完成図　・保証書　・取扱説明書　・官公署届出書類　等																																																																																																													
4. 特記事項の適用																																																																																																													
（1）項目は○印のついたものを適用する。 （2）特記事項において選択する内容の事項は、●印の付いたものを適用する。 （3）その他細部については、監督員の指示による。																																																																																																													
項 目		特 記 事 項																																																																																																											
Ⅲ. 一般事項																																																																																																													
① 機材等		本工事に使用する設備機材等は、設計図書（「設備機材等選定表」を含む）に規定するもの又は、これらと同等なものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督員の承諾を受ける。 化学物質を発散する建築材料等はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ステレン、パラジクロロベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 なお、ホルムアルデヒドを発散しないものとはJIS及びJASのF☆☆☆☆表示建築材料を、ホルムアルデヒドの発散が極めて少ないものとはJIS及びJASのF☆☆☆表示建築材料又は同等品を云い、原則としてF☆☆☆☆表示建築材料を使用するものとするが、該当する材料等がない場合は、F☆☆☆表示建築材料又は同等品を使用するものとする。																																																																																																											
② 工事用電力 ・水・その他		本工事に必要な工事用電力、水等の費用及び官公署その他の関係機関への諸手続等に要する費用は請負者の負担とする。																																																																																																											
③ 工事写真		「営繕工事写真撮影要領」（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課）による。																																																																																																											
④ 発生材の処理		1）引渡しを要するもの ○有（　　　　　　　　　）　●無し 2）引渡しを要するもの以外 構外搬出とし、搬出及びその処理は　○別途工事　●本工事　とする。 関係法令に従い適切に処理し、産業廃棄物マニフェストを提出すること。 3）特別管理産業廃棄物 ○有（　　　　　　　　　）　●無し PCB使用機器は関係法令により適切に処理し、建物管理者に引渡す。 4）再利用又は再資源化を図るもの ○有（　　　　　　　　　）　●無し ○現場説明書による。																																																																																																											
⑤ 残土処理		●構外搬出とし適切に処分する（自由処分）　○構内指示場所に敷き均し ○構内指示場所に堆積　○構外指定場所（　　　　　　　　　）に搬出																																																																																																											
⑥ 施工図の取り扱い		施工図等の著作権にかかわる当該建物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。																																																																																																											
⑦ 凡例		図中に特記なきシンボル等はJIS-C-0303-00に準拠する。																																																																																																											
Ⅳ 施工																																																																																																													
① 導入線		長さ1m以上の入線しない管路には、導入線(1.2mm以上のビニル被覆鉄線)を挿入する。																																																																																																											
② 位置ボックス		結露する恐れのある壁、天井にボックスを打込む場合は結露防止断熱カバー取付等の結露防止処置を行う。 遮音間仕切壁内に設置するボックスには遮音対策を施すこと。また、防火区画の壁には耐火遮音ボックスを使用する。 防火区画の壁内に使用するボックスは鋼製ボックスとし、ケーブル入線部には耐火パテを充填すること。 強弱共用ボックスにはセパレータを設けること。																																																																																																											
③ 電線管		合成樹脂可とう電線管はPＦ重管とする。 雨線外の露出部分は、厚鋼電線管（GZ）を使用すること。 屋外や水回りに使用する金属製可とう電線管はビニル被覆付とする。 下記の露出配管は塗装を行う。（プライマー処理後、SOP2回塗り指定色仕上） ○屋外（　　　　　　　　　）○屋内（　　　　　　　　　）																																																																																																											
④ ブルボックス		屋内　○鋼板製（指定色塗装）　●鋼板製（塗装なし）　○合成樹脂製　●ステンレス製 床下、ビット内等、水気の多い場所 ●ステンレス製　○溶融亜鉛メッキ鋼板製　○合成樹脂製 屋外　●ステンレス製　○溶融亜鉛メッキ鋼板製　○合成樹脂製 鋼板製、ステンレス製は接地端子付とする。																																																																																																											
⑤ ケーブル、電線		電線ケーブル類は、環境対策型「エコマテリアル」(EM)製品を使用する。 ただし、既製品のない種類のものは承諾を得ること。																																																																																																											
⑥ ケーブル行先表示		ハンドホール、幹線用ブルボックス、EPS内ケーブルラックおよび分電盤等、要所の電線等には名札を取付け、用途、ケーブル種別、配線サイズ、電源種別（電圧）、出先～行先、施工年月日および施工者を表示すること。																																																																																																											
7 防火区画等		ケーブル、電線管、ケーブルラック等の防火区画貫通箇所には耐火処置を施すこと。 防火区画貫通処理は、監督員の承諾を得たうえ、国土交通大臣認定品を使用することができる。																																																																																																											
⑧ プレート		フラッシュプレート　●樹脂製　●新金属製　○ステンレス フロアプレート　○鋳金製　●アルミ合金製																																																																																																											
⑨ 壁類の鍵		壁類の鍵は原則として200番とし、使い分けが必要な場合は550番とする。																																																																																																											
⑩ スイッチ		●タンブラースイッチ埋込適用大角形（ネーム付）　○ワイド型（ネーム付）																																																																																																											
11 フロアコンセント		●プラグ収納型　●アップ型																																																																																																											
⑫ 接地極		特記なき接地極は下記による。 <table><tr><td>接地の種類</td><td>記号</td><td>接地抵抗値</td><td>接地極</td></tr><tr><td>共用接地</td><td>EAD</td><td>10Ω以下</td><td>EB(14φ)×3連-2組 以上</td></tr><tr><td>共用接地</td><td>EACD</td><td>10Ω以下</td><td>EB(14φ)×3連-2組 以上</td></tr><tr><td>A種接地</td><td>EА</td><td>10Ω以下</td><td>EB(14φ)×3連-2組 以上</td></tr><tr><td>B種接地</td><td>EB</td><td>50Ω以下</td><td>EB(14φ)×3連-2組 以上</td></tr><tr><td>C種接地</td><td>EC</td><td>10Ω以下</td><td>EB(14φ)×3連-2組 以上</td></tr><tr><td>D種接地</td><td>ED</td><td>100Ω以下</td><td>EB(14φ)×3連-1組 以上</td></tr><tr><td>高圧避雷器用</td><td>ELH</td><td>10Ω以下</td><td>EB(14φ)×3連-2組 以上</td></tr><tr><td>避雷設備用</td><td>ELA</td><td>10Ω以下</td><td>EB(14φ)×3連-2組 以上</td></tr><tr><td>交換装置用</td><td>EAt</td><td>10Ω以下</td><td>EB(14φ)×3連-2組 以上</td></tr><tr><td>通信用</td><td>EAt</td><td>10Ω以下</td><td>EB(14φ)×3連-2組 以上</td></tr><tr><td>通信用</td><td>EDt</td><td>100Ω以下</td><td>EB(14φ)×3連-1組 以上</td></tr><tr><td>保安器用</td><td>ELt</td><td>100Ω以下</td><td>EB(14φ)×3連-1組 以上</td></tr><tr><td>測定用</td><td>Et</td><td></td><td>EB(10φ)×1(L=1,000mm) 以上</td></tr></table>				接地の種類	記号	接地抵抗値	接地極	共用接地	EAD	10Ω以下	EB(14φ)×3連-2組 以上	共用接地	EACD	10Ω以下	EB(14φ)×3連-2組 以上	A種接地	EА	10Ω以下	EB(14φ)×3連-2組 以上	B種接地	EB	50Ω以下	EB(14φ)×3連-2組 以上	C種接地	EC	10Ω以下	EB(14φ)×3連-2組 以上	D種接地	ED	100Ω以下	EB(14φ)×3連-1組 以上	高圧避雷器用	ELH	10Ω以下	EB(14φ)×3連-2組 以上	避雷設備用	ELA	10Ω以下	EB(14φ)×3連-2組 以上	交換装置用	EAt	10Ω以下	EB(14φ)×3連-2組 以上	通信用	EAt	10Ω以下	EB(14φ)×3連-2組 以上	通信用	EDt	100Ω以下	EB(14φ)×3連-1組 以上	保安器用	ELt	100Ω以下	EB(14φ)×3連-1組 以上	測定用	Et		EB(10φ)×1(L=1,000mm) 以上																																																
接地の種類	記号	接地抵抗値	接地極																																																																																																										
共用接地	EAD	10Ω以下	EB(14φ)×3連-2組 以上																																																																																																										
共用接地	EACD	10Ω以下	EB(14φ)×3連-2組 以上																																																																																																										
A種接地	EА	10Ω以下	EB(14φ)×3連-2組 以上																																																																																																										
B種接地	EB	50Ω以下	EB(14φ)×3連-2組 以上																																																																																																										
C種接地	EC	10Ω以下	EB(14φ)×3連-2組 以上																																																																																																										
D種接地	ED	100Ω以下	EB(14φ)×3連-1組 以上																																																																																																										
高圧避雷器用	ELH	10Ω以下	EB(14φ)×3連-2組 以上																																																																																																										
避雷設備用	ELA	10Ω以下	EB(14φ)×3連-2組 以上																																																																																																										
交換装置用	EAt	10Ω以下	EB(14φ)×3連-2組 以上																																																																																																										
通信用	EAt	10Ω以下	EB(14φ)×3連-2組 以上																																																																																																										
通信用	EDt	100Ω以下	EB(14φ)×3連-1組 以上																																																																																																										
保安器用	ELt	100Ω以下	EB(14φ)×3連-1組 以上																																																																																																										
測定用	Et		EB(10φ)×1(L=1,000mm) 以上																																																																																																										
⑬ 保安器用接地		●本工事　○別途																																																																																																											
⑭ 接地極埋設標		接地極埋設箇所には接地極埋設標（金属製）を取付けること。（屋外灯を除く）																																																																																																											
⑮ 地中埋設深さ		地中埋設深さは原則として下記による。 ・低圧および弱電線路　6L-600以上　・高圧線路　6L-600以上																																																																																																											
⑯ 埋設シート		地中線路にはケーブル埋設標識シート（2倍長以上）を設ける。																																																																																																											
⑰ FEP電線管		地中埋設配管に使用するFEP電線管は難燃性とする。																																																																																																											
⑱ 地中線埋設標		構内線路における埋設標の材質及びその個数は、図面に記載のない場合は下記による。 ●鉄製（　箇所）　○コンクリート製（　箇所）																																																																																																											
19 防水処理		屋外より地下ビットへの配管飛込み部分は、防水鉄管又はつば付スリーブ、防水用止水材を使用し防水処理を行う。 地中配管口には、湿気、泥水、小動物及び危険性ガス等が浸入せぬ様、管口止水材（パテ、シール等）を使用すること。																																																																																																											
20 耐震措置		機器、ラック、ダクト等は耐震処理とし堅固に据付け、取付けまたは支持を行う。 耐震措置の計算及び施工方法は、すべて「建築設備耐震設計・施工指針2014年版（一般財団法人日本建築センター）」による。 据付け、取付け、支持に伴う耐震措置については、施工計画書を作成し、監督員の承諾を得ること。																																																																																																											
㉑ 寸法・形状		本設計図のうちの、機器盗図等に記入の寸法・形状は参考とする。																																																																																																											
㉒ その他		●電力会社、通信事業者、所轄消防署、電気保安管理者への申請・届出の手続き及び費用は本工事に含む。 ●建築構造上のエキスポジョイント箇所は、配線上支障なき様処置すること。 ●ハンドホール、ブルボックス内では、ケーブル本数及び、点検等を考慮しケーブル支持金物などを設ける。 ●引込み取付け点は、電力会社、NＴＴ等関係担当員と協議の上決定する。 ●図面に特別指示なくも技術上、構造上、美観上当然必要とみとめられるものは、請負者負担において、良心的に行うものとする。 ●機材メーカーによる施工要領で禁止事項及び注意義務は施工者の責任施工とする。 ●本工事に使用する建設機械は「排出ガス対策型建設機械指定要領」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。 ○施工前に接地抵抗測定を実施し、接地抵抗値を確認のこと。 ●受電後1か月間の電気基本料金は本工事に含む。																																																																																																											
㉓ 取付高さ（参考）		壁付、壁掛型の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は下記を参考とし、詳細は監督員との協議による。 <table><tr><td>名 称</td><td>測 点</td><td>取付高さ（mm）</td></tr><tr><td>ブラケット（一般）</td><td>床上～中心</td><td>2,100</td></tr><tr><td>〃（踊場）</td><td>床上～中心</td><td>2,500</td></tr><tr><td>〃（鏡上）</td><td></td><td>150</td></tr><tr><td>廊下通路誘導灯</td><td></td><td>1,000以下</td></tr><tr><td>スイッチ</td><td>床上～中心</td><td>1,200</td></tr><tr><td>コンセント</td><td>床上～中心</td><td>300</td></tr><tr><td>電話アウトレット</td><td>床上～中心</td><td>300</td></tr><tr><td>情報アウトレット</td><td>床上～中心</td><td>300</td></tr><tr><td>直列ユニット</td><td>床上～中心</td><td>300</td></tr><tr><td>〃（和室）</td><td>床上～中心</td><td>200</td></tr><tr><td>子時計、スピーカ</td><td>床上～中心</td><td>（天井高）×0.9</td></tr><tr><td>アッテネータ</td><td>床上～中心</td><td>1,200</td></tr><tr><td>インターホン</td><td>床上～中心</td><td>1,500</td></tr><tr><td>呼出ボタン（多目的トイレ用）</td><td>床上～中心</td><td>300,900</td></tr><tr><td>復帰ボタン（　〃　）</td><td>床上～中心</td><td>1,800</td></tr><tr><td>廊下表示灯（　〃　）</td><td>床上～中心</td><td>2,000</td></tr></table> 注）天井高は、3,000mm以下を対象とする。				名 称	測 点	取付高さ（mm）	ブラケット（一般）	床上～中心	2,100	〃（踊場）	床上～中心	2,500	〃（鏡上）		150	廊下通路誘導灯		1,000以下	スイッチ	床上～中心	1,200	コンセント	床上～中心	300	電話アウトレット	床上～中心	300	情報アウトレット	床上～中心	300	直列ユニット	床上～中心	300	〃（和室）	床上～中心	200	子時計、スピーカ	床上～中心	（天井高）×0.9	アッテネータ	床上～中心	1,200	インターホン	床上～中心	1,500	呼出ボタン（多目的トイレ用）	床上～中心	300,900	復帰ボタン（　〃　）	床上～中心	1,800	廊下表示灯（　〃　）	床上～中心	2,000																																																					
名 称	測 点	取付高さ（mm）																																																																																																											
ブラケット（一般）	床上～中心	2,100																																																																																																											
〃（踊場）	床上～中心	2,500																																																																																																											
〃（鏡上）		150																																																																																																											
廊下通路誘導灯		1,000以下																																																																																																											
スイッチ	床上～中心	1,200																																																																																																											
コンセント	床上～中心	300																																																																																																											
電話アウトレット	床上～中心	300																																																																																																											
情報アウトレット	床上～中心	300																																																																																																											
直列ユニット	床上～中心	300																																																																																																											
〃（和室）	床上～中心	200																																																																																																											
子時計、スピーカ	床上～中心	（天井高）×0.9																																																																																																											
アッテネータ	床上～中心	1,200																																																																																																											
インターホン	床上～中心	1,500																																																																																																											
呼出ボタン（多目的トイレ用）	床上～中心	300,900																																																																																																											
復帰ボタン（　〃　）	床上～中心	1,800																																																																																																											
廊下表示灯（　〃　）	床上～中心	2,000																																																																																																											
Ⅴ. その他共通事項		Ⅵ. 設備機材等選定表（下記以外は監督員の承諾を得ること） <table><tr><td colspan="2">機 材 名</td><td colspan="6">指 定 メ ー カ ー</td></tr><tr><td colspan="2">○電線ケーブル類</td><td colspan="6">JISマーク表示品、又はJISマーク表示許可工場</td></tr><tr><td colspan="2">○電線管、付属品類</td><td colspan="6">JISマーク表示品、又はJISマーク表示許可工場</td></tr><tr><td>受変電・配分電盤類</td><td>新 星</td><td>小 林</td><td>ビ-テック</td><td>河 村</td><td>日 東</td><td>内 外</td><td></td></tr><tr><td>高圧気中開閉器</td><td>戸 上</td><td>三菱社</td><td>東 光</td><td>大 塚</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>○照明器具類</td><td>東 芝</td><td>パナソニック</td><td>岩 崎</td><td>三 菱</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>○配線器具類</td><td>パナソニック</td><td>東 芝</td><td>神 保</td><td>寺 田</td><td>明工社</td><td></td><td></td></tr><tr><td>○テレビ共聴機器</td><td>パナソニック</td><td>D X</td><td>東 芝</td><td>八 木</td><td>日アン</td><td>マスプロ</td><td></td></tr><tr><td>放送・音響機器</td><td>パナソニック</td><td>TOA</td><td>ビクター</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>トイレ呼出機器</td><td>アイホン</td><td>ケアコム</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>インターホン機器</td><td>パナソニック</td><td>アイホン</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>監視カメラ機器</td><td>パナソニック</td><td>TOA</td><td>ビクター</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>防災機器</td><td>ホーチキ</td><td>能 美</td><td>ニッタン</td><td>パナソニック</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				機 材 名		指 定 メ ー カ ー						○電線ケーブル類		JISマーク表示品、又はJISマーク表示許可工場						○電線管、付属品類		JISマーク表示品、又はJISマーク表示許可工場						受変電・配分電盤類	新 星	小 林	ビ-テック	河 村	日 東	内 外		高圧気中開閉器	戸 上	三菱社	東 光	大 塚				○照明器具類	東 芝	パナソニック	岩 崎	三 菱				○配線器具類	パナソニック	東 芝	神 保	寺 田	明工社			○テレビ共聴機器	パナソニック	D X	東 芝	八 木	日アン	マスプロ		放送・音響機器	パナソニック	TOA	ビクター					トイレ呼出機器	アイホン	ケアコム						インターホン機器	パナソニック	アイホン						監視カメラ機器	パナソニック	TOA	ビクター					防災機器	ホーチキ	能 美	ニッタン	パナソニック			
機 材 名		指 定 メ ー カ ー																																																																																																											
○電線ケーブル類		JISマーク表示品、又はJISマーク表示許可工場																																																																																																											
○電線管、付属品類		JISマーク表示品、又はJISマーク表示許可工場																																																																																																											
受変電・配分電盤類	新 星	小 林	ビ-テック	河 村	日 東	内 外																																																																																																							
高圧気中開閉器	戸 上	三菱社	東 光	大 塚																																																																																																									
○照明器具類	東 芝	パナソニック	岩 崎	三 菱																																																																																																									
○配線器具類	パナソニック	東 芝	神 保	寺 田	明工社																																																																																																								
○テレビ共聴機器	パナソニック	D X	東 芝	八 木	日アン	マスプロ																																																																																																							
放送・音響機器	パナソニック	TOA	ビクター																																																																																																										
トイレ呼出機器	アイホン	ケアコム																																																																																																											
インターホン機器	パナソニック	アイホン																																																																																																											
監視カメラ機器	パナソニック	TOA	ビクター																																																																																																										
防災機器	ホーチキ	能 美	ニッタン	パナソニック																																																																																																									
① 機材の品質・性能証明		設備機材は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明資料又は、外部機関(（社）公共建築協会他)が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受ける。ただし、JIS（日本工業規格）に該当するものであることを示す表示のある機材を使用する場合及びあらかじめ監督職員の承諾を受けた場合には、資料の提出を省略することができる。標準仕様書によるJIS、JEC、JEM等の基準に該当するものはその適合品とし、それ以外は国土交通大臣官房官庁営繕部監修の、建築材料設備機材等品質性能評価事業設備機材等評価名簿（最新版）によるほか、監督員との協議による。 ただし、製作盤等は、評価名簿以外に山梨県特定盤メーカーとすることができる。																																																																																																											



**埋設管路施工要領図**

発生土埋戻し

埋設シート(2倍長)

サンドクッション

200

a

b

a

200

300

200

100









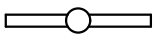

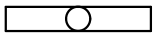
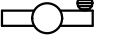





























a

50

600

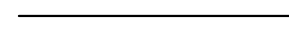
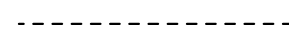
a (呼び径)	b (間隔)
50以下	50以上
51～150	70以上
151以上	100以上

凡例

記号	名称	記号	名称
	電灯分電盤		電話用アウトレット（壁付） 6極4芯モジュラ付
	動力盤		情報用アウトレット（壁付） 6極8芯モジュラ付
	引込開閉器盤		テレビ端子
	端子盤 参考寸法：W400×H300×D120 木板付		テレビアンテナ アンテナマスト、マスト支持材共
	LEDベースライト		防雨入線カバー
	LEDベースライト		
	LEDキッチンライト 手元スイッチ付		
	LEDダウンライト		
	LEDダウンライト センサ付		
	LEDブラケットライト		
	LEDスポットライト センサ付		
	熱線センサ付自動スイッチ 親機 100V 3A		
	埋込スイッチ（ネーム付） 1P15A×1		
	埋込スイッチ（ネーム付） 1P15A×1 位置表示灯付		
	防水埋込スイッチ 3W15A×1		
	換気用パイロットスイッチ（ネーム付） 1P0.5A		
	換気強弱スイッチ 1P4A プレート共（機械設備支給品）		
	自動点滅器 100V 3A		
	24時間換気スイッチ（P-10SWL2相当品）		
	換気扇電源接続		
	ジョイントボックス		
	換気用埋込コンセント 2P15A×1 抜止		
	埋込コンセント 2P15A×1 接地端子付		
	埋込コンセント 2P15A×2 接地極付		
	埋込コンセント 2P15A×2 接地極、接地端子付		
	埋込コンセント 2P15A×1 接地極、接地端子付		
	防水コンセント 2P15A×3 接地端子付		
	埋込コンセント 2P15A×2 接地極付（金属ガードプレート・簡易鍵付）		
	埋込コンセント 250V 接地2P20A		
	丸形露出ボックス（1方出/2方出/3方出）		
	ブルボックス 150×150×150 ET付（屋外は防水SUS）		
	ブルボックス 200×200×200 ET付（屋外は防水SUS）		
	ブルボックス 250×250×250 ET付（屋外は防水SUS）		
	ブルボックス 300×300×300 ET付（屋外は防水SUS）		
	ハンドホール H1-6 R8K セパレータ付		
	地中線埋設標 コンクリート製		

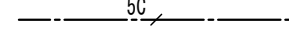
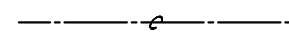
※配線器具のプレート仕様は新金属製とする。

凡例

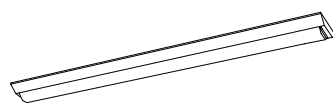
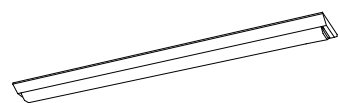

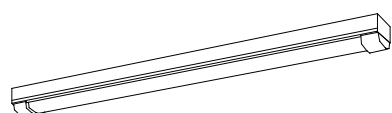
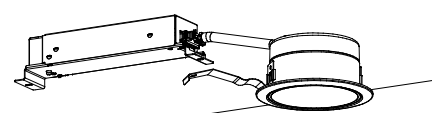
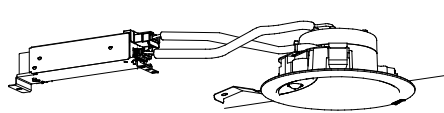
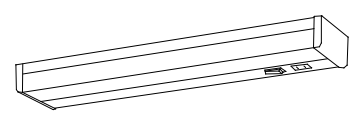
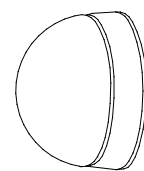
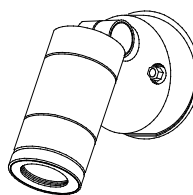
	天井隠蔽配管・配線
	天井内ケーブル配線
	床隠蔽配管・配線
	露出配管・配線
	地中埋設配管・配線

特記なき配線は下記による。

■幹線動力・電灯・コンセント設備		
	EEF1. 6-2C	（露出E19/GZ16）（壁内PF16）
	EEF1. 6-3C	（露出E25/GZ22）（壁内PF22）
	EEF1. 6-3C	（1C接地）（露出E25/GZ22）（壁内PF22）
	EEF1. 6-2C+2C	（露出E25/GZ22）（壁内PF22）
	EEF1. 6-2C+2C	（1C接地）（露出E25/GZ22）（壁内PF22）
	EEF1. 6-3C+3C	（露出E31/GZ28）（壁内PF28）
	EEF2. 0-2C	（露出E19/GZ22）（壁内PF22）
	EEF2. 0-3C	（1C接地）（露出E25/GZ22）（壁内PF22）
	IE2. 0×4, E1. 6	（E25）
	IE1. 6×6	（E25）
	IE1. 6×8	（E25）
	IE1. 6×8, E1. 6	（E25）

■弱电設備		
	EM-S-5C-FB	（露出E19/GZ16）（壁内PF16）
	空配管	（PF22）

※特記なき場合、屋内露出部はねじなし電線管、屋外露出部は厚鋼電線管（GZ仕様）とする。

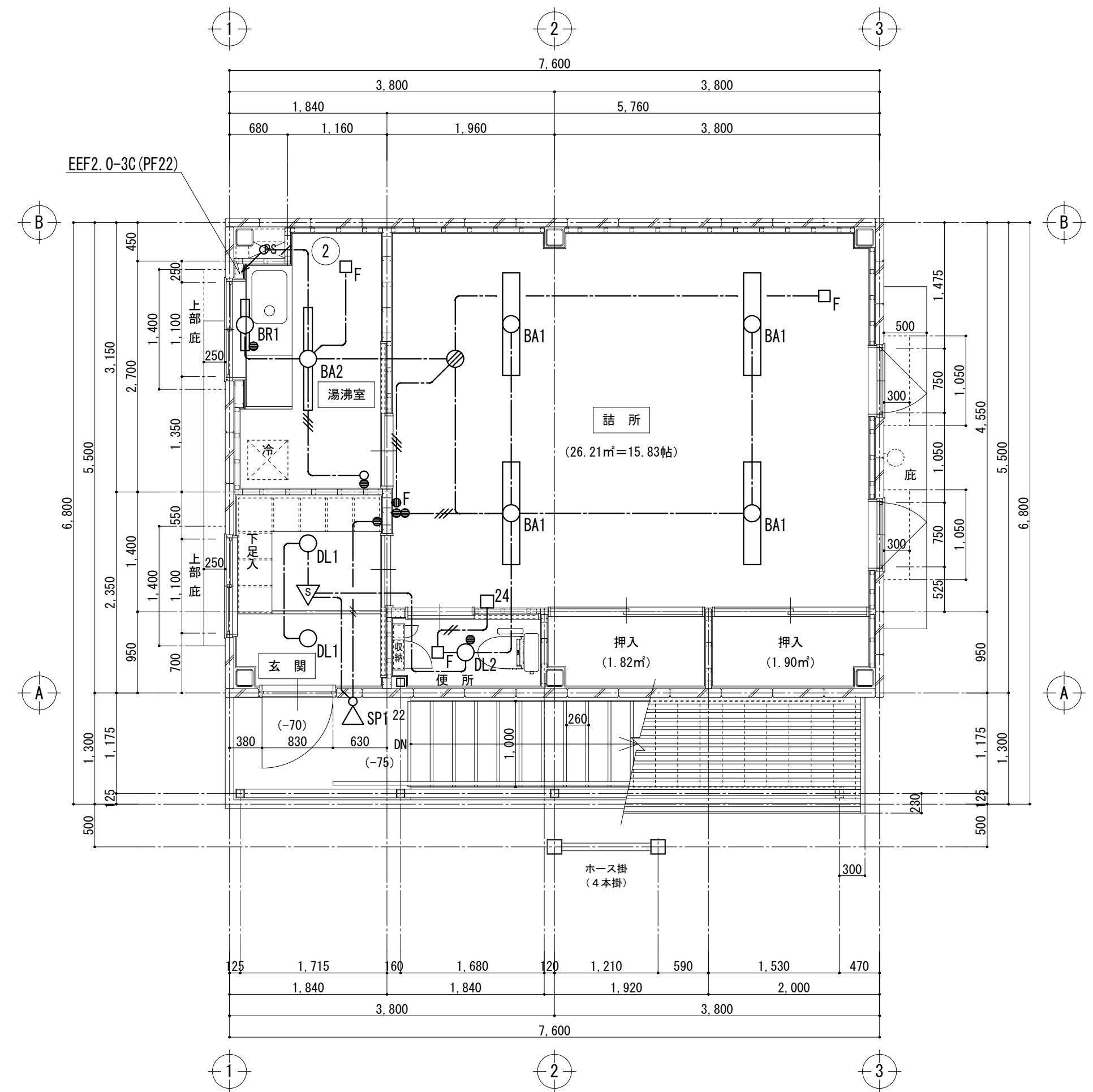
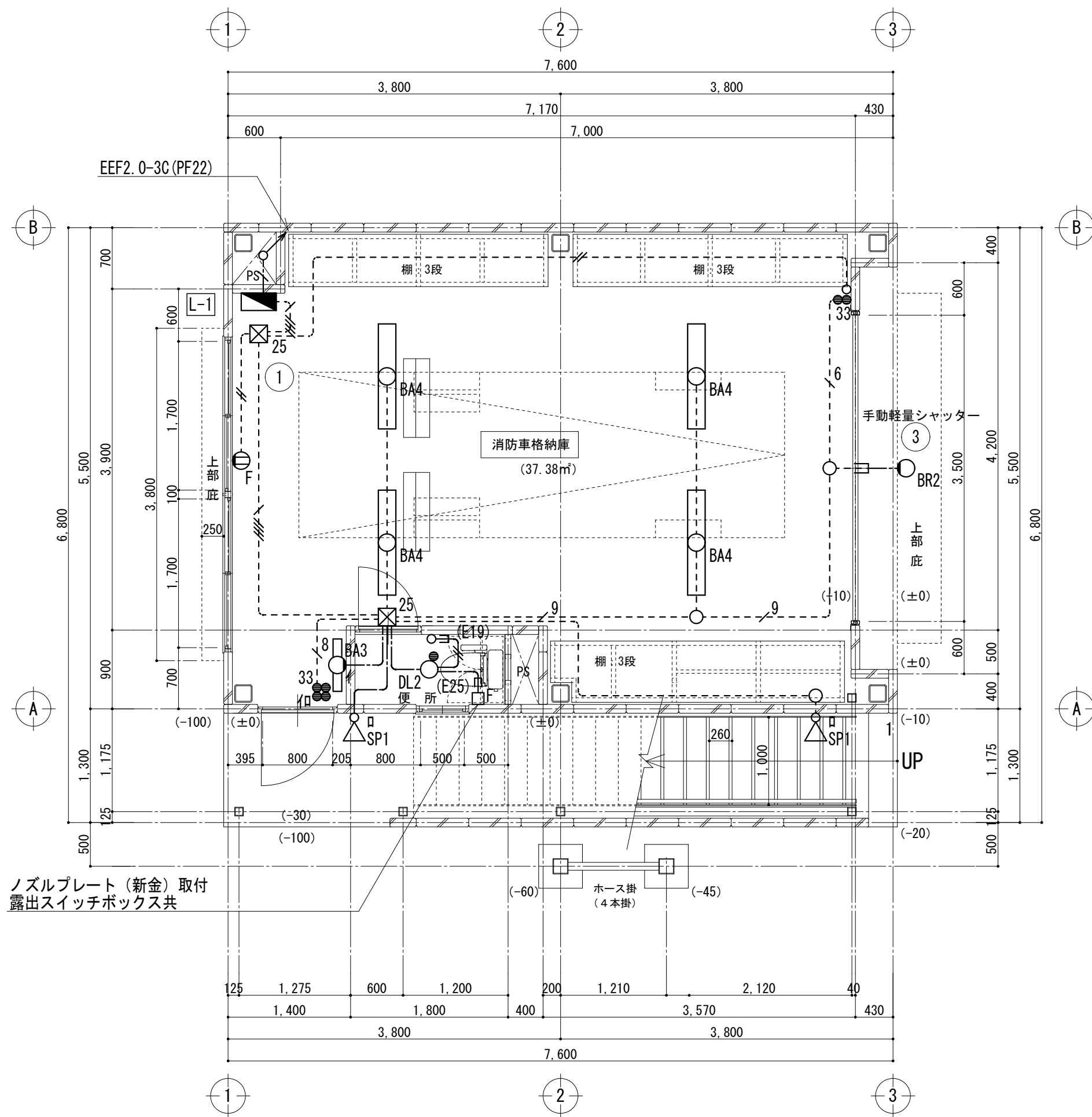
BA1		LED直付型40形 6900lm W150		BA2		LED直付型40形 4000lm W150		BA3		LED直付型20形 1600lm W150	
LSS9-4-65LN				LSS9-4-37LN				LSS1-2-15LN			
											
一般タイプ、6900lmタイプ 消費電力43.1W、定格出力型、電圧100～242V 本体：銅板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光束維持時間40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵				一般タイプ、4000lmタイプ 消費電力25W、定格出力型、電圧100～242V 本体：銅板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光束維持時間40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵				一般タイプ、1600lmタイプ 消費電力11.6W、定格出力型、電圧100～242V 本体：銅板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光束維持時間40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵			
BA4		LED直付型40形 5200lm 防湿型・防雨型		DL1		LEDダウンライト 60形		DL2		LEDダウンライト 150形電球1灯器具相当 センサ付	
LSS1MP/RP-4-46LN				LRS1-05LN				LDS2-LRS1-13LN			
											
一般タイプ、5200lmタイプ 消費電力32.5W、定格出力型、電圧100～242V 本体：ステンレス（高反射白色粉体塗装） 防湿型・防雨型ライトバー：ポリカーボネート（乳白）＋アクリルコーティング 光束維持時間40000時間（光束維持率85%） IP23防湿型、昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵				電源ユニット内蔵、一般光色タイプ 5000K、Ra85、拡散タイプ 光束遮光角15度、光束維持時間40000時間（光束維持率85%） 器具光束：610lm、消費電力：4.2W、電圧：100～242V 反射板（上部）：プラスチック（ホワイト） 反射板（下部）：銅板（ホワイトつや消し仕上） 枠：銅板（ホワイトつや消し仕上）、埋込穴φ100				電源ユニット内蔵、一般光色タイプ センサ付、5000K、Ra85、拡散タイプ 光束維持時間40000時間（光束維持率85%） 器具光束：1660lm、消費電力：11.8W、電圧：100～242V 反射板（上部）：プラスチック（ホワイト） 枠・反射板（下部）：アルミダイカスト（ホワイトつや消し仕上） 埋込穴φ150			
BR1		LEDキッチンライト 20形直管蛍光灯1灯器具相当		BR2		LED赤色表示灯		SP1		LEDスポットライト 80形電球1灯器具相当	
LGB52094LE1 相当品				NNF20298Z 相当品				LGW40190LE1 相当品			
											
昼白色（5000K）、Ra83 器具光束980lm、消費電力12W、電圧100V 拡散タイプ、壁直付型・棚下直付型、コンセント付 カバー：プラスチック（乳白） スイッチ付				予備電源別置型・非常用LED併用型 光源寿命40000時間 壁直付型 防雨型				電球色（2700K）、Ra83 器具光束570lm、消費電力8.2W、電圧100V 拡散タイプ アルミダイカスト（オフブラック） パネル：ガラス（透明） 照射方向可動型、可動範囲上下90度 回転方向330度			

※照明器具消費電力はJIS C 8105-3 の試験方法による。

[illegible][illegible]

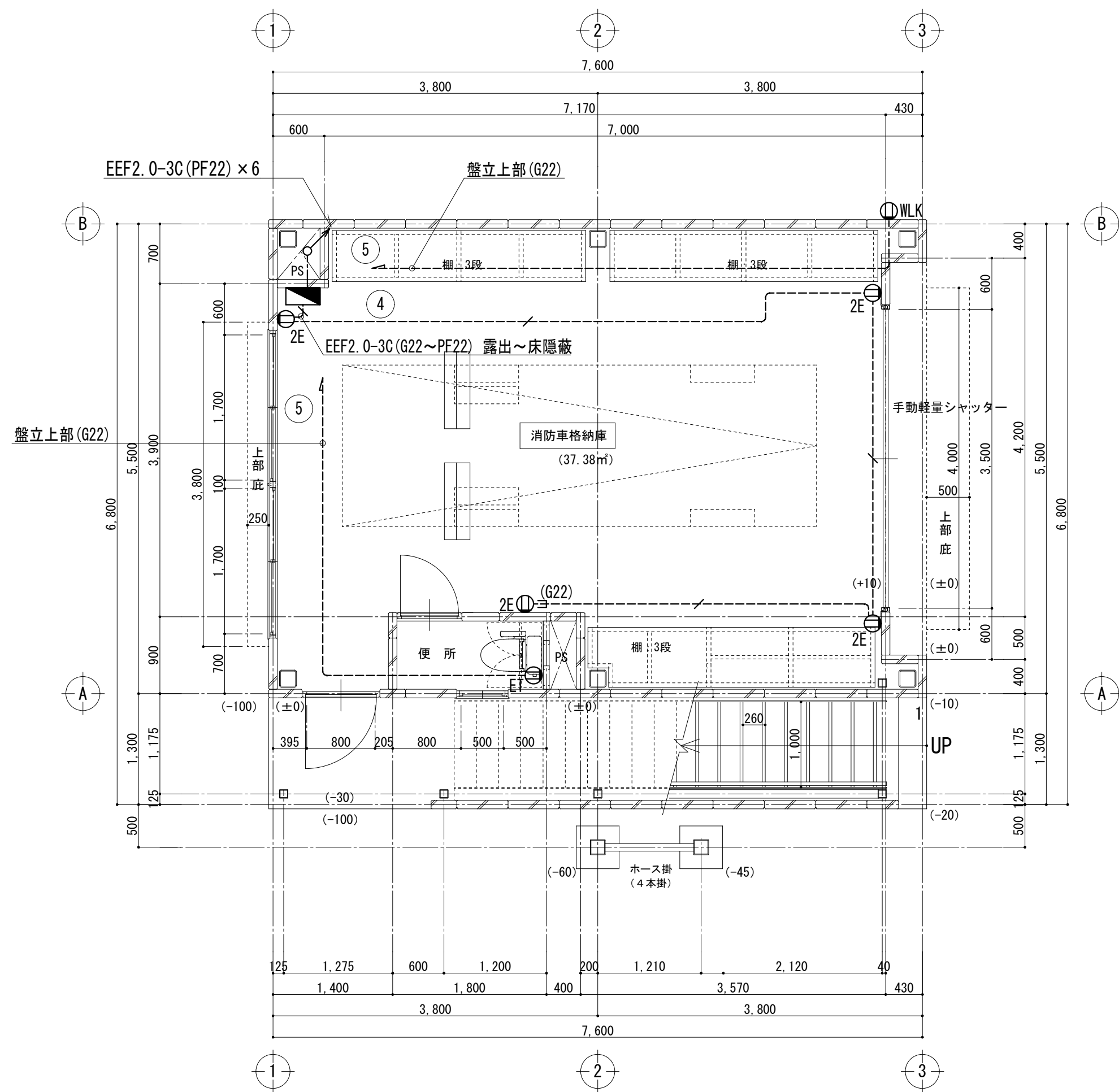
- ・特記事項
- ・主幹3線式電路に設ける配線用遮断器、漏電遮断器は中性線欠相保護付とする。
- ・分岐開閉器は1F流約形とし、50AF/20ATは1Pサイズとする。
- ・漏電遮断器は過電流保護機構を備え、定格感度電流30mA以下とするが、空調室外機用開閉器は機器仕様仕様に合わせ選定すること。
- ・STM：ソーラータムスリッチ（年間、停電補償付、1回路型）
- ・点灯、消灯時刻設定は現地打合せによる。
- ・盤類は国土交通省仕様とする。

[illegible]

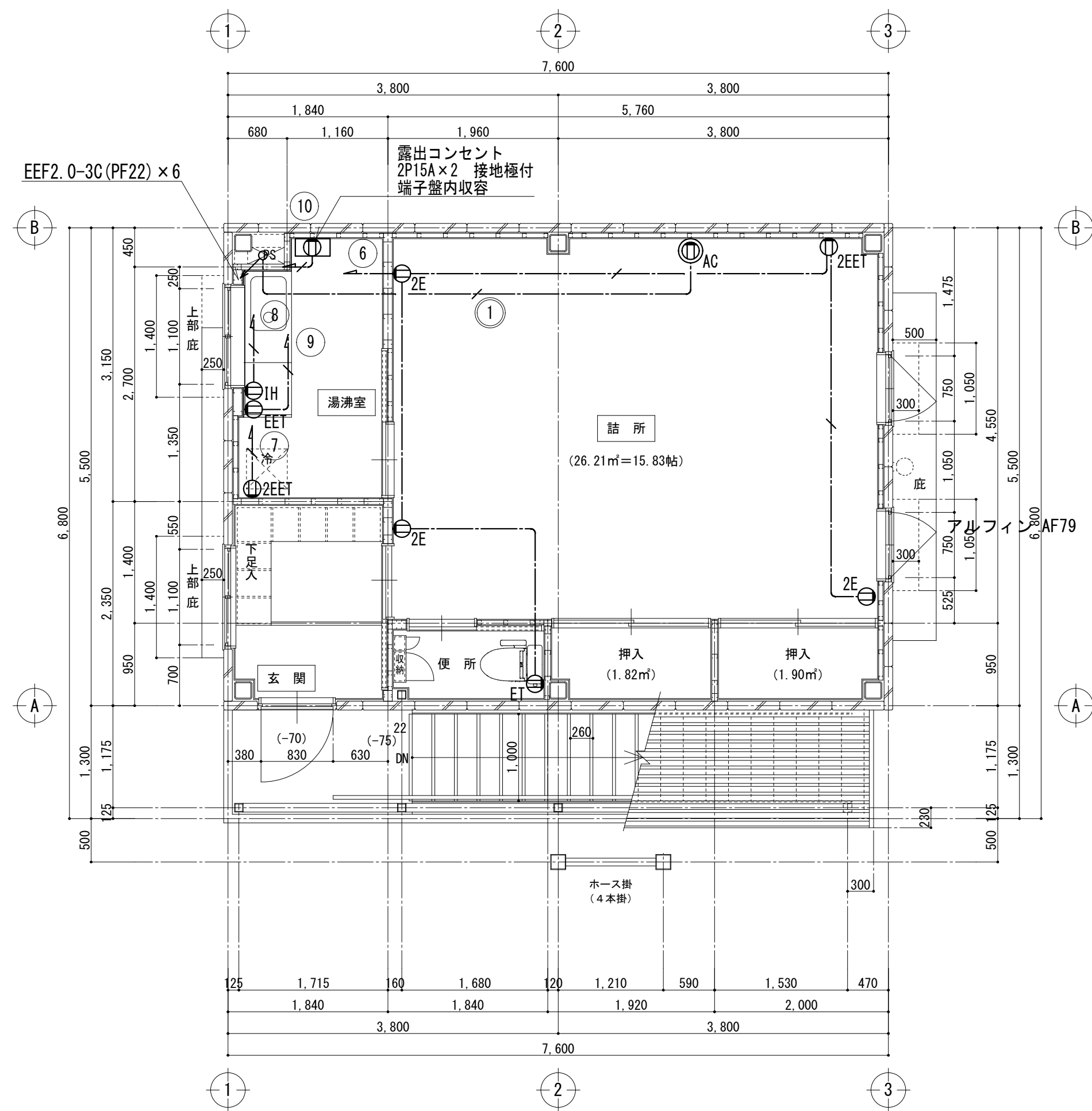


	株式会社 進藤設計事務所	承認	設計	担当	縮尺 A2-1:50 設計年月日	工事名称	旭分団詰所建設工事	No. E-05
						図面名称	電灯設備平面図	

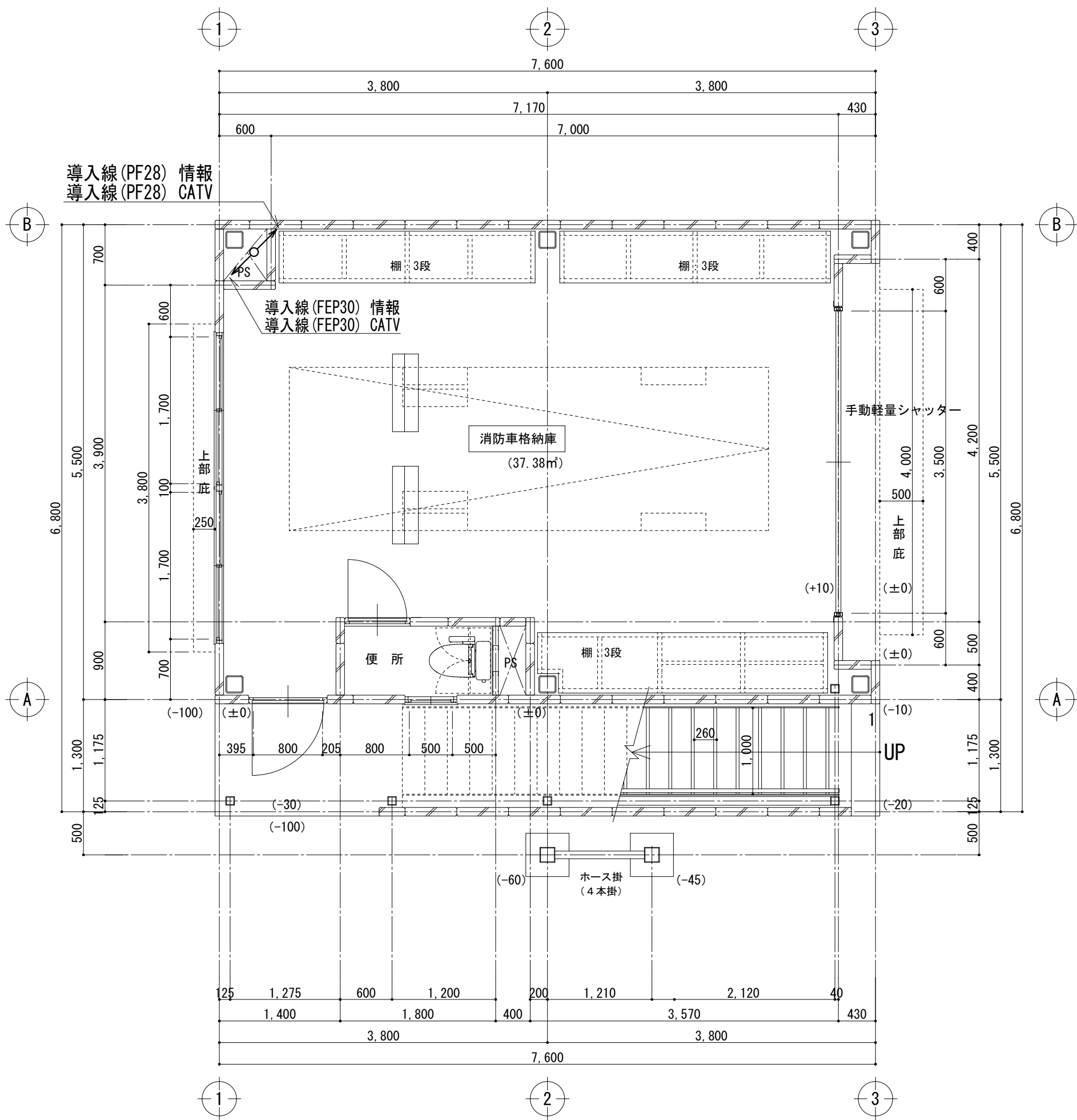




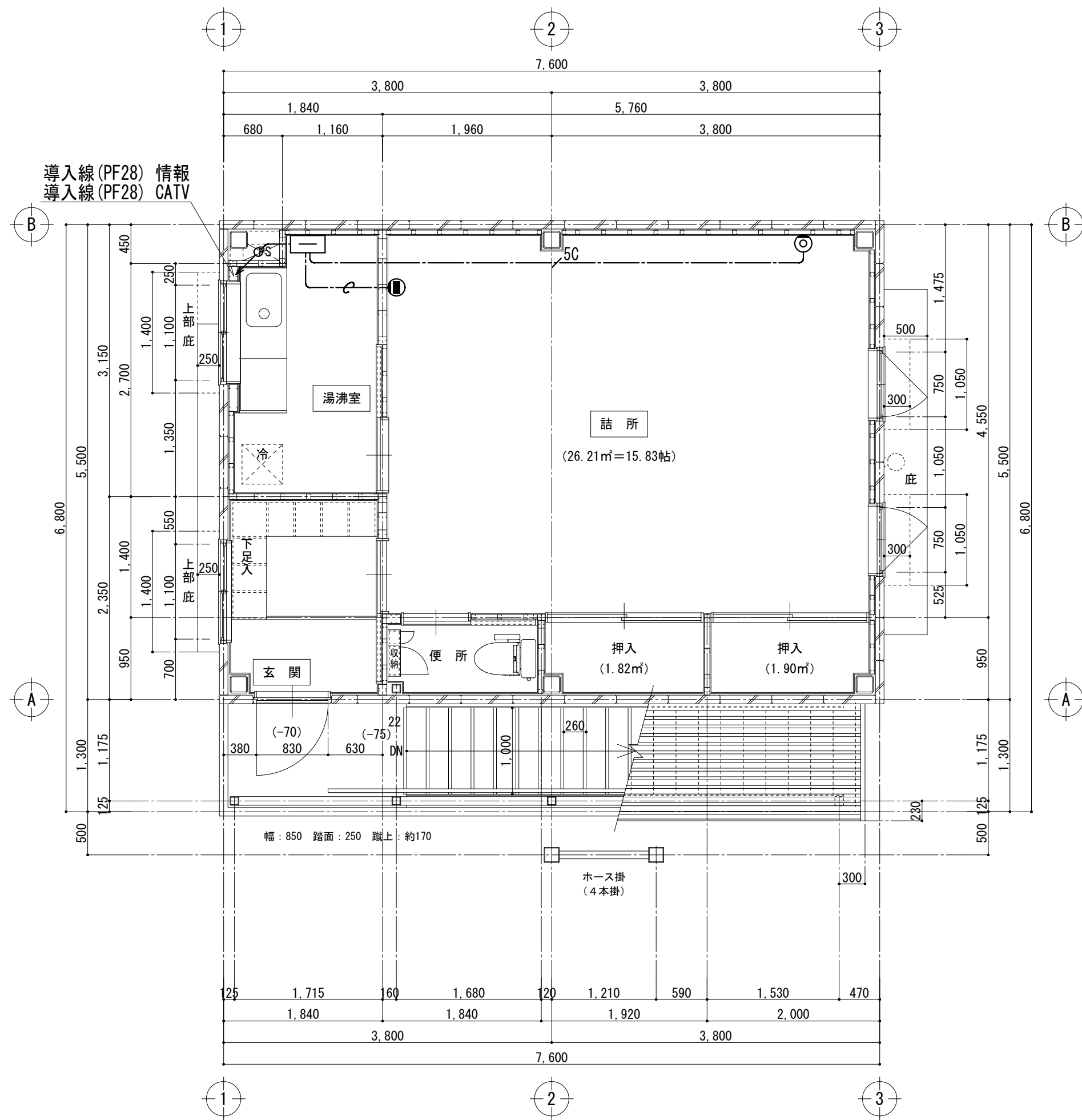
1階 平面詳細図 1/50



2階 平面詳細図 1/50






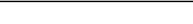




1 階 平面詳細図 1/50

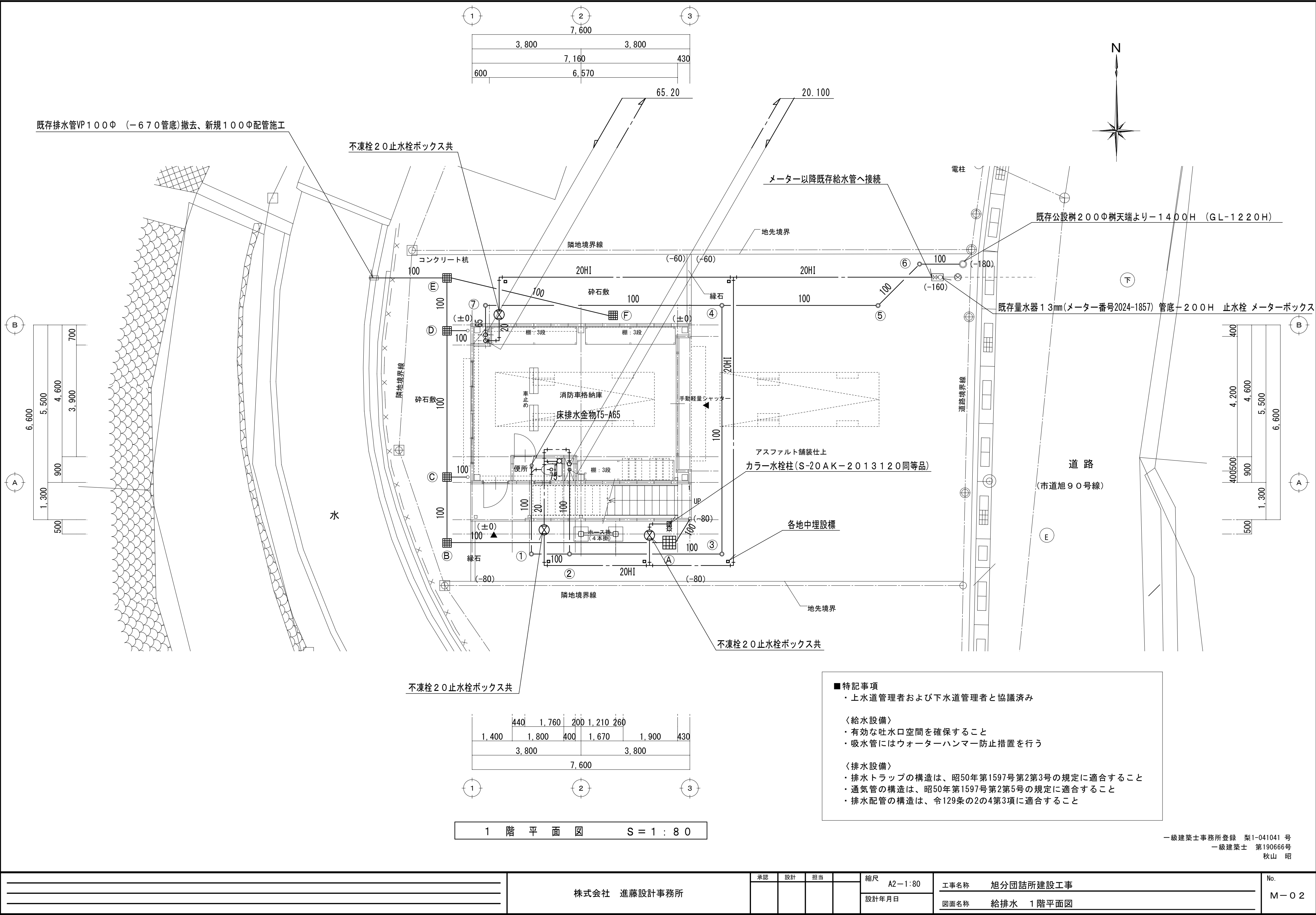


2 階 平面詳細図 1/50

特記仕様書

工事名称	旭分団詰所建設工事機械設備工事	凡例	給水管  耐衝撃性硬質塩ビ管JWWA-K-118(H.I.P.)屋外地中部分
工事場所	韭崎市旭町上条北割字宮下2920-2		給水管  一般配管用ステンレス鋼管JIS G 3448 SUS304
工事範囲	設計図書・現説・工事契約書に依る。		排水管  硬質ポリ塩化ビニル管JIS-K-6741(V.P.)
建物概要	鉄骨造り 2階建て 延床面積 81.58㎡		冷媒管  保温付鋼管セットJIS-H-3300室内外機間渡り配線共
			ドレン管  ドレンホース25Φ(冷媒管共巻き)
一般事項	1. 本工事は全て、図面・本仕様書及び、諸官庁関係法規に準拠して施工する。尚、その届出費用は請負人の負担とする。		円形ダクト  亜鉛鉄板製(スパイラルダクト)板厚450Φ以下-0.5mm
	2. 本工事に於て、図面・本仕様書に疑義が生じた場合、及びそれに明記なきものでも技術上当然必要なものは、		汚水、雑排水樹  市販塩ビインパート樹詳細図参照
	監督員と協議の上誠実に施工するものとする。		排水樹  市販コンクリート樹詳細図参照
	3. 本設計図は、工事概要を示すものであるから、請負人は充分なる理解の上、工事着手前に工程表・機器承認図等を提出し、		
	監督員の承認を得る事。		
	4. 工事完成時には、機器取り扱い説明書・保証書・各申請書類・試験表・竣工図・工程写真・完成写真等を提出すること。		
	尚、内容・部数等詳細については、監督員の指示に従うこと。		
		保温塗装	
優先順位	1. 法令、政令、規則等の定め、及び指導		
	2. 現場説明事項 質疑事項		
	3. 特記仕様書		
	4. 設計図		
	5. 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修『公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)最新年版』		
工事項目	1. 衛生器具 設備工事		
	2. 給水 設備工事		
	3. 排水通気 設備工事		
	4. 冷暖房 設備工事		
	5. 換気 設備工事		
特記事項	○ 給水管埋設深さ 屋外部分～GL-600以下(凍結防止のため)		
	○ バルブ仕様 給水本管直結部～ゲート弁(JIS10k品)又は水道課指定品、その他～ゲート弁(JIS5k品)		
	○ 屋外露出部ラッキング仕様はステンレスラッキング厳守のこと。		
	○ 土間下埋設配管は沈下防止のため、それぞれの管種に応じ天井配管と同ピッチで土間配筋より吊ること。	工事区分	建築工事 ～ 雨水縦樋 壁掛換気扇用木枠 流し台セット(排水金物共) 便所収納棚
	○ 各機器のリモコンの取付位置は係員と協議の上施工のこと。		
	○ 給水管の配管に当たっては、勾配に注意し、空気溜まりのなき様施工に当たること。		電気工事 ～ 換気扇用スイッチ及び配線 24時間換気表示スイッチ取付(配線共) 換気扇用コントロールスイッチ取付
	○ 保温、塗装、防食仕様は、共通仕様書最新版に準じて施工のこと。		本工事 ～ 換気扇用コントロールスイッチ電気工事へ支給
	○ 不凍栓はMT型600Lを使用し、浸透効果を高めるため排水ブロック(250型)を設置すること。		別途工事 ～ 既存不明給水管撤去
	○ 給水工事は管轄水道課規定に準拠して施工のこと。		
	○ 電気設備との容量、位置、操作方式等は後日支障なきよう確認して施工する。	メーカー指定	エアコン-----三菱日立ダイキン
	○ 排水管の勾配は屋内1/50を標準とし、屋外も1/50を標準とする。	*同等品以上のもの	換気扇-----三菱ナショナル東芝
	○ 機器類に使用する鋼製架台等は、溶融亜鉛メッキ仕上げのものを使用すること。	を使用する。	衛生器具-----TOTOLIXIL
	○ 雨水管の勾配は屋外1/100を標準とする。		水栓柱-----竹村マエザワセキスイ
			バルブ・パイプ類-----JIS規格品JWWA規格品WSP規格品
使用機材	機材はメーカーリストによる他、同等品以上とし、請負者は契約後、監督員の指示に従い		
	リストを作成し、承諾を受けたものを使用する。		

配管	施工場所					
	屋内露出	隠ぺい部	埋設部	屋外露出		備考
給水管	a <sub>1</sub> ・(ハ)・Ⅶ	c <sub>2</sub> ・(ハ)・Ⅶ	防食テープ	e <sub>2</sub> ・(ハ)・Ⅶ		ポリスチレン
排水管	a <sub>1</sub> ・(ロ)・Ⅶ	c <sub>2</sub> ・(ロ)・Ⅶ	V P	塗装		グラスウール
冷媒管	冷媒管保温仕様図参照					
* 防食テープはベトラタム系とする。 * 給水管のライニング内はワンタッチ保温筒10m/m保温						
ダクト		施工場所				
		屋内露出	機械室 倉庫	隠ぺい部	屋外露出	備考



■特記事項

- ・上水道管理者および下水道管理者と協議済み

〈給水設備〉

- ・有効な吐水口空間を確保すること
- ・吸水管にはウォーターハンマー防止措置を行う

〈排水設備〉

- ・排水トラップの構造は、昭50年第1597号第2第3号の規定に適合すること
- ・通気管の構造は、昭50年第1597号第2第5号の規定に適合すること
- ・排水配管の構造は、令129条の2の4第3項に適合すること

一級建築士事務所登録 梨1-041041 号  
一級建築士 第190666号  
秋山 昭

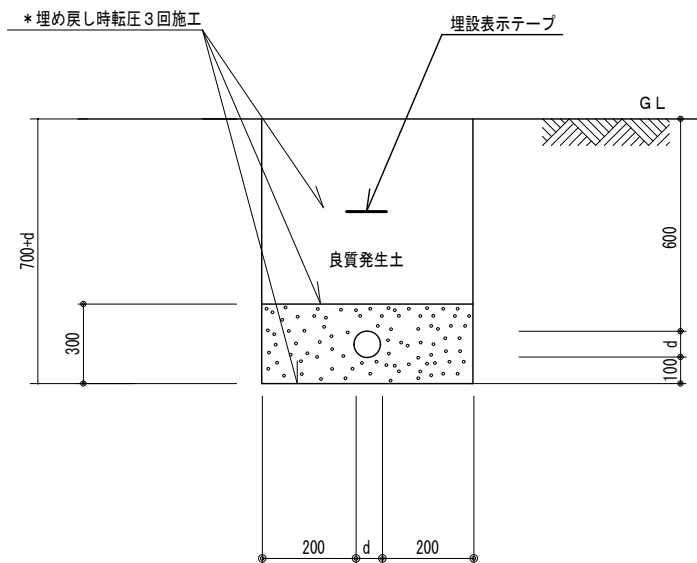
				株式会社 進藤設計事務所	承認	設計	担当		縮尺	A2-1:80	工事名称	旭分団詰所建設工事	No.  M-02
									設計年月日				
											図面名称	給排水 1階平面図	

[illegible]

## 枺 リ ス ト

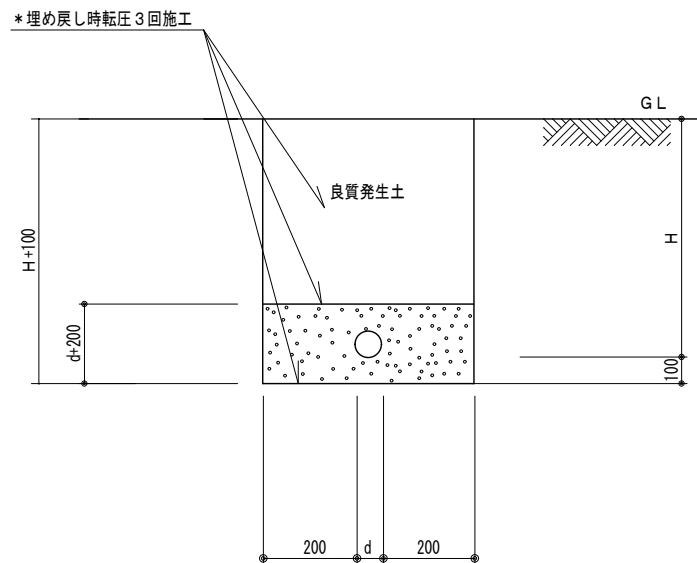
樹番号	樹記号	基準レベル よりの管底	樹設置 地盤高	樹実深さ	樹蓋 耐荷重T-8	樹間 距離	備考
1	90L100-150	-500	-40	-460	樹脂製蓋		
2	90Y100-150	-530	-40	-490	樹脂製蓋	1.3	
3	90L100-150	-640	-80	-560	防護蓋	5.4	
4	90Y100-150	-780	-30	-750	防護蓋	6.7	
5	45L100-150	-890	-100	-790	防護蓋	5.5	
6	DR100-150	-940	-160	-780	防護蓋	2.1	
公設樹		-1400	-180	-1220		1.5	
7	90L100-150	-610	-20	-590	樹脂製蓋		
4	合流	-780		-750		8.3	
	* 勾配は1／50以上とする。						
	* 基準レベルは建物際のGLを±0とする。						

樹番号	樹寸法	基準レベル よりの管底	樹設置 地盤高	樹実深さ	樹蓋	樹間 距離	備考
A	450×450	-400	-80	-320	格子蓋		
B	300×300	-480	-40	-440	格子蓋	7.8	
C	300×300	-510	-50	-460	格子蓋	2.3	
D	300×300	-560	±0	-560	格子蓋	5.2	
E	300×300	-580	±0	-580	格子蓋	2.0	
既存排水管		-670	±0	-670		4.6	
F	300×300	-300	±0	-300	格子蓋	6.0	
	* 勾配は1／100以上とする。						
	* 基準レベルは建物際のGLを±0とする。						

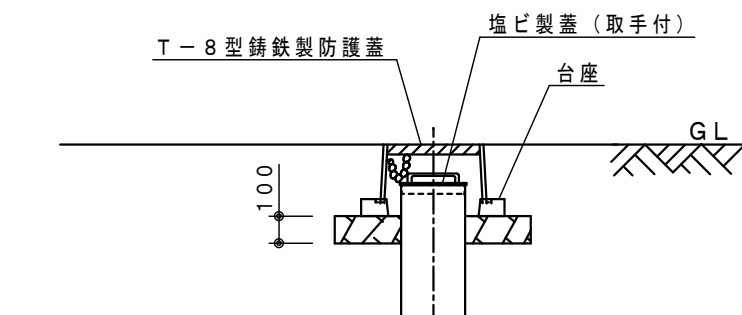


屋外給水管埋設断面図

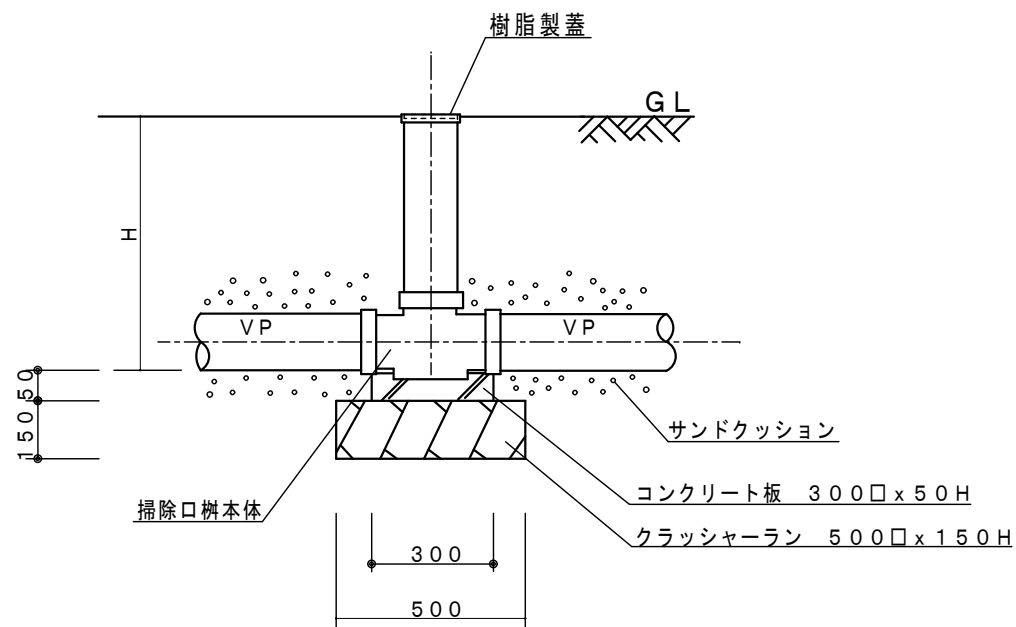
屋外埋設給水の主要な曲がり部分に地中埋設標を設置のこと（ピン製、コンクリート製）  
堀削幅は参考とする



屋外排水管理設断面図



防 護 蓋 取 付 概 要 図      N O . S



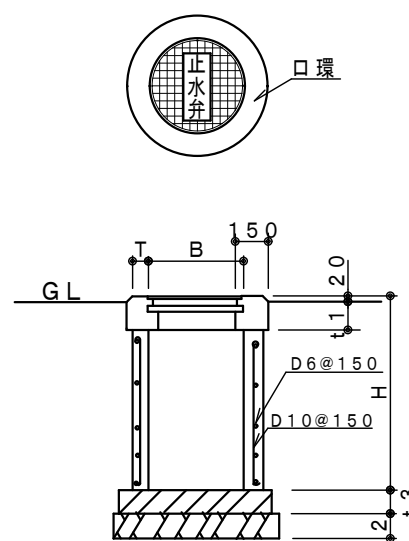
掃除口柵と排水管の接続には、VP変換ソケットを用いる。

ピット内設置はスラブより吊り金具にて固定とする。

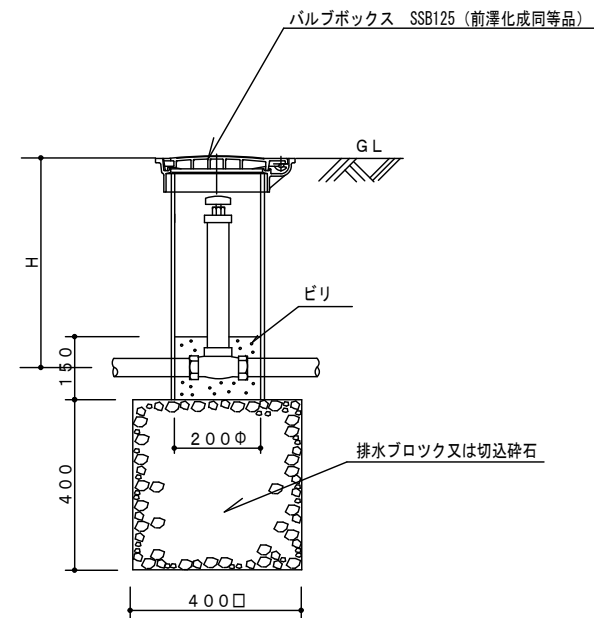
プラスチックインバート樹概要図 N O . S

## 掃 除 口 桤 ( 塩 ビ 桤 ) 施 工

- ① プラスチック樹は、JWSAW K-7（下水道用硬質塩化ビニル製材）とする。
- ② ふたの耐荷重を必要とする場合は、JWSAW G-3（下水道用鋳鉄製防護ふた）による。
- ③ 立上り部は、JIS K 6741（硬質ポリ塩化ビニル管）のVU又はJIS K 9797（リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管）のRS-VUとする。
- ④ 樹のふたは、特記がない場合には密閉ふた（ワンタッチ式）ライバタイプ）とする。
- ⑤ クラッシュランは、再生材とする。
- ⑥ プラスチック樹と排水管の流路取接続には、V P変換ソケットを用いる。（市販品使用）
- ⑦ 排水主管が75φとなるインポート樹は、使用しない。レジュサ等を用いて100φサイズアップする。



并枳参考図 NO. S



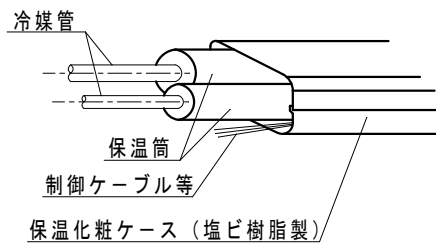
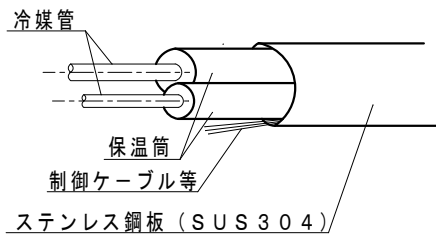
止水栓ボックス詳細図 NO. S

弁 記	樹 号	弁 呼 び 径	B	H	T	t 1	t 3	t 2	ふた	備 考
YAVC	-1	40以下	200	550	100	130	100	120	B1	(1) 側塊の接合は防水モルタル塗りとしズレ止めをつけるものとする。 (2) 口環は鉄筋入りとする。 (3) B1では、鉄筋は4本とする。
YAVC	-2	40以下	200	850	100	130	100	120	B1	
YAVC	-3	50~80	400	700	100	130	100	120	B2-A	
YAVC	-4	50~80	400	900	100	130	100	120	B2-A	
YAVC	-5	100~200	500	1200	120	130	100	120	B2-A	

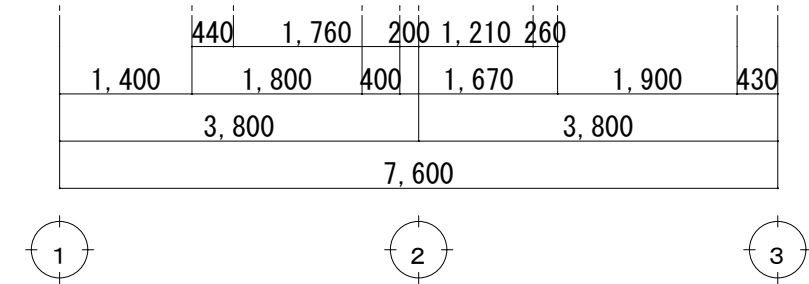
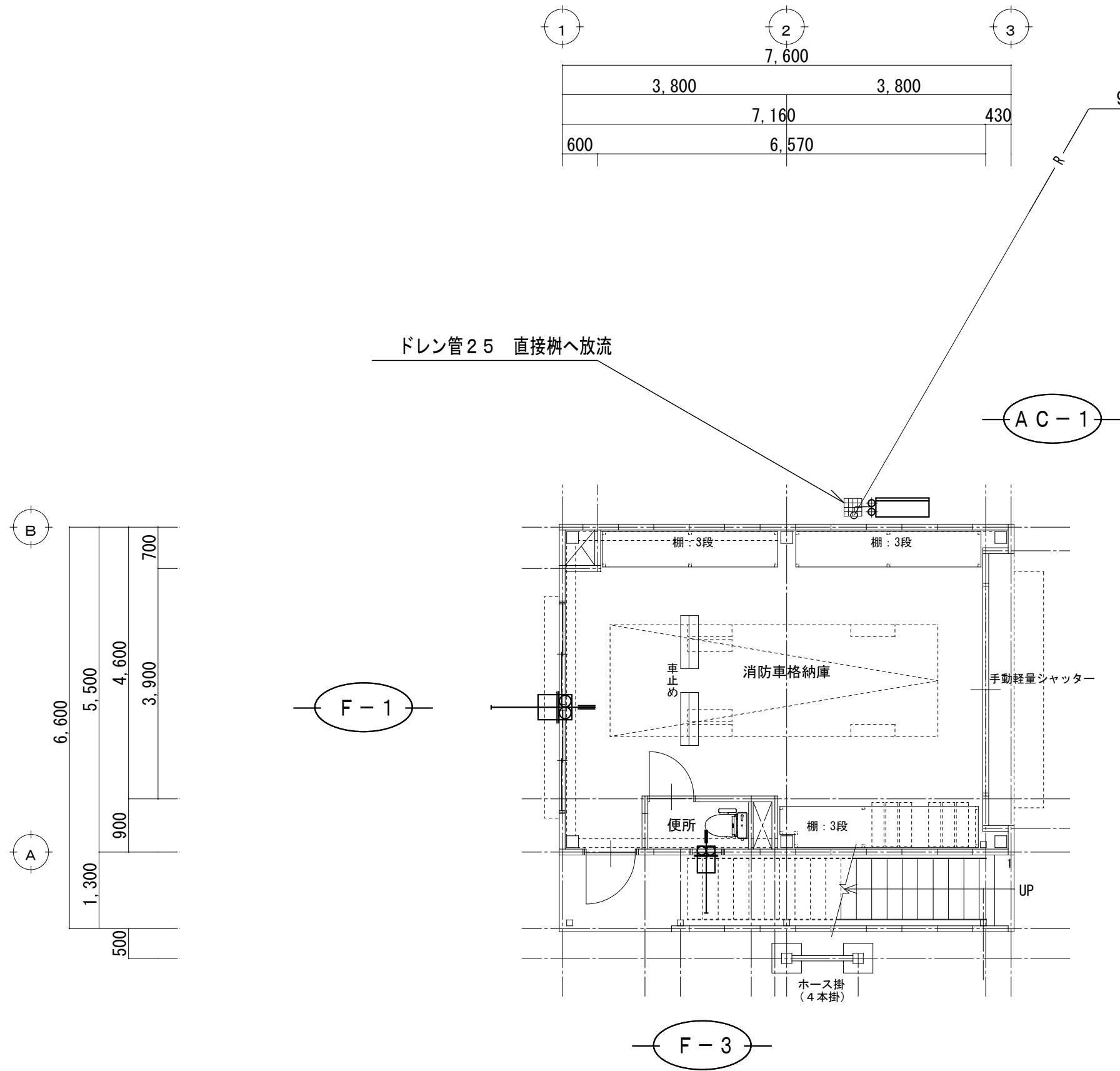
					No.
					M - O 4

機 器 表

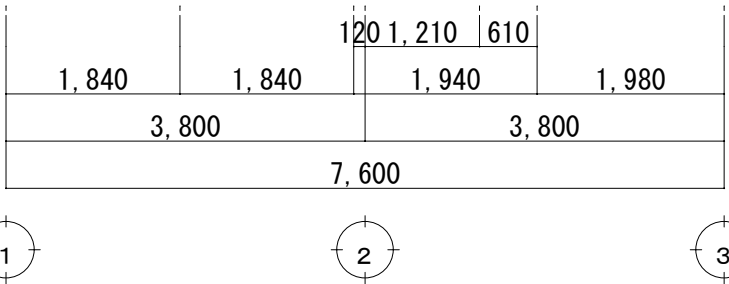
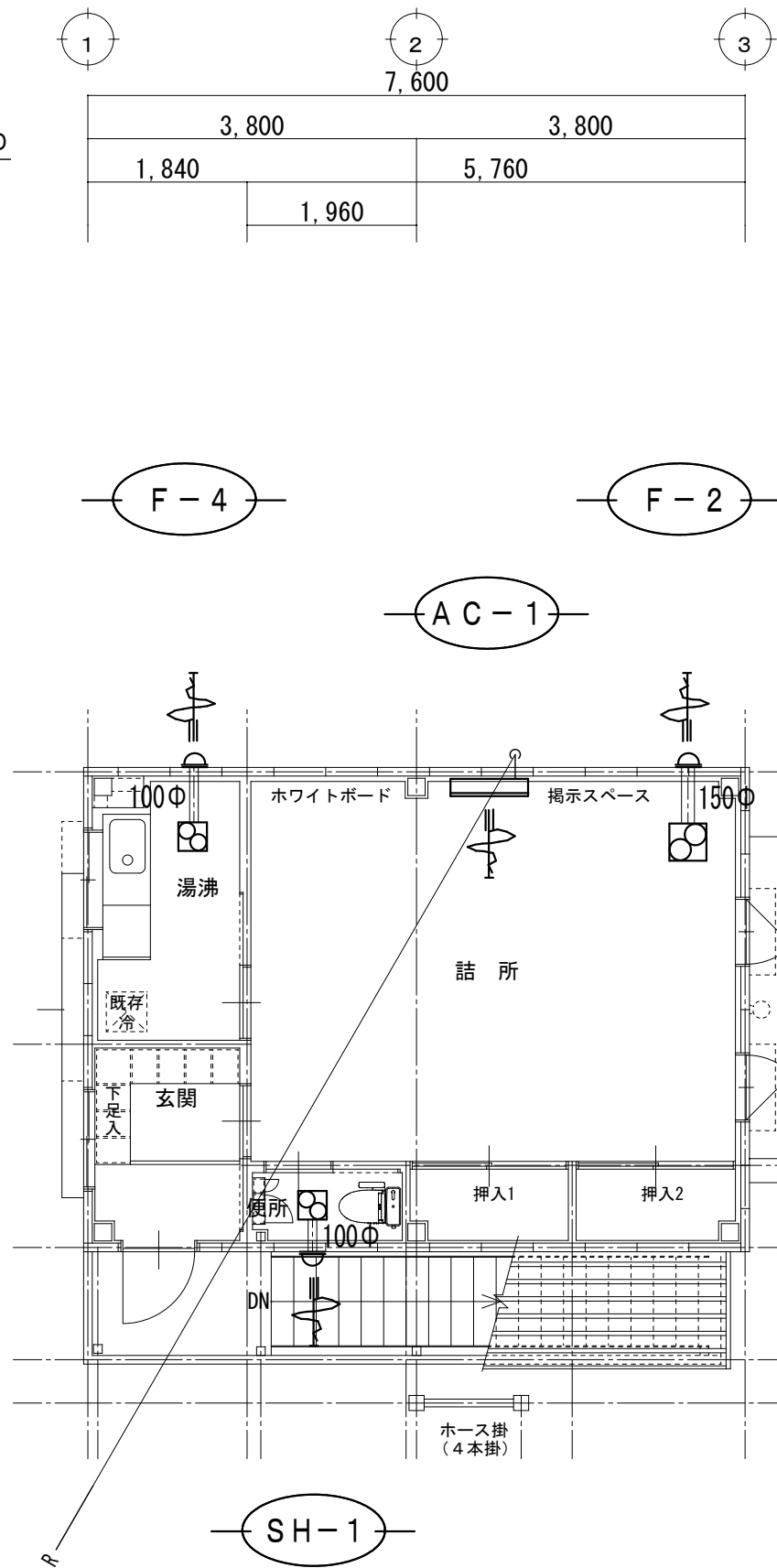
[illegible]

冷 媒 管 保 温 施 工 仕 様			
	施 工 箇 所	保 温 の 種 別	施 工 例
冷 媒 管	屋内露出部	１．架橋ポリエチレンフォーム保温筒 ２．塩ビ樹脂製保温化粧ケース （必要箇所をビス止め）	 <p>冷媒管 保温筒 制御ケーブル等 保温化粧ケース（塩ビ樹脂製）</p>
	屋外露出部	１．架橋ポリエチレンフォーム保温筒 ２．ステンレス鋼板（ＳＵＳ３０４） ３．シーリング	 <p>冷媒管 保温筒 制御ケーブル等 ステンレス鋼板（ＳＵＳ３０４）</p>
<p>○ 冷媒管保温厚はガス管２０ｍｍ、液管１０ｍｍとする</p> <p>○ 制御ケーブルは保温筒へ鉄線等で固定する事（ピッチ２Ｍ）</p> <p>○ 電源線及び制御線の仕様は採用メーカーに準じる</p>			





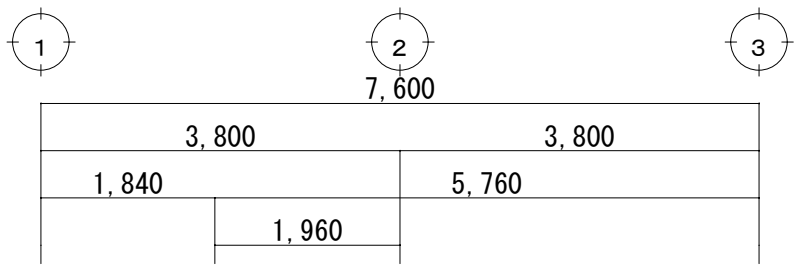
1 階 平 面 図 S = 1 : 8 0



2 階 平 面 図 S = 1 : 8 0

一級建築士事務所登録 梨1-041041 号  
一級建築士 第190666号  
秋山 昭

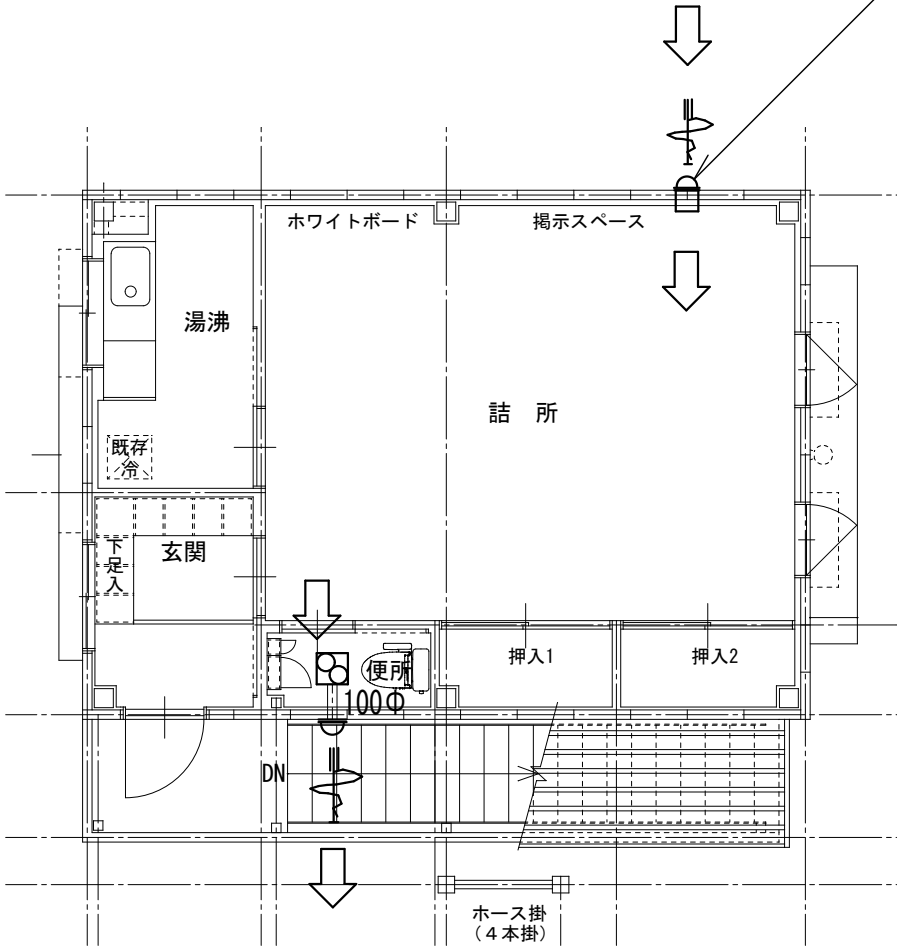
	株式会社 進藤設計事務所	承認	設計	担当	縮尺	工事名称 旭分団詰所建設工事	図面名称 冷暖房・換気 1.2階平面図	No. M-06
					A2-1:80 設計年月日			



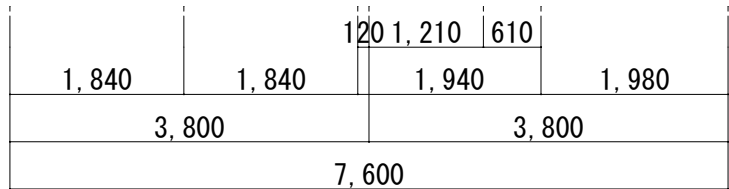
2 4 時間換気量計算書

室名		床面積 [m2]	平均 天井高 [m]	気積 [m3]	換気種別	給気機に よる給気量 [m3/h]	排気機に よる排気量 [m3/h]	換気回数 [回/h]	必要換気量 [m3/h]	備考 使用機器名・記号
2階	詰 所	26.21	2.500	65.5		自然給気				
2階	便 所	1.75	2.400	4.2						排気機設置室
計				69.7	第3種		80.0	1.14	69.7m3/h×0.3回=20.91	>80.0
									80.0 OK	VD-10ZC14 SH-1

2 4 時間換気給気ガラリ

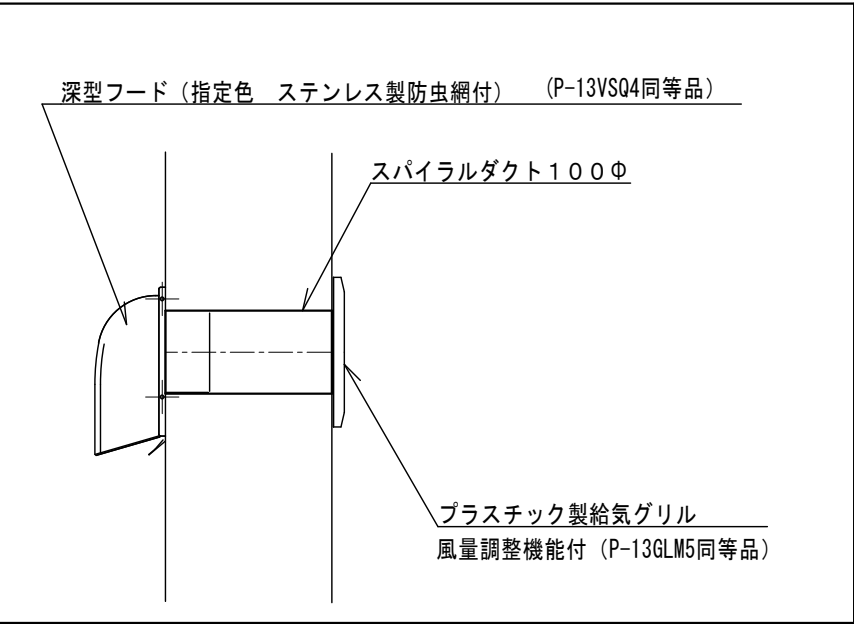


SH-1



2 4 時間換気 2 階平面図 S = 1 : 8 0

2 4 時間換気給気ガラリ詳細図



凡	例
←	換気経路を示す。
□	外気給気ガラリを示す。